秋 田 自 動 車 道

岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事

設　計　図　　（３/６）

土渕橋

令和　７年　７月

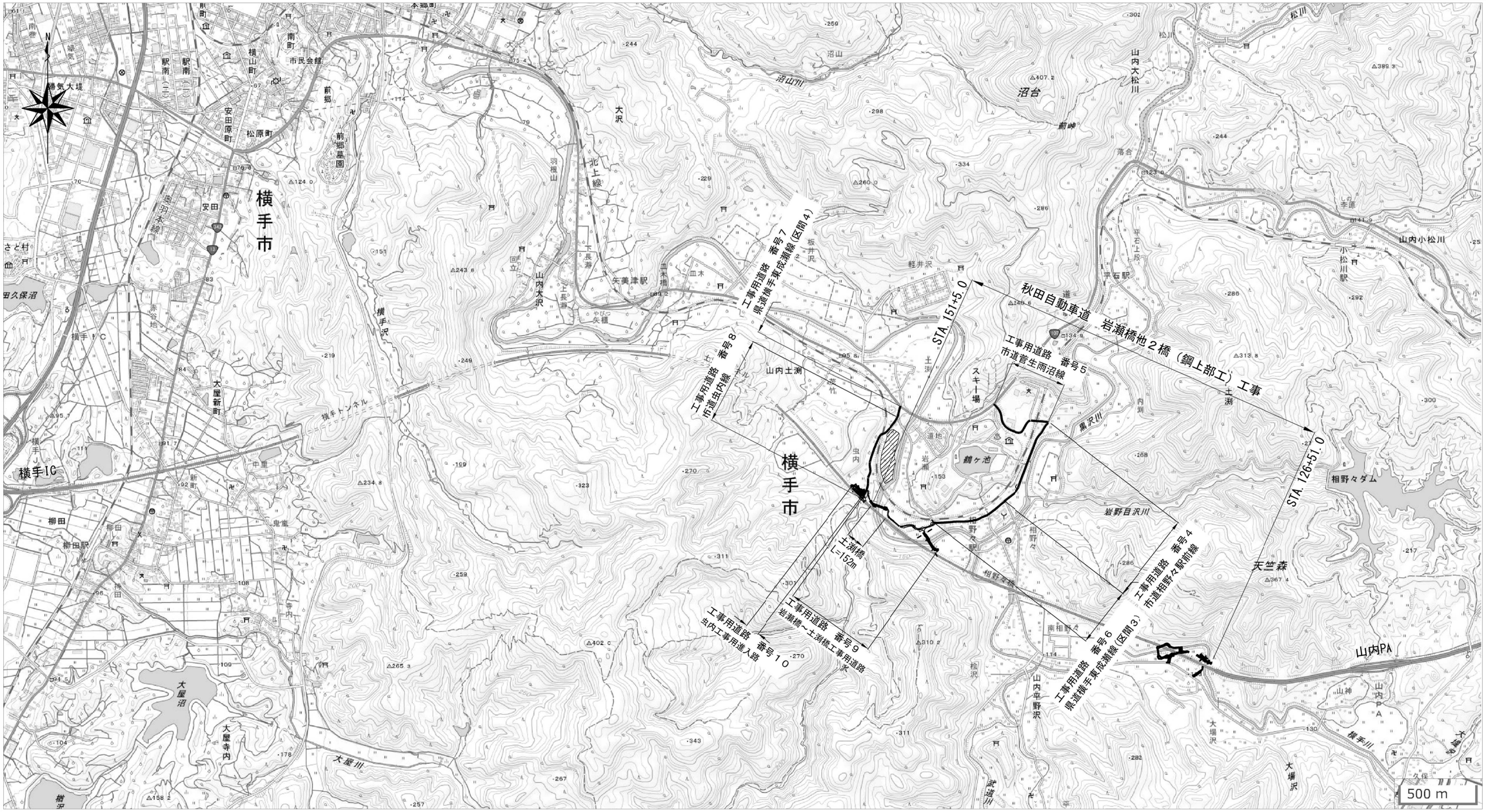
東日本高速道路株式会社　東北支社
横手工事事務所

図面目録
【土渕橋】

図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
１	土渕橋（上り線）　位置図	６３	土渕橋（上り線）　排水ます詳細図
２	土渕橋（上り線）　数量総括表	６４	土渕橋（上り線）　検査路計画図（参考図）
３～５	土渕橋（上り線）　橋梁一般図（1）～（3）	６５～７２	土渕橋（上り線）　伸縮装置（１）～（８）
６	土渕橋（上り線）　上部工構造一般図	７３	土渕橋（上り線）　支承E-5詳細図
７～８	土渕橋（上り線）　線形図（1）～（2）	７４	土渕橋（上り線）　支承E-6詳細図
９	土渕橋（上り線）　支承配置図	７５	土渕橋（上り線）　橋名板・橋歴板
１０～１１	土渕橋（上り線）　断面構成図（1）～（2）	７６	土渕橋（上り線）　中央分離帯転落防止網
１２	土渕橋（上り線）　キャンバー図	７７～７８	土渕橋（上り線）　はく落防止対策工詳細図（１）～（２）
１３～１５	土渕橋（上り線）　共通詳細図（１）～（３）	７９～８０	土渕橋（上り線）　表面保護工詳細図（１）～（２）
１６～２４	土渕橋（上り線）　主桁Ｇ１（1）～（９）	８１	土渕橋（上り線）　架設計画図（参考図）
２５～３３	土渕橋（上り線）　主桁Ｇ２（1）～（９）	８２～８４	土渕橋（上り線）　Ａ１橋台構造一般図（1）～（３）
３４～３７	土渕橋（上り線）　主桁スタッドジベル配置図（1）～（４）	８５～８６	土渕橋（上り線）　Ａ１橋台配筋図（1）～（２）
３８	土渕橋（上り線）　端支点横桁	８７	土渕橋（上り線）　Ｐ１橋脚構造一般図
３９	土渕橋（上り線）　中間支点横桁	８８	土渕橋（上り線）　Ｐ２橋脚構造一般図
４０	土渕橋（上り線）　中間横桁	８９～91	土渕橋（上り線）　Ａ２橋台構造一般図（1）～（３）
４１	土渕橋（上り線）　塗装区分図	９２～９３	土渕橋（上り線）　Ａ２橋台配筋図（1）～（２）
４２～４４	土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリート（1）～（３）	９４	土渕橋（上り線）　Ａ１橋台Ｌ型擁壁構造一般図
４５～４７	土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリートスタッド配置図（1）～（３）	９５～９８	土渕橋（上り線）　Ａ１橋台Ｌ型擁壁配筋図（１）～（４）
４８	土渕橋（上り線）　ＰＣ鋼材配置図	９９	土渕橋（上り線）　Ａ１橋台踏掛版配筋図
４９～５６	土渕橋（上り線）　床版配筋図（１）～（８）	１００	土渕橋（上り線）　Ａ２橋台踏掛版配筋図
５７～61	土渕橋（上り線）　壁高欄配筋図（１）～（５）	１０１	土渕橋（上り線）　交通保安要員配置図
６２	土渕橋（上り線）　排水装置計画図（参考図）		

秋田自動車道　岩潟橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋 図 面 目 録		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　位置図　S=1:25000



【工事用道路】

番号	工事用道路名	幅員（m）	路面	延長（m）	標準平均速度（km／h）	往復走行時間（min）	備考
4	市道相野々駅前線	4.0	舗装	550	25	3	既設
5	市道菅生雨沼線	8.0	舗装	500	24	3	既設
6	県道横手東成瀬線（区間3）	4.0	舗装	500	25	3	既設
7	県道横手東成瀬線（区間4）	12.0	舗装	100	48	1	既設
8	市道虫内線	4.5	舗装	600	15	5	既設
9	岩瀬橋～土渕橋工事用道路	5.0	砂利	800	15	7	関連工事にて新設
10	虫内工事用進入路	15.0	舗装	100	15	1	関連工事にて新設

注）
・国土地理院地図を引用して作成

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋（上り線）位置図		
縮　尺	S=1/25000	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　数量総括表

項　目	種　別			単　位	数　量	備　考
コンクリート	A1-1			m3	41.6	H＜20m、巻き立てコンクリート
	A1-4			m3	114.2	H＜20m、地覆・壁高欄
	P2-2			m3	586.9	H＜20m、PC床版、調整コンクリート、伸縮装置（橋面側）
型わく	A			m2	2,424.0	H＜20m、床版、地覆・壁高欄、巻き立てコンクリート、伸縮装置
鉄筋	A(E)	床版部	D13	t	35.166	H≦25m、SD345、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			D16～D25	t	136.548	
			計	t	171.714	
		床版以外	D13	t	15.289	H≦25m、SD345、地覆・壁高欄、伸縮装置、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			D16～D25	t	2.607	H≦25m、SD345、地覆・壁高欄、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			D29～D32	t	2.476	H≦25m、SD345、巻き立てコンクリート、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			計	t	20.372	
		A(E)計		t	192.086	
	A	床版以外	D16～D25	t	2.444	H≦25m、SD345、巻き立てコンクリート、伸縮装置
			計	t	2.444	
PC鋼材引張	PC鋼より線(1S28.6)S			kg	18,254.6	SWPR19L 床版横締めケーブル（ブレグラウト）
鋼構造物の製作	製作材料費（鋼板）A			t	38.427	SS400,SM400
	製作材料費（鋼板）B			t	241.674	SM490,SM490Y,SM520
	製作材料費（形鋼）A			t	12.416	鋼板、スタッドジベル以外の鋼材
	製作材料費（スタッドジベル）			t	4.266	
	大型部材の製作			個	120	
				(t)	(227.492)	大型材片重量
	中間横桁部材の製作			個	16	
				(t)	(12.416)	H形鋼重量
	小型部材の製作			個	1,456	
				(t)	(52.609)	小型材片重量
	T継手溶接工			m	1,286.7	
鋼構造物の防錆	鋼構造物の塗装		C-5	m2	2,674.1	一般外面
鋼構造物の輸送	鋼橋の輸送			t	296.081	
鋼構造物の架設	鋼橋の架設C			t	296.081	
	高力ボルト本締工			t	2.049	
	鋼橋の現場溶接工			m	141.7	平均板厚 22.5mm
支承	E-5			箇所	4	ゴム支承(A1:2箇所、A2:2箇所)
	E-6			箇所	4	ゴム支承(P1:2箇所、P2:2箇所)
伸縮装置	A1			kg	16,876.0	鋼製フィンガージョイント
排水装置	排水ますA			箇所	17	
橋名板				箇所	1	
橋歴板				箇所	1	
中央分離帯転落防止網				m2	72.3	
はく落防止対策工	A			m2	566.9	上部工、下部工、擁壁工
表面保護工	コンクリート表面被覆工			m2	94.6	上部工、下部工
遊間プレート工	A			箇所	4	
鋼構造物の詳細設計	C			式	1	

下部工（上部工施工分）数量総括表

項　目	種　別		単位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台	合　計	摘　要
コンクリート	A1-3		m3	6.8	－	－	7.7	14.5	H＜20m、橋台躯体
	A1-4		m3	3.2	－	－	3.1	6.3	H＜20m、地覆・壁高欄
型わく	A		m2	23.3	－	－	22.9	46.2	H＜20m、地覆、高欄
	C		m2	10.7	－	－	12.7	23.4	H＜20m、橋台躯体
鉄　筋	A(E)	D13	t	0.289	－	－	0.332	0.621	H≦25m SD345、エポキシ樹脂塗装鉄筋
		D16～D25	t	0.186	－	－	0.189	0.375	
		計	t	0.475	－	－	0.521	0.996	
踏掛版工	t=31cm		m2	46.1	－	－	49.1	95.2	

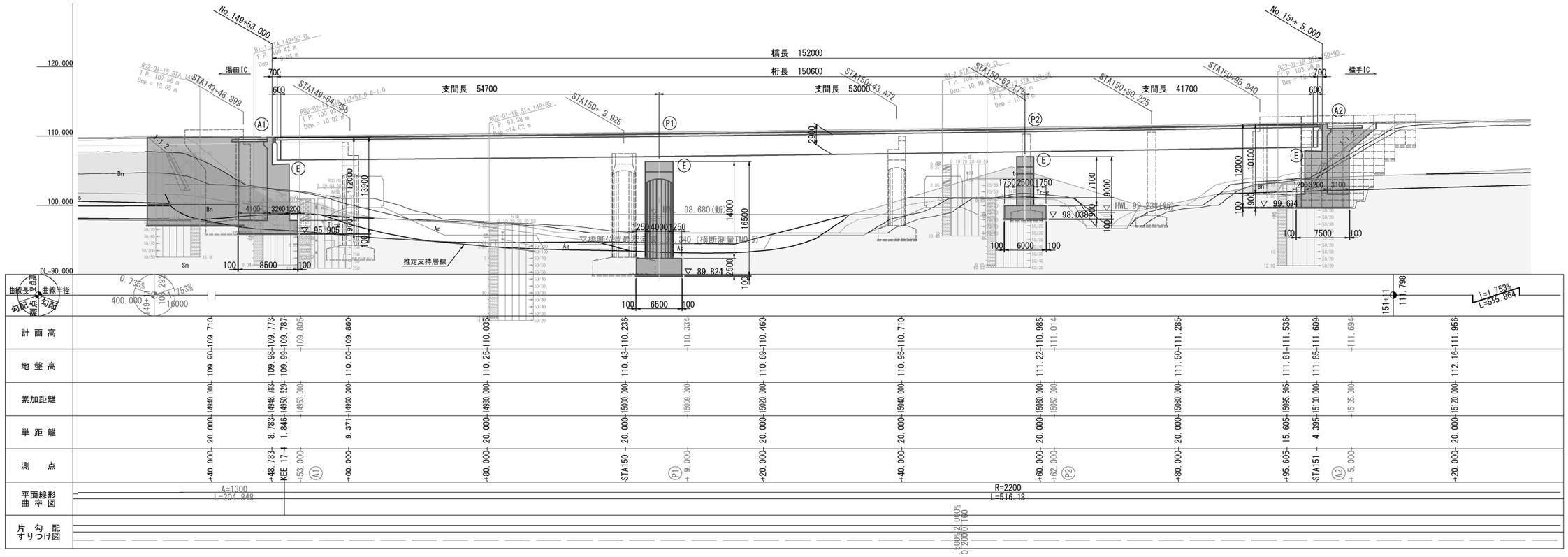
擁壁工（上部工施工分）数量総括表

項　目	種　別		単位	A1橋台背面	合　計	摘　要
コンクリート	A1-3		m3	3.5	3.5	H＜20m、躯体
	A1-4		m3	4.9	4.9	H＜20m、地覆・壁高欄
型わく	A		m2	33.8	33.8	H＜20m、地覆・高欄
	C		m2	11.0	11.0	H＜20m、躯体
鉄　筋	A(E)	D13	t	0.602	0.602	H≦25m SD345、エポキシ樹脂塗装鉄筋
		D16～D25	t	0.303	0.303	
		計	t	0.905	0.905	

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 数量総括表		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　橋梁一般図（1）

側　面　図 S=1:600



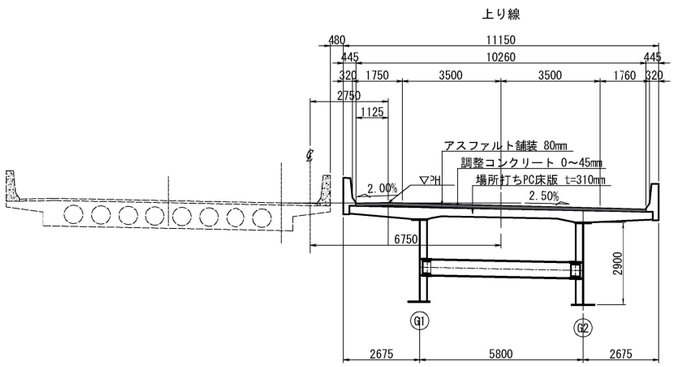
平　面　図 S=1:600

秋田自動車道　岩頻橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 橋梁一般図（1）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

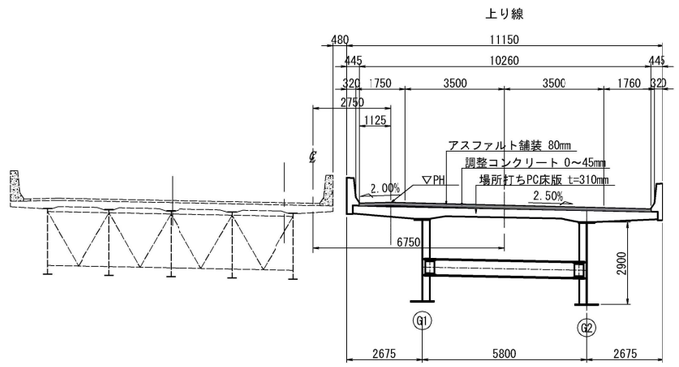
土渕橋（上り線）　橋梁一般図（２）

上部構造断面図 S=1:200

A1～P1,P2～A2

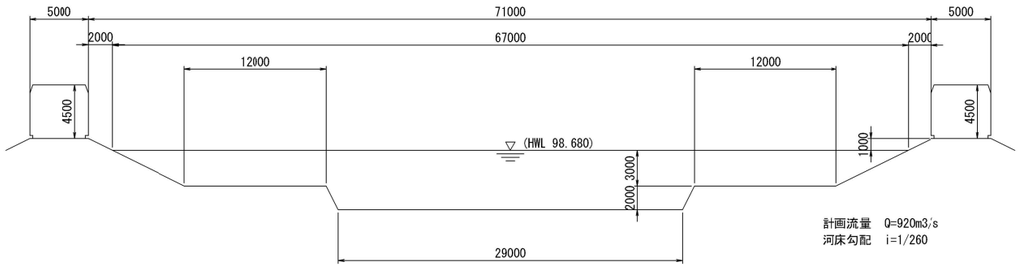


P1～P2



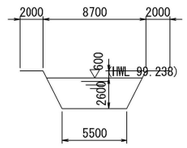
計画河川断面図 S=1:500

横手川（No.284+31.514）



計画流量　Q=920m3/s
河床勾配　i=1/260

虫内沢川（道路CLとの交点）



設　計　条　件

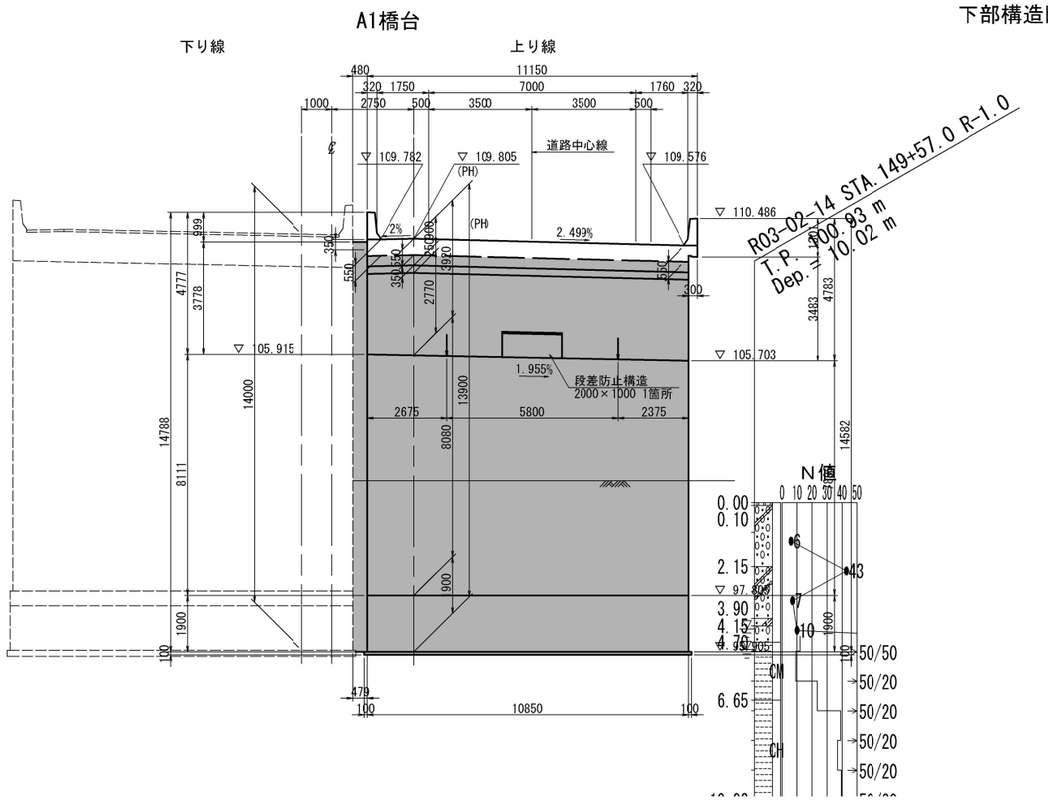
路線名		秋田自動車道（上り線）
橋名		土渕橋（上り線）
道路規格		第１種３級Ｂ規格
設計速度		Ｖ＝80km/h
橋長		152.000m
桁長		150.600m
支間長		L=54.700m + 53.000m + 41.700m
幅員構成	総幅員	11.150m
	有効幅員	10.260m
線形条件	平面線形	A=1300m ～ R=2200m
	縦断線形	0.735% ～ 1.753%
	横断線形	2.500%
	斜角	90° 00′ 00″
設計活荷重		Ｂ活荷重
上部構造条件	形式	鋼3径間連続合成2主鈑桁橋
	材料 主要鋼材	SM520,SM490Y,SM490,SM400,SS400,S10T,降伏点一定鋼(-H材)
	材料 PC鋼材	SWPR19L 1S28.6
	材料 コンクリート	σck=40N/mm（PC床版）、σck=30N/mm（巻き立てｺﾝｸﾘｰﾄ,壁高欄）
	材料 鉄筋	SD345
下部構造条件	形式 橋台	逆Ｔ式橋台
	材料 橋台躯体	躯体:σck=30N/mm,SD345, 底版:σck=24N/mm,SD345
	材料 橋台基礎	A1:直接基礎, A2:直接基礎
	形式 橋脚	張出式橋脚
	材料 橋台躯体	躯体:σck=30N/mm,SD345, 底版:σck=24N/mm,SD345
	材料 橋台基礎	P1:直接基礎, P2:直接基礎
	支持地盤	山内層 硬質泥岩(Sm層)
支承形式		積層ゴム支承（免震支承）
適用基準等		設計要領第一集　令和 2年7月　東日本高速道路株式会社
		設計要領第二集　平成28年8月　東日本高速道路株式会社
		設計要領第四集　令和 4年7月　東日本高速道路株式会社
		道路橋示方書・同解説（平成29年11月）

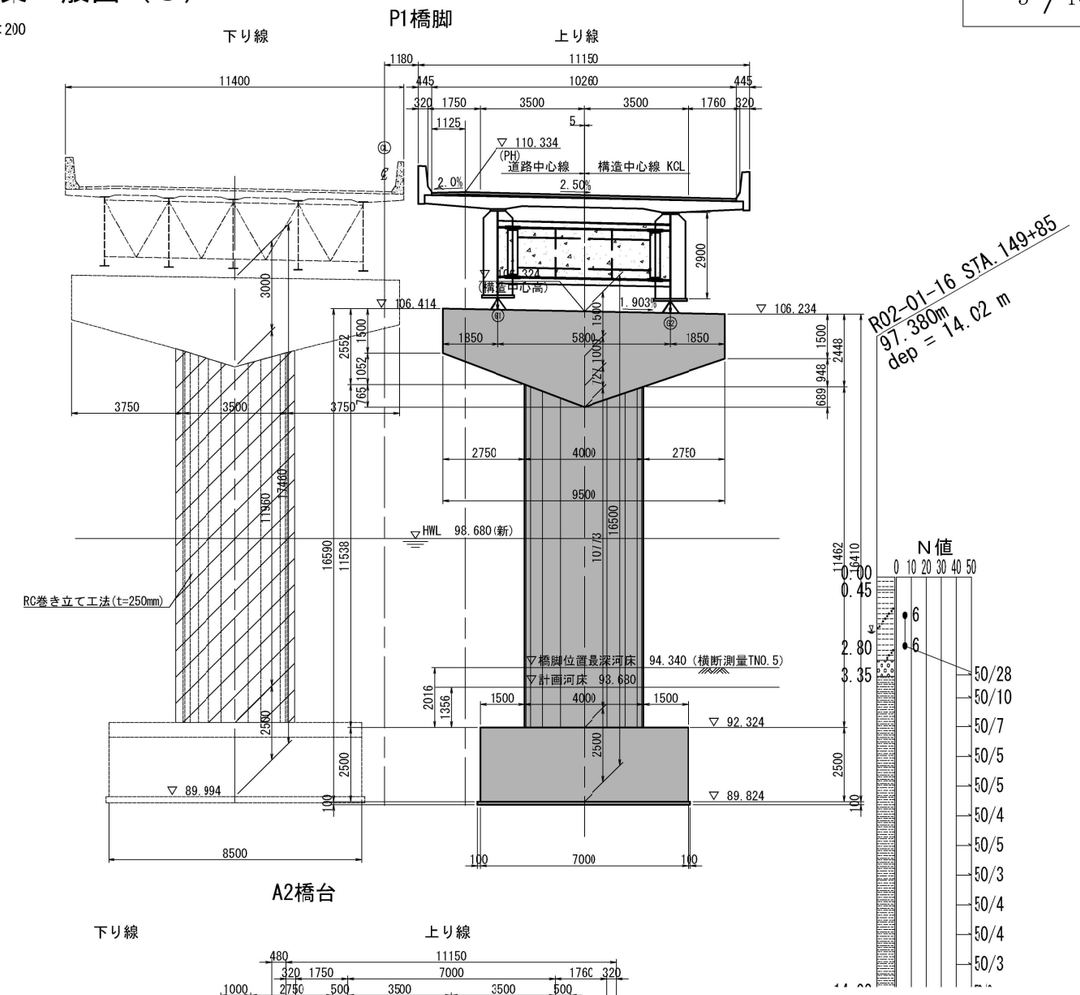
注記）
注１：　ハッチングは関連工事施工を示す。

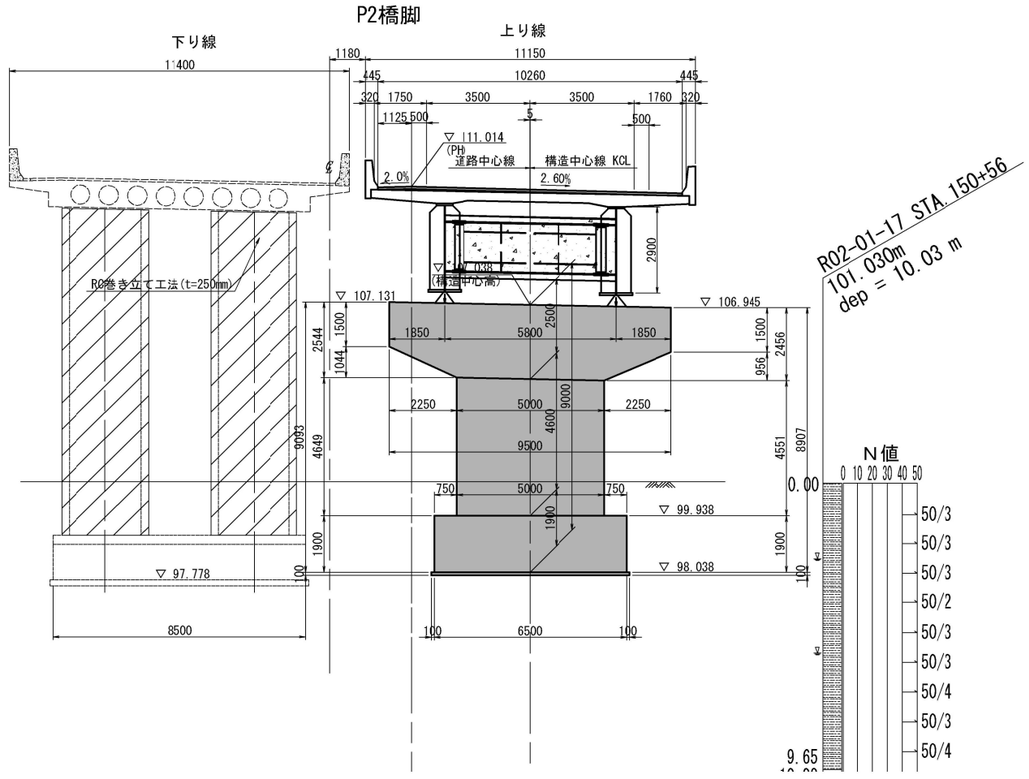
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋（上り線） 橋梁一般図（２）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

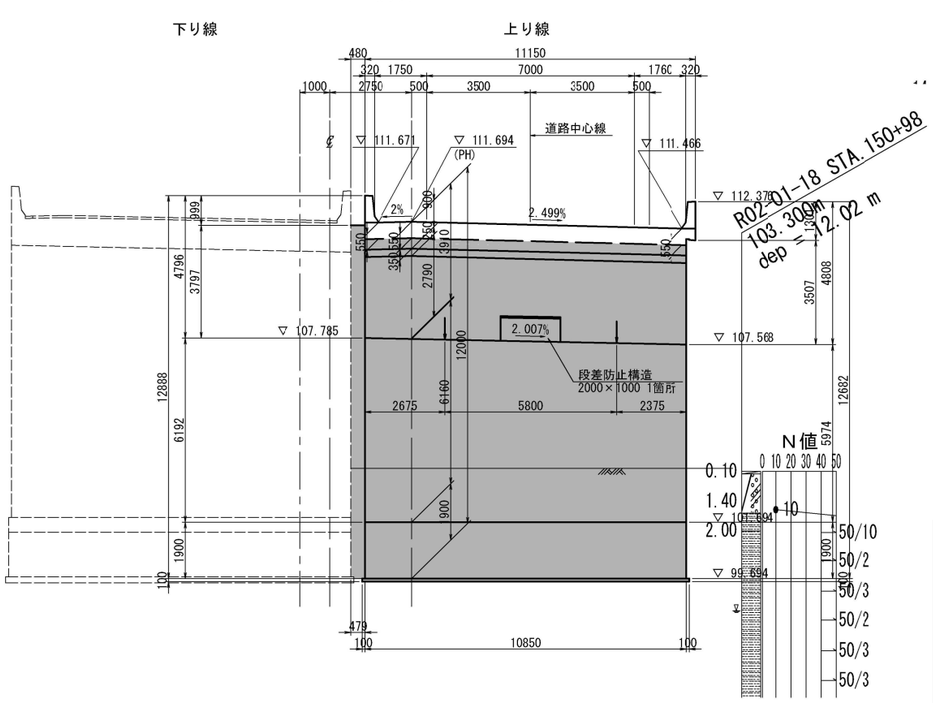
土渕橋（上り線）　橋梁一般図（３）

下部構造断面図 S=1:200







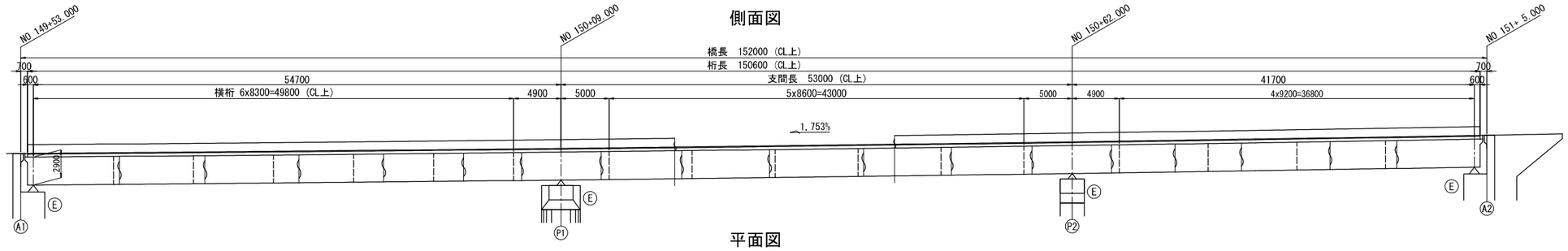


注記）
注１：　ハッチングは関連工事施工を示す。

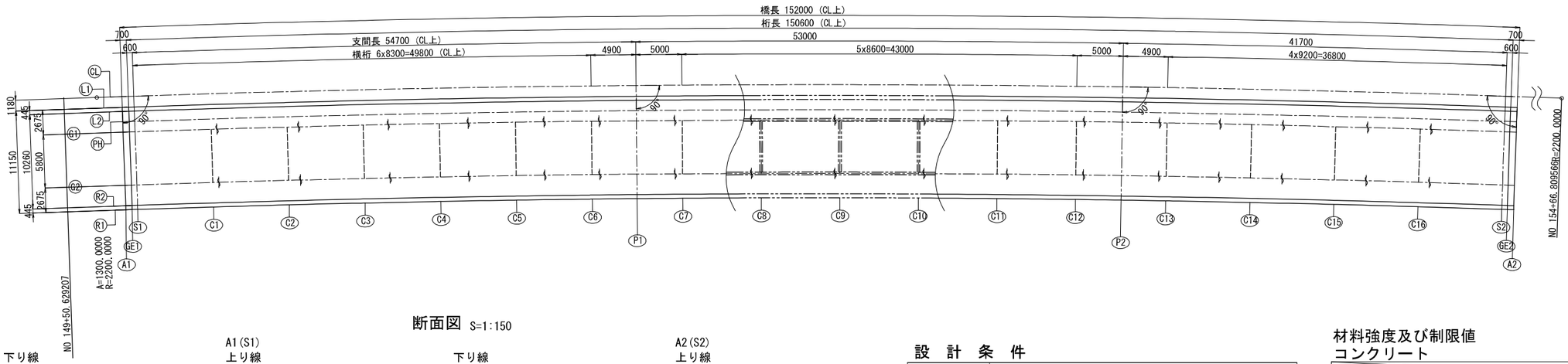
秋田自動車道　岩類橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 構梁一般図（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　上部工構造一般図 S=1:500

側面図

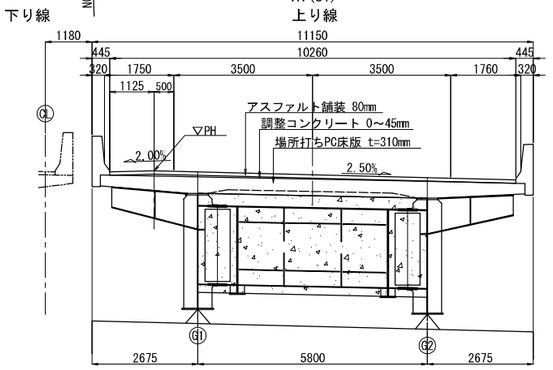


平面図

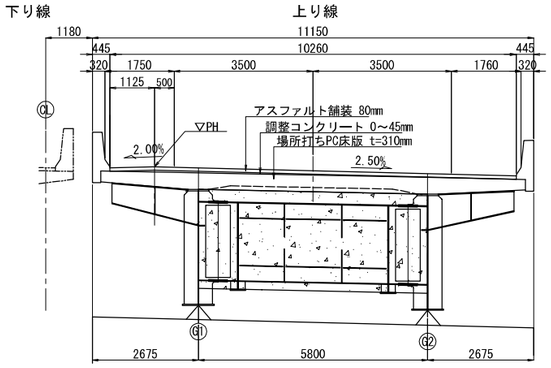


断面図 S=1:150

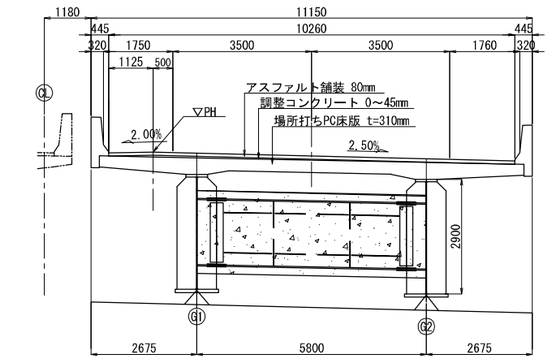
A1(S1) 上り線



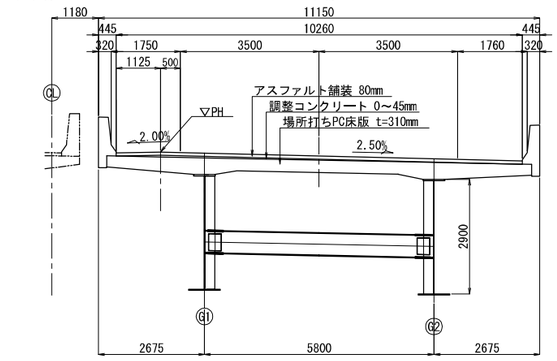
A2(S2) 上り線



P1,P2 上り線



C1～C16 上り線



設　計　条　件

橋　梁　名	土渕橋(上り線)
種　　別	鋼道路橋
形　　式	鋼３径間連続合成２主鈑桁橋
架 設 工 法	トラッククレーン架設工法
橋　　長	152.000m（CL上）
桁　　長	150.600m（CL上）
支　　間	54.700m + 53.000m + 41.700m（CL上）
幅 員 構 成	10.260m
設 計 荷 重	B 活荷重
死　荷　重	アスファルト舗装　22.5kN/m3
	鉄筋コンクリート　24.5kN/m3
	検査路 ： W = 1.00kN/m
	遮音壁 ： W = 1.45kN/m
雪　荷　重	あり ： 壁高欄付着分を考慮
温度変化範囲	−30℃～+50℃（基準温度10℃）（上部工設計）
	−20℃～+40℃（基準温度10℃）（伸縮装置設計）
地域補正係数	Cz=0.85,CⅠz=1.00、CⅡz=0.85（B2地域）
設計水平震度	レベル1 橋軸方向 kh=0.17、直角方向 kh=0.17
支 承 条 件	積層ゴム支承（免震支承）
横 断 勾 配	2.50%　路肩部:2.00%
縦 断 勾 配	0.735%　～ 1.753%
平 面 線 形	A=500～R=3000
斜　　角	90° 00′ 00

材料強度及び制限値

コンクリート

（N/mm²）

	床版	巻きコン	高欄・地覆
設計基準強度（σck）	40.0	30.0	30.0
設計基準強度（σci）	32.5	—	—
圧縮応力度制限値プレストレス導入直後	19.0	—	—
前提条件	15.0	—	—
耐荷性能	22.5	—	—
耐久性能	15.0	—	—
耐久性能（橋軸方向）	32.5	—	—
引張応力度制限値プレストレス導入直後	1.6	—	—
前提条件	0.0	—	—
耐荷性能	2.7	—	—
耐久性能	0.0	—	—

PC鋼材

（N/mm²）

緊 張 種 別	横締めケーブル
鋼 材 種 別	1S28.6(SWPR19L)　プレグラウト
引 張 強 度	1780
降伏点応力度	1510
初期導入プレストレス	1318
引張応力度制限値　緊張作業時	1359
プレストレス導入直後	1246
設計時	1246

鉄筋（SD345）

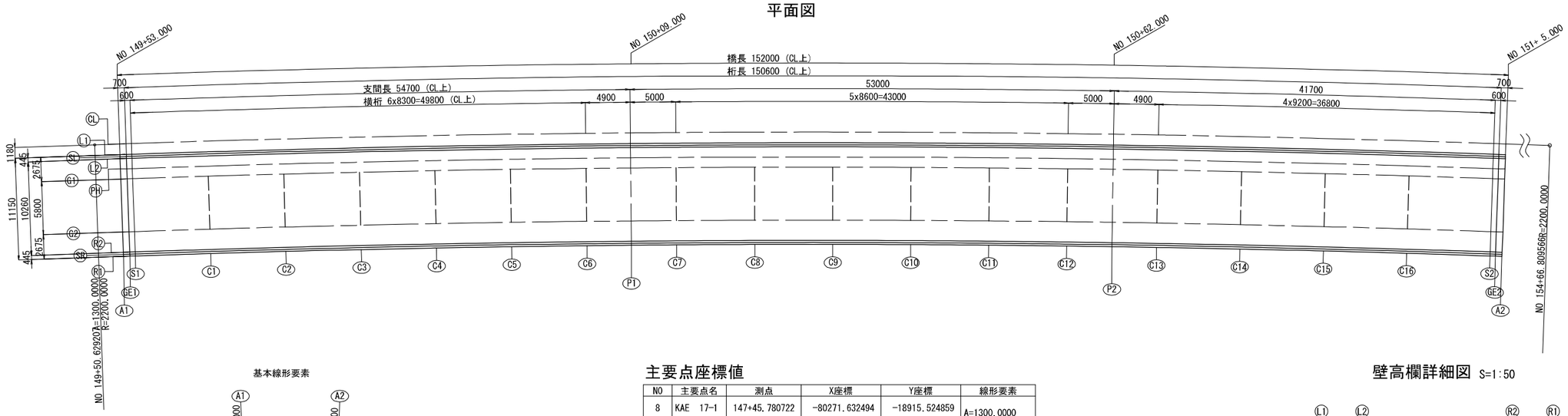
（N/mm²）

降伏点応力度	345
引張応力度最大値　耐荷性能	210
耐荷性能（腐食）	100
耐荷性能（疲労）	120
引張応力度最大値　耐荷性能	120
耐荷性能（腐食）	100
耐荷性能（疲労）	120
橋軸方向	120

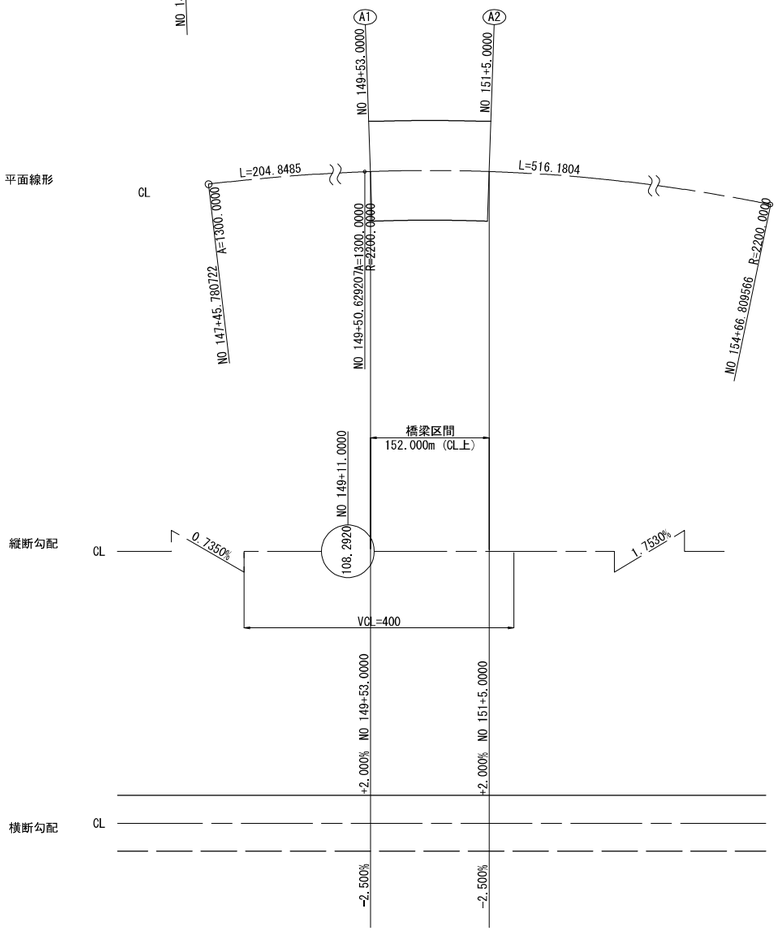
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 上部工構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　線形図（１）　S=1:500

平面図



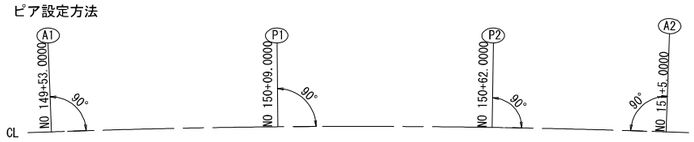
基本線形要素



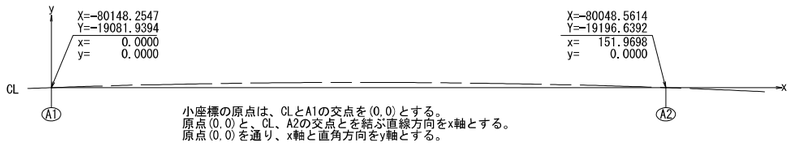
主要点座標値

NO	主要点名	測点	X座標	Y座標	線形要素
8	KAE　17-1	147+45.780722	-80271.632494	-18915.524859	A=1300.0000
9	KEE　17-1	149+50.629207	-80149.746276	-19080.096571	R=2200.0000
10	EC　17-0	154+66.809566	-79781.313383	-19439.928897	

ピア設定方法

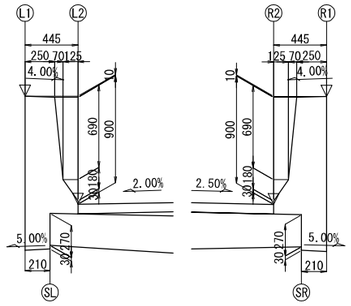


小座標の設定



小座標の原点は、CLとA1の交点を(0,0)とする。
原点(0,0)と、CL、A2の交点とを結ぶ直線方向をx軸とする。
原点(0,0)を通り、x軸と直角方向をy軸とする。

壁高欄詳細図 S=1:50



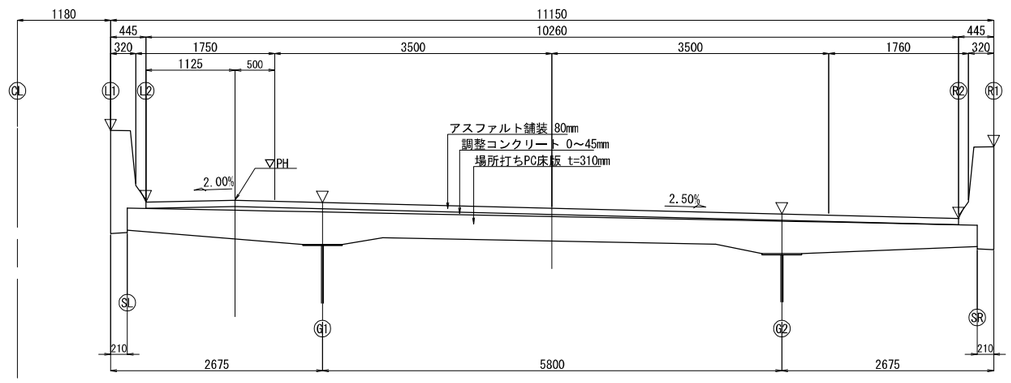
桁配置要領

1. 桁端線、支承線の設定
GE1 : A1からA2に向かって、CLライン上で0.700mの位置でA1に平行とする。
S1 : A1からA2に向かって、CLライン上で1.300mの位置でA1に平行とする。
GE2 : A2からA1に向かって、CLライン上で0.700mの位置でA2に平行とする。
S2 : A2からA1に向かって、CLライン上で1.300mの位置でA2に平行とする。

2. 主桁の設定
G1 : CLに平行で離れをR1方向に3.855mとする.
G2 : CLに平行で離れをR1方向に9.655mとする.

3. 横桁の設定
C1～C16 : CL上にて平面図に示す間隔でCLの法線方向に配置する。

断面図 S=1:75



秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 線形図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　線形図（２）

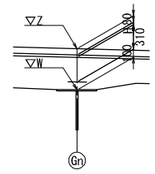
小座標および路面高

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	P1	C7	C8	C9
CL	X	0.0000	0.6996	1.2992	9.5950	17.8916	26.1891	34.4873	42.7861	51.0854	55.9852	60.9850	69.5849	78.1849
	Y	0.0000	0.0241	0.0445	0.3106	0.5455	0.7490	0.9212	1.0621	1.1717	1.2217	1.2615	1.3033	1.3115
	Z	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
L1	X	0.0408	0.7403	1.3400	9.6306	17.9228	26.2158	34.5096	42.8040	51.0988	55.9959	60.9930	69.5883	78.1837
	Y	-1.1793	-1.1552	-1.1348	-0.8688	-0.6341	-0.4307	-0.2586	-0.1178	-0.0082	0.0417	0.0815	0.1233	0.1315
	Z	110.6871	110.6926	110.6972	110.7639	110.8350	110.9103	110.9899	111.0738	111.1619	111.2160	111.2727	111.3739	111.4797
SL	X	0.0480	0.7476	1.3472	9.6369	17.9283	26.2206	34.5136	42.8071	51.1011	55.9978	60.9945	69.5889	78.1835
	Y	-1.3892	-1.3651	-1.3447	-1.0787	-0.8441	-0.6407	-0.4686	-0.3277	-0.2182	-0.1683	-0.1285	-0.0867	-0.0785
	Z	110.6871	110.6926	110.6972	110.7639	110.8350	110.9103	110.9899	111.0738	111.1619	111.2160	111.2727	111.3739	111.4797
L2	X	0.0561	0.7557	1.3554	9.6440	17.9345	26.2259	34.5180	42.8107	51.1038	55.9999	60.9961	69.5896	78.1833
	Y	-1.6240	-1.6000	-1.5795	-1.3136	-1.0790	-0.8756	-0.7035	-0.5627	-0.4532	-0.4032	-0.3635	-0.3217	-0.3135
	Z	109.7821	109.7876	109.7922	109.8589	109.9300	110.0053	110.0849	110.1688	110.2569	110.3110	110.3677	110.4689	110.5747
PH	X	0.0950	0.7946	1.3942	9.6780	17.9643	26.2514	34.5392	42.8276	51.1165	56.0102	61.0038	69.5929	78.1821
	Y	-2.7484	-2.7243	-2.7038	-2.4381	-2.2036	-2.0003	-1.8283	-1.6876	-1.5781	-1.5282	-1.4885	-1.4467	-1.4385
	Z	109.8046	109.8101	109.8147	109.8814	109.9525	110.0278	110.1074	110.1913	110.2794	110.3335	110.3902	110.4914	110.5972
G1	X	0.1331	0.8327	1.4324	9.7113	17.9934	26.2764	34.5601	42.8443	51.1290	56.0202	61.0113	69.5961	78.1810
	Y	-3.8527	-3.8286	-3.8082	-3.5426	-3.3082	-3.1050	-2.9331	-2.7925	-2.6831	-2.6332	-2.5934	-2.5517	-2.5435
	Z	109.7770	109.7824	109.7871	109.8538	109.9249	110.0002	110.0798	110.1636	110.2518	110.3059	110.3626	110.4638	110.5695
	H	0.0396	0.0396	0.0396	0.0396	0.0397	0.0397	0.0397	0.0396	0.0396	0.0396	0.0396	0.0397	0.0396
	W	109.2474	109.2528	109.2575	109.3242	109.3952	109.4705	109.5501	109.6340	109.7222	109.7763	109.8330	109.9341	110.0399
G2	X	0.3335	1.0331	1.6327	9.8863	18.1466	26.4077	34.6695	42.9318	51.1947	56.0729	61.0508	69.6130	78.1752
	Y	-9.6492	-9.6252	-9.6047	-9.3400	-9.1062	-8.9036	-8.7321	-8.5918	-8.4827	-8.4329	-8.3933	-8.3517	-8.3435
	Z	109.6320	109.6374	109.6421	109.7088	109.7799	109.8552	109.9348	110.0186	110.1068	110.1609	110.2176	110.3188	110.4245
	H	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0111	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110
	W	109.1310	109.1364	109.1411	109.2078	109.2788	109.3542	109.4338	109.5176	109.6058	109.6599	109.7166	109.8178	109.9235
R2	X	0.4105	1.1101	1.7097	9.9536	18.2055	26.4581	34.7115	42.9655	51.2199	56.0932	61.0660	69.6195	78.1730
	Y	-11.8779	-11.8538	-11.8334	-11.5690	-11.3354	-11.1330	-10.9617	-10.8216	-10.7126	-10.6628	-10.6233	-10.5817	-10.5735
	Z	109.5763	109.5817	109.5864	109.6531	109.7241	109.7994	109.8790	109.9629	110.0511	110.1051	110.1618	110.2630	110.3688
SR	X	0.4186	1.1182	1.7178	9.9607	18.2117	26.4635	34.7160	42.9690	51.2226	56.0953	61.0676	69.6202	78.1728
	Y	-12.1128	-12.0887	-12.0683	-11.8038	-11.5703	-11.3679	-11.1967	-11.0565	-10.9475	-10.8978	-10.8583	-10.8167	-10.8085
	Z	110.4813	110.4867	110.4914	110.5581	110.6291	110.7044	110.7840	110.8679	110.9561	111.0101	111.0668	111.1680	111.2738
R1	X	0.4259	1.1254	1.7251	9.9671	18.2172	26.4682	34.7199	42.9722	51.2250	56.0972	61.0691	69.6208	78.1726
	Y	-12.3226	-12.2986	-12.2781	-12.0137	-11.7802	-11.5779	-11.4066	-11.2665	-11.1575	-11.1078	-11.0683	-11.0267	-11.0185
	Z	110.4813	110.4867	110.4914	110.5581	110.6291	110.7044	110.7840	110.8679	110.9561	111.0101	111.0668	111.1680	111.2738

		C10	C11	C12	P2	C13	C14	C15	C16	S2	GE2	A2
CL	X	86.7848	95.3846	103.9841	108.9836	113.8830	123.0813	132.2787	141.4752	150.6705	151.2702	151.9698
	Y	1.2861	1.2271	1.1344	1.0651	0.9861	0.8084	0.5923	0.3376	0.0445	0.0241	0.0000
	Z	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
L1	X	86.7790	95.3742	103.9691	108.9659	113.8627	123.0560	132.2485	141.4401	150.6298	151.2294	151.9290
	Y	0.1061	0.0471	-0.0455	-0.1148	-0.1937	-0.3713	-0.5874	-0.8419	-1.1348	-1.1552	-1.1793
	Z	111.5900	111.7050	111.8246	111.8962	111.9679	112.1066	112.2505	112.3997	112.5542	112.5644	112.5764
SL	X	86.7780	95.3724	103.9664	108.9628	113.8591	123.0515	132.2432	141.4338	150.6225	151.2222	151.9218
	Y	-0.1039	-0.1629	-0.2555	-0.3247	-0.4036	-0.5812	-0.7973	-1.0518	-1.3447	-1.3651	-1.3892
	Z	111.5900	111.7050	111.8246	111.8962	111.9679	112.1066	112.2505	112.3997	112.5542	112.5644	112.5764
L2	X	86.7769	95.3703	103.9634	108.9593	113.8550	123.0465	132.2372	141.4268	150.6144	151.2141	151.9136
	Y	-0.3389	-0.3979	-0.4905	-0.5597	-0.6386	-0.8162	-1.0322	-1.2867	-1.5795	-1.6000	-1.6240
	Z	110.6850	110.8000	110.9196	110.9912	111.0629	111.2016	111.3455	111.4947	111.6492	111.6594	111.6714
PH	X	86.7713	95.3604	103.9491	108.9424	113.8356	123.0224	132.2084	141.3933	150.5756	151.1752	151.8748
	Y	-1.4639	-1.5228	-1.6154	-1.6846	-1.7634	-1.9409	-2.1568	-2.4112	-2.7038	-2.7243	-2.7484
	Z	110.7075	110.8225	110.9421	111.0137	111.0854	111.2241	111.3680	111.5172	111.6717	111.6819	111.6939
G1	X	86.7659	95.3506	103.9351	108.9258	113.8166	122.9988	132.1801	141.3605	150.5374	151.1370	151.8366
	Y	-2.5689	-2.6278	-2.7203	-2.7895	-2.8683	-3.0457	-3.2615	-3.5157	-3.8082	-3.8286	-3.8527
	Z	110.6799	110.7949	110.9144	110.9861	111.0578	111.1965	111.3404	111.4896	111.6440	111.6543	111.6663
	H	0.0396	0.0397	0.0396	0.0396	0.0396	0.0397	0.0396	0.0396	0.0396	0.0396	0.0396
	W	110.1503	110.2652	110.3848	110.4565	110.5282	110.6668	110.8108	110.9600	111.1144	111.1247	111.1367
G2	X	86.7374	95.2995	103.8613	108.8388	113.7167	122.8746	132.0317	141.1878	150.3371	150.9367	151.6363
	Y	-8.3688	-8.4276	-8.5198	-8.5888	-8.6674	-8.8444	-9.0596	-9.3131	-9.6047	-9.6252	-9.6492
	Z	110.5349	110.6499	110.7694	110.8411	110.9128	111.0515	111.1954	111.3446	111.4990	111.5093	111.5213
	H	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110	0.0110
	W	110.0339	110.1489	110.2684	110.3401	110.4118	110.5505	110.6944	110.8436	110.9980	111.0083	111.0203
R2	X	86.7265	95.2798	103.8329	108.8054	113.6783	122.8269	131.9746	141.1214	150.2600	150.8597	151.5593
	Y	-10.5988	-10.6575	-10.7496	-10.8186	-10.8971	-11.0738	-11.2889	-11.5421	-11.8334	-11.8538	-11.8779
	Z	110.4791	110.5941	110.7137	110.7853	110.8570	110.9957	111.1396	111.2888	111.4432	111.4535	111.4656
SR	X	86.7253	95.2778	103.8299	108.8019	113.6742	122.8218	131.9686	141.1144	150.2519	150.8516	151.5512
	Y	-10.8338	-10.8925	-10.9846	-11.0535	-11.1321	-11.3088	-11.5238	-11.7770	-12.0683	-12.0887	-12.1128
	Z	111.3841	111.4991	111.6187	111.6903	111.7620	111.9007	112.0446	112.1938	112.3482	112.3585	112.3706
R1	X	86.7243	95.2759	103.8272	108.7987	113.6706	122.8173	131.9632	141.1082	150.2447	150.8443	151.5439
	Y	-11.0438	-11.1025	-11.1946	-11.2635	-11.3420	-11.5187	-11.7337	-11.9869	-12.2781	-12.2986	-12.3226
	Z	111.3841	111.4991	111.6187	111.6903	111.7620	111.9007	112.0446	112.1938	112.3482	112.3585	112.3706

X :x座標
Y :y座標
Z :路面計画高
H :調整ｺﾝｸﾘｰﾄ厚
W :上フランジ上面高

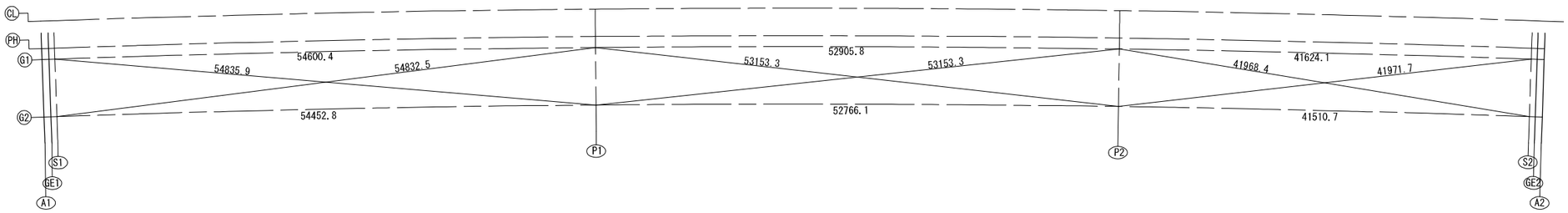
ハンチ詳細図 S=1:75



秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 線形図（２）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

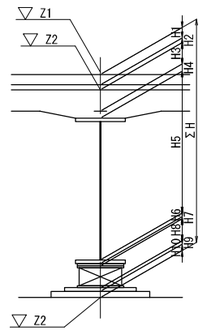
土渕橋（上り線）　支承配置図　S=1:500

平面図



支承位置平面座標

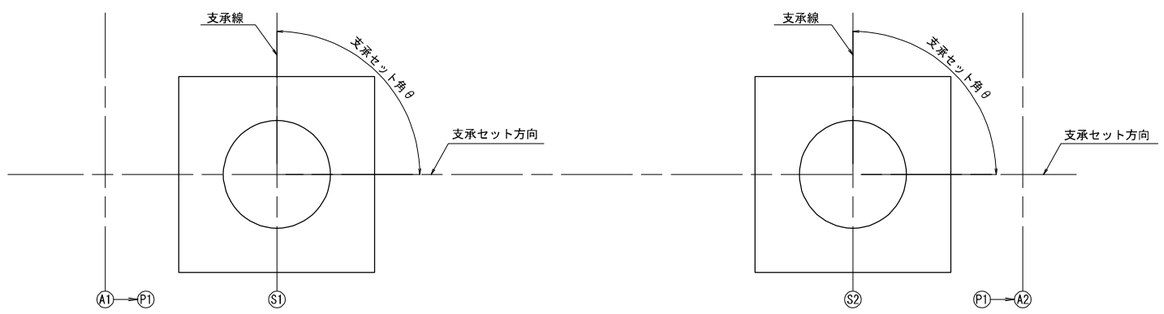
		S1		P1		P2		S2	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
大座標	X	-80144.4408	-80139.9345	-80109.5177	-80105.1057	-80074.6932	-80070.3732	-80046.6269	-80042.3833
	Y	-19080.5223	-19076.8709	-19122.4935	-19118.7286	-19162.3217	-19158.4516	-19193.0599	-19189.1062
小座標	x	1.4324	1.6327	56.0202	56.0729	108.9258	108.8388	150.5374	150.3371
	y	-3.8082	-9.6047	-2.6332	-8.4329	-2.7895	-8.5888	-3.8082	-9.6047



Z1:計画路面高
H1:舗装厚
H2:調整コンクリート
Z2:床版上面高
H3:床版厚
H4:ハンチ高
H5:主桁高
H6:下フランジ厚
H7:ソールプレート厚
H8:支承高
H9:沓座モルタル厚
H10:台座コンクリート厚
ΣH:構造計画高
Z3:下部工天端高

支承位置平面座標

支点上構造高			A1(S1)		P1		P2		A2(S2)	
			G1	G2	G1	G2	G1	G2	G1	G2
路面計画高	Z1	m	109.787	109.642	110.306	110.161	110.986	110.841	111.644	111.499
舗装厚	H1	mm	80	80	80	80	80	80	80	80
調整モルタル厚	H2	mm	39	11	40	11	39	11	40	11
床版上面高	Z2	m	109.668	109.551	110.186	110.070	110.867	110.750	111.524	111.408
床版厚	H3	mm	310	310	310	310	310	310	310	310
ハンチ高	H4	mm	100	100	100	100	100	100	100	100
主桁高	H5	mm	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900	2900
下フランジ厚	H6	mm	27	24	83	77	52	49	23	23
ソールプレート厚	H7	mm	41	41	44	44	45	45	44	44
支承高	H8	mm	312	312	321	321	321	321	312	312
沓座モルタル厚	H9	mm	75	75	49	49	44	44	65	65
台座ｺﾝｸﾘｰﾄ厚	H10	mm	-	-	-	-	-	-	-	-
構造高合計	ΣH	mm	3884	3853	3927	3892	3891	3860	3874	3845
下部工天端高	Z3	m	105.903	105.789	106.379	106.269	107.095	106.981	107.770	107.654



支承セット角

	A1(S1)	P1	P2	A2(S2)
G1～G2	90° 02′ 02″	90° 00′ 00″	90° 00′ 00″	89° 57′ 58″

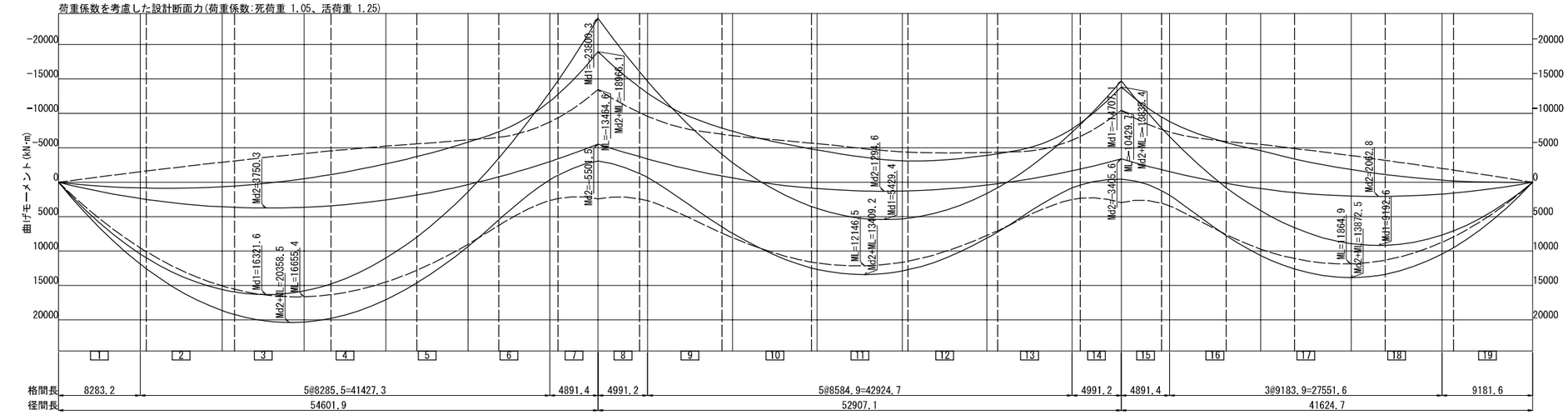
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 支承配置図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

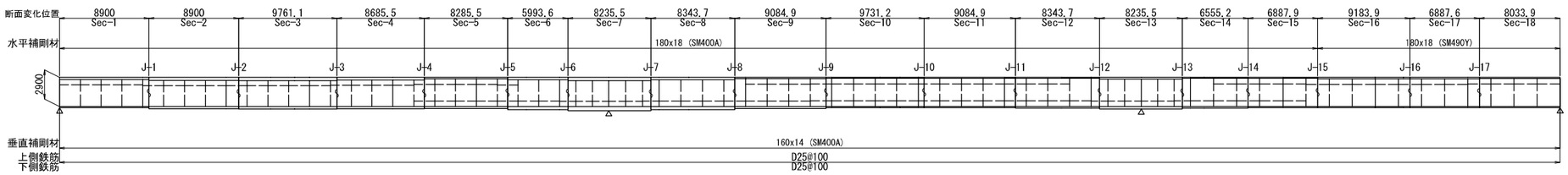
土渕橋（上り線）　断面構成図（１）　S=1:500

G1

合成前死荷重 Md1
合成後死荷重 Md2
活荷重 ML
Md2+ML

荷重係数を考慮した設計断面力(荷重係数:死荷重 1.05、活荷重 1.25)





単位：mm N/mm2

第 1主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18
上フランジ	幅	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550
	厚	42(7)	60(7)	62(7)	50(7)	30(3)	45(7)	65(7)	45(7)	25(3)	17(3)	17(3)	17(3)	32(3)	17(3)	17(3)	29(3)	29(3)	20(3)
腹板	高さ	2858	2840	2838	2850	2870	2855	2835	2855	2875	2883	2883	2883	2868	2883	2883	2871	2871	2880
	厚	16(3)	16(3)	14(3)	16(3)	16(3)	17(3)	19(3)	17(3)	16(3)	14(3)	14(3)	16(3)	17(3)	17(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)
下フランジ	幅	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750
	厚	27(3)	47(7)	51(7)	46(7)	43(7)	63(7)	83(7)	63(7)	43(7)	23(3)	23(3)	32(3)	52(7)	32(3)	23(3)	25(3)	25(3)	23(3)
上フランジ	σd	-263	-265	-265	-264	-198	214	263	232	-168	-207	-203	214	264	202	-240	-265	-265	-266
	σud	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	8	7	7	7	74	58	9	40	104	65	69	58	8	69	31	6	6	6
	応力ケース	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	14:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	17:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋
下フランジ	σd	263	265	265	264	180	-194	-244	-215	-143	229	-135	-230	-246	-204	236	266	264	213
	σud	272	272	272	272	272	228	254	225	225	272	162	241	254	220	272	272	272	272
	σud-σd	8	7	7	8	92	34	10	10	82	42	27	11	8	16	36	6	7	58
	応力ケース	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	26:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成
腹板	τd	76	49	-35	-54	-76	-87	-88	76	57	37	-54	-70	80	68	54	35	-37	-62
	τud	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.94	0.87	0.86	0.88	0.60	0.88	1.16	0.90	0.40	0.65	0.61	0.87	1.14	0.82	0.74	0.86	0.86	0.91
決定要因	上フランジ	B	B	B	B	E	E	A	E	E	D	D	D	A	D	D	B	B	B
	下フランジ	A	A	A	A	E	E	B	E	E	E	D	E	B	E	D	A	A	D

材質　(1):SM400　,(5):SM400-H
(2):SM490　,(6):SM490-H
(3):SM490Y ,(7):SM520-H
(4):SM570　,(8):SM570-H
(9):SBHS400
(10):SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①] (合成前死荷重)
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.1.1 作用の組合せ番号

抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
鋼+鉄筋：鋼桁+鉄筋（合成後）
合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差

・凡例
▨:支点を示す。

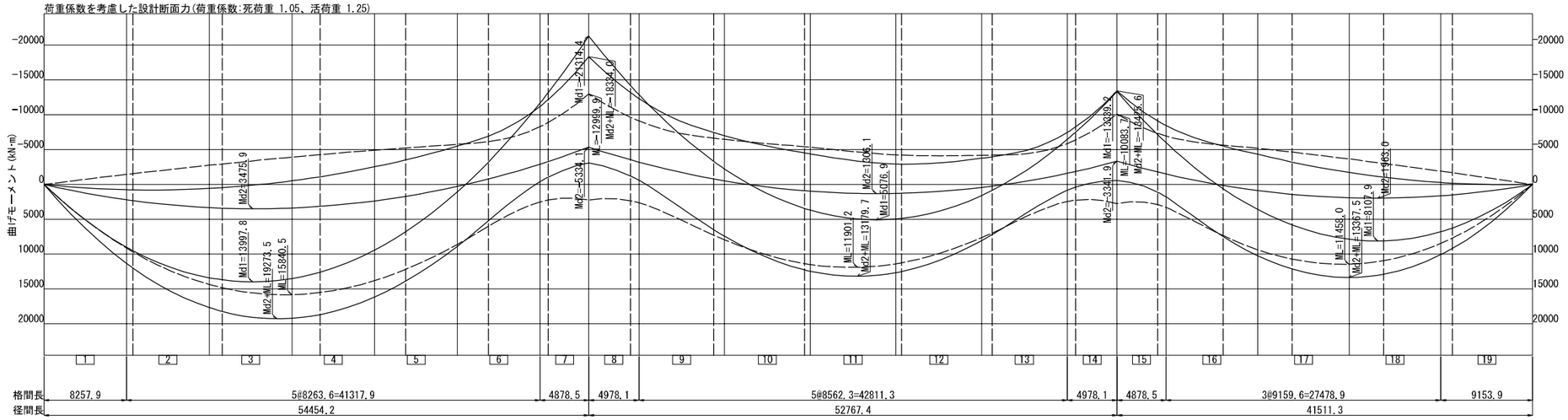
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 断面構成図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

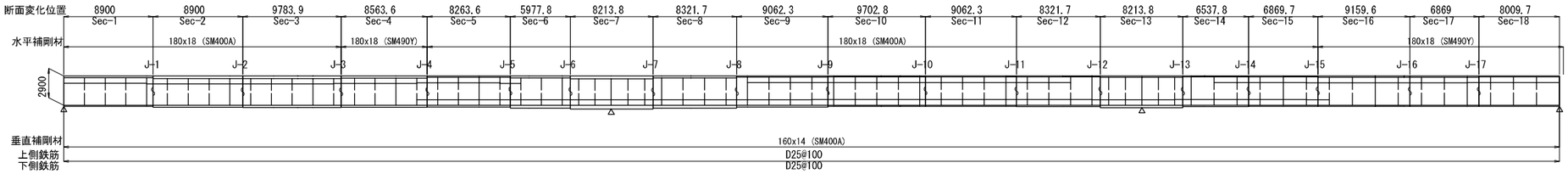
土渕橋（上り線）　断面構成図（２）　S=1:500

G2

合成前死荷重 Md1
合成後死荷重 Md2
活荷重 ML
Md2+ML

荷重係数を考慮した設計断面力(荷重係数:死荷重 1.05、活荷重 1.25)





単位：mm N/mm2

第 2主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18
上フランジ	幅	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550
	厚	35(3)	50(7)	52(7)	41(7)	23(3)	38(3)	56(7)	38(3)	19(3)	17(3)	17(3)	17(3)	27(3)	17(3)	17(3)	24(3)	24(3)	17(3)
腹板	高さ	2865	2850	2848	2859	2877	2862	2844	2862	2881	2883	2883	2883	2873	2883	2883	2876	2876	2883
	厚	16(3)	16(3)	14(3)	16(3)	16(3)	17(3)	19(3)	17(3)	16(3)	14(3)	14(3)	16(3)	17(3)	17(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)
下フランジ	幅	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750
	厚	24(3)	41(7)	45(7)	40(3)	37(3)	57(7)	77(7)	57(7)	37(3)	23(3)	23(3)	31(3)	49(7)	31(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)
上フランジ	σd	-263	-266	-265	-264	-201	214	263	230	-141	-200	-196	197	264	188	-220	-265	-265	-259
	σud	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	9	6	6	7	71	58	8	42	131	72	76	74	8	83	51	6	6	13
	応力ケース	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	17:鋼+鉄筋	22:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	17:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	7:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋	26:鋼+鉄筋
下フランジ	σd	259	265	264	264	182	-197	-244	-216	-146	221	-130	-221	-247	-215	219	260	259	200
	σud	272	272	272	272	272	228	254	225	225	272	162	232	254	232	272	272	272	272
	σud-σd	12	6	8	8	89	31	10	9	79	50	32	11	7	17	53	11	13	72
	応力ケース	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	26:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成
腹板	τd	70	45	-32	-50	-71	-82	-83	73	54	35	-51	-67	76	65	51	33	-34	-58
	τud	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.93	0.87	0.87	0.88	0.59	0.85	1.13	0.88	0.38	0.61	0.57	0.81	1.12	0.76	0.63	0.86	0.86	0.86
決定要因	上フランジ	B	B	B	B	E	E	A	E	E	D	D	D	A	D	D	B	B	B
	下フランジ	A	A	A	A	E	E	B	E	E	E	D	E	B	E	D	A	A	D

材質　(1):SM400　,(5):SM400-H
(2):SM490　,(6):SM490-H
(3):SM490Y ,(7):SM520-H
(4):SM570　,(8):SM570-H
(9):SBHS400
(10):SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①]（合成前死荷重）
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.1.1 作用の組合せ番号

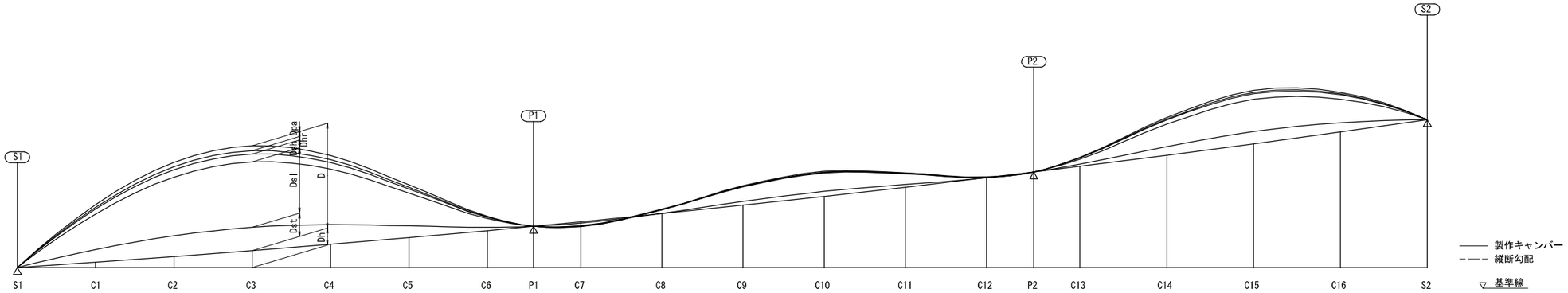
抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
鋼+鉄筋：鋼桁+鉄筋（合成後）
合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差

・凡例
▨:支点を示す。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 断面構成図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　キャンバー図　S=1:500



単位　mm

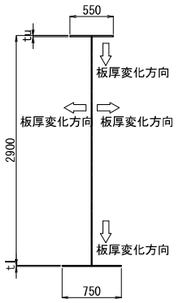
		S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	P1	C7	C8	C9	C10	C11	C12	P2	C13	C14	C15	C16	S2
G1	Dh	0	67	138	213	293	377	465	519	576	677	782	893	1008	1127	1199	1271	1409	1553	1703	1857
	Dst	0	16	26	29	25	15	4	0	−2	1	5	6	3	0	0	3	11	16	12	0
	Dsl	0	44	74	82	70	41	11	0	−3	5	19	24	14	1	0	6	28	40	30	0
	Dsh	0	6	9	10	8	5	1	0	−1	−1	−1	−1	−1	−1	0	2	5	7	5	0
	Dhr	0	2	4	4	4	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	1	0
	Dpa	0	3	6	6	5	3	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	3	2	0
	D	0	72	119	132	111	66	18	0	−6	5	25	32	18	0	0	11	47	67	50	0
G2	Dh	0	67	138	213	293	377	465	519	576	677	782	893	1008	1127	1199	1271	1409	1553	1703	1857
	Dst	0	12	19	21	18	11	3	0	−1	0	3	4	2	0	0	2	8	11	9	0
	Dsl	0	47	77	86	73	43	11	0	−3	6	21	25	15	2	0	6	28	41	30	0
	Dsh	0	6	10	10	9	5	1	0	−1	0	0	0	−1	−1	0	2	5	7	5	0
	Dhr	0	2	4	4	3	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	1	0
	Dpa	0	3	6	6	5	3	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	3	2	0
	D	0	70	115	128	108	64	17	0	−5	6	25	32	19	1	0	11	45	64	47	0

記号の説明
Ｄｈ　　：縦断勾配
Ｄｓｔ　：鋼重によるたわみ
Ｄｓｌ　：床版によるたわみ
Ｄｓｈ　：乾燥収縮によるたわみ
Ｄｈｒ　：高欄によるたわみ
Ｄｐａ　：舗装によるたわみ
Ｄ　　：合　計
※たわみは荷重係数を乗じていない特性値。後死荷重によるたわみ値は、床版を考慮した合成断面による剛性で算出。

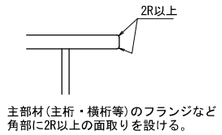
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） キャンバー図		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　共通詳細図（１）

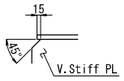
主桁基本図 S=1:75



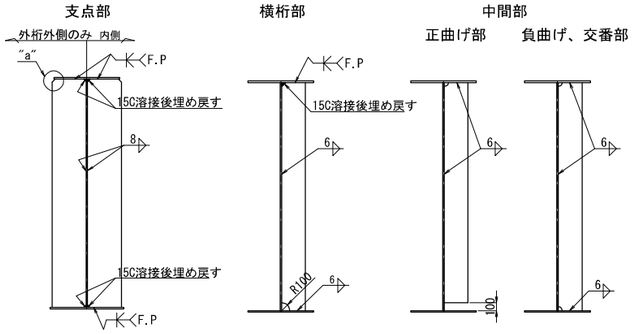
面取り詳細図 S=1:75



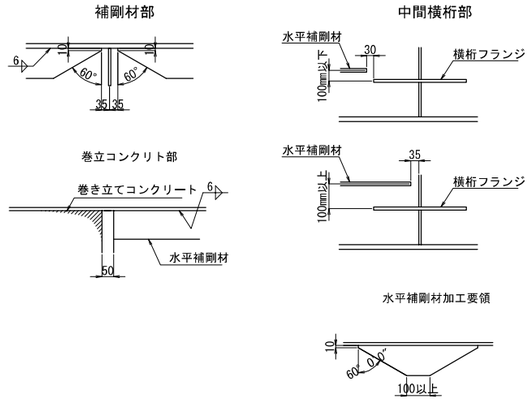
"a"詳細 S=1:10



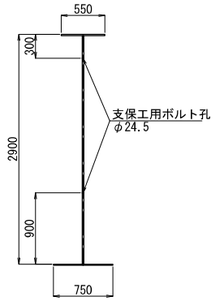
垂直補剛材詳細 S=1:75



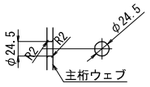
水平補剛材詳細 S=1:25



支保工用ボルト孔 孔明け詳細 S=1:75

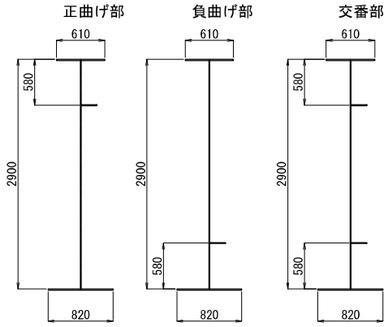


ボルト孔詳細 S=1:10

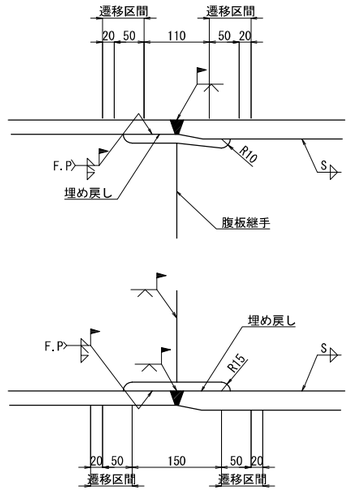


※ 支保工用ボルト孔間隔は、1.8m以下とする。
　未使用時には、孔明け部にシリコン栓等を設置する。

水平補剛材設置位置 S=1:75

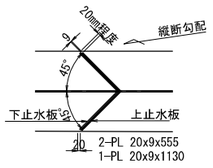


主桁現場溶接部詳細 S=1:10

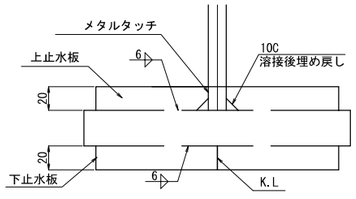


止水板詳細

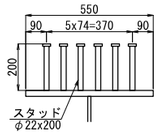
平面図 S=1:50



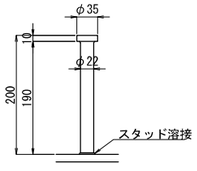
断面図 S=1:5



スタッド配置詳細

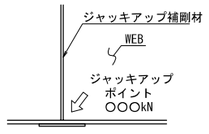


スタッドジベル詳細 S=1:10



STUD-φ22x200(SS400)

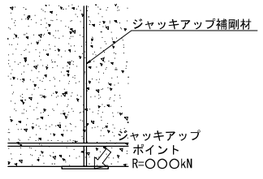
TYPE-A
ジャッキアップ支持 表記詳細



※ 塗装にて腹板に記載のこと。
※ 記載するジャッキ反力○○○kNは下表参照のこと。
※ 反力は、支承反力（死＋活荷重）に不均等係数1.1を乗じた値を示す。
(100KNラウンド)

	支持点数	ジャッキ反力	設置位置
P1	4	5500kN	主桁上
P2	4	5500kN	主桁上

TYPE-B
ジャッキアップ支持 表記詳細



※ 主桁にはジャッキアップポイント及びジャッキアップ反力を記載すること。
　ジャッキアッププレートの底面には、反力を刻印すること。

	支持点数	ジャッキ反力	設置位置
A1(S1)	2	5500kN	横桁上
A2(S2)	2	5500kN	横桁上

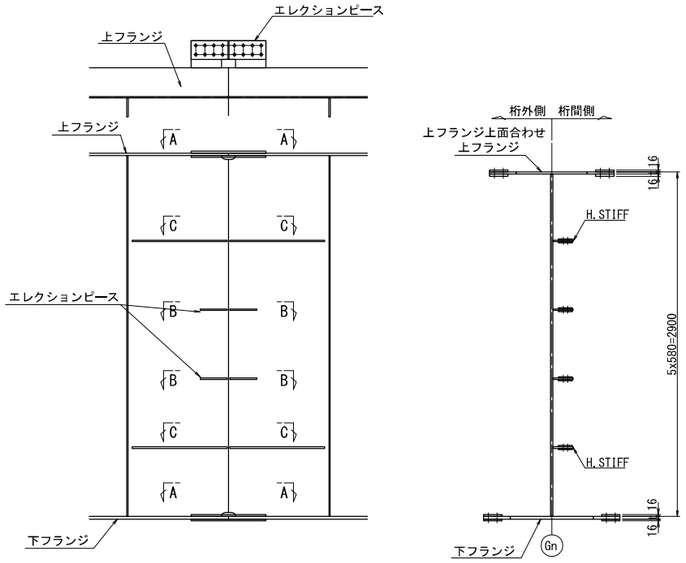
注記
1. 特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て、50Rとする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 共通詳細図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　共通詳細図（２）

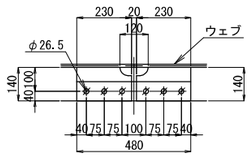
エレクションピース詳細及び取付位置　S=1:50

<34ヶ所>



ウェブ用　S=1:25

B － B



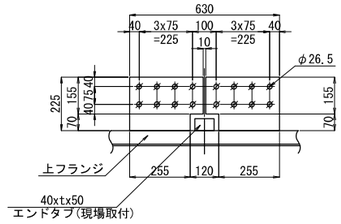
※ 2-CONN PL 140x12x230
※ 2-SPL PL 80x12x480(SS400)
※ 6-HTB M22x80(F10T)

溶接完了後、添接板及びボルトは撤去。
本体付きピースは切断撤去する。

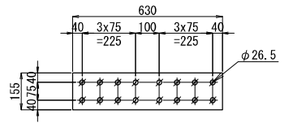
フランジ用　S=1:25

A － A

桁付きピース



添接板



※ 2-CONN PL 225xtx310
※ 2-SPL PL 155x16x630(SS400)
※ 16-HTB M22xL5(F10T)

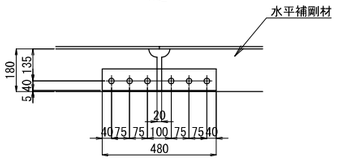
板厚tは、フランジの板厚に合わせる。
L5は板厚に合わせて決定する。
溶接後、拘束材及びエンドタブは完全に除去し、
グラインダーにて母材面まで仕上げる。
フランジ角部は面取りを行う。

10

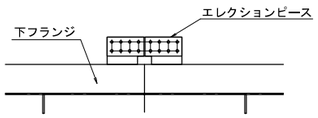
水平補剛材用　S=1:25

C － C

47組



2-SPL PL 80x11x480(SS400)
6-TCB M22x70(S10T)



エレクションピース寸法表

			J-1	J-2	J-3	J-4	J-5	J-6	J-7	J-8	J-9	J-10	J-11	J-12	J-13	J-14	J-15	J-16	J-17
G1	U.FLG	t	42	60	50	30	30	45	45	25	17	17	17	17	17	17	17	29	20
		L5	75	95	85	65	65	80	80	60	50	50	50	50	50	50	50	105	110
		材質	SM400C	SM400C	SM400C	SM400A	SM400A	SM400C	SM400C	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A
	L.FLG	t	27	47	46	43	43	63	63	43	23	23	23	32	32	23	23	25	23
		L5	60	80	80	75	75	95	95	75	55	55	55	65	65	55	55	60	55
		材質	SM400A	SM400C	SM400C	SM400A	SM400C	SM400C	SM400C	SM400C	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A
	WEB	水平補剛材数	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	1	1	2	1	1	1
		エレクション数	3	3	3	2	2	3	3	3	2	2	2	3	3	2	3	3	3
G2	U.FLG	t	35	50	41	23	23	38	38	19	17	17	17	17	17	17	17	24	17
		L5	70	85	75	55	55	70	70	55	50	50	50	50	50	50	50	60	50
		材質	SM400B	SM400C	SM400C	SM400A	SM400A	SM400B	SM400B	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A
	L.FLG	t	24	41	40	37	37	57	57	37	23	23	23	31	31	23	23	23	23
		L5	60	75	75	70	70	90	90	70	55	55	55	65	65	55	55	55	55
		材質	SM400A	SM400C	SM400B	SM400B	SM400B	SM400C	SM400C	SM400B	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A	SM400A
	WEB	水平補剛材数	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1
		エレクション数	3	3	3	2	2	3	3	3	2	2	2	3	3	2	2	3	3

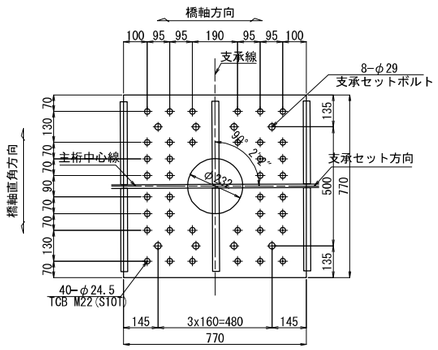
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップはR35とする。
3.✦ 印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
　✱ 印は高力ボルトM22(F10T)を示す。
4.※の材料は、関連する単価項目に含む。

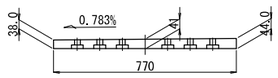
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 共通詳細図（２）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　共通詳細図（３）　S=1:25

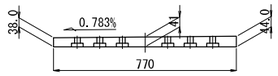
ソールプレート詳細図

S1



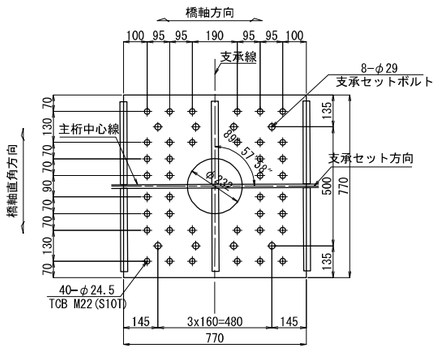


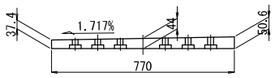
G1側 主桁下フランジ厚…tf=27
1-SOLE PL 770x46x770(SM490C)
16-TCB M22x95(S10T)
24-TCB M22x100(S10T)
40-WASHER PL 50x7x50



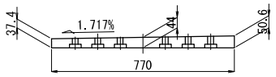
G2側 主桁下フランジ厚…tf=24
1-SOLE PL 770x46x770(SM490C)
16-TCB M22x90(S10T)
24-TCB M22x95(S10T)
40-WASHER PL 50x7x50

S2



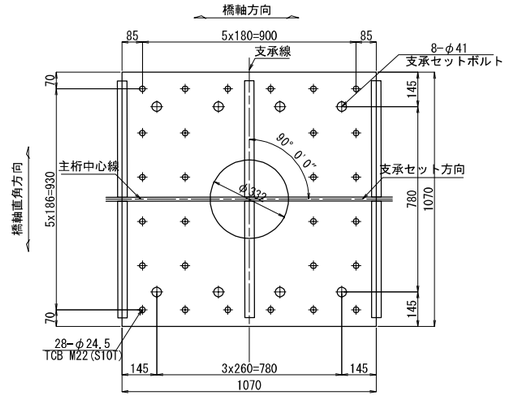


G1側 主桁下フランジ厚…tf=23
1-SOLE PL 770x53x770(SM490C)
16-TCB M22x90(S10T)
8-TCB M22x95(S10T)
16-TCB M22x100(S10T)
40-WASHER PL 50x7x50

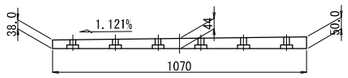


G2側 主桁下フランジ厚…tf=23
1-SOLE PL 770x53x770(SM490C)
16-TCB M22x90(S10T)
8-TCB M22x95(S10T)
16-TCB M22x100(S10T)
40-WASHER PL 50x7x50

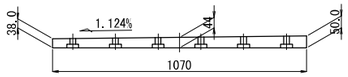
P1、P2



P1

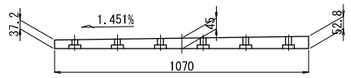


G1側 主桁下フランジ厚…tf=83
1-SOLE PL 1070x52x1070(SM490C)
12-TCB M22x150(S10T)
4-TCB M22x155(S10T)
12-TCB M22x160(S10T)
28-WASHER PL 50x7x50

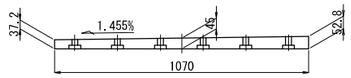


G2側 主桁下フランジ厚…tf=77
1-SOLE PL 1070x52x1070(SM490C)
12-TCB M22x145(S10T)
10-TCB M22x150(S10T)
6-TCB M22x155(S10T)
28-WASHER PL 50x7x50

P2

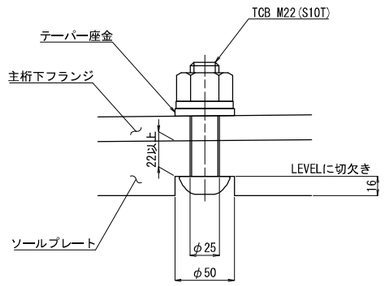


G1側 主桁下フランジ厚…tf=52
1-SOLE PL 1070x56x1070(SM490C)
12-TCB M22x120(S10T)
4-TCB M22x125(S10T)
12-TCB M22x130(S10T)
28-WASHER PL 50x7x50

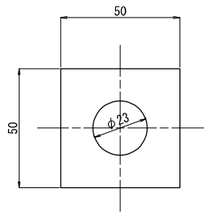


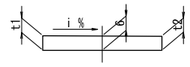
G2側 主桁下フランジ厚…tf=49
1-SOLE PL 1070x56x1070(SM490C)
12-TCB M22x115(S10T)
4-TCB M22x120(S10T)
12-TCB M22x125(S10T)
28-WASHER PL 50x7x50

座ぐり孔詳細　S=1:5



テーパー座金詳細　S=1:2.5





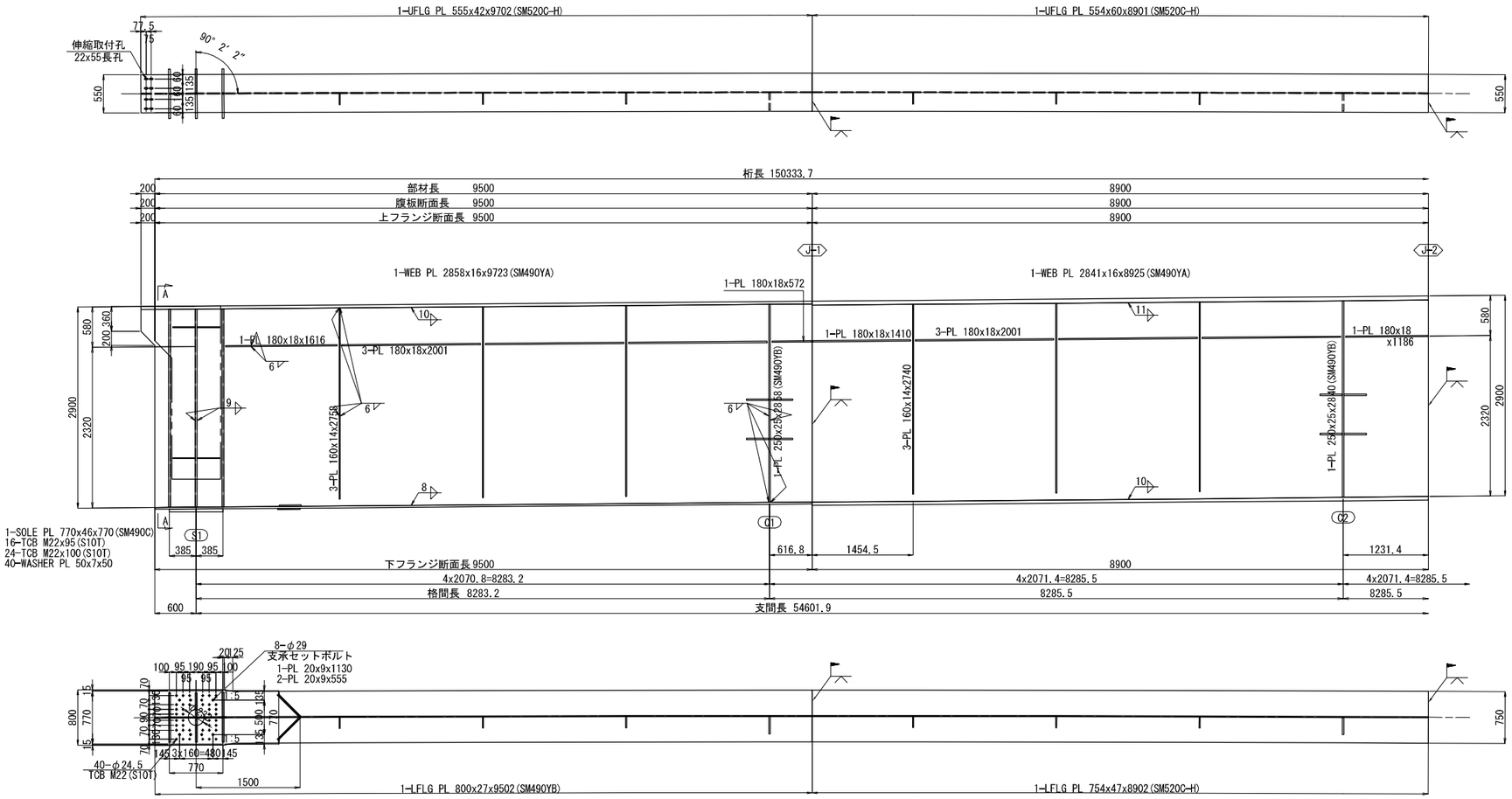
1-WASHER PL 50xt3x50(SS400)

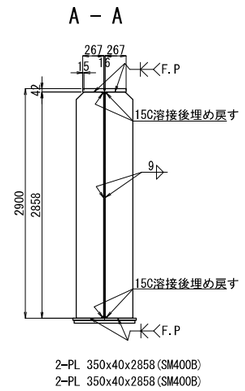
	主桁	t1	t2	t3	i
S1	G1	5.8	6.2	7	0.783
	G2	5.8	6.2	7	0.783
P1	G1	5.7	6.3	7	1.121
	G2	5.7	6.3	7	1.124
P2	G1	5.6	6.4	7	1.451
	G2	5.6	6.4	7	1.455
S2	G1	5.6	6.4	7	1.717
	G2	5.6	6.4	7	1.717

注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。

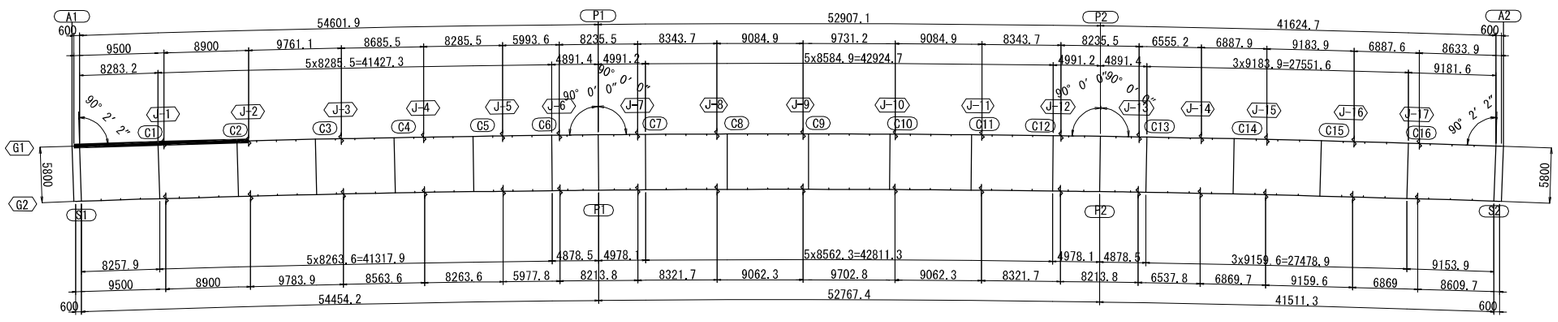
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 共通詳細図（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（１）　S=1:75





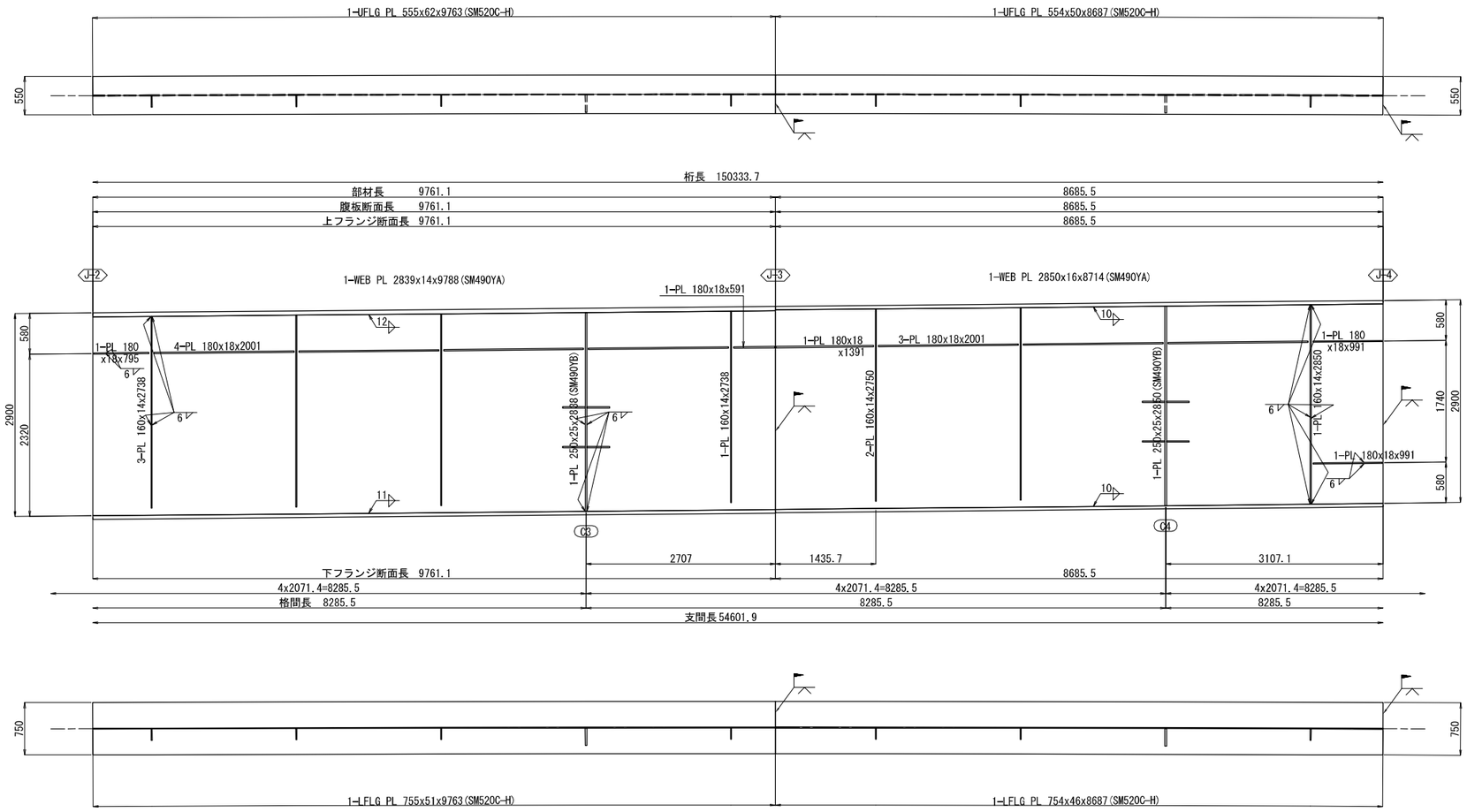
配 置 図　S=1:250



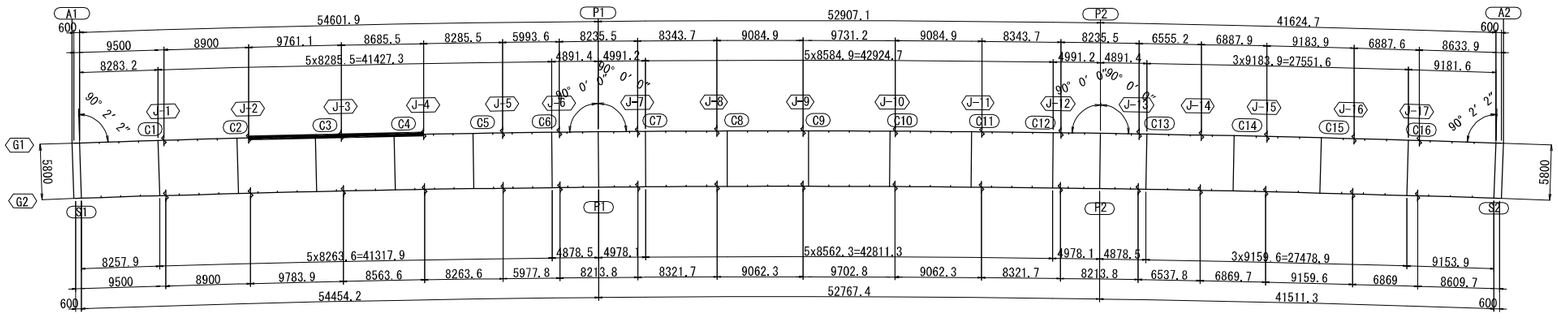
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（２）　S=1:75



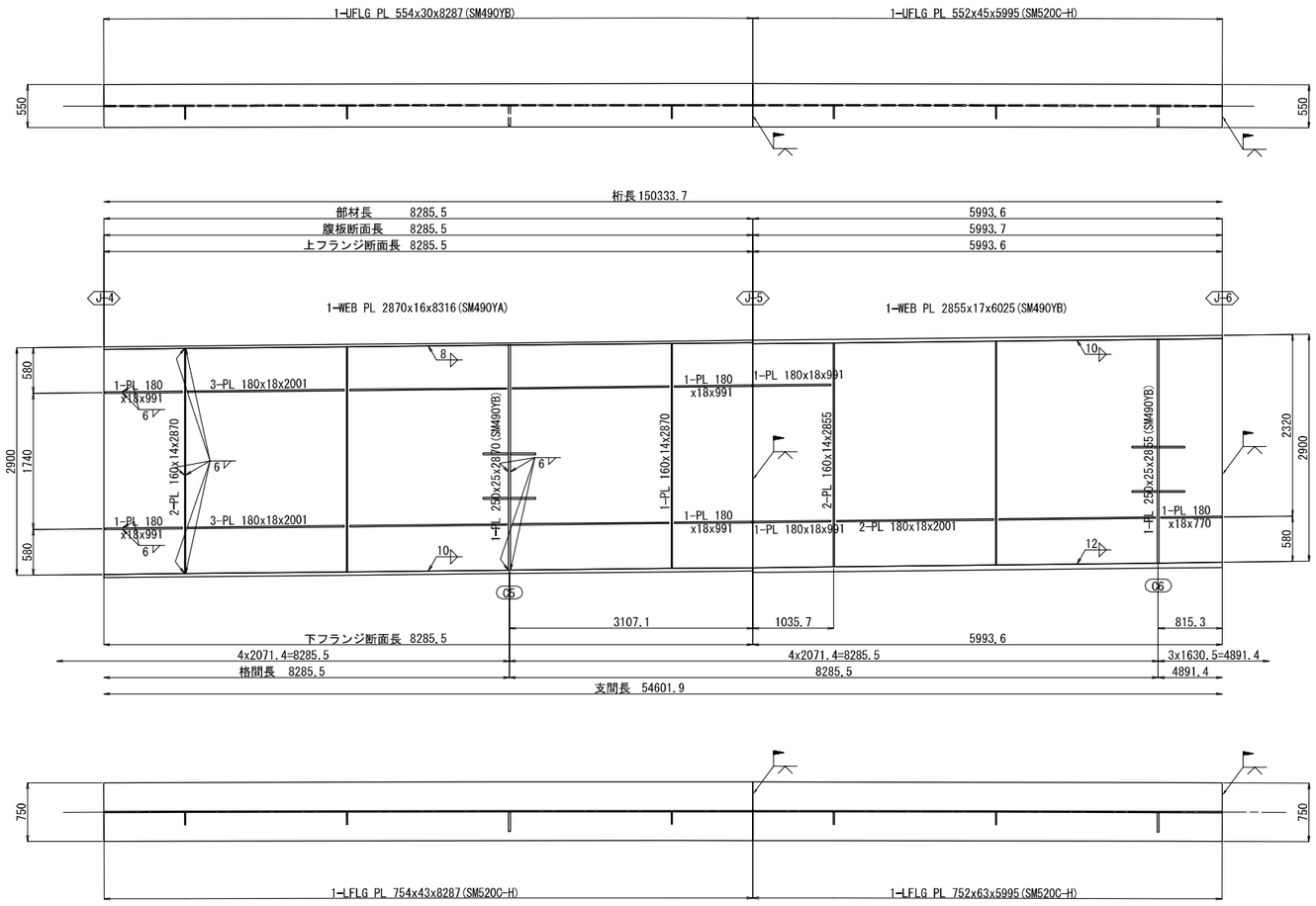
配 置 図　S=1:250



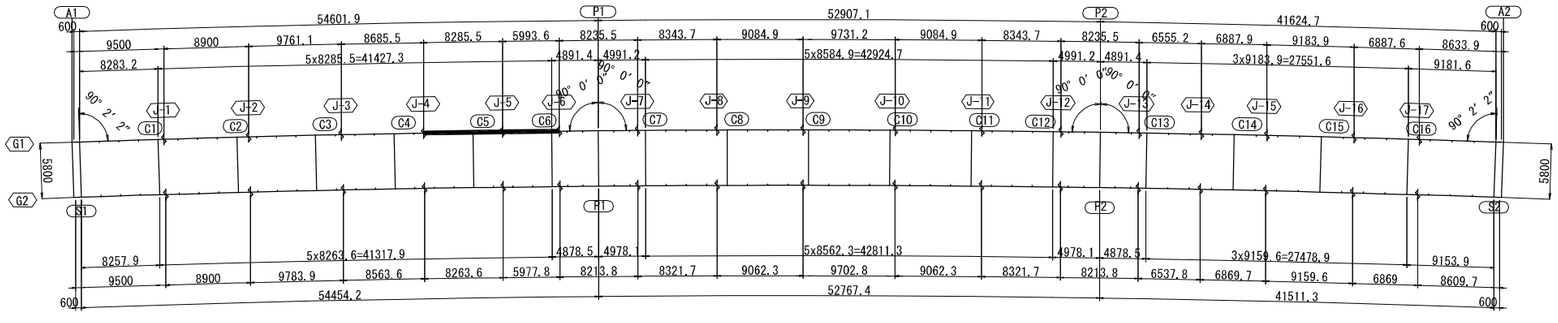
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（３）　S=1:75



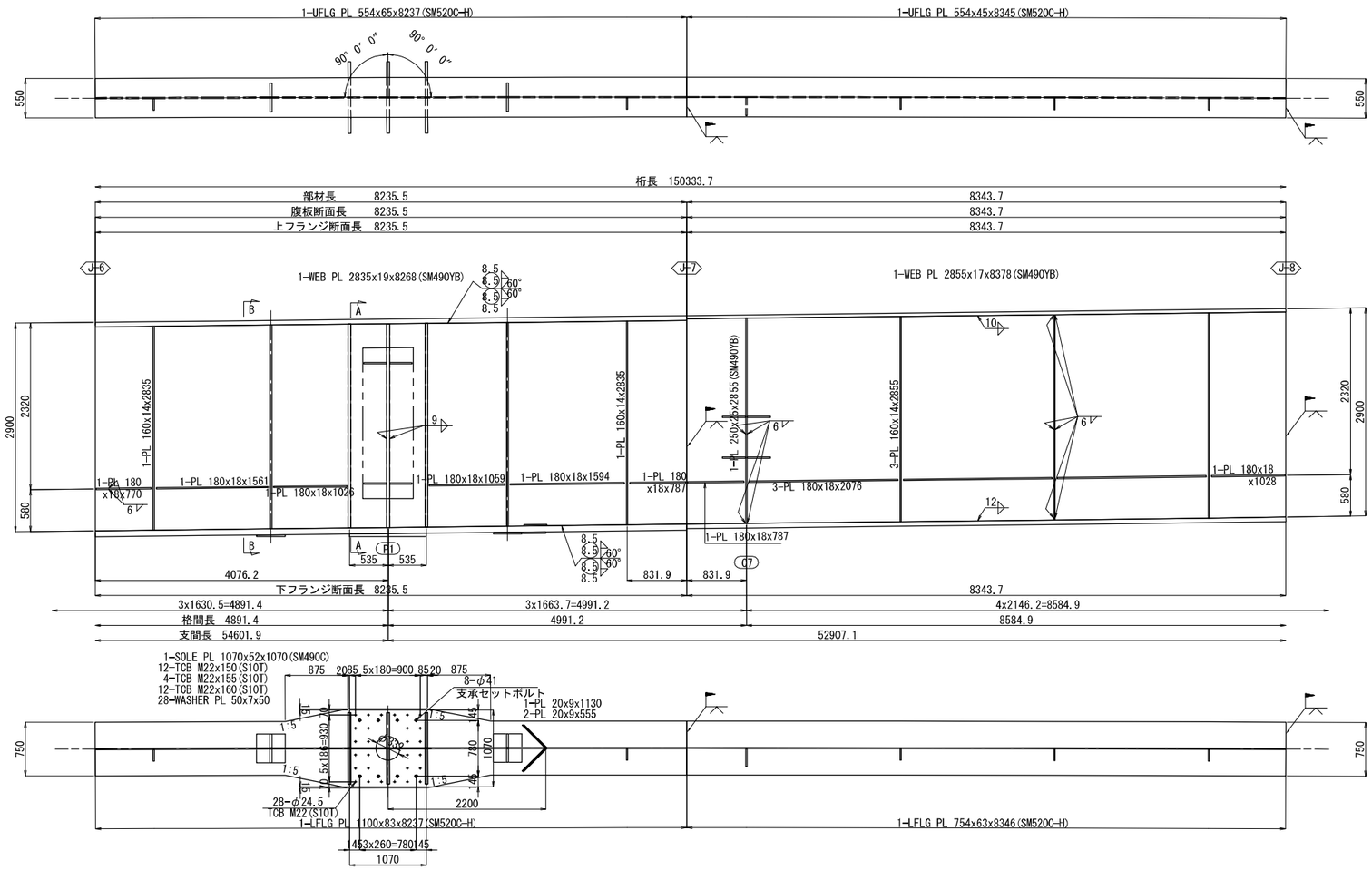
配 置 図　S=1:250



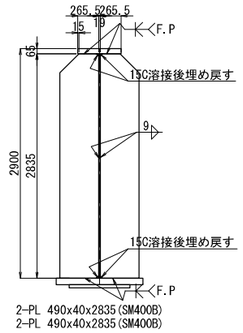
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
　「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

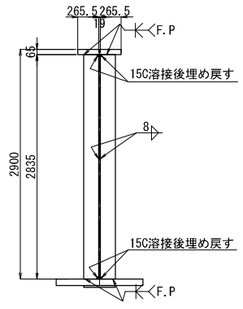
土渕橋（上り線）　主桁G1（4）　S=1:75



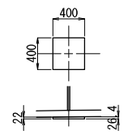
A－A



B－B

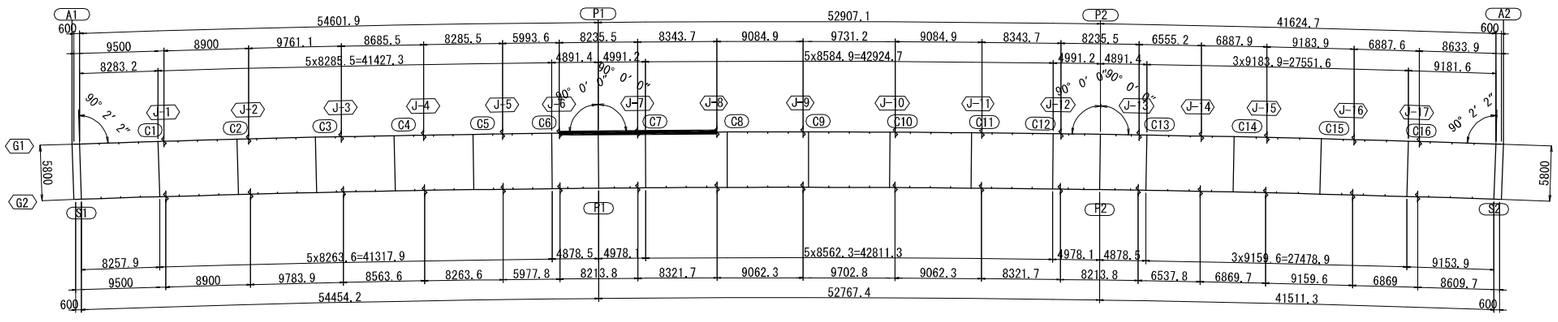


ジャッキアップベース詳細



2-BASE PL 400x29x400(SM490YB)

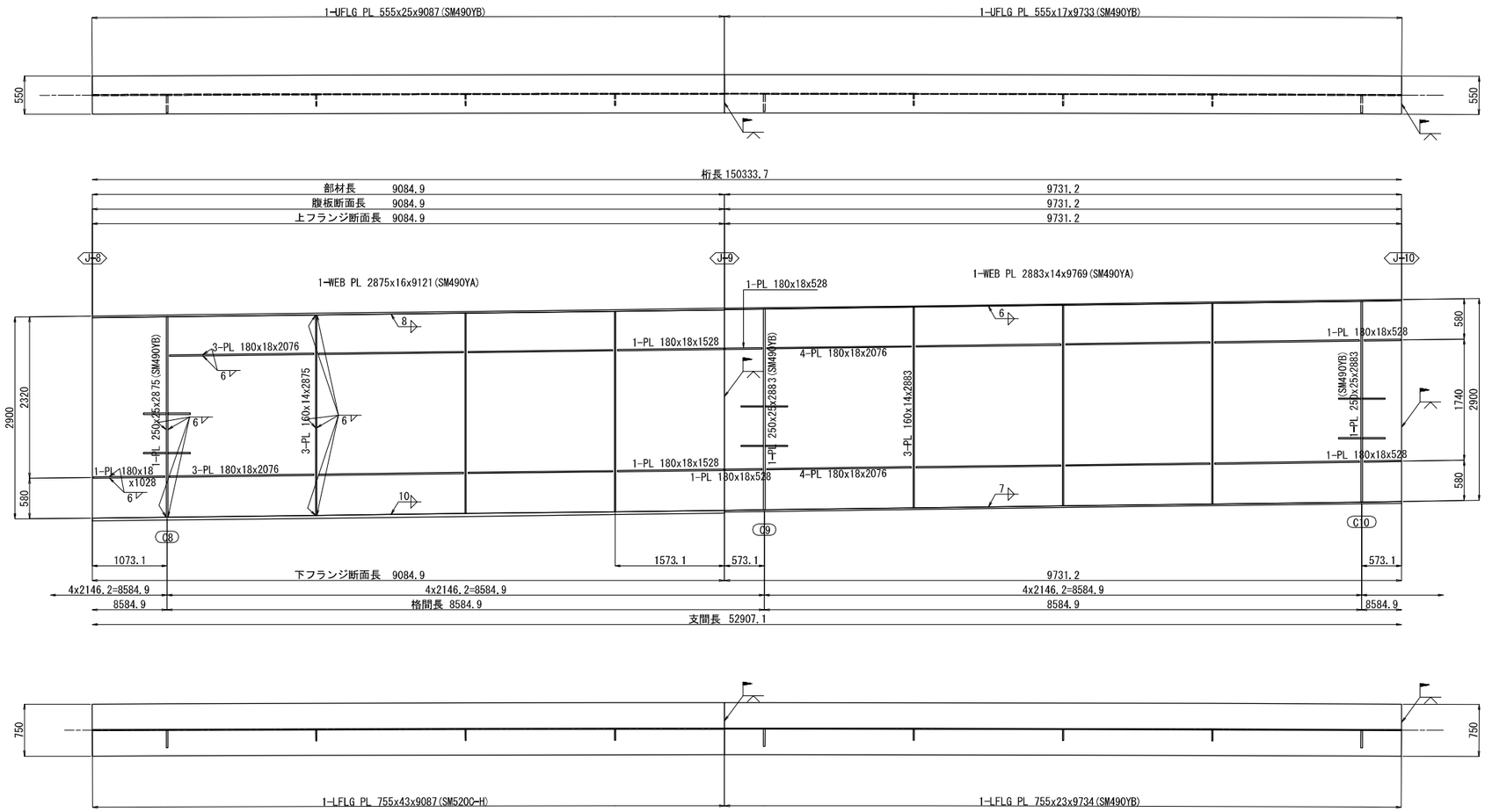
配 置 図　S=1:250



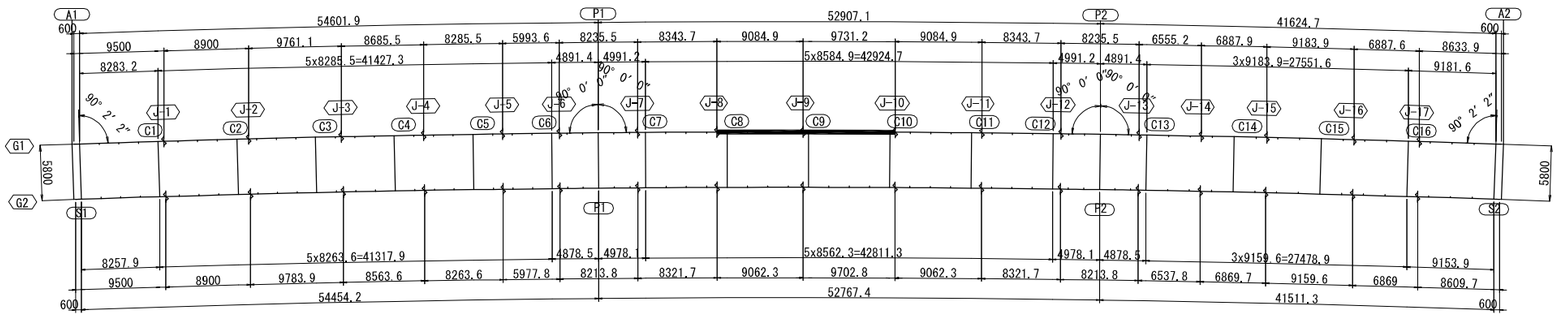
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（4）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（５）　S=1:75



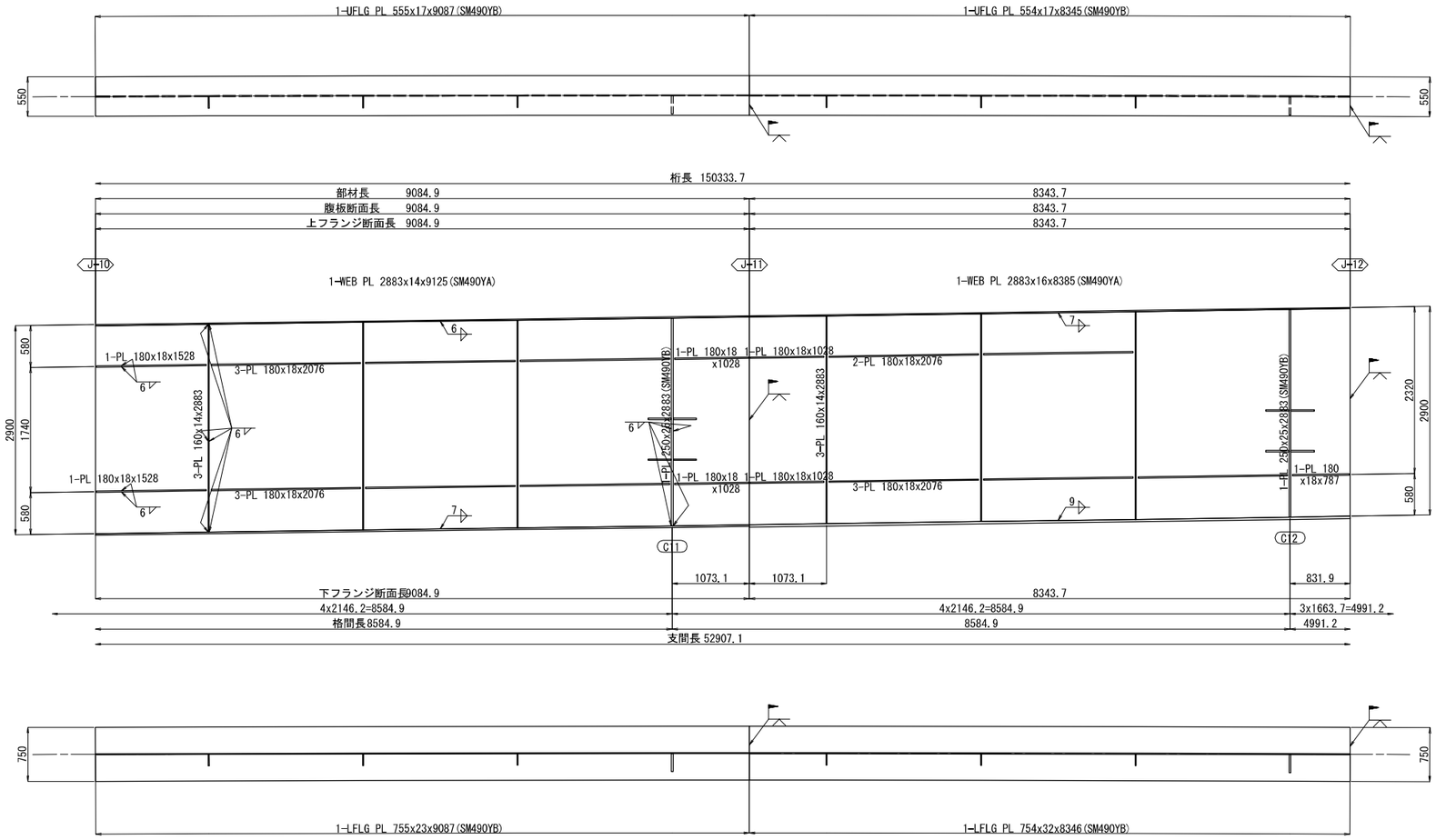
配 置 図 S=1:250



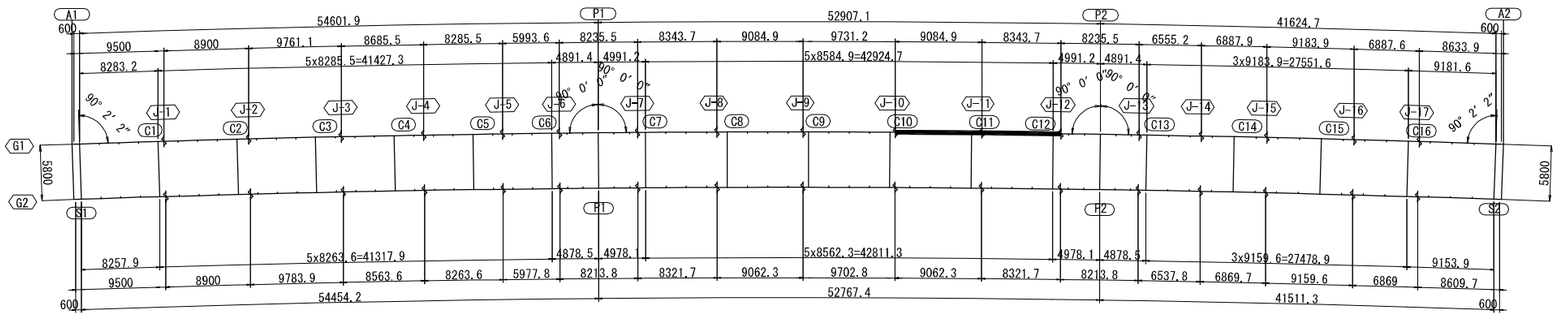
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（５）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（６）　S=1:75



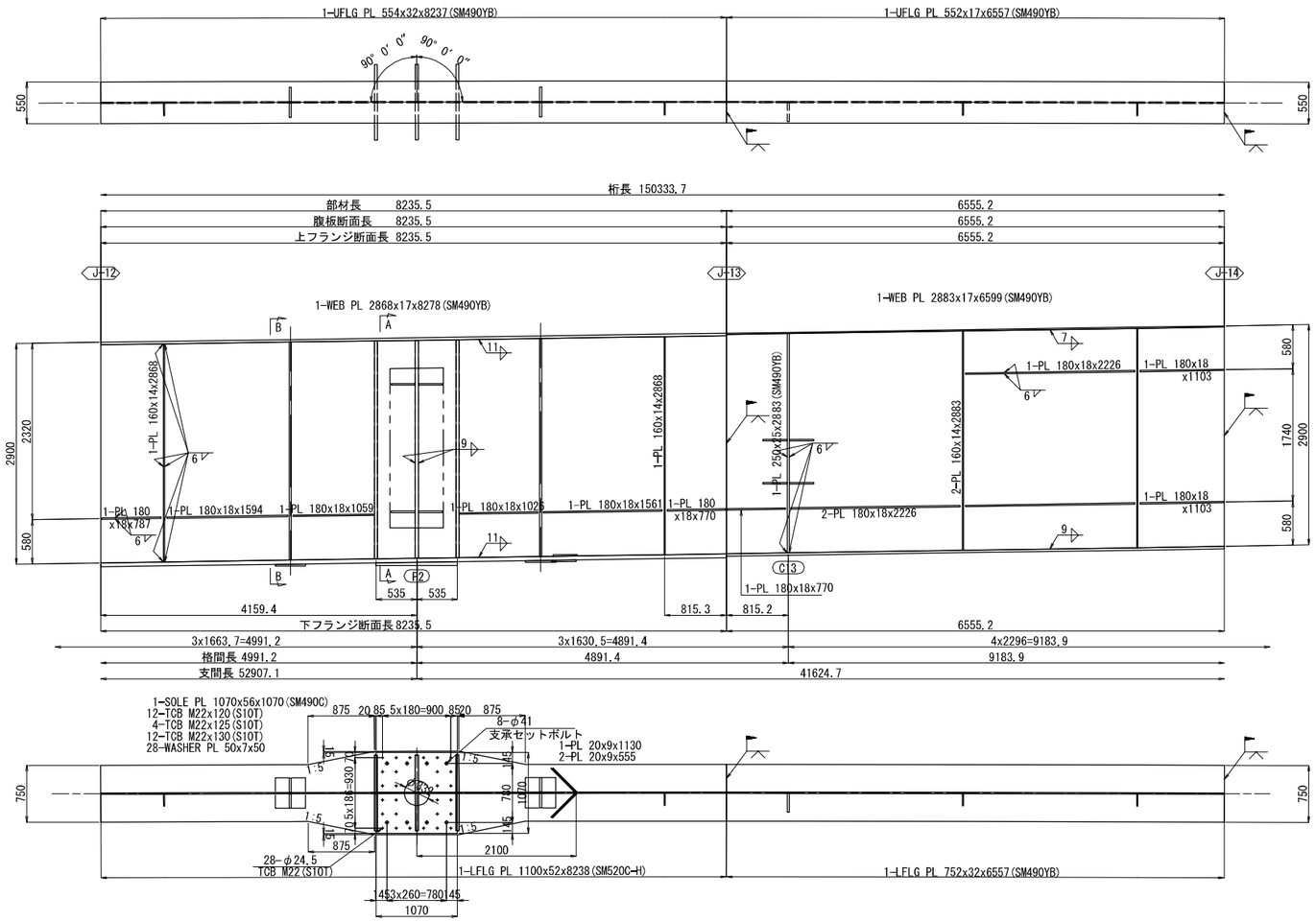
配 置 図　S=1:250



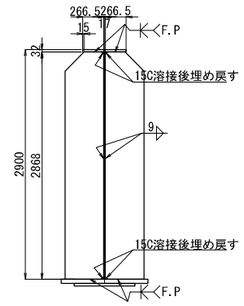
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（６）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

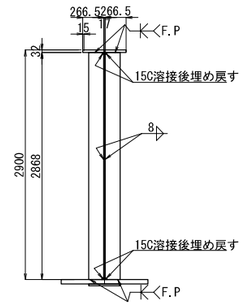
土渕橋（上り線）　主桁G1（７）　S=1:75



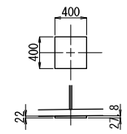
A － A



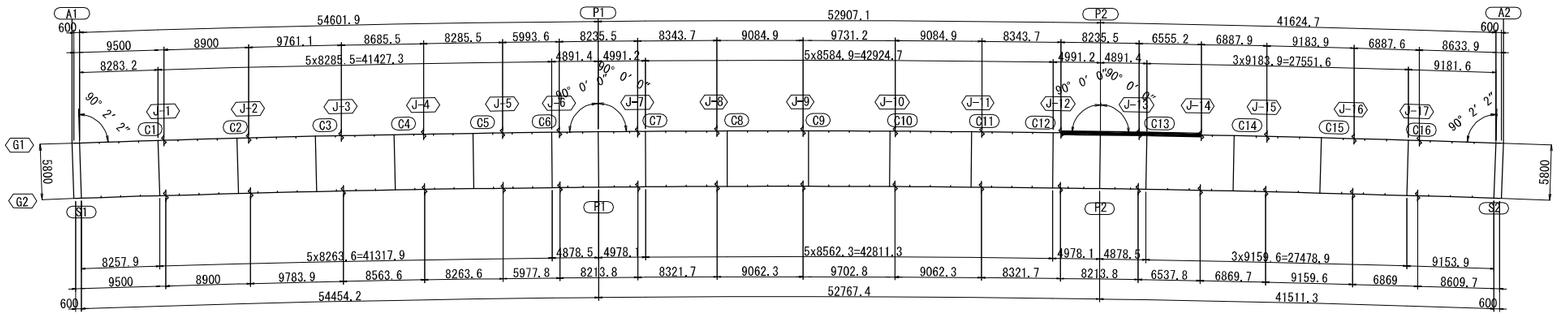
B － B



ジャッキアップベース詳細



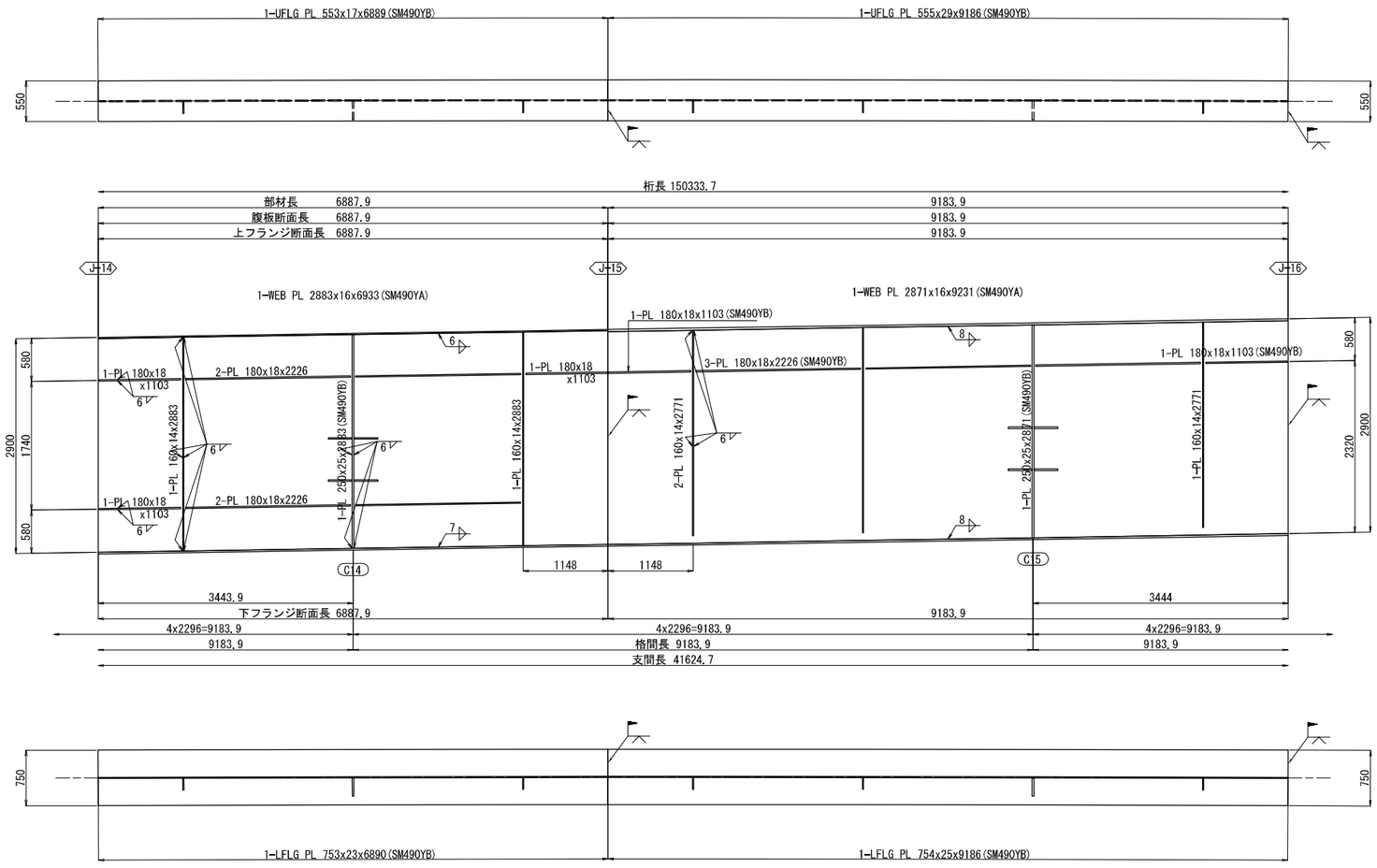
配 置 図　S=1:250



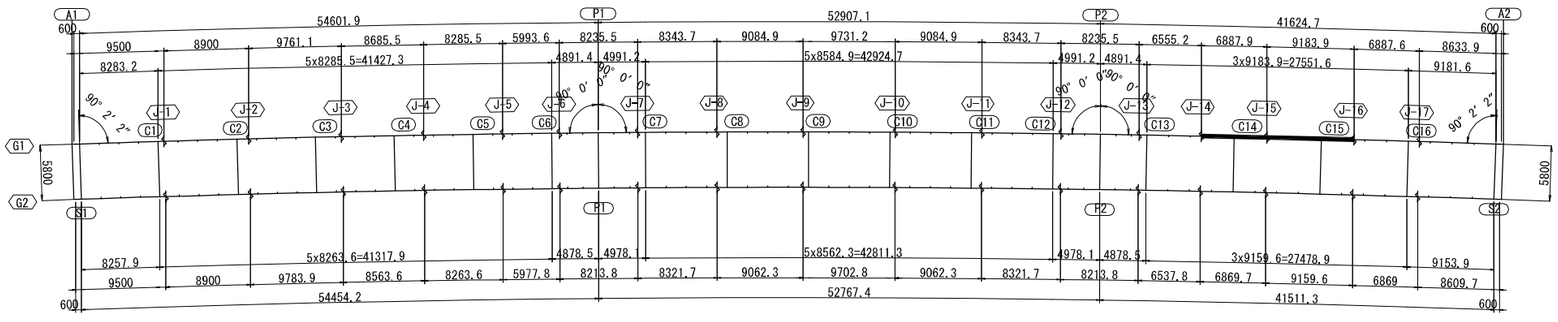
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（７）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（８）　S=1:75



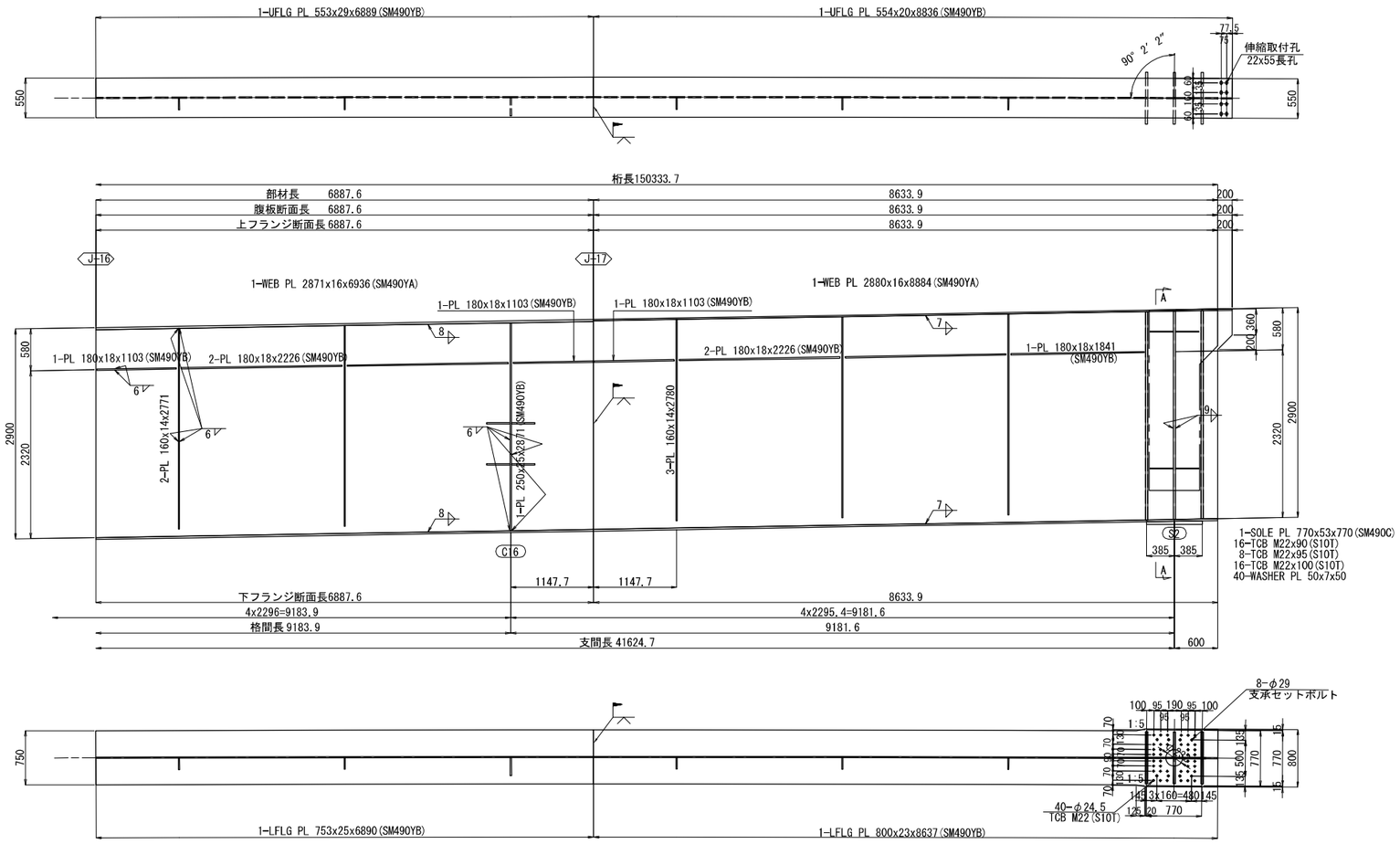
配 置 図　S=1:250

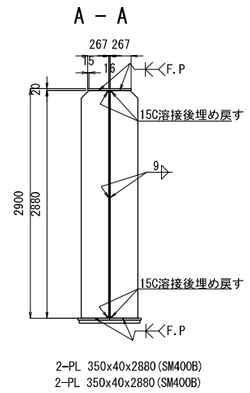


注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

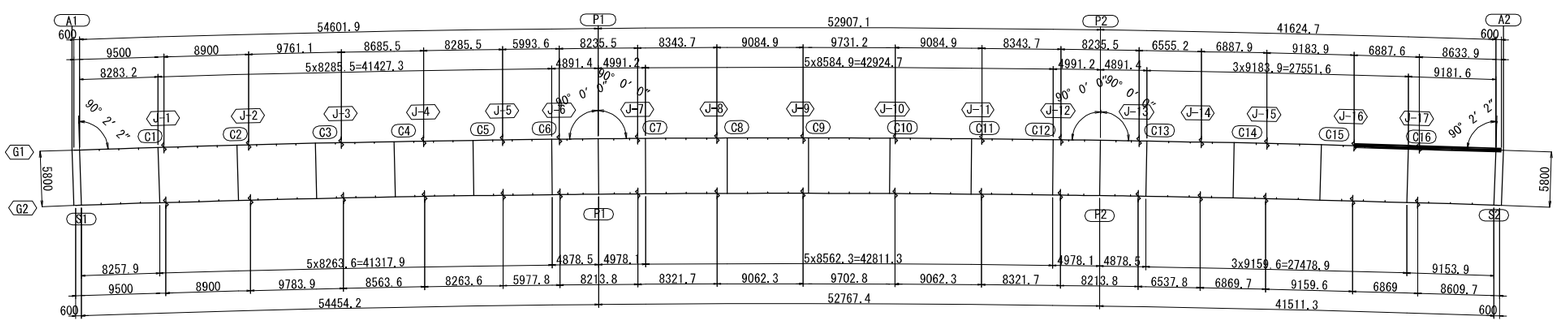
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（８）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G1（９）　S=1:75





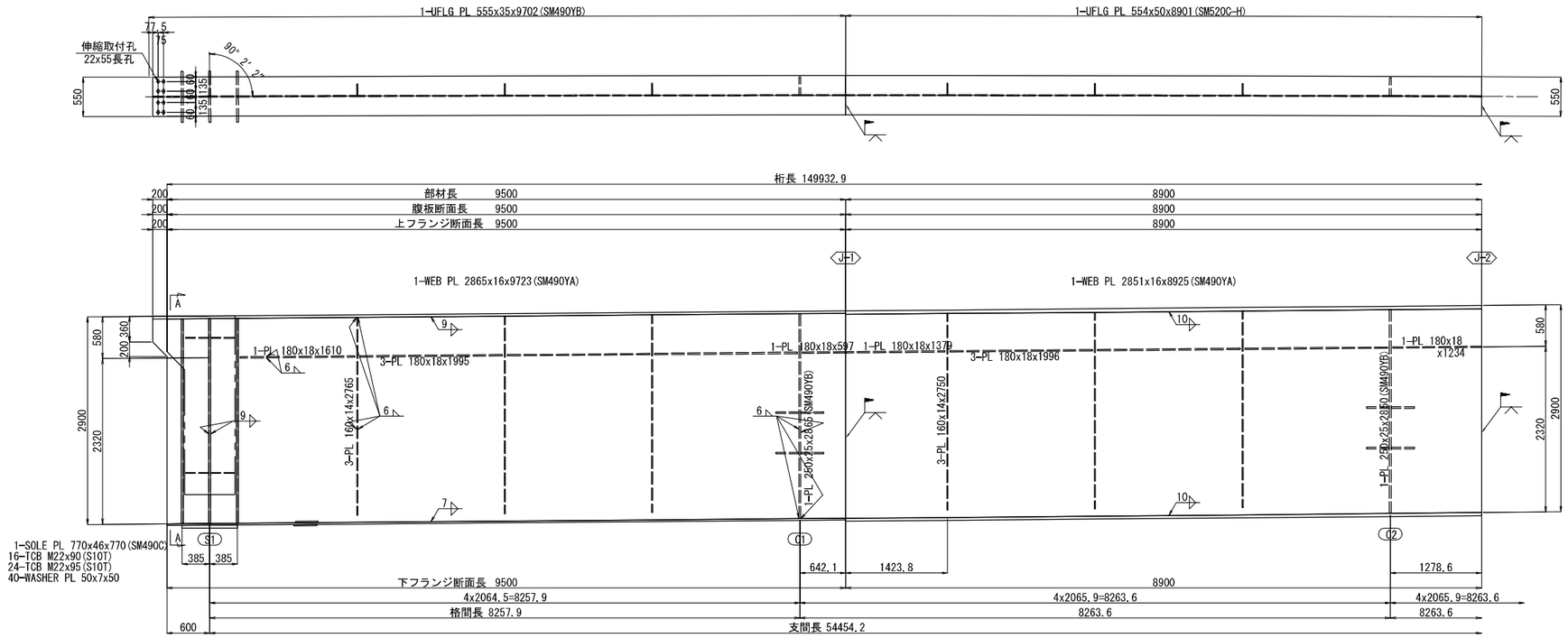
配 置 図　S=1:250

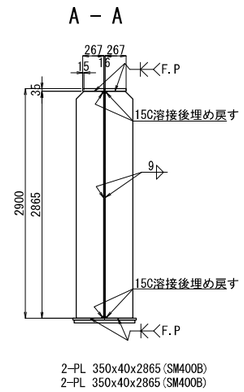


注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

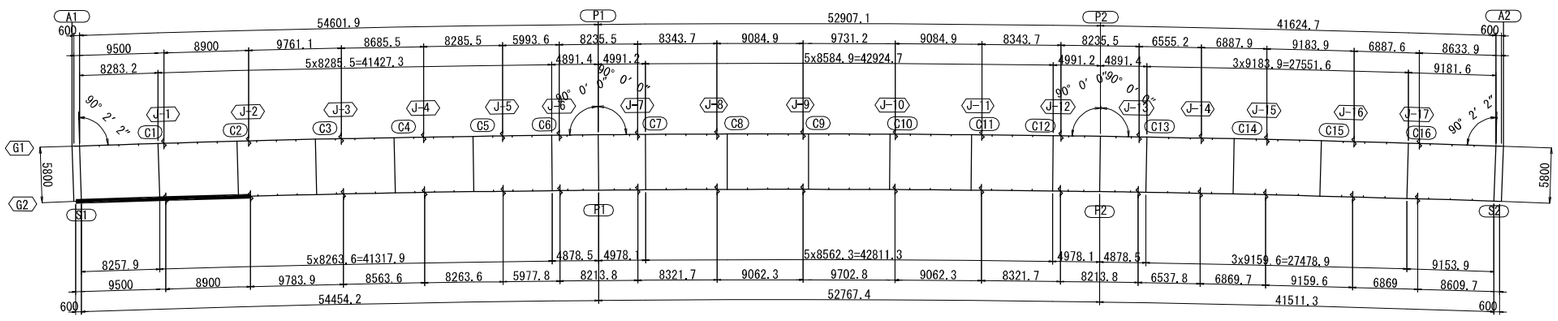
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G1（９）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（１）　S=1:75





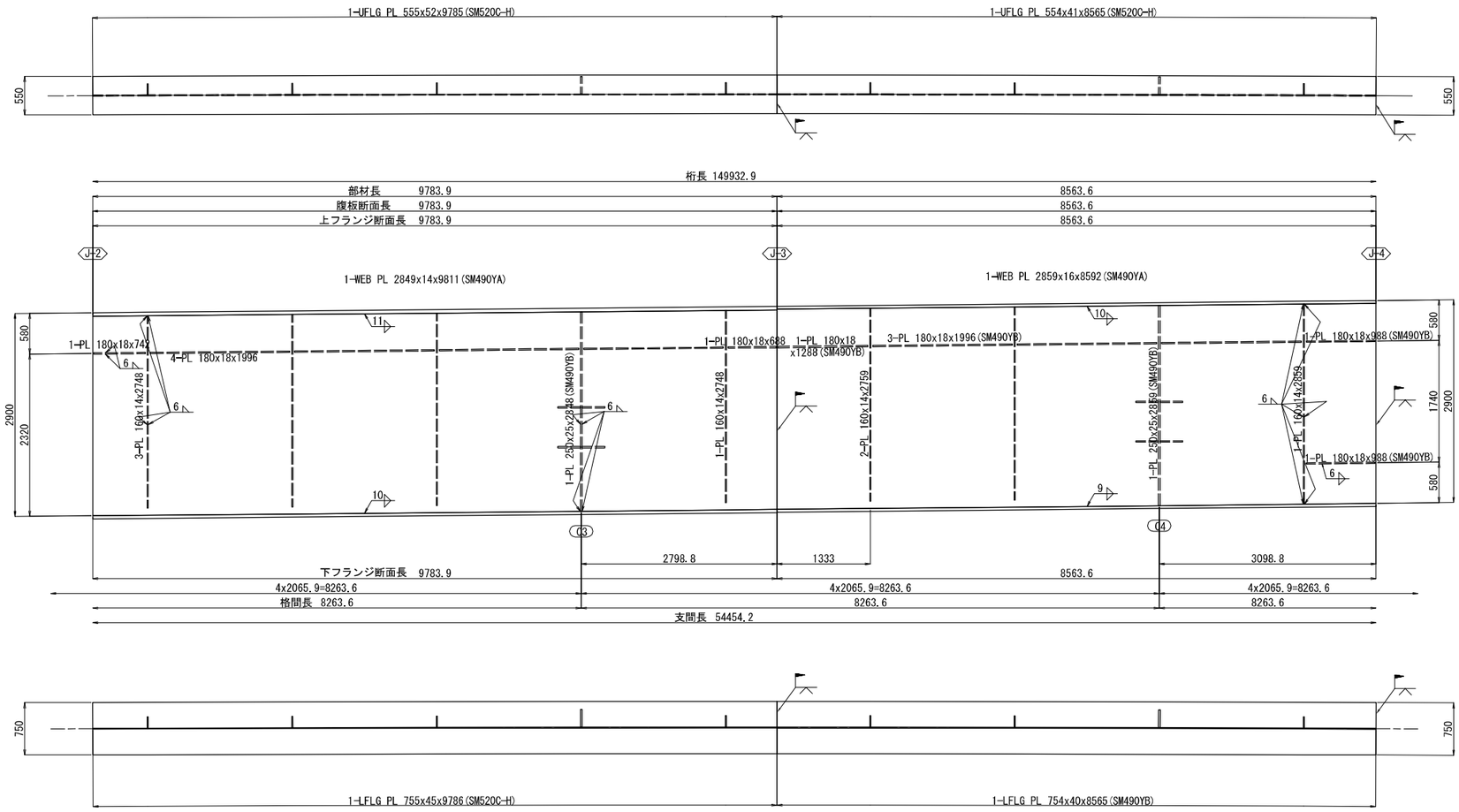
配 置 図 S=1:250



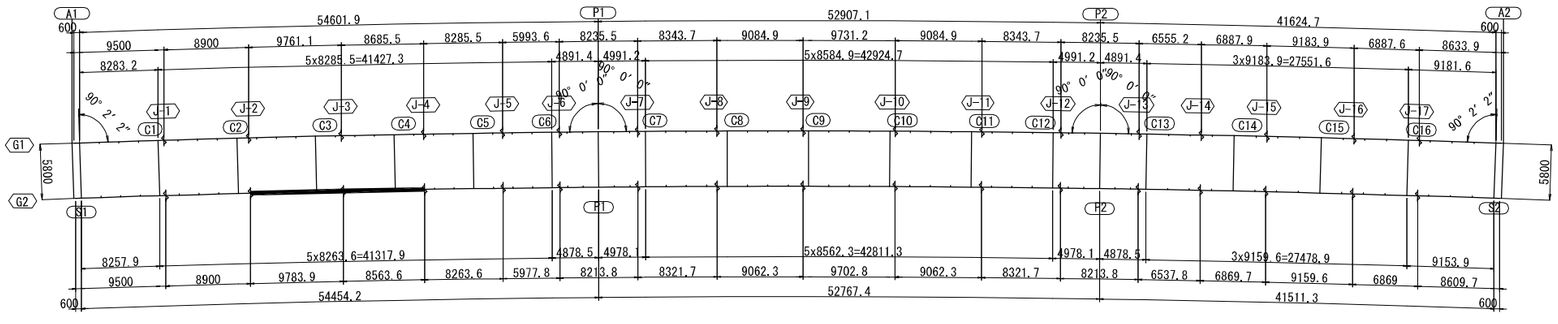
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（２）　S=1:75



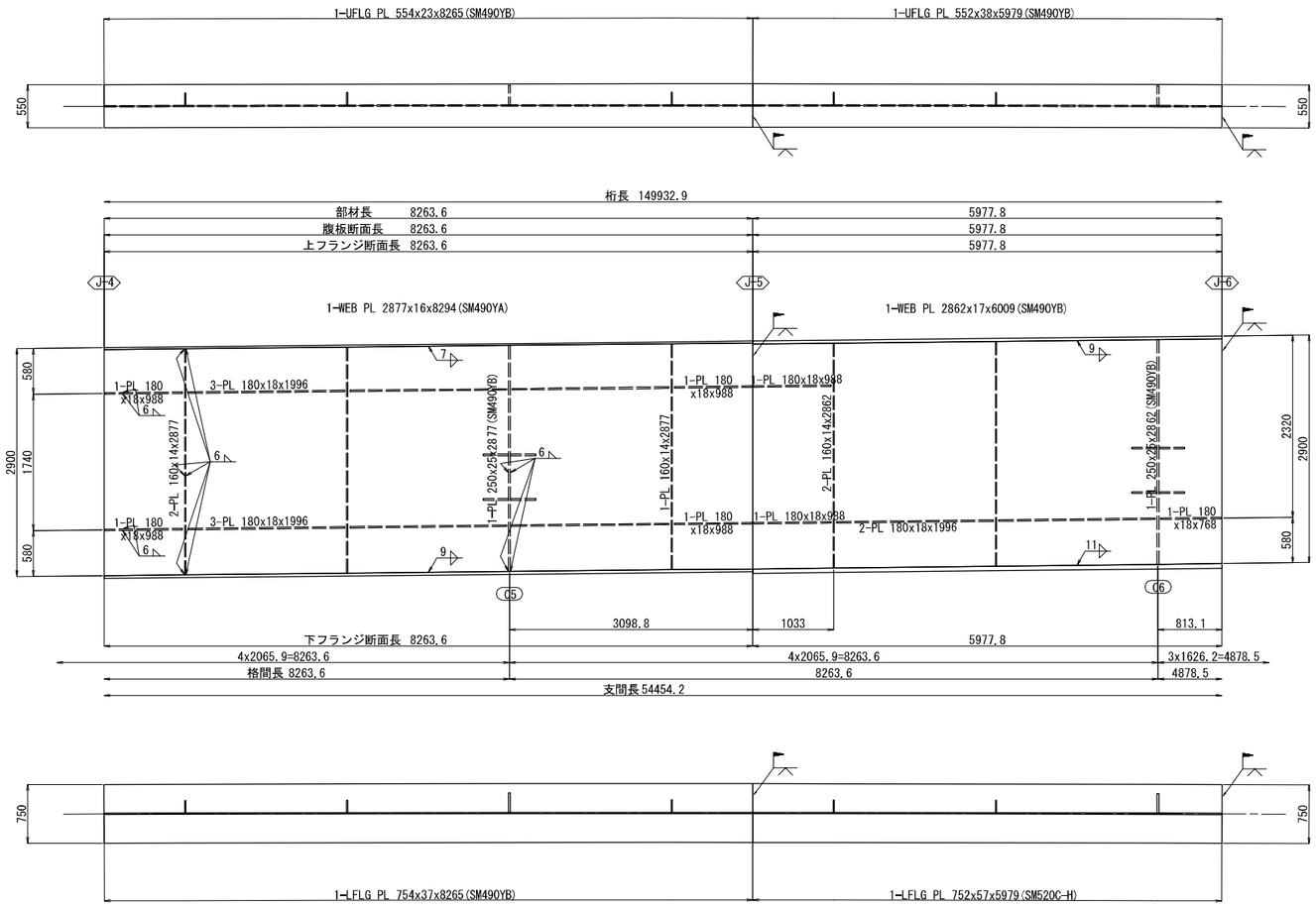
配 置 図　S=1:250



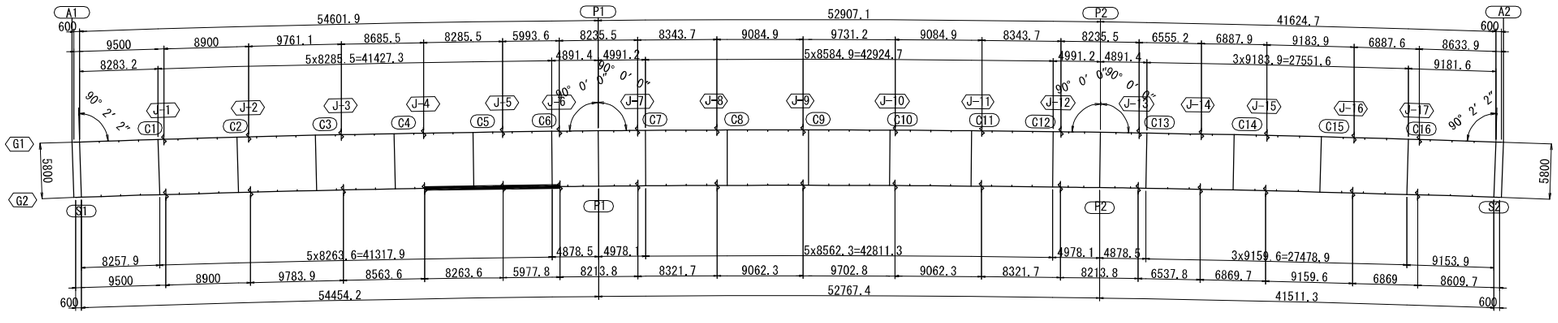
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（３）　S=1:75



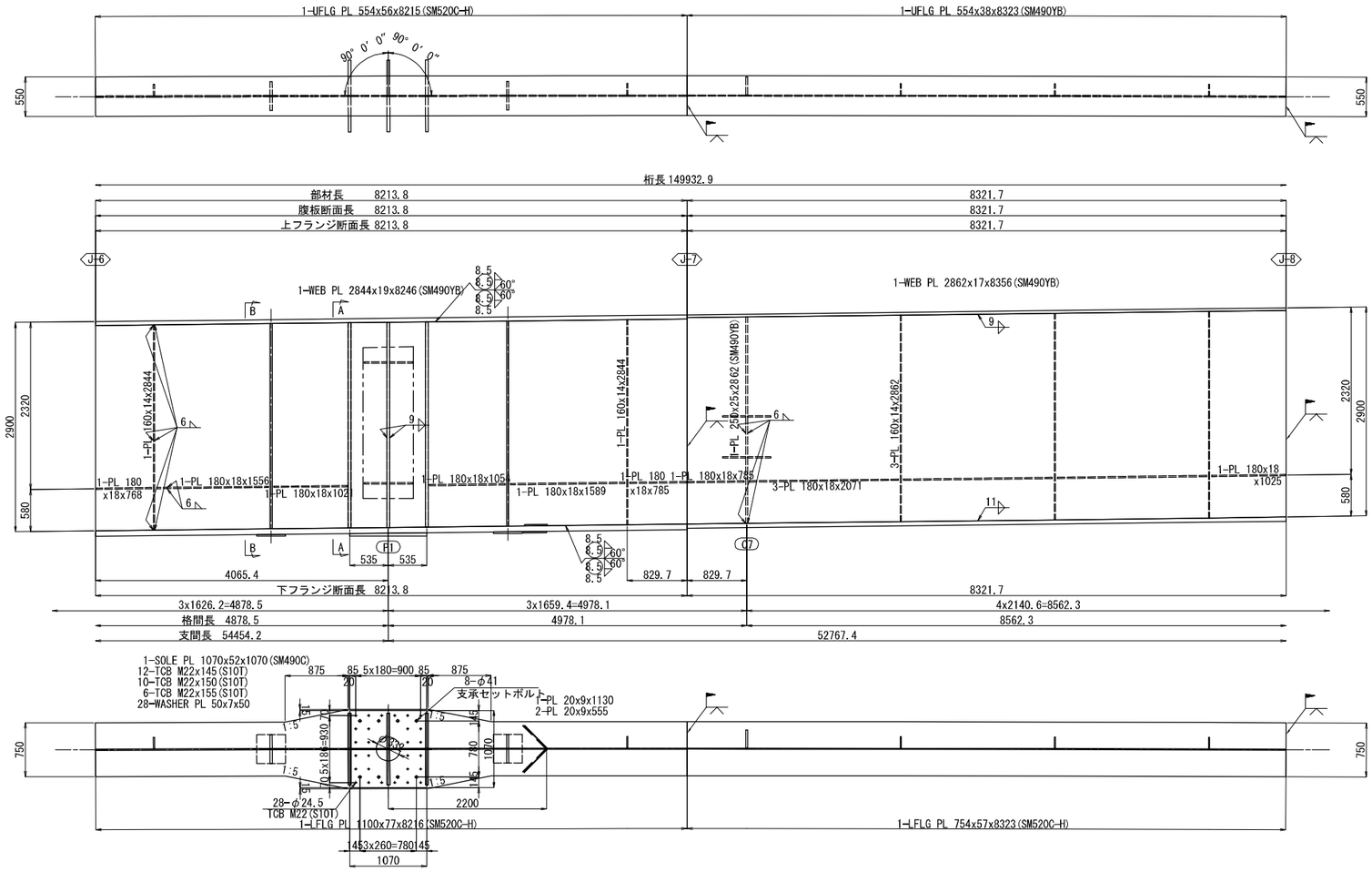
配 置 図　S=1:250



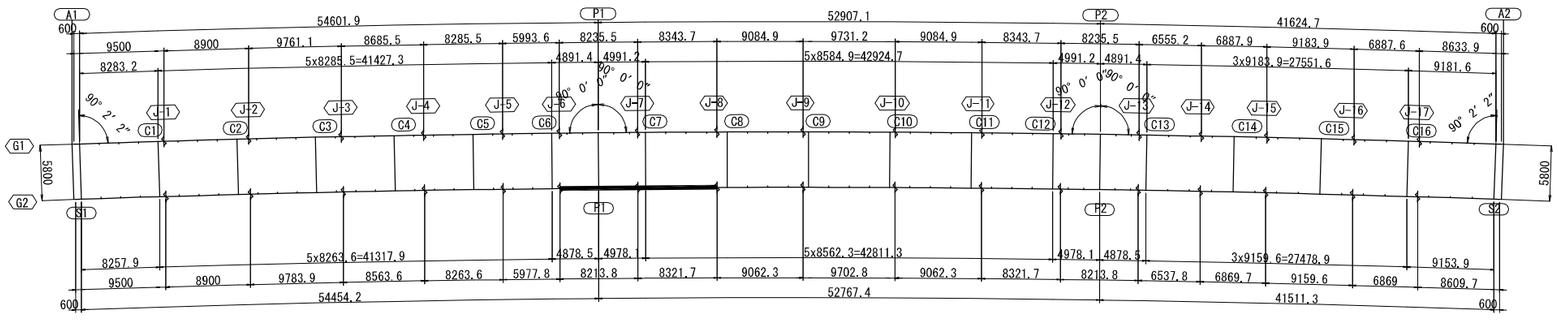
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
　「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

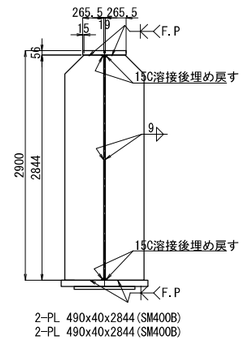
土渕橋（上り線）　主桁G2（４）　S=1:75



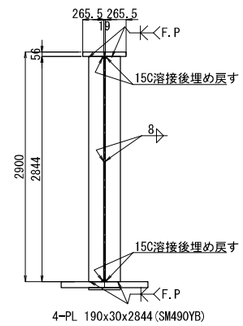
配 置 図 S=1:250



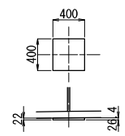
A－A



B－B



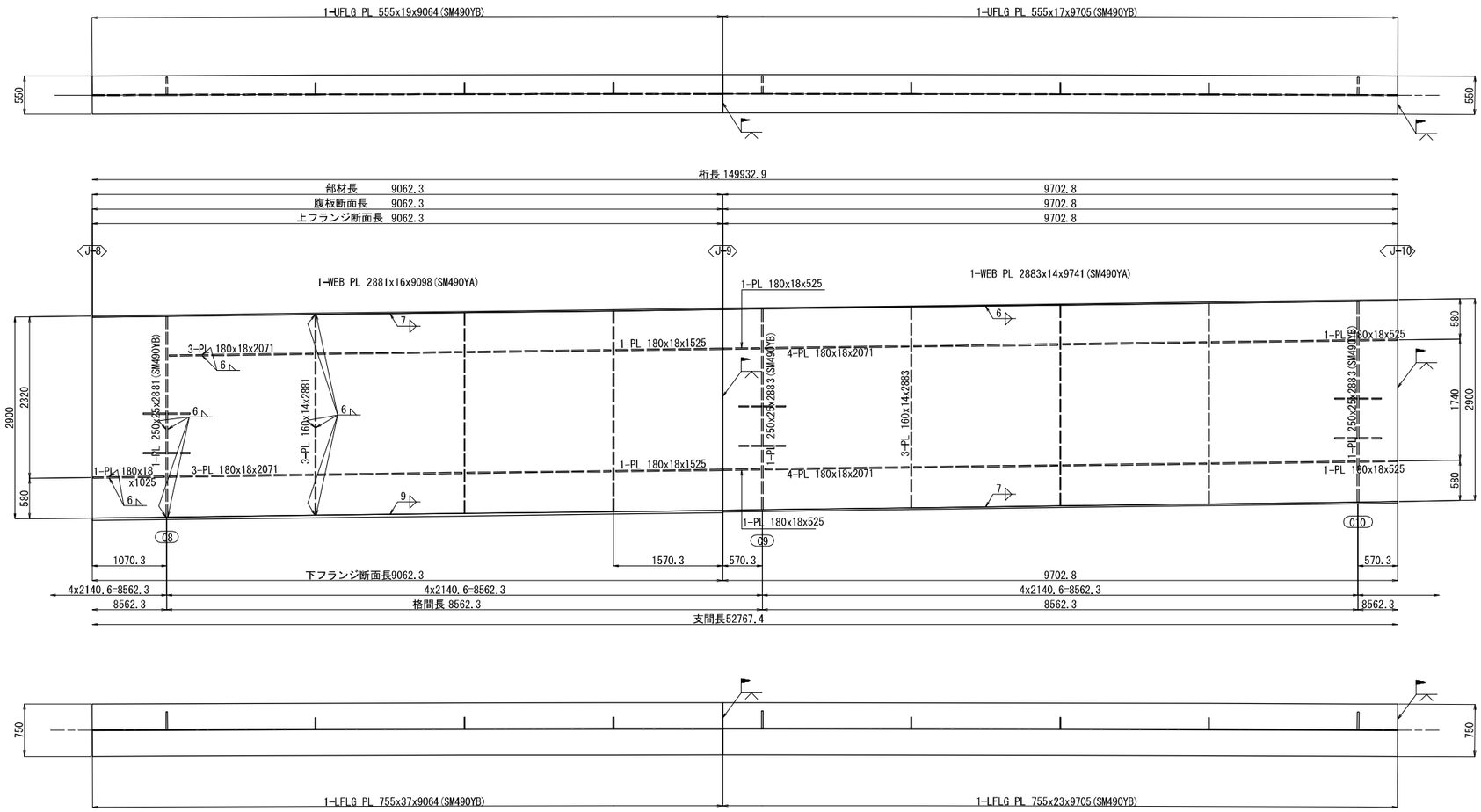
ジャッキアップベース詳細



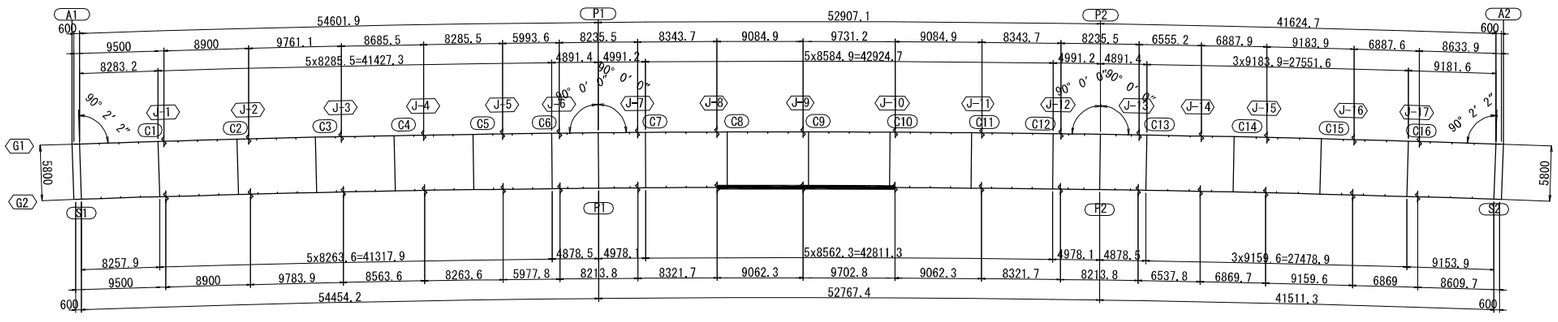
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（４）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（５）　S=1:75



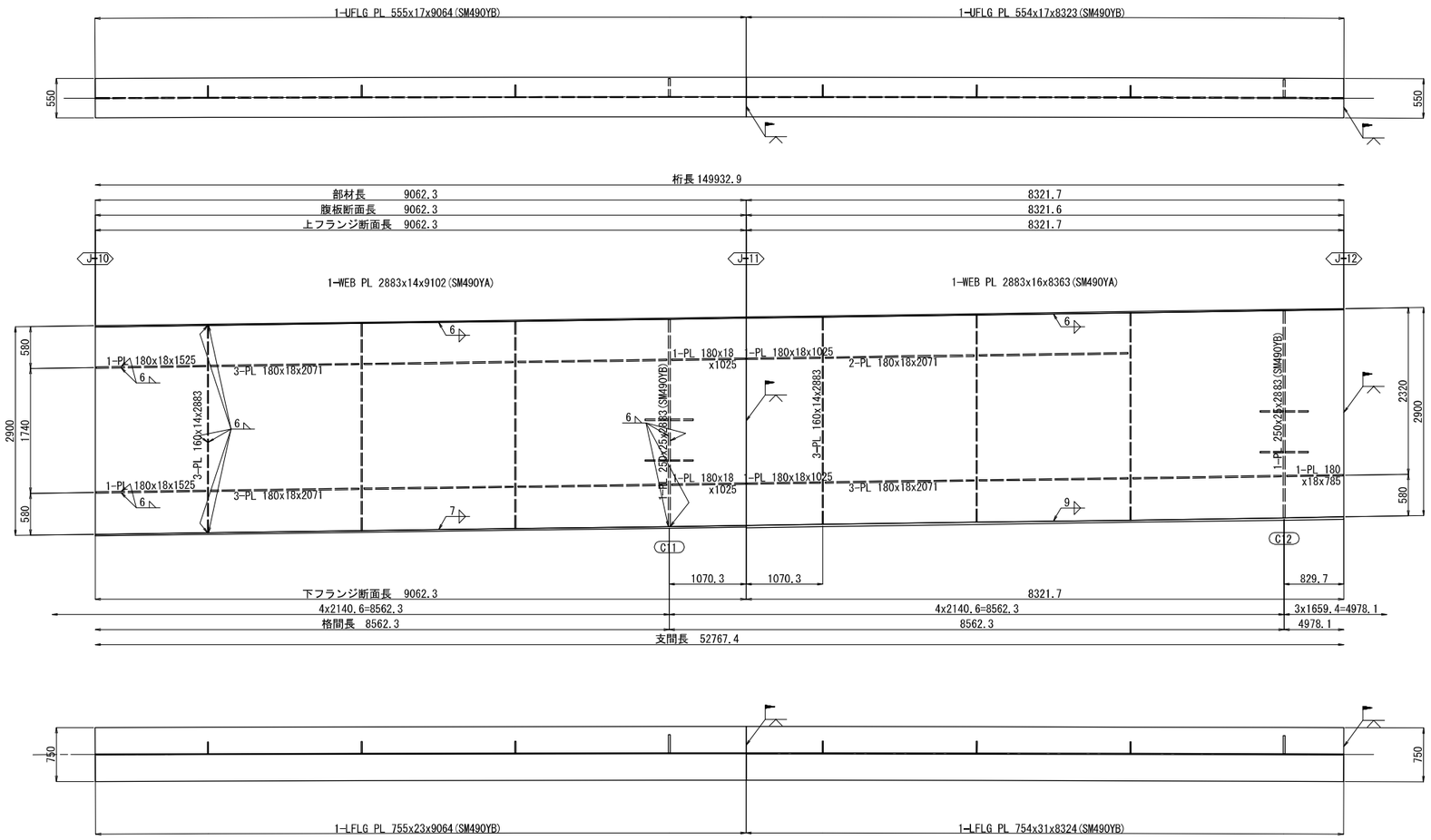
配 置 図 S=1:250



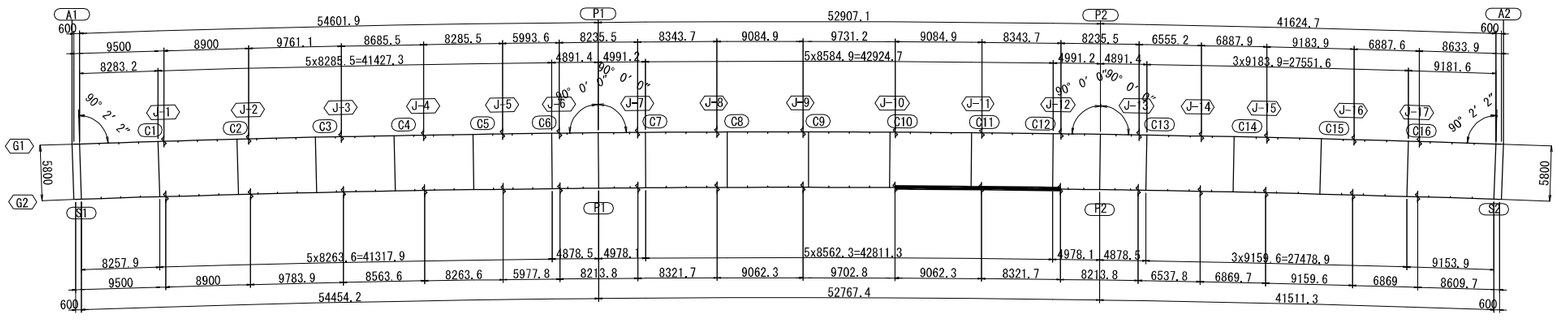
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（５）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（６）　S=1:75



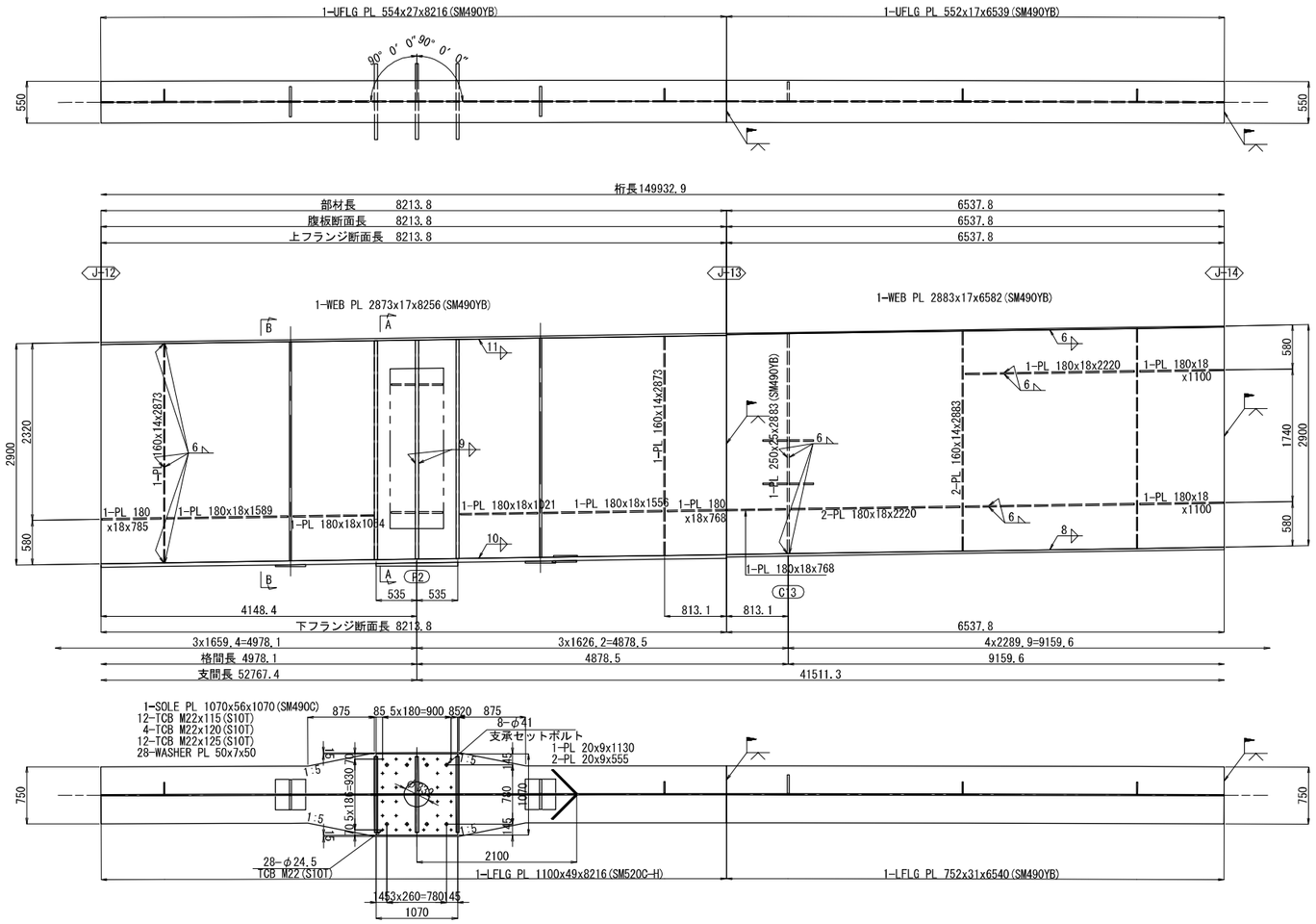
配 置 図　S=1:250



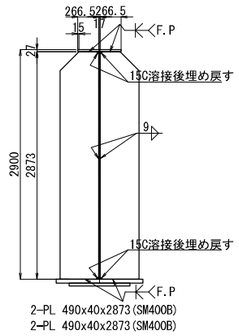
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（６）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

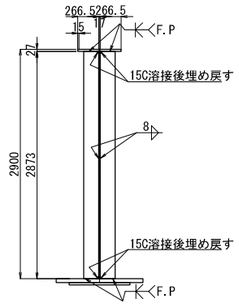
土渕橋（上り線）　主桁G2（７）　S=1:75



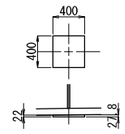
A － A



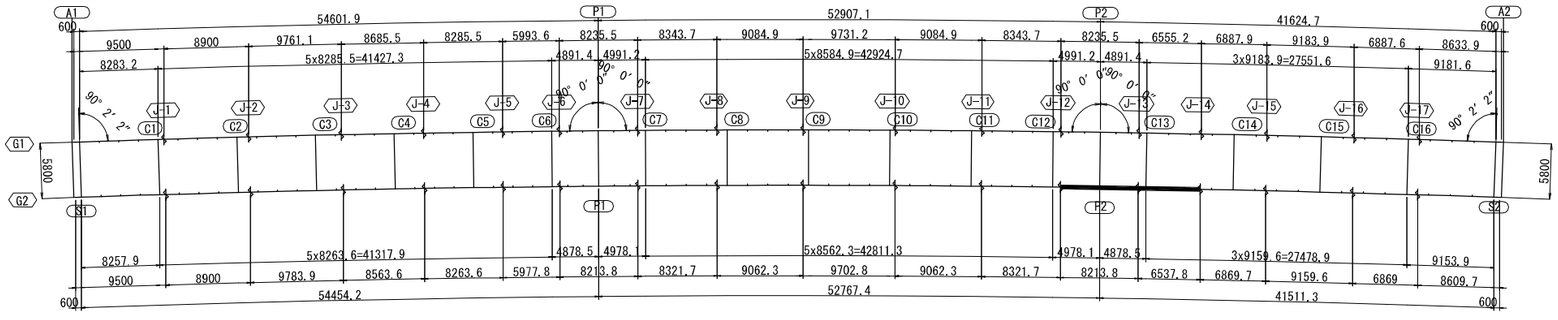
B － B



ジャッキアップベース詳細



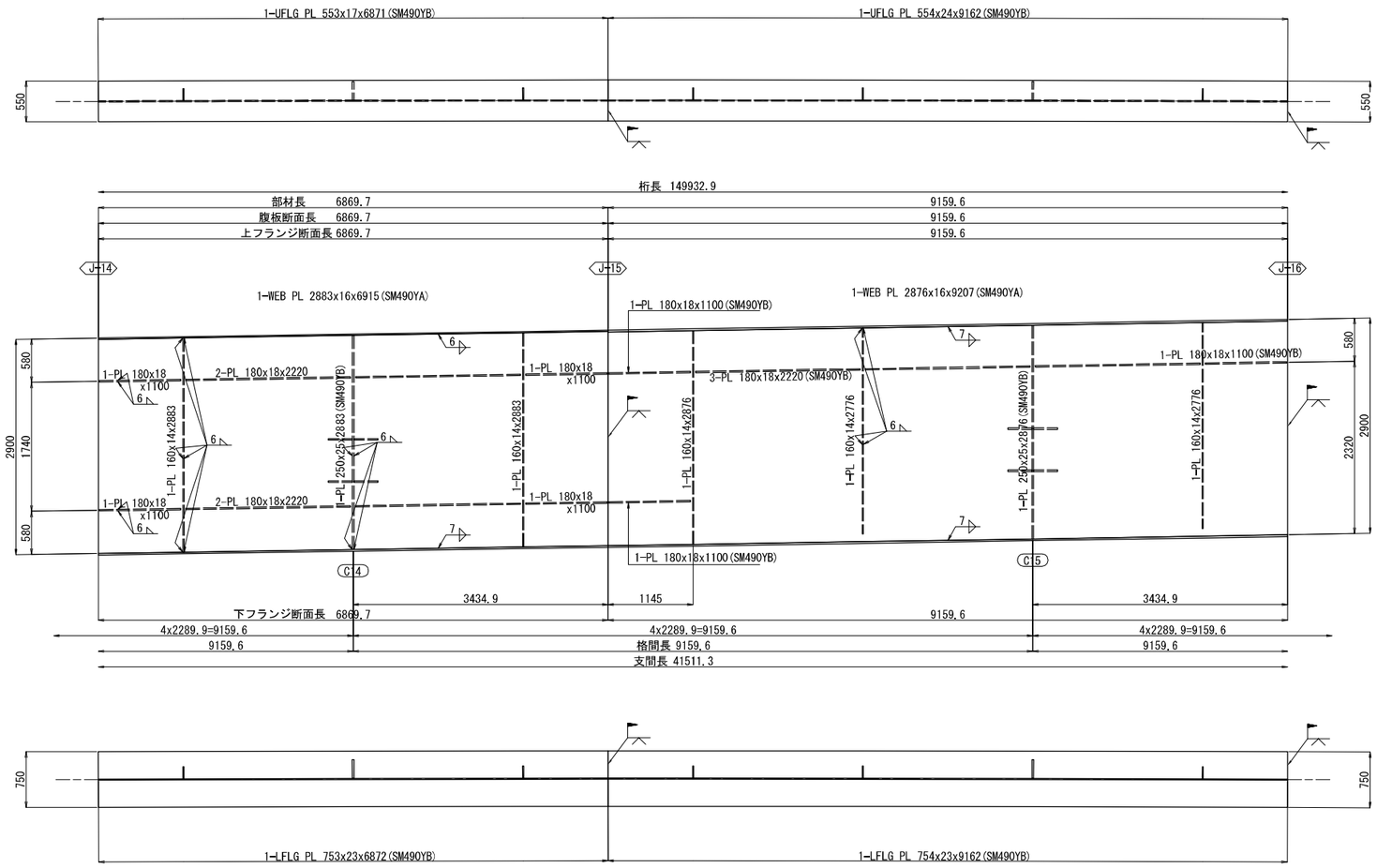
配 置 図　S=1:250



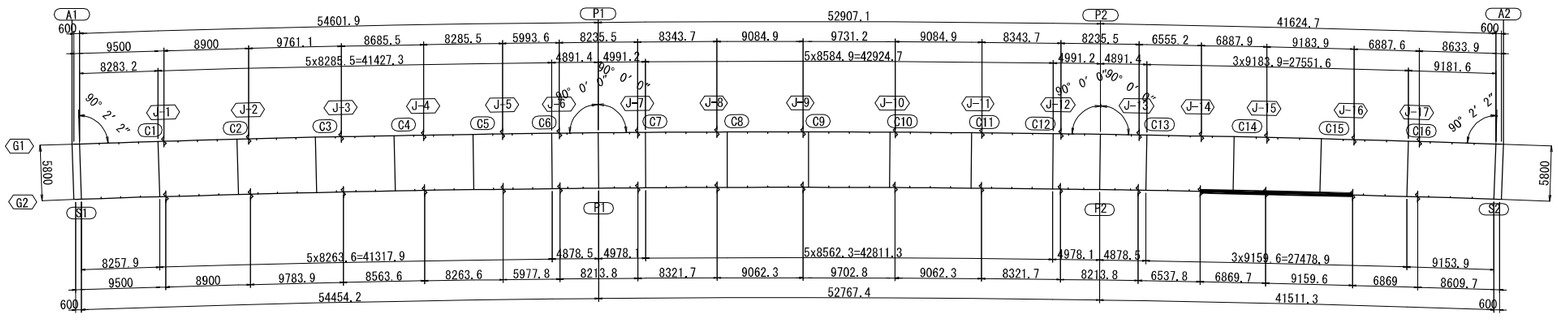
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
　「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（７）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（８）　S=1:75



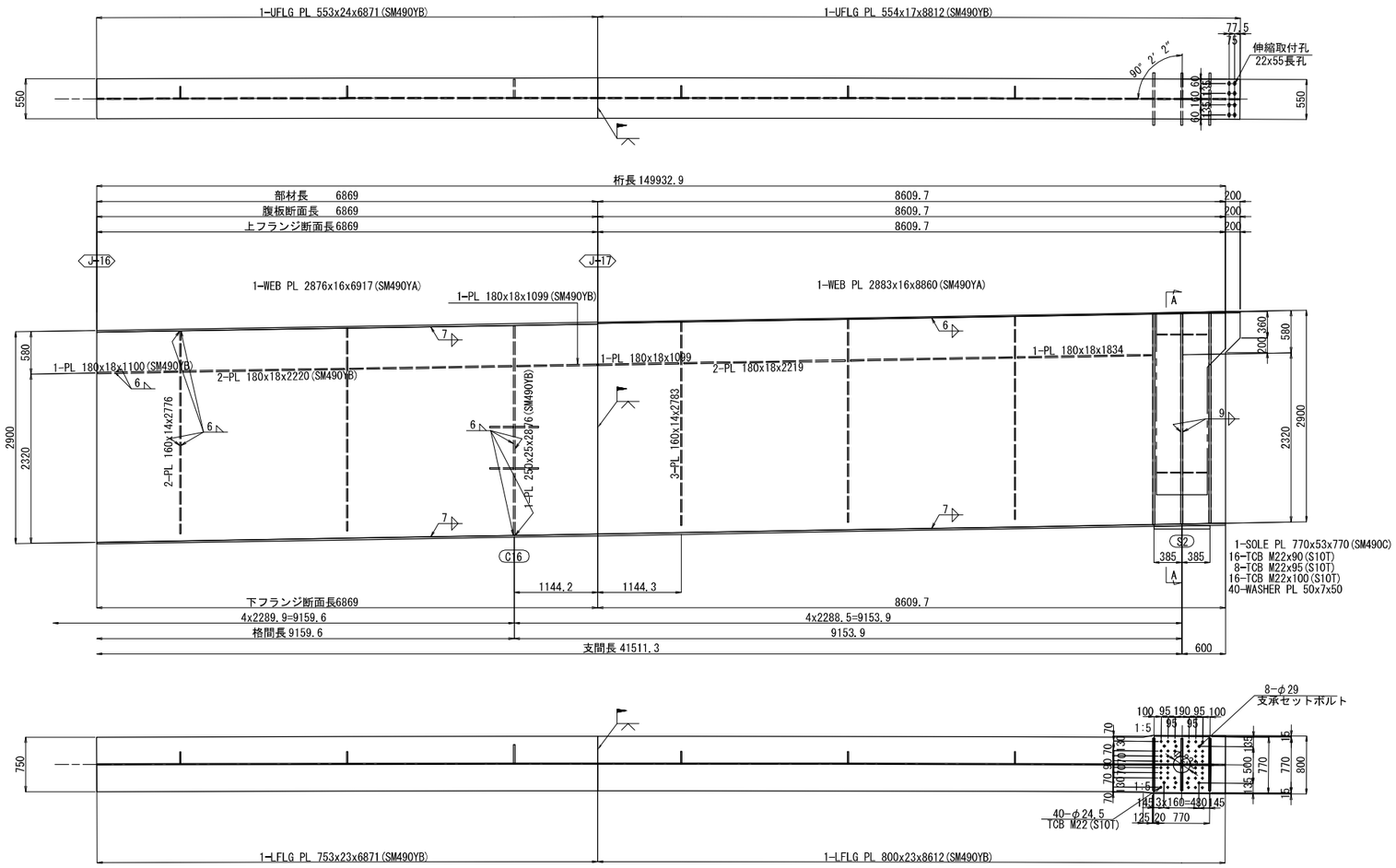
配 置 図 S=1:250

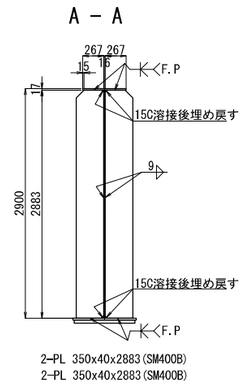


注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

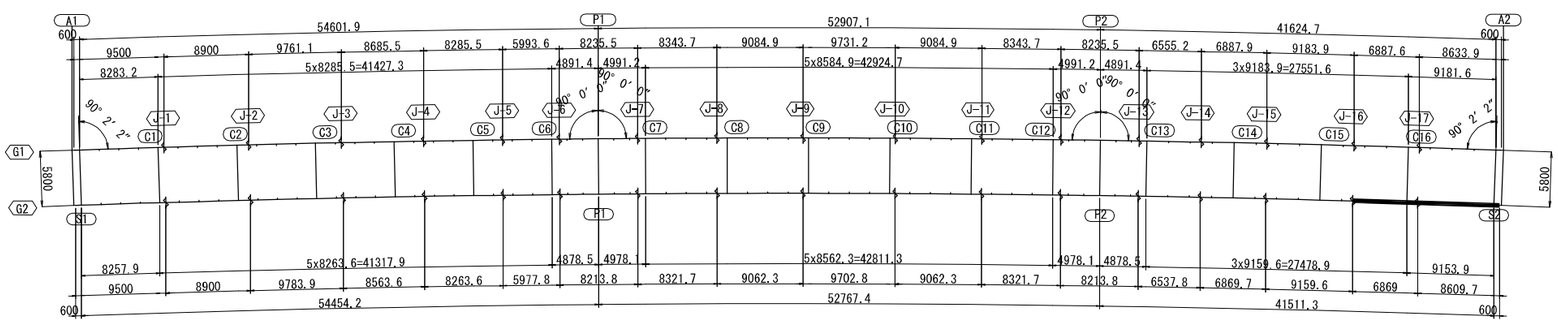
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（８）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　主桁G2（９）　S=1:75





配 置 図　S=1:250

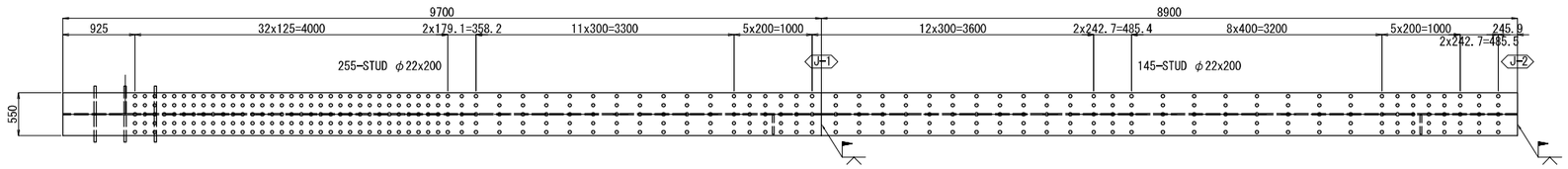


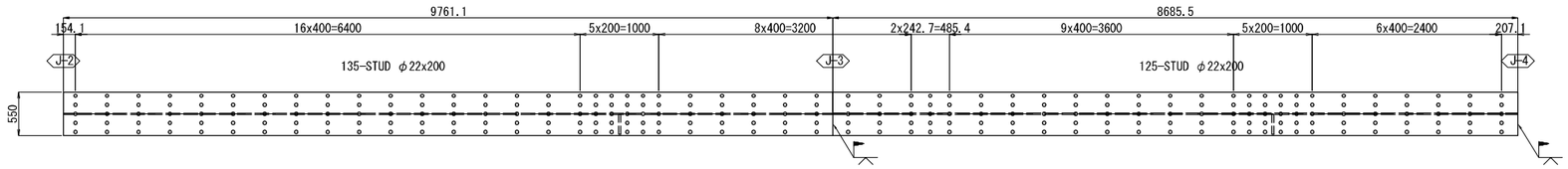
注記
1.特記なき材質は全て、SM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て、50Rとする。
3.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
4.継手部エレクションピース詳細は
「共通詳細図」を参照のこと。
5.縦リブのボルト孔径は、φ26.5とする。

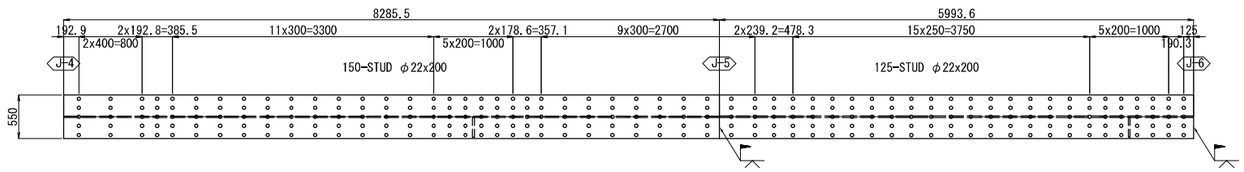
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁G2（９）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

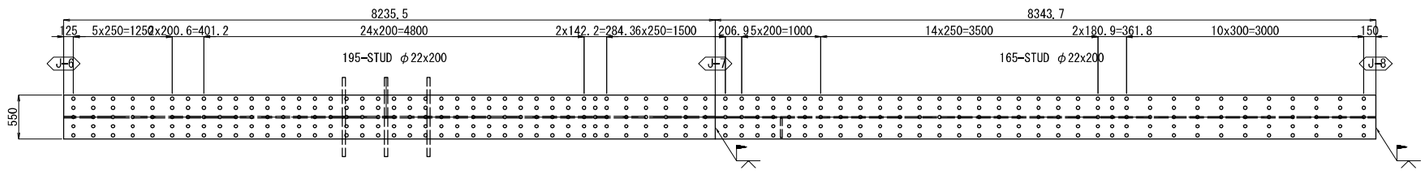
土渕橋（上り線）　主桁スタッドジベル配置図（１）　S=1:75

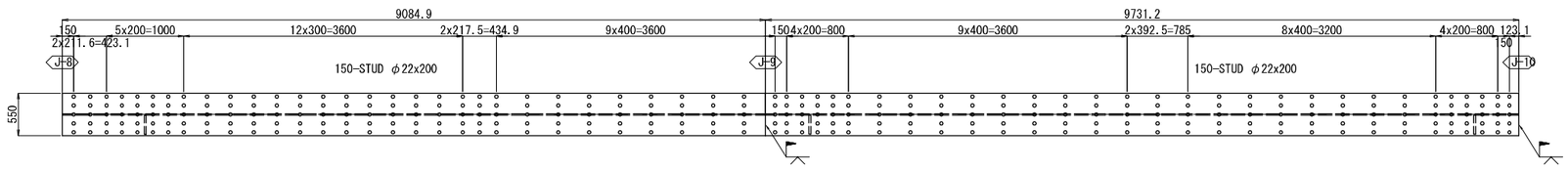
主桁G1(1/2)



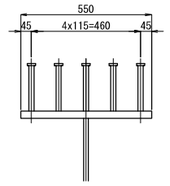




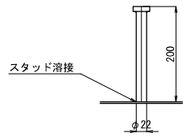




スタッドジベル配置詳細図　S=1:10



スタッド詳細図　S=1:5

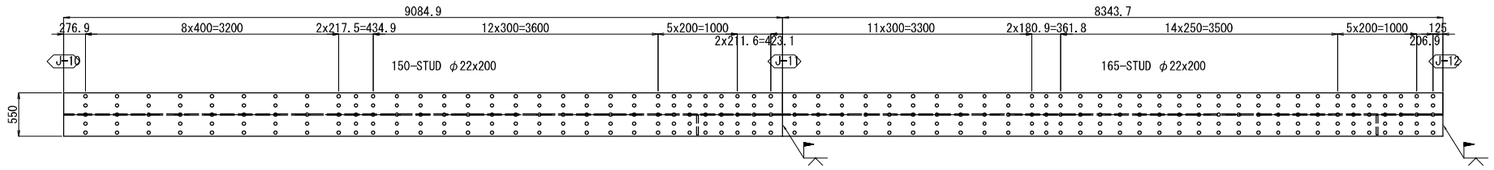


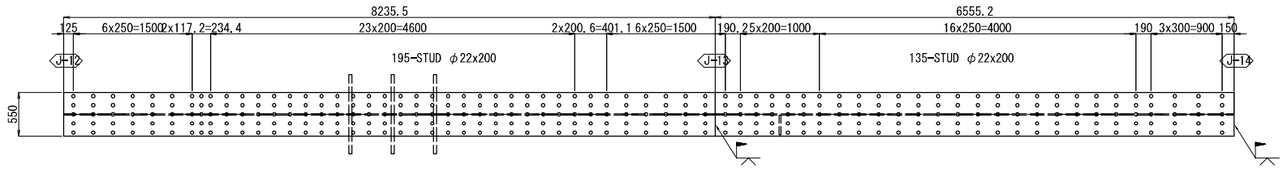
注記
1. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

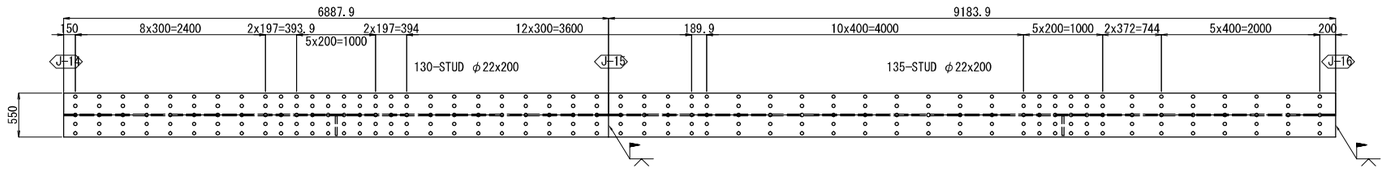
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁スタッドジベル配置図（１）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

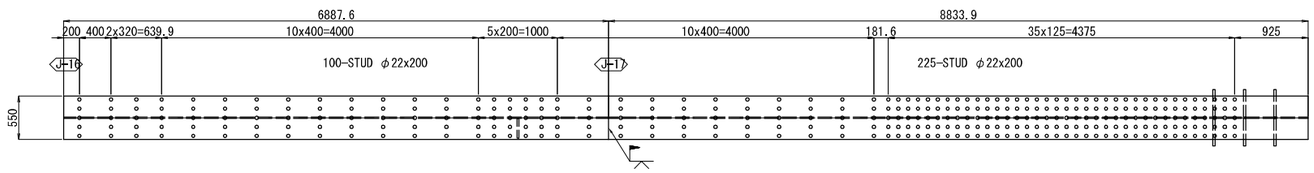
土渕橋（上り線）　主桁スタッドジベル配置図（２）　S=1:75

主桁G1(2/2)







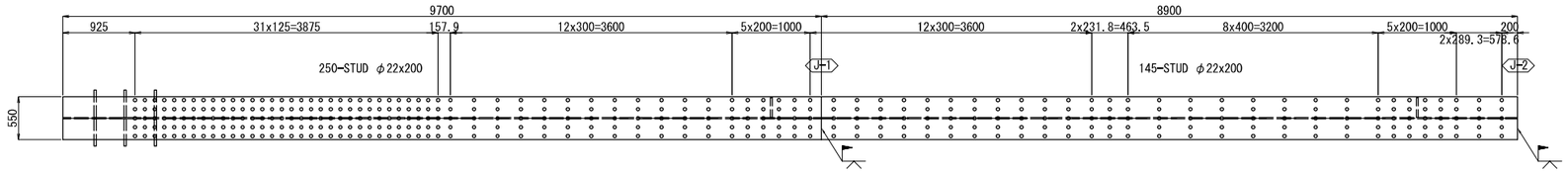


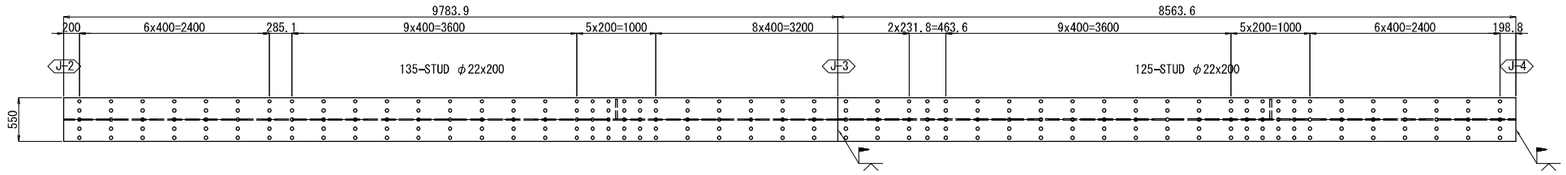
注記
1. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

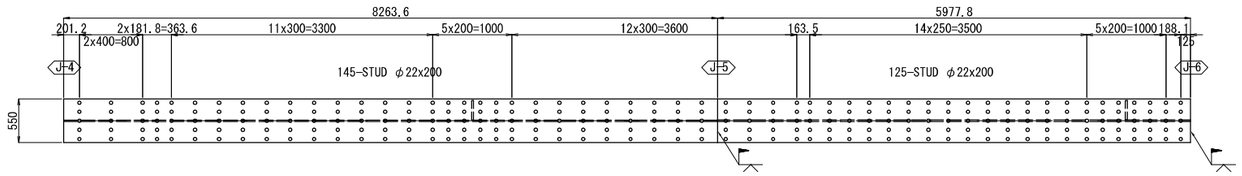
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁スタッドジベル配置図（２）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

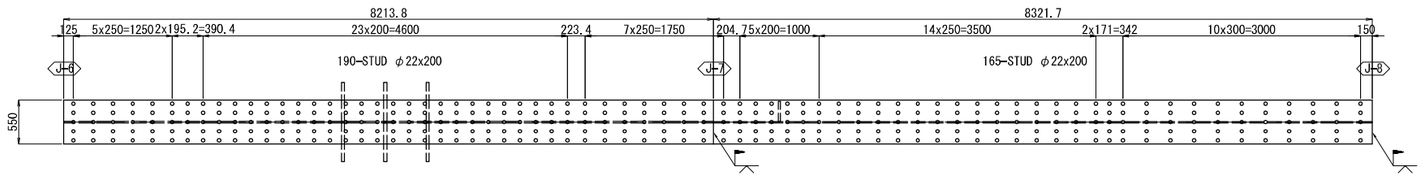
土渕橋（上り線）　主桁スタッドジベル配置図（３）　S=1:75

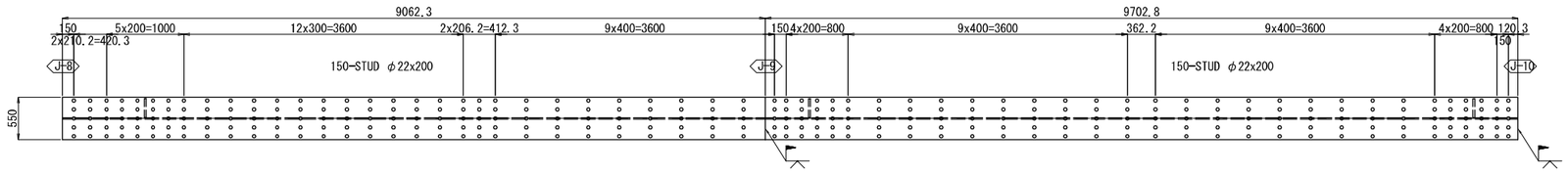
主桁G2(1/2)











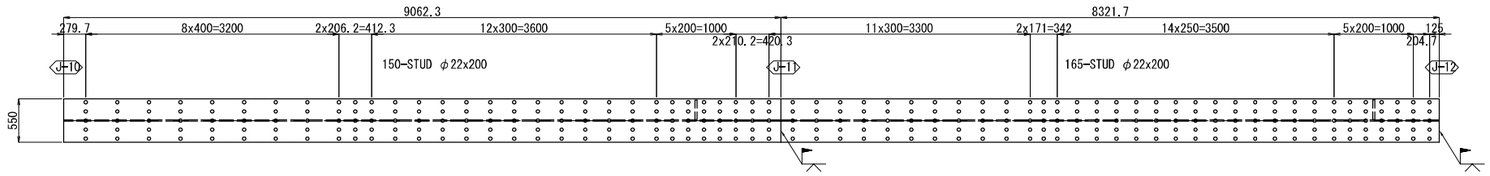
注記
1. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

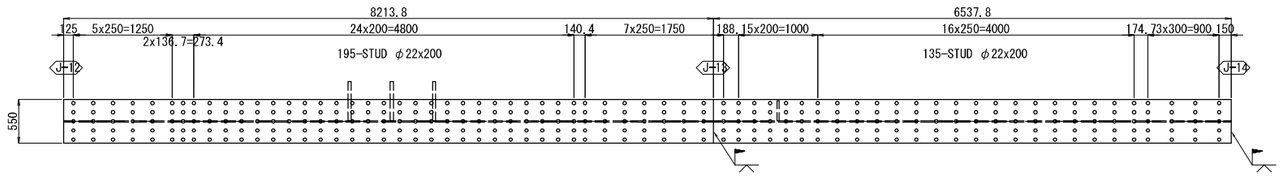
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁スタッドジベル配置図（３）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

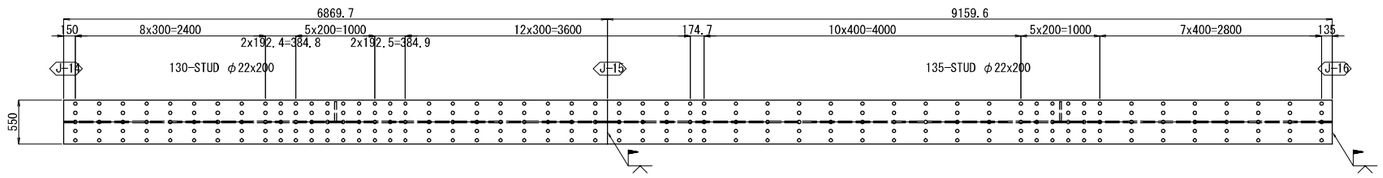
土渕橋（上り線）　主桁スタッドジベル配置図（４）

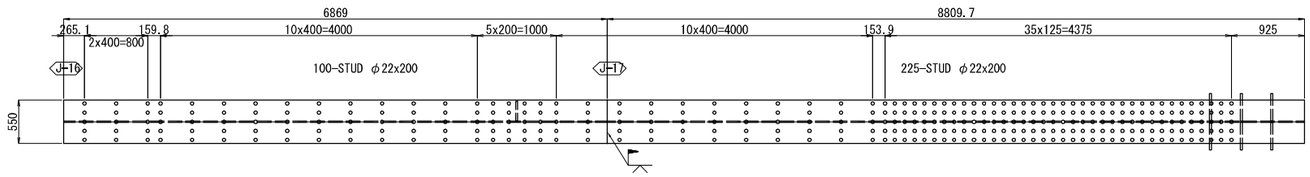
S=1:75

主桁G2(2/2)







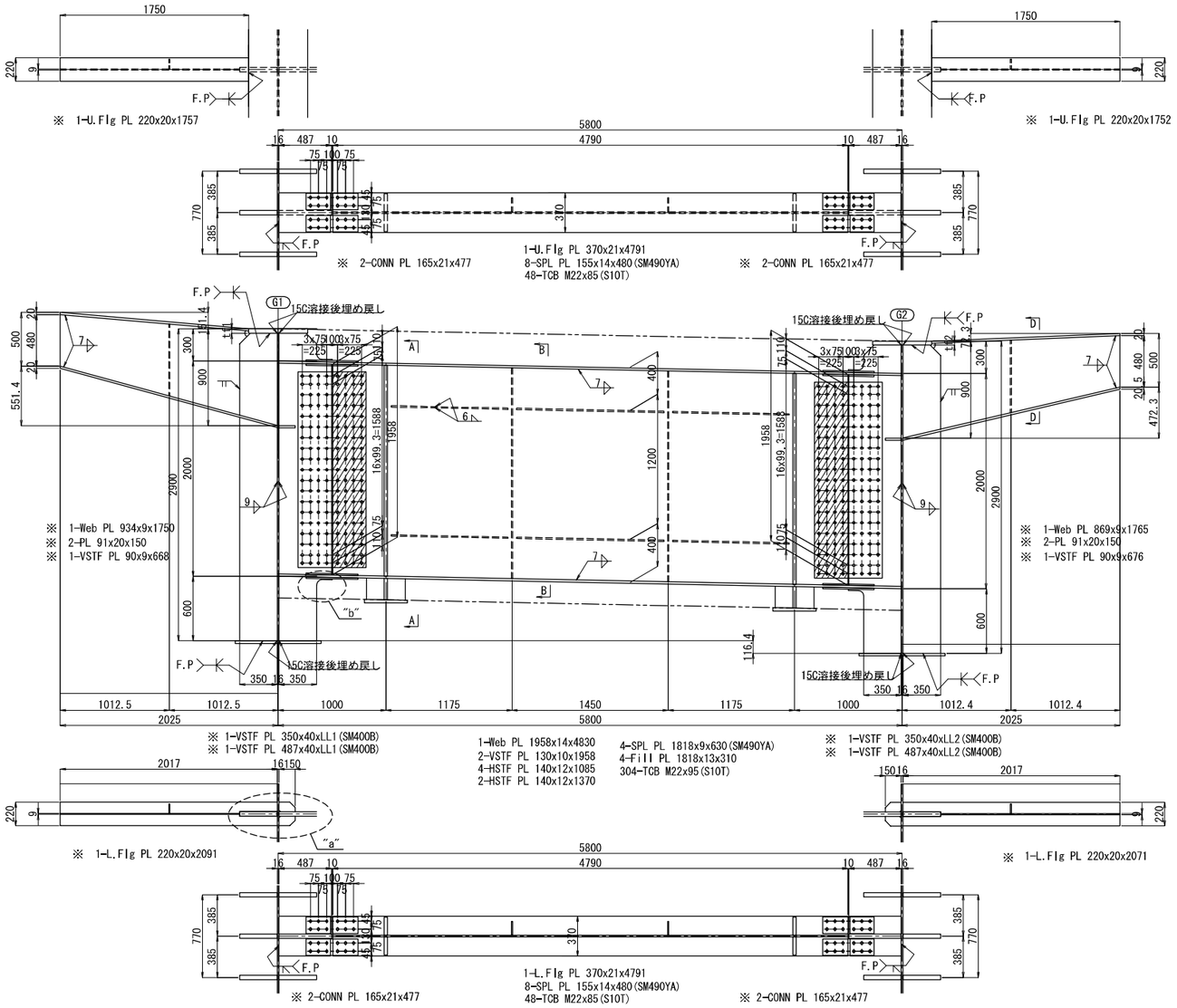


注記
1. ジベル配置は合成床版製作時に見直すこと。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

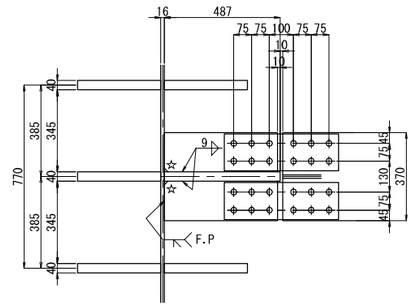
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鎧上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 主桁スタッドジベル配置図（４）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　端支点横桁

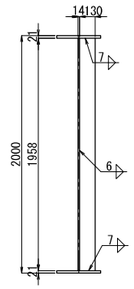
S1, S2　S=1:50



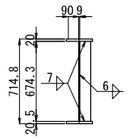
フランジ添接部詳細　S=1:25



B－B

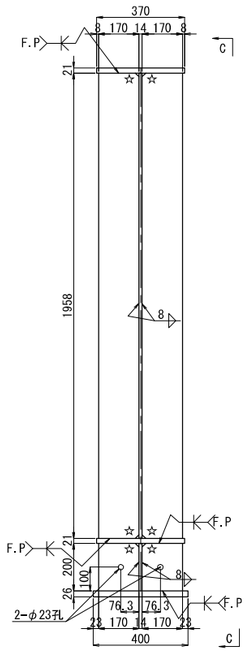


D－D

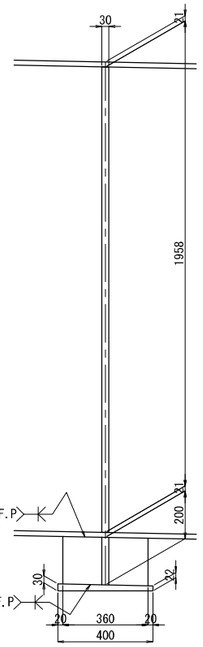


	tf1	tf2	LL1	LL2
S1	42	35	2858	2865
S2	20	17	2880	2883

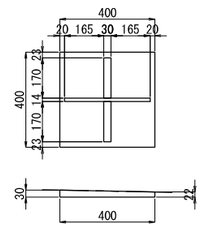
A－A　S=1:25



C－C　S=1:25

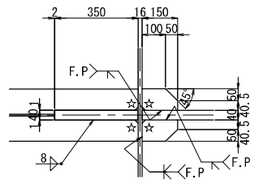


Base詳細　S=1:25

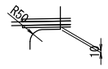


製作数：2
2-V.Stiff PL 170x30x1958(SM490YB)
2-PL 170x30x200(SM490YB)
1-PL 360x14x207
1-Base PL 400x32x400

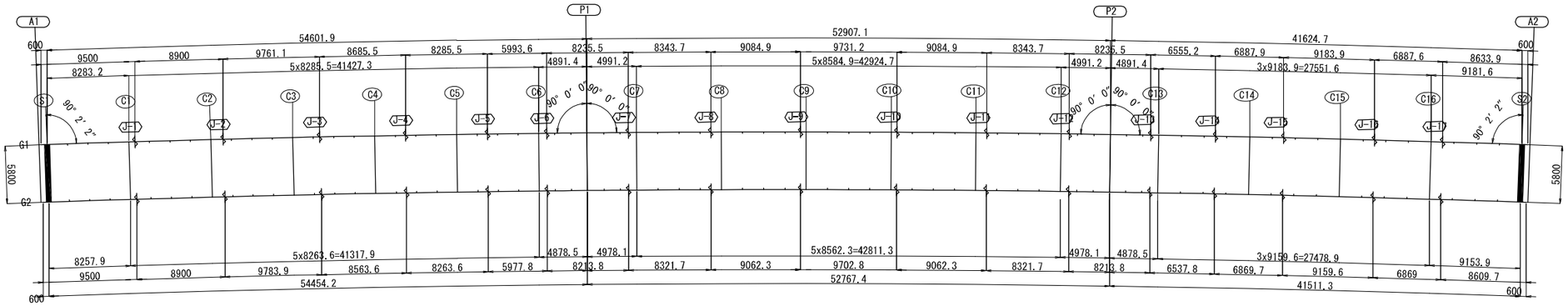
"a"部詳細　S=1:25



"b"部詳細　S=1:25



配　置　図　S=1:200

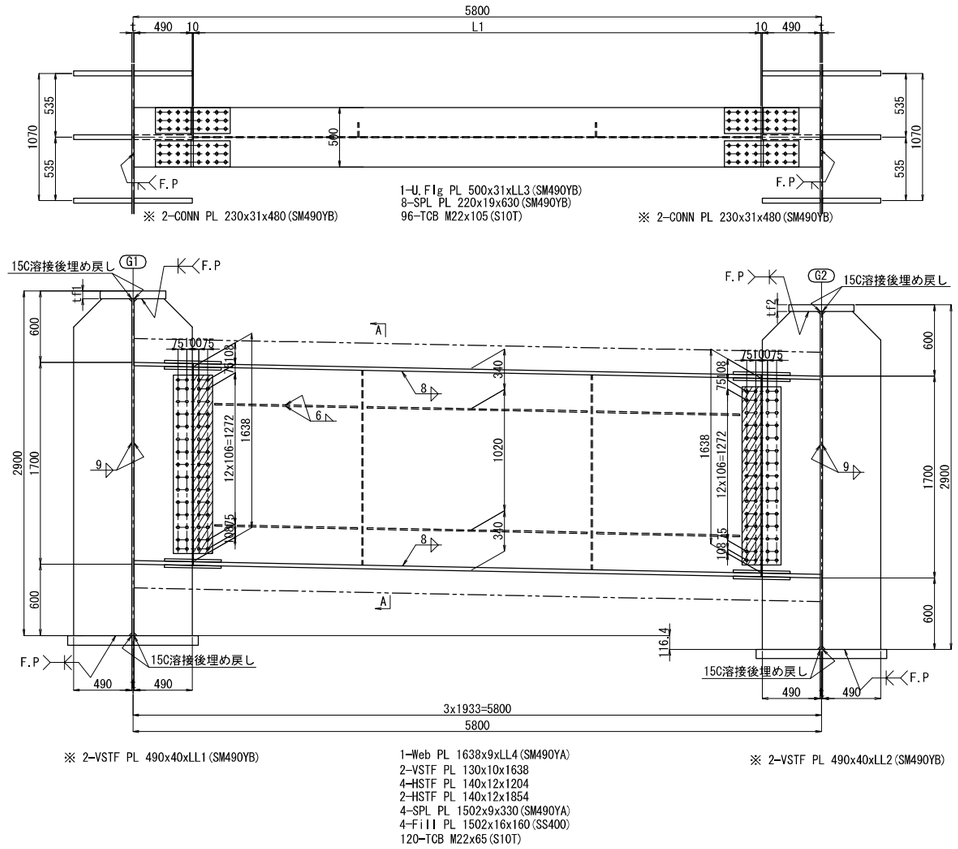


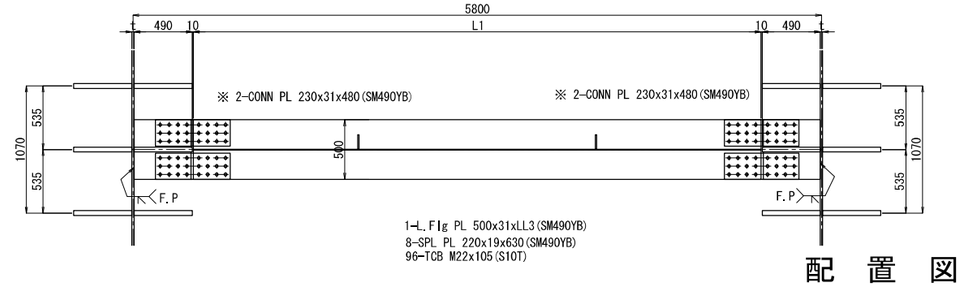
注記
1.特記なき材質は全てSM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3.ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4.特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5.※印付きの数量は主桁にて計上のこと。
6 ☆印部は、15C溶接後埋戻しとする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 端支点横桁		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

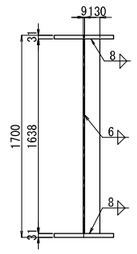
土渕橋（上り線）　中間支点横桁

P1, P2 S=1:50

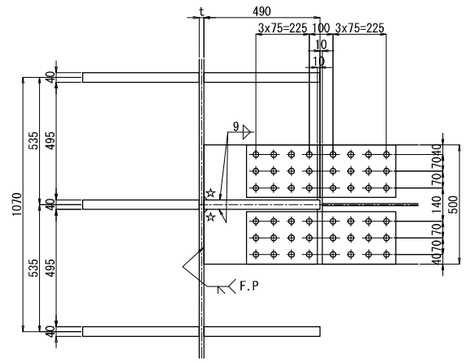




A － A

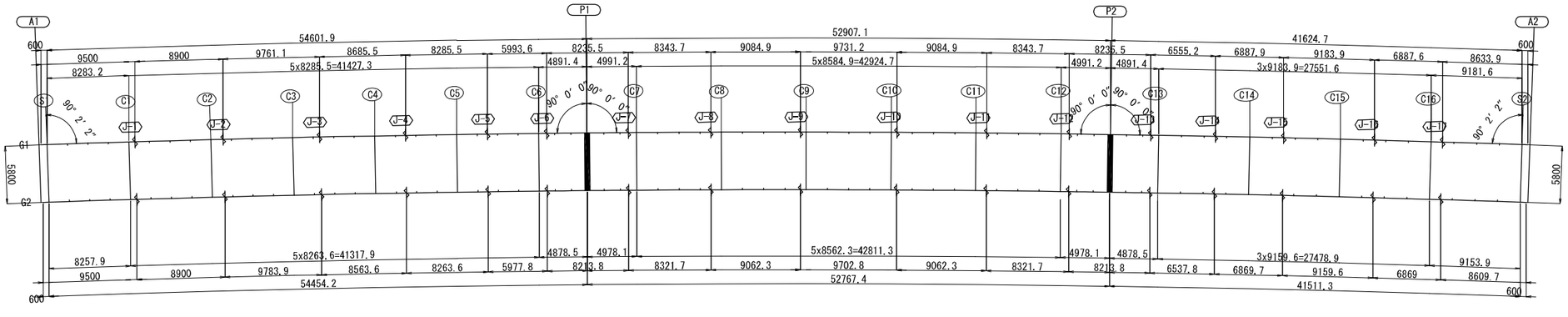


フランジ添接部詳細 S=1:25



	tf1	tf2	t	L1	LL1	LL2	LL3	LL4
P1	65	56	19	4781	2835	2844	4782	4815
P2	32	27	17	4783	2868	2873	4784	4817

配　置　図 S=1:200

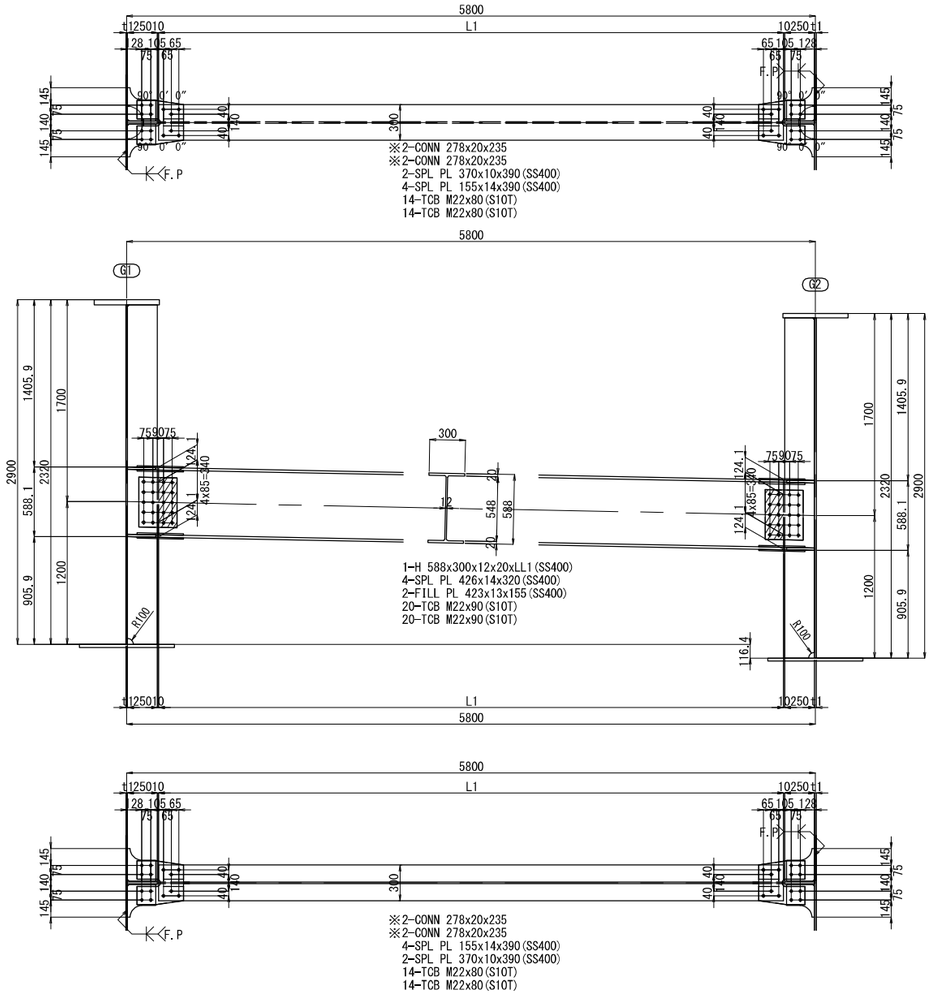


注記
1.特記なき材質は全てSM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3.ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4.特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5.※印付きの数量は主桁にて計上のこと。
6.☆印部は、15C溶接後埋戻しとする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 中間支点横桁		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

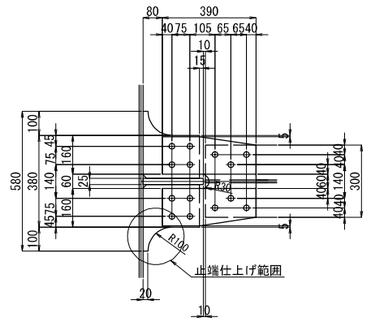
土渕橋（上り線）　中間横桁

C1～C16 S=1:50



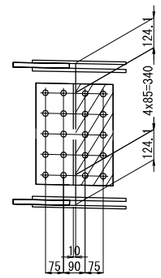
	L1	LL1	t1
C1	5264	5277	16
C2	5264	5277	16
C3	5266	5279	14
C4	5264	5277	16
C5	5264	5277	16
C6	5263	5276	17
C7	5263	5276	17
C8	5264	5277	16
C9	5266	5279	14
C10	5266	5279	14
C11	5266	5279	14
C12	5264	5277	16
C13	5263	5276	17
C14	5264	5277	16
C15	5264	5277	16
C16	5264	5277	16

フランジ添接詳細図 S=1:10

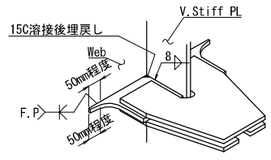


止端仕上げ範囲 S=1:10

ウェブ添接部詳細 S=1:10

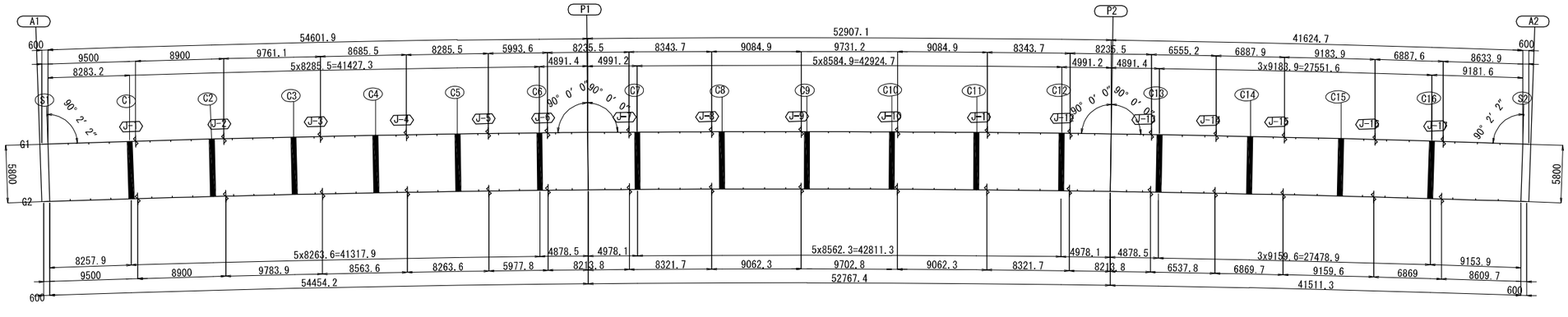


溶接仕上げ範囲詳細 S=1:10



注）まわし溶接を含むConn.PL端部付近の腹板側の溶接止端部は、
肉盛溶接後滑らかにグラインダーで仕上げる。

配　置　図 S=1:200

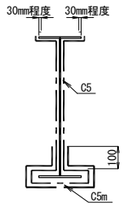


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。

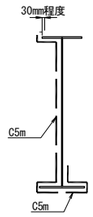
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 中間横桁		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　塗装区分図　S=1:25

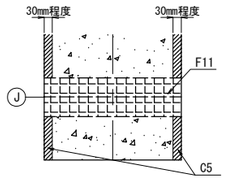
一般部



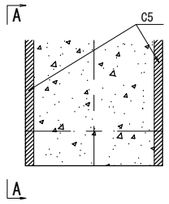
桁端部



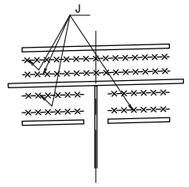
上フランジ上面



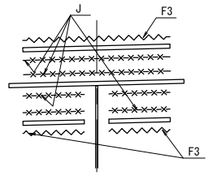
桁端部上フランジ上面



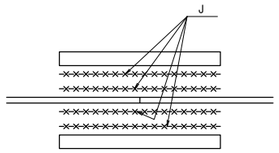
端横桁フランジ添接部



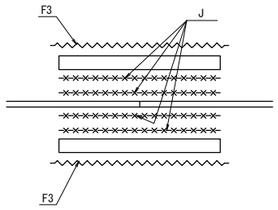
中間支点横桁、中間横桁フランジ添接部



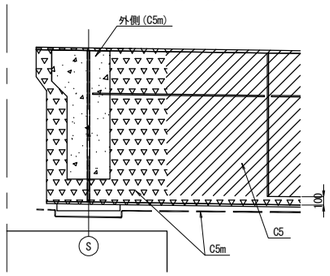
端横桁ウエブ添接部

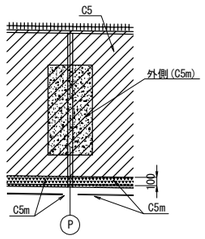


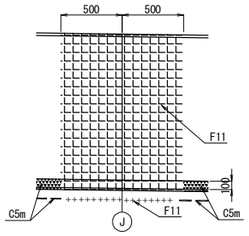
中間支点横桁、中間横桁ウエブ添接部



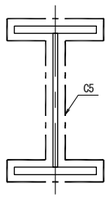
A － A



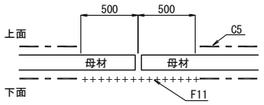




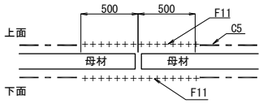
中間横桁



上フランジ



下フランジ・腹板



数量表

単価項目	種　別	単位	数　量
C-5	【2,674.1m2当り内訳】		
	素地調整	m2	3,063.1
	増し塗り塗装	m2	614.4
	補修塗装（タッチアップ）	m2	2,342.2
	特殊部塗装（工場）	m2	28.9
	特殊部塗装（現場）	m2	28.9
	特殊部塗装（現場添接部及び高力ボルト部）	m2	303.0
	全工場塗装	m2	2,342.2
	高力ボルト接合部（接触面）	m2	115.6

凡 例

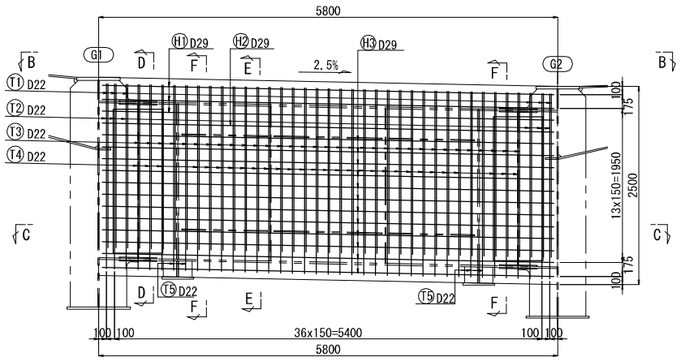
- ：一般部外面・上FLGまわし塗装(C5)
- ：増塗り(C5m)
- ：高力ボルト接合部-外面(F3)
- ++++++ ：現場溶接部及び高力ボルト頭部(F11)
- ：添接部接触面(J)
  無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ（７５μm）

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 塗装区分図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

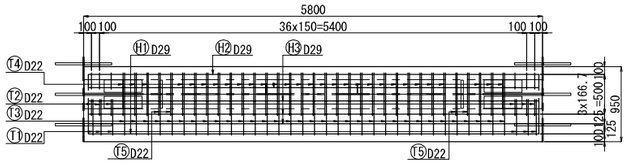
土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリート（１）　S=1:75

S1

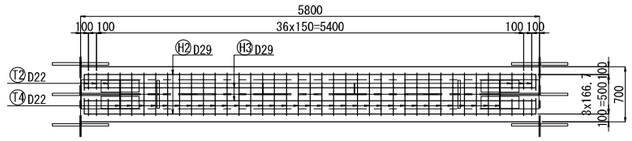
A － A



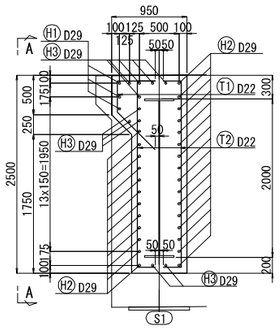
B － B



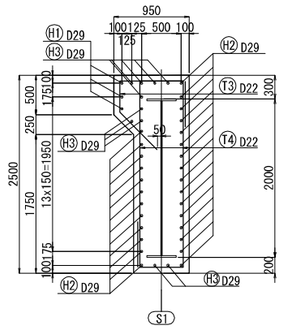
C － C



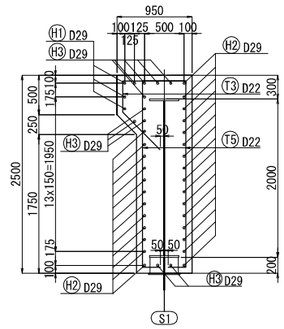
D － D

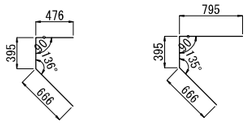


E － E



F － F

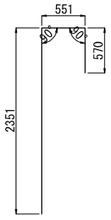




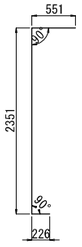
T1 6-D22x1510

T3 33-D22x1830

T2 12-D22x2750

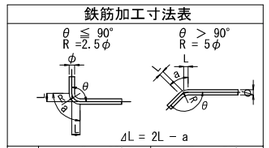


T4 58-D22x3420

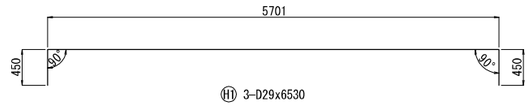


T5 8-D22x3080

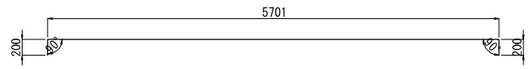
鉄筋加工寸法表



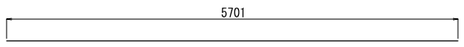
径	θ = 90°			θ = 135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D19	57	89	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D29	87	137	37	159.5	125	7



H1 3-D29x6530



H2 28-D29x6030

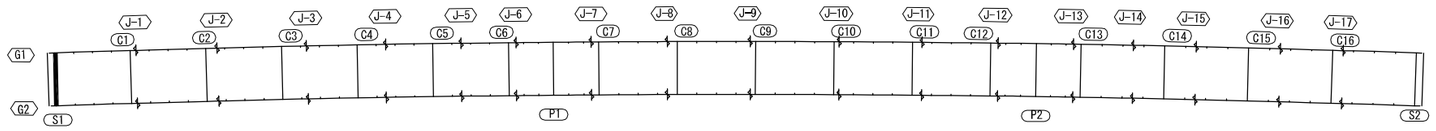


H3 10-D29x5710

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
H1	D29	6530	3	5.04	32.9	99	
H2	D29	6030	28	5.04	30.4	851	
H3	D29	5710	10	5.04	28.8	288	
T1	D22	1510	6	3.04	4.59	28	
T2	D22	2750	12	3.04	8.36	100	
T3	D22	1830	33	3.04	5.56	183	
T4	D22	3420	58	3.04	10.4	603	
T5	D22	3080	8	3.04	9.36	75	
					合　計	2227 kg	
鉄筋A(E)		D22 (SD345)				989 kg	
鉄筋A(E)		D29 (SD345)				1238 kg	
鉄筋A(E)		合　計				2227 kg	

配 置 図　S=1:650



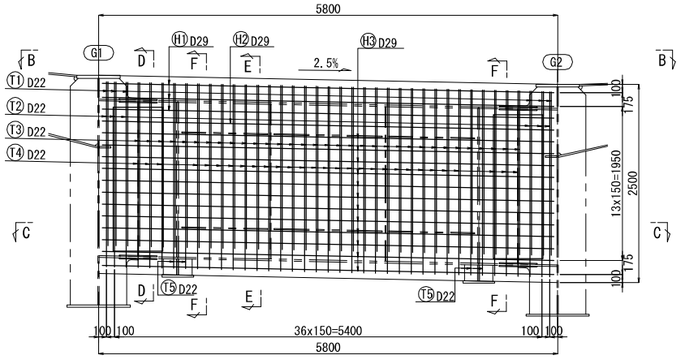
注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。
2.コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3.鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用すること。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 巻き立てコンクリート（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

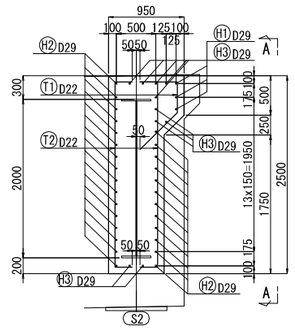
土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリート（２）　S=1:75

S2

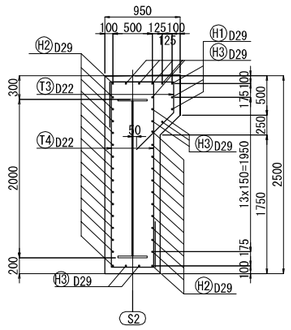
A － A



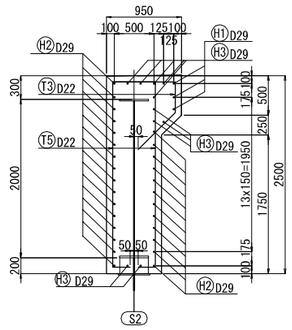
D － D



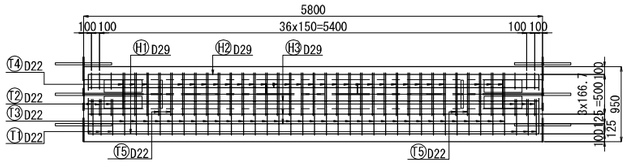
E － E



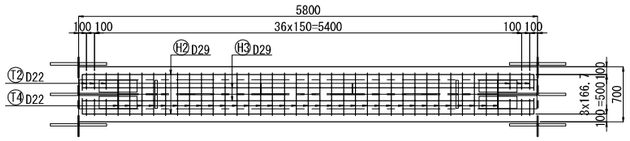
F － F

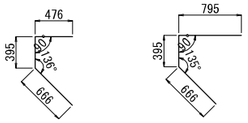


B － B

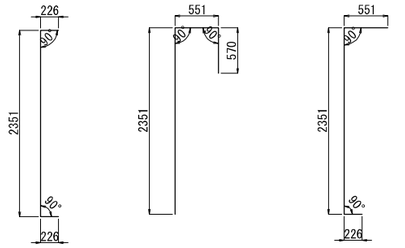


C － C

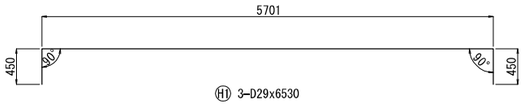




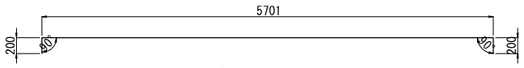
T1 6-D22x1510　　T3 33-D22x1830



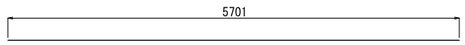
T2 12-D22x2750　　T4 58-D22x3420　　T5 8-D22x3080



H1 3-D29x6530

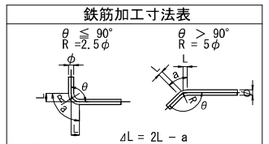


H2 28-D29x6030



H3 10-D29x5710

鉄筋加工寸法表

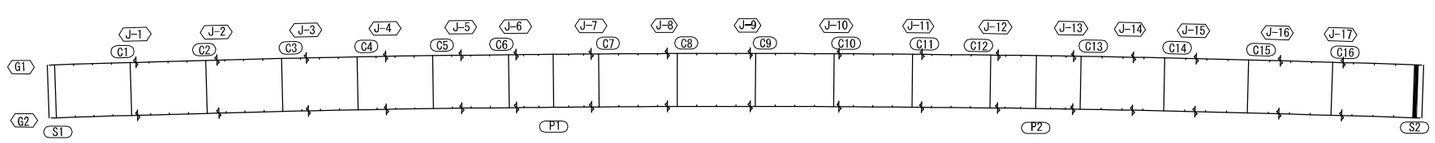


径	θ = 90°			θ = 135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D19	57	89	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D29	87	137	37	159.5	125	7

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
H1	D29	6530	3	5.04	32.9	99	
H2	D29	6030	28	5.04	30.4	851	
H3	D29	5710	10	5.04	28.8	288	
T1	D22	1510	6	3.04	4.59	28	
T2	D22	2750	12	3.04	8.36	100	
T3	D22	1830	33	3.04	5.56	183	
T4	D22	3420	58	3.04	10.4	603	
T5	D22	3080	8	3.04	9.36	75	
					合　計	2227 kg	
		鉄筋A(E)		D22 (SD345)		989 kg	
		鉄筋A(E)		D29 (SD345)		1238 kg	
		鉄筋A(E)		合　計		2227 kg	

配 置 図　S=1:650



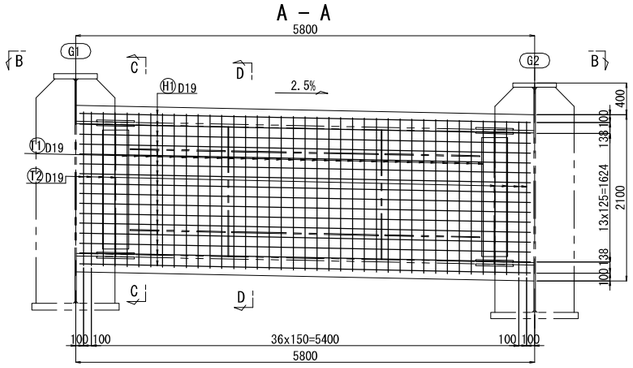
注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。
2.コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3.鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用すること。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 巻き立てコンクリート（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

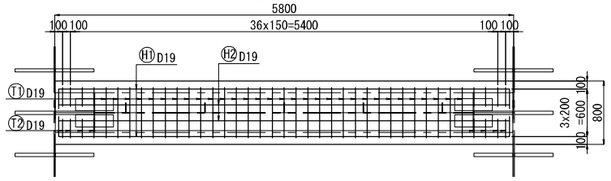
土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリート（３）　S=1:75

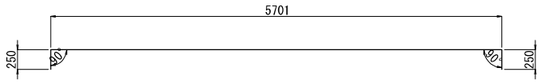
P1,P2

A － A

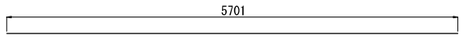


B － B



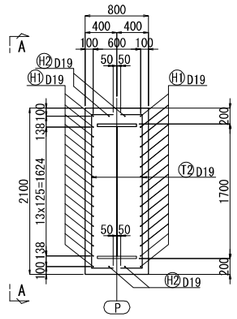


H1 32-D19x6160

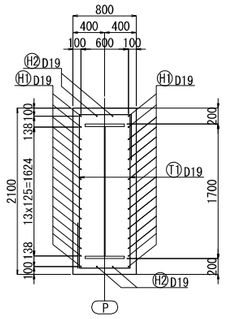


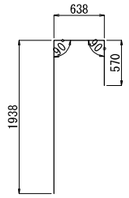
H2 4-D19x5710

C － C

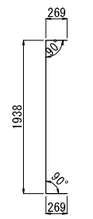


D － D





T1 62-D19x3100

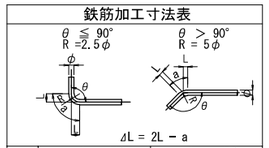


T2 16-D19x2430

鉄筋表(P1,P2)　　(1箇所当たり)

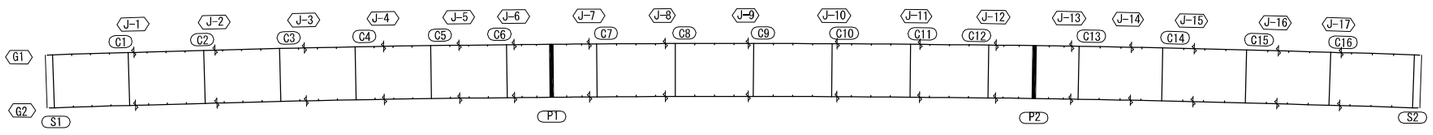
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
H1	D19	6160	32	2.25	13.9	445	
H2	D19	5710	4	2.25	12.8	51	
T1	D19	3100	62	2.25	6.98	433	
T2	D19	2430	16	2.25	5.47	88	
					合　計	1017 kg	
		鉄筋A		D19 (SD345)		1017 kg	
		鉄筋A		合　計		1017 kg	

鉄筋加工寸法表



径	θ = 90°			θ = 135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D19	57	90	24	104.5	82	4

配 置 図　S=1:650



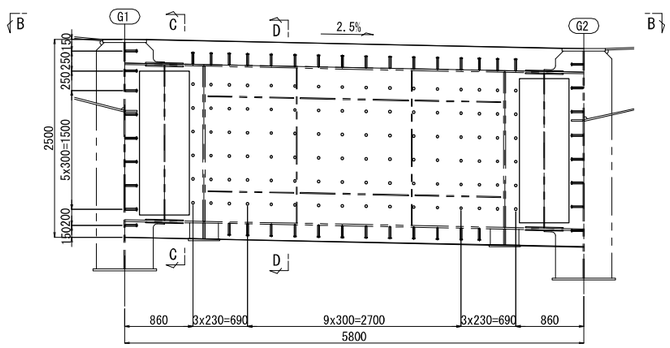
注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。
2.コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 巻き立てコンクリート（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリートスタッド配置図（１）　S=1:75

S1

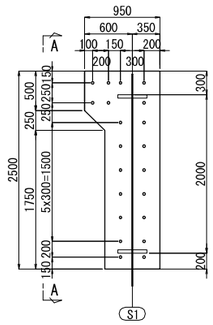
A － A



56-STUD φ22x150(SS400)
※ 21-STUD φ22x150(SS400)　192-STUD φ22x150(SS400)　※ 21-STUD φ22x150(SS400)

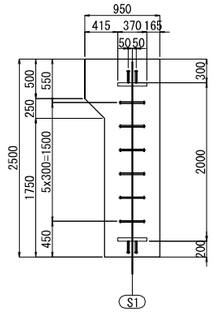
横桁付スタッド

C － C

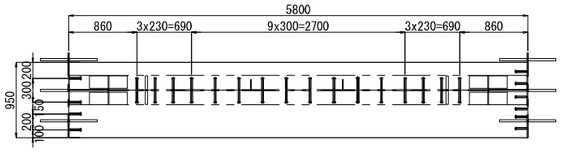


主桁付スタッド

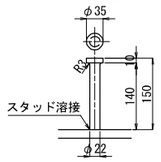
D － D



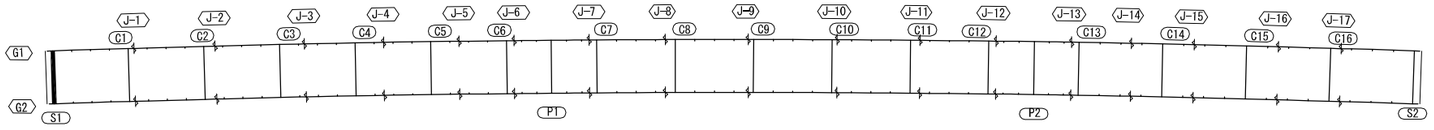
B － B



スタッド詳細 S=1:5



配 置 図 S=1:650



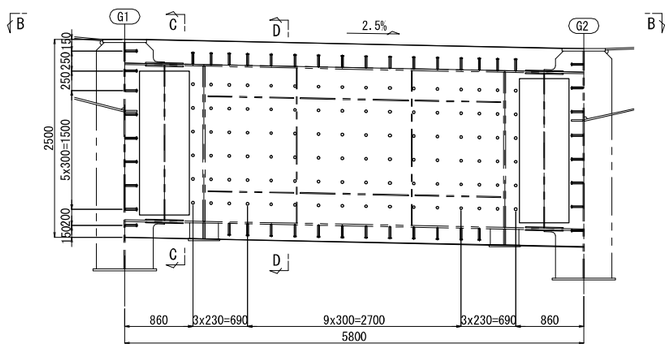
注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。
2.※印付きの数量は主桁にて計上のこと。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（銅上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 巻き立てコンクリートスタッド配置図（１）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリートスタッド配置図（２）　S=1:75

S2

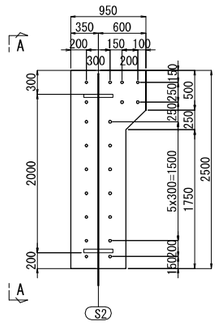
A － A



56-STUD φ22x150(SS400)
※ 21-STUD φ22x150(SS400)　192-STUD φ22x150(SS400)　※ 21-STUD φ22x150(SS400)

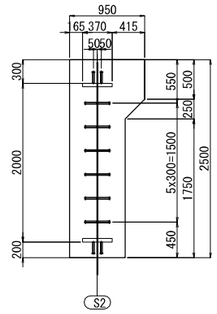
横桁付スタッド

C － C

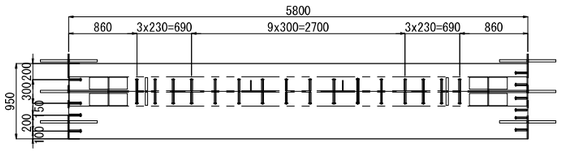


主桁付スタッド

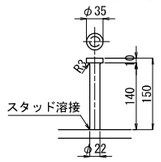
D － D



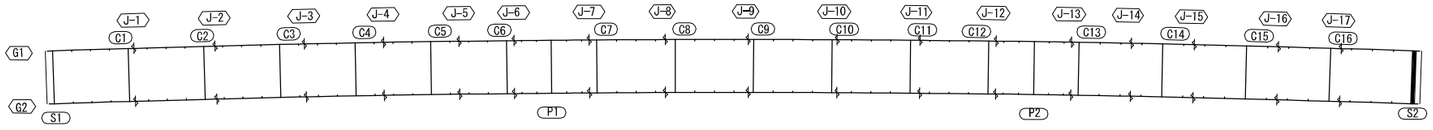
B － B



スタッド詳細 S=1:5



配 置 図 S=1:650



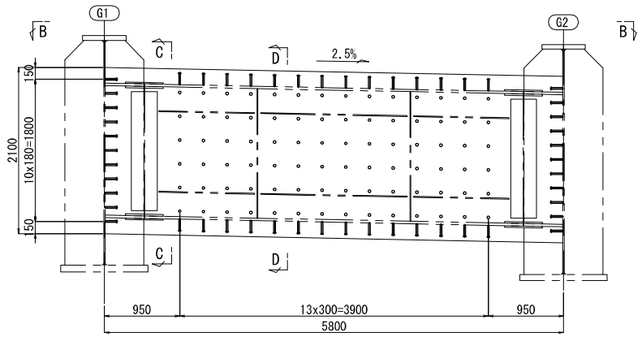
注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。
2.※印付きの数量は主桁にて計上のこと。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 巻き立てコンクリートスタッド配置図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　巻き立てコンクリートスタッド配置図（３）　S=1:75

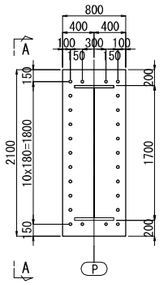
P1 P2

A － A

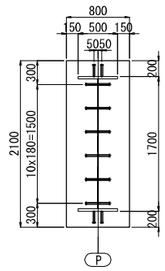


56-STUD φ22x150(SS400)
※ 26-STUD φ22x150(SS400)　168-STUD φ22x150(SS400)　※ 26-STUD φ22x150(SS400)

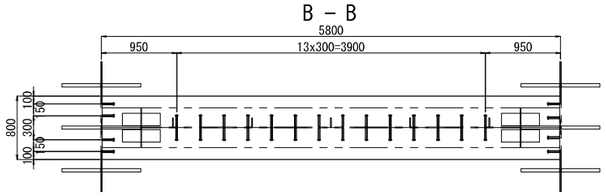
横桁付スタッド C － C



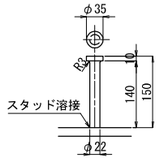
主桁付スタッド D － D



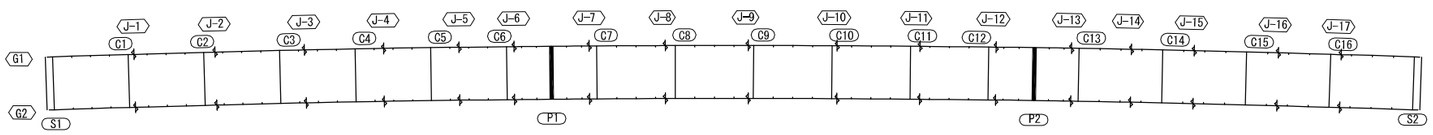
B － B



スタッド詳細 S=1:5



配 置 図 S=1:650

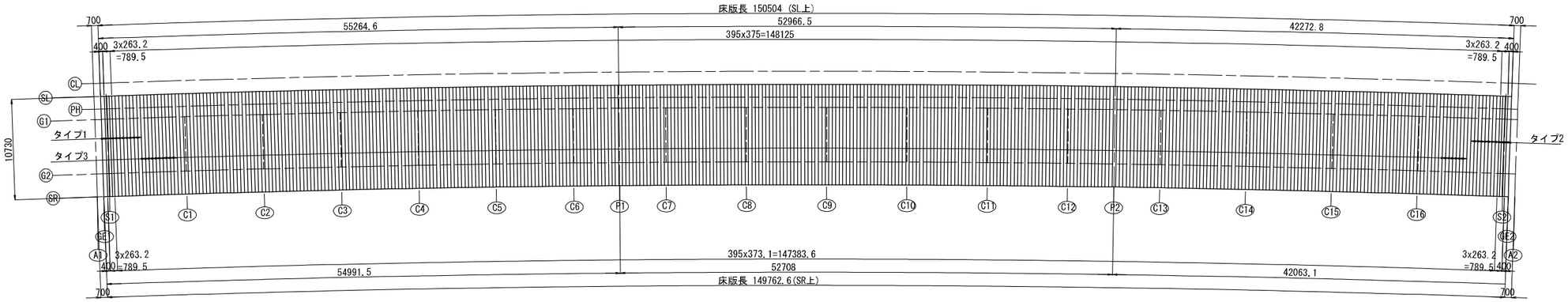


注記
1.鉄筋の材質は、全てSD345とする。
2.※印付きの数量は主桁にて計上のこと。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 巻き立てコンクリートスタッド配置図（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

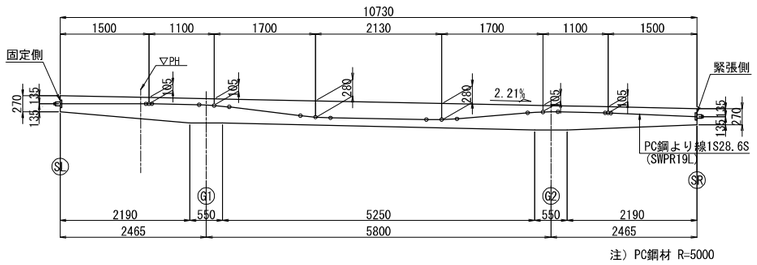
土渕橋（上り線）　PC鋼材配置図 S=1:500

平面図

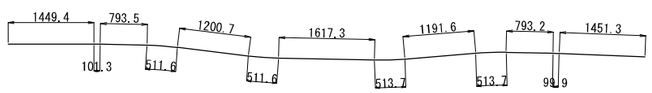


断面図 S=1:100

S1側桁端部
タイプ1

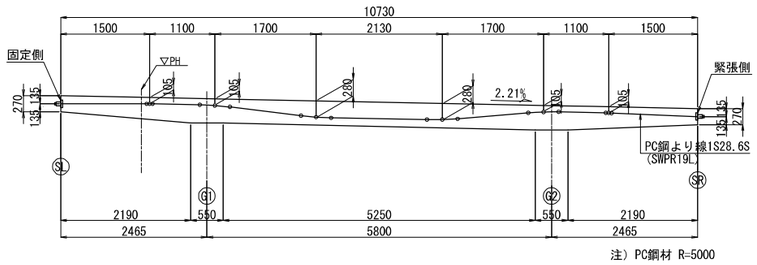


加工図

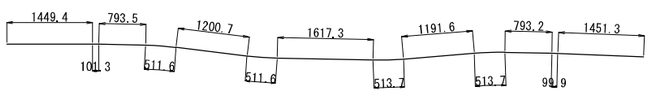


12 － 1S28.6S x 10749

S2側桁端部
タイプ2

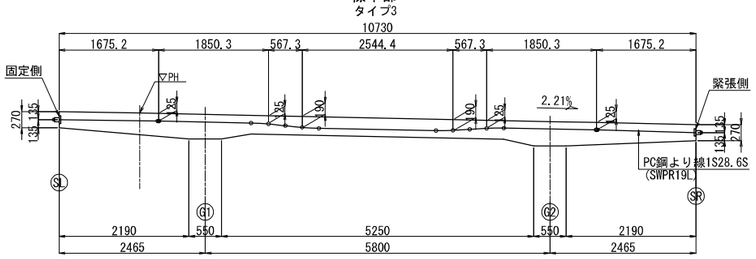


加工図

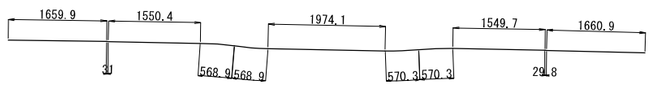


12 － 1S28.6S x 10749

標準部
タイプ3

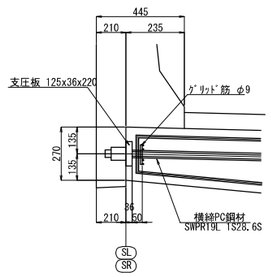


加工図

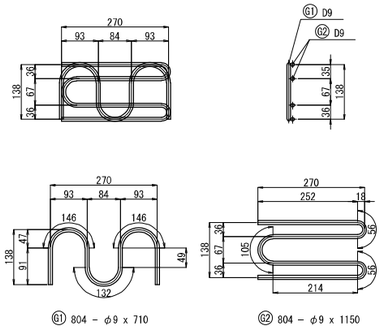


378 － 1S28.6S x 10734

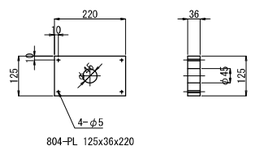
横締定着部詳細図 S=1:30



グリッド筋 S=1:30



長方形支圧板 S=1:30



グリッド筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
G1	D9	710	804	0.499	0.354	285	
G2	D9	1150	804	0.499	0.574	461	
					延長合計	1495 m	
					合計	746 kg	

PC鋼材質量表

1S28.6S

記号	長さ (m)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	延長 (m)	質量 (kg)	摘要
タイプ1	10.749	12	4.23	129.0	545.7	
タイプ2	10.749	12	4.23	129.0	545.7	
タイプ3	10.734	378	4.23	4057.5	17163.2	平均長
				延長合計	4315.5 m	
				質量合計	18254.6 kg	

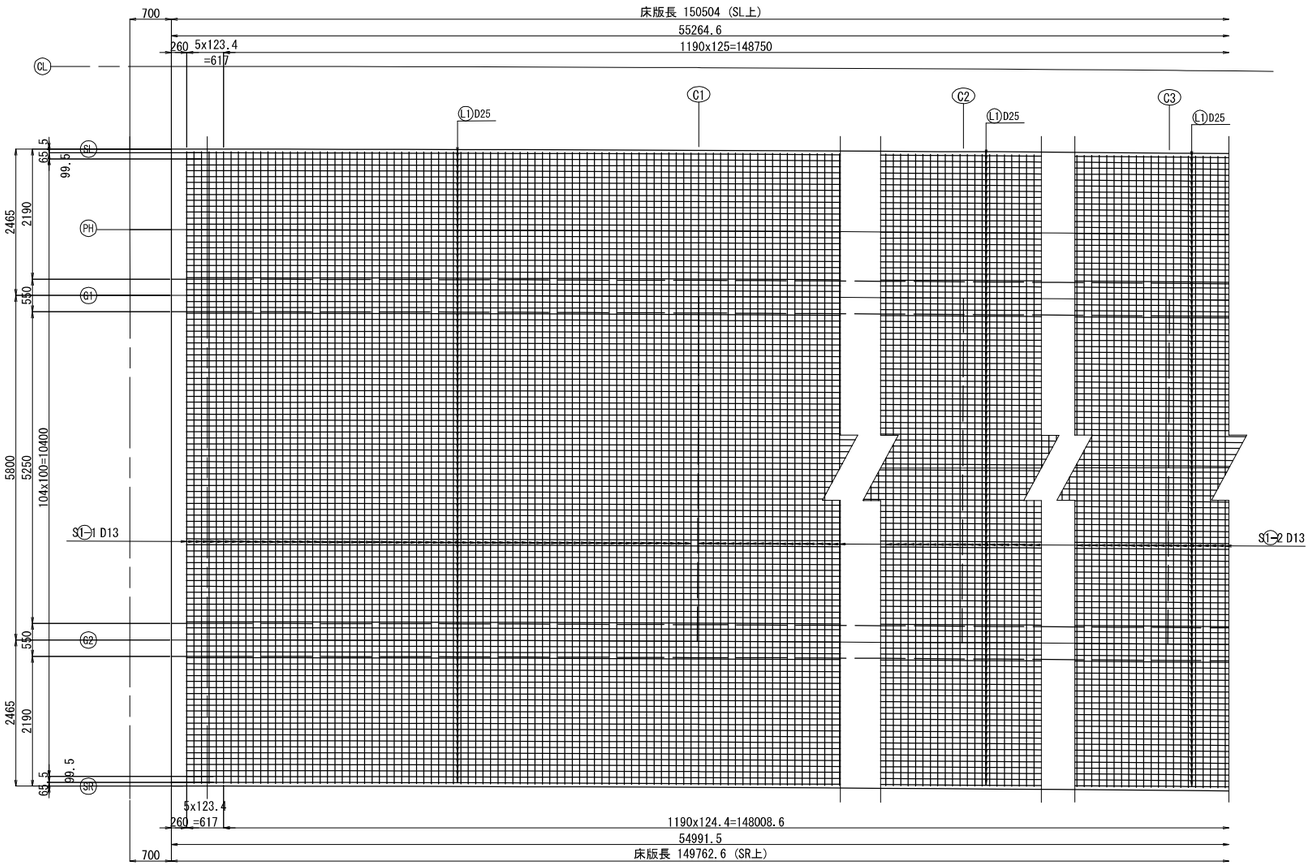
※PC鋼材は、SL側を固定、SR側を緊張とする。(右引き)

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） PC鋼材配置図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

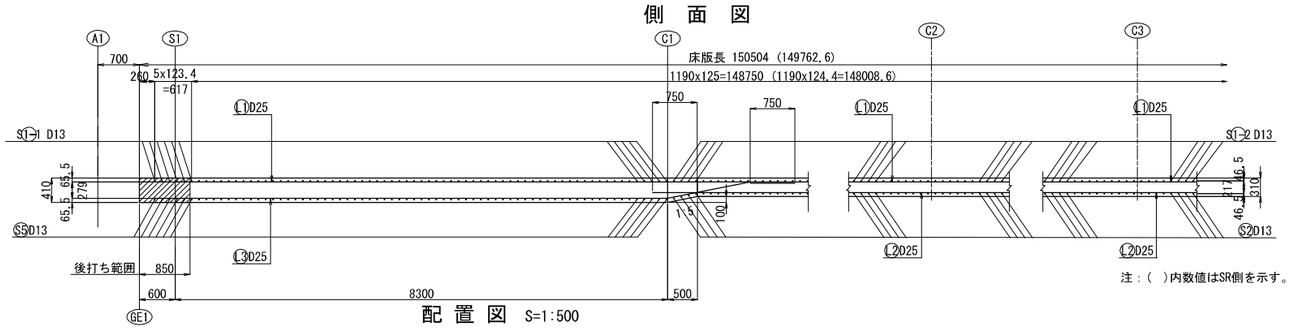
土渕橋（上り線）　床版配筋図（１）

S=1:100

上面

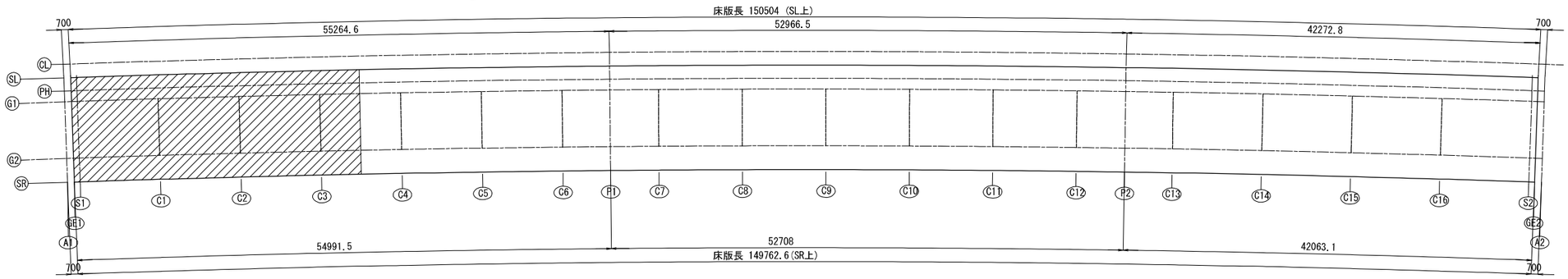


側　面　図

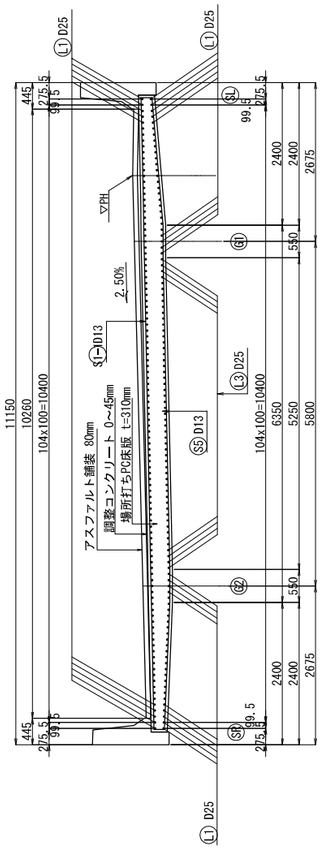


注：（　）内数値はSR側を示す。

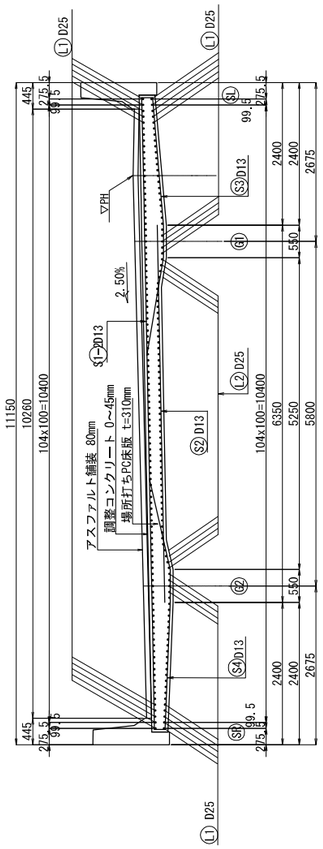
配　置　図　S=1:500



桁端部断面図（S1）



中間部断面図(C1～C16)



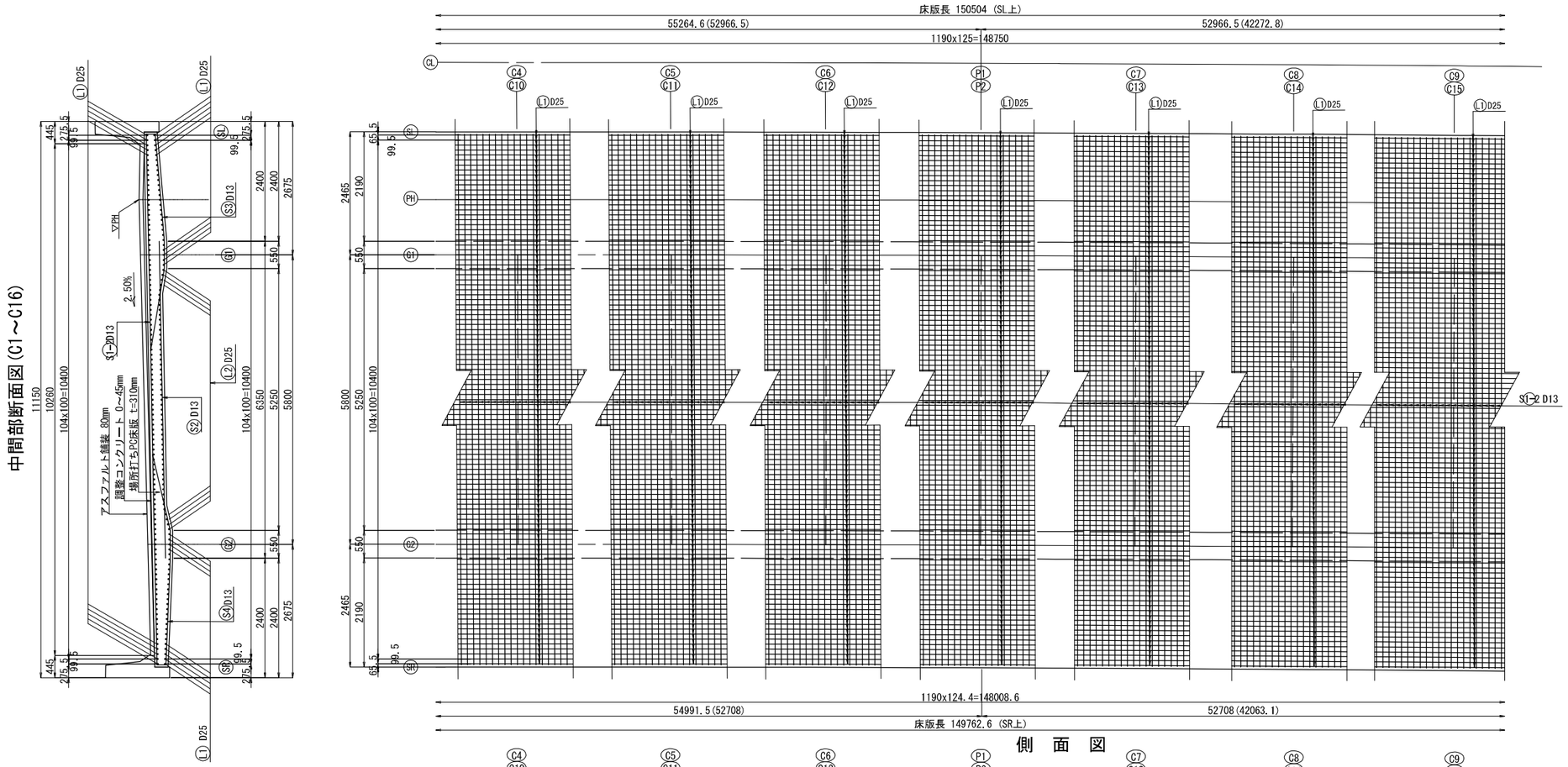
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

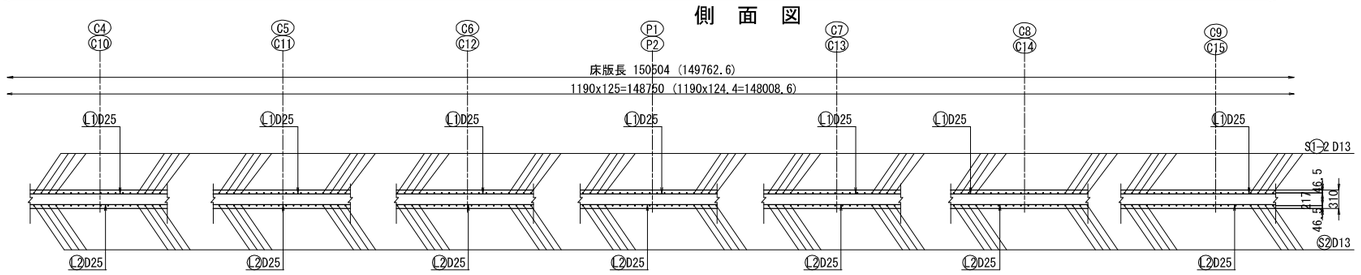
土渕橋（上り線）　床版配筋図（２）

S=1:100

上面

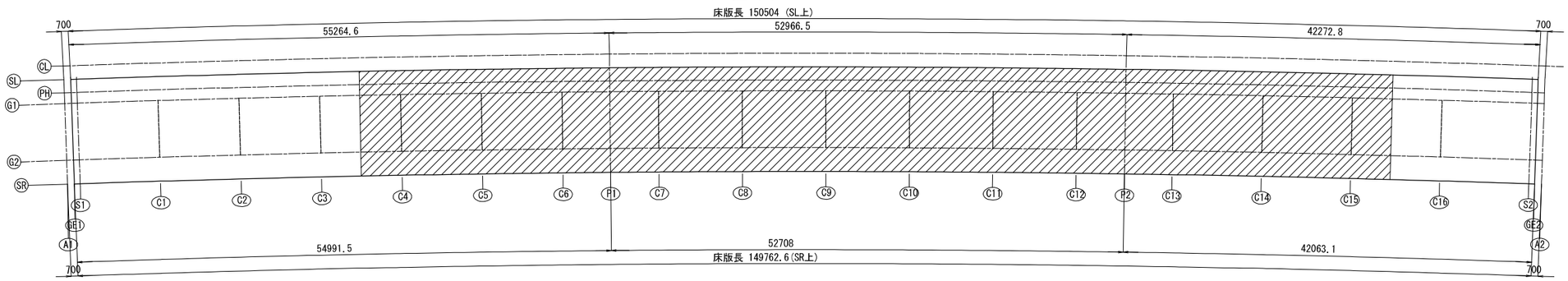


側　面　図



注：（　）内数値はSR側を示す。

配　置　図　S=1:500



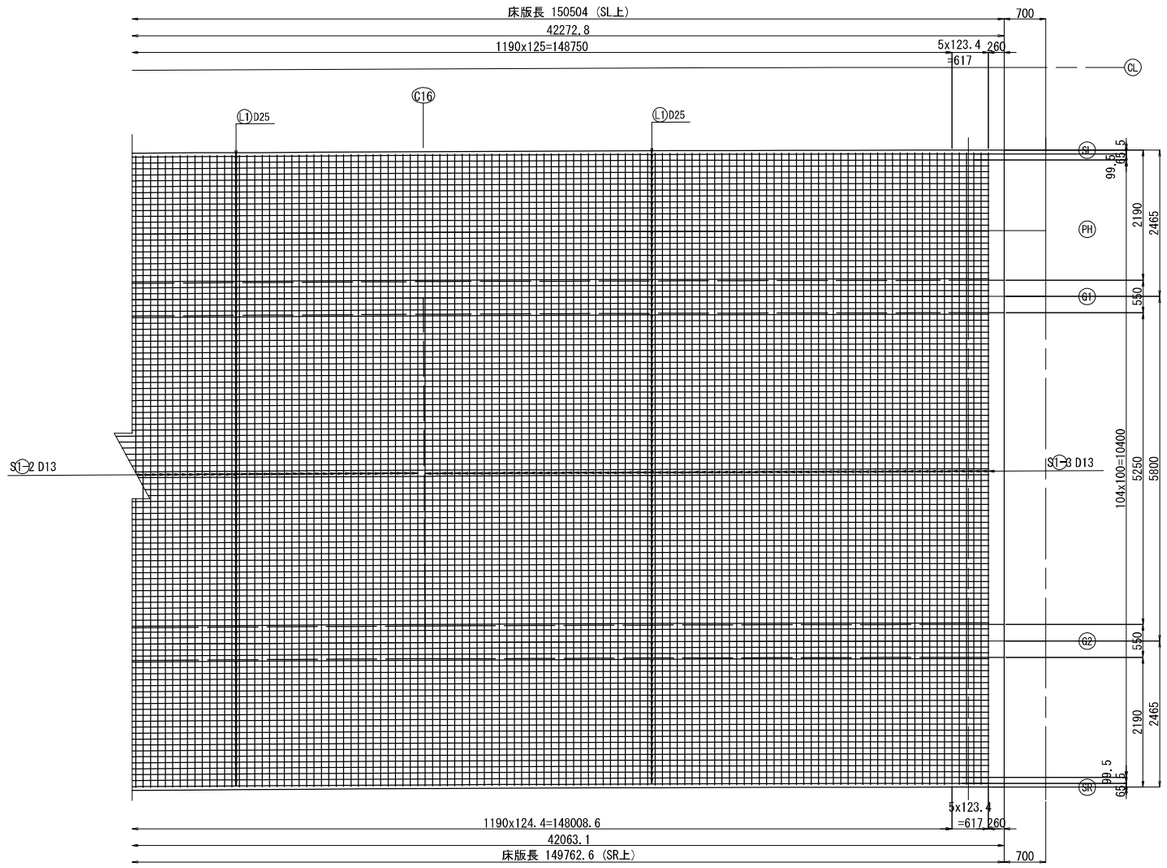
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

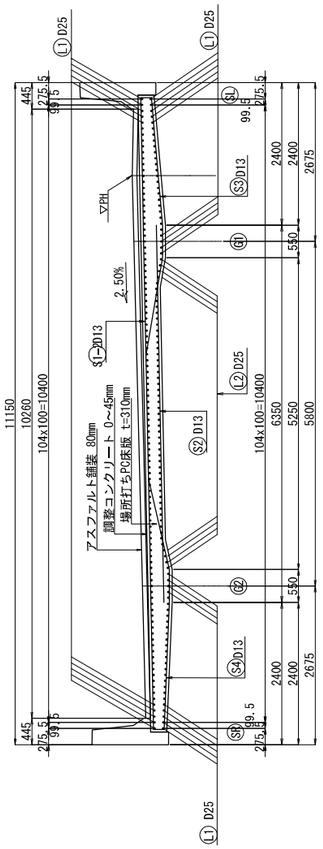
土渕橋（上り線）　床版配筋図（3）

S=1:100

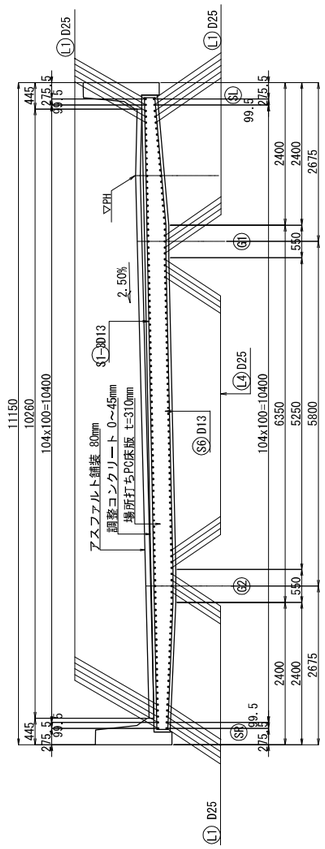
上面



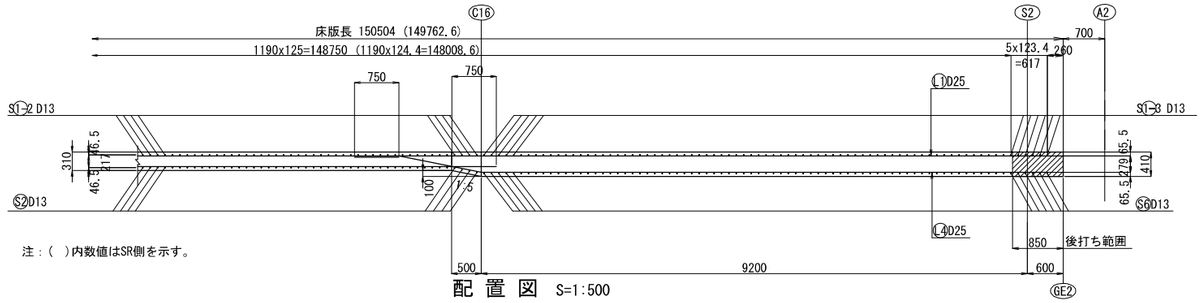
中間部断面図(C1～C16)



桁端部断面図（S2）

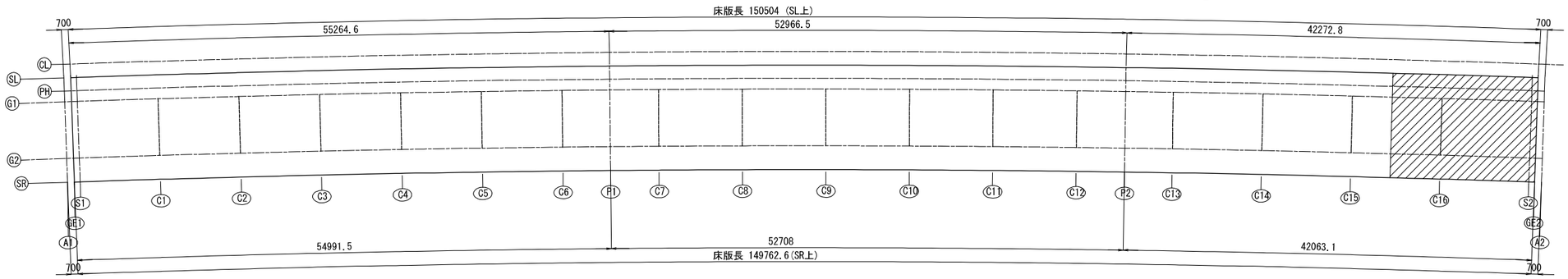


側　面　図



注：(　)内数値はSR側を示す。

配　置　図　S=1:500



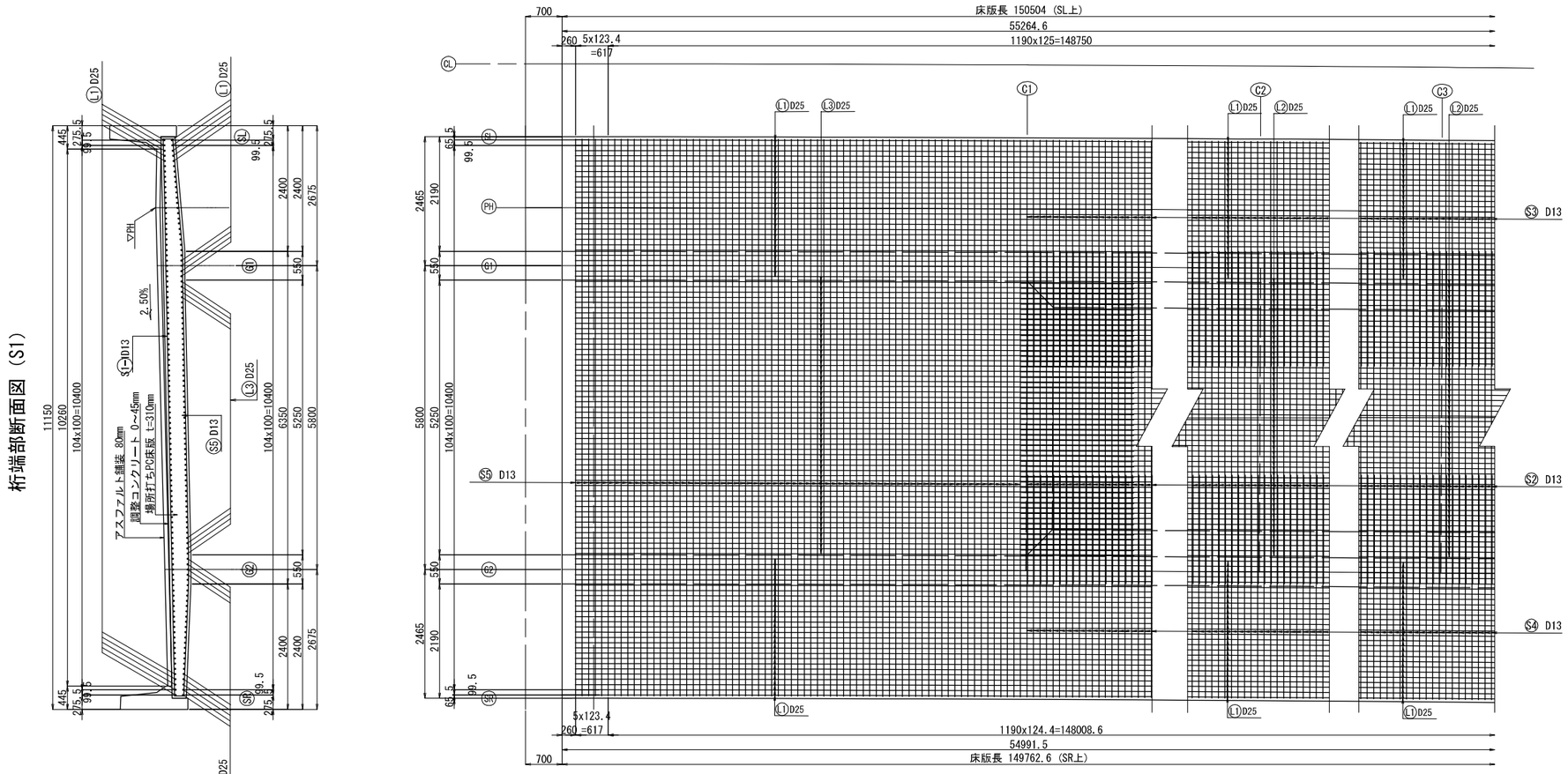
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

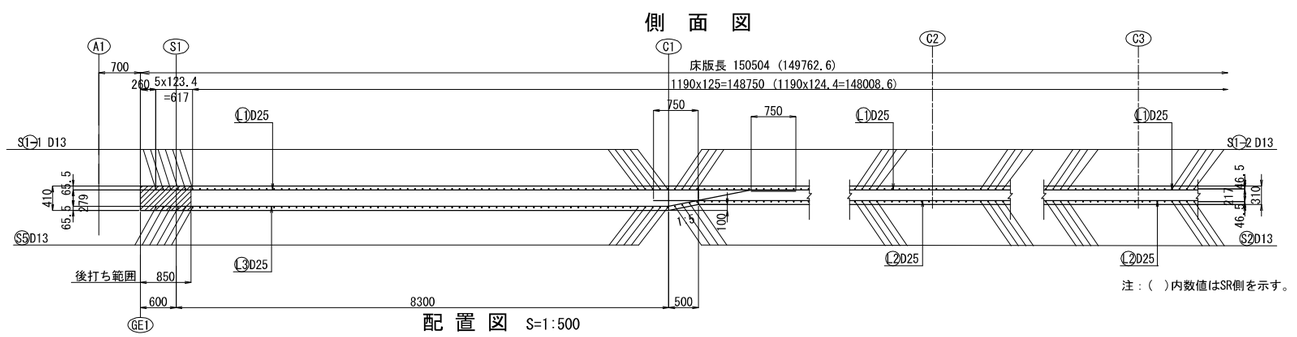
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（3）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　床版配筋図（4）

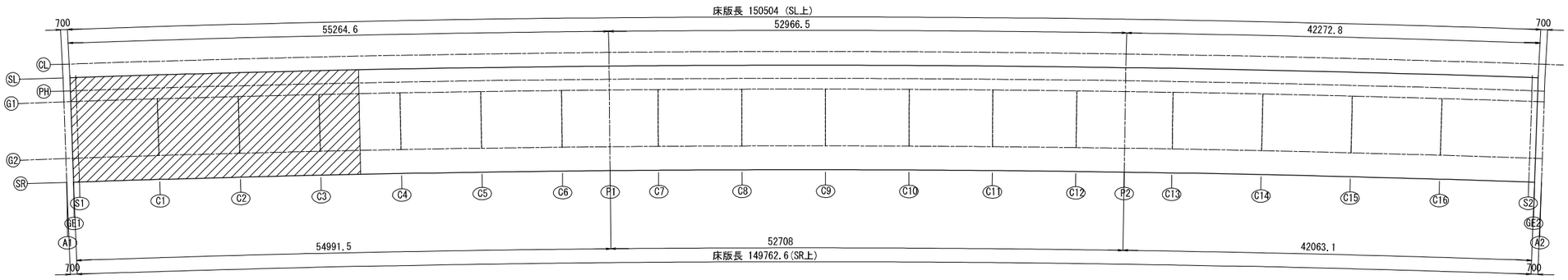
S=1:100

下面





配　置　図　S=1:500



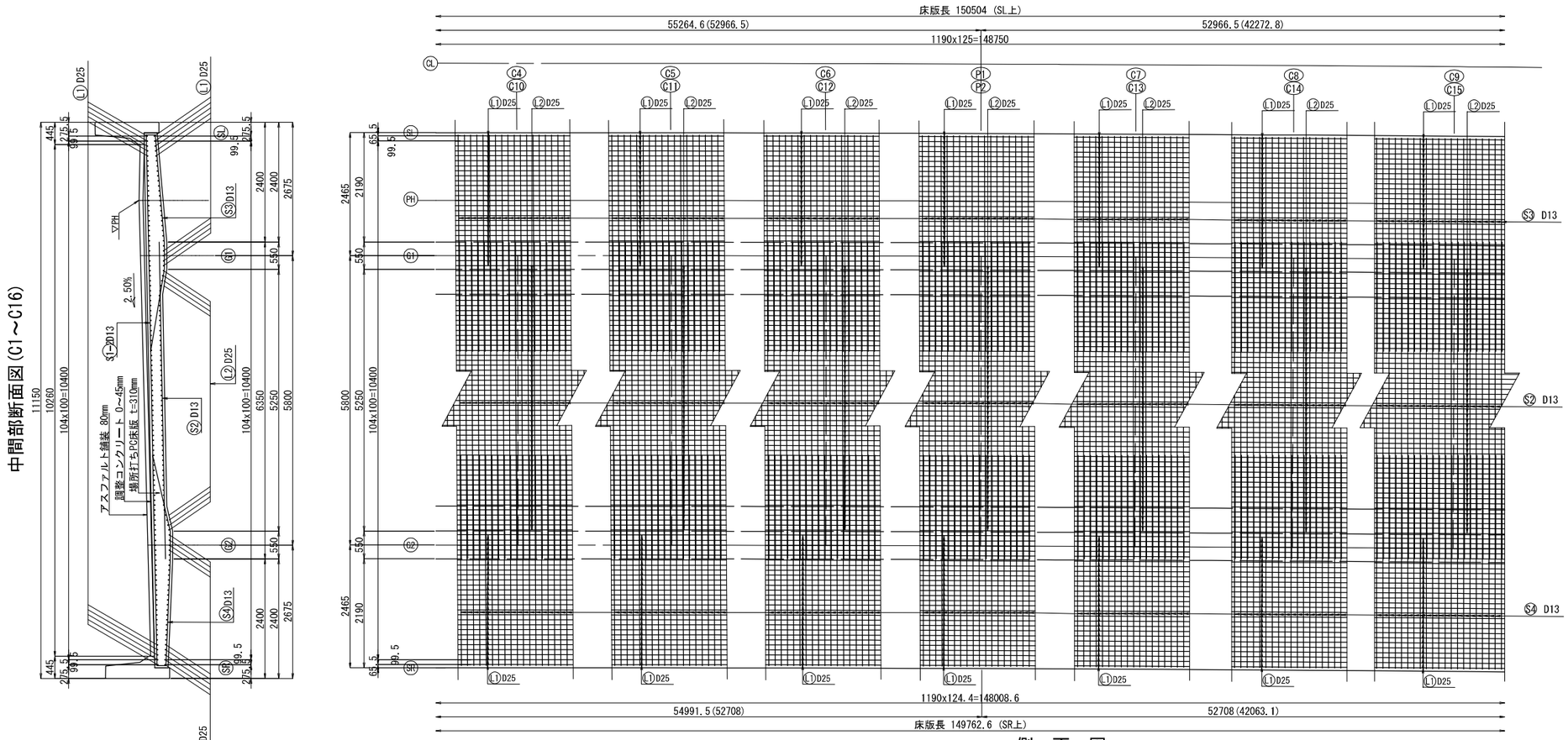
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（4）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

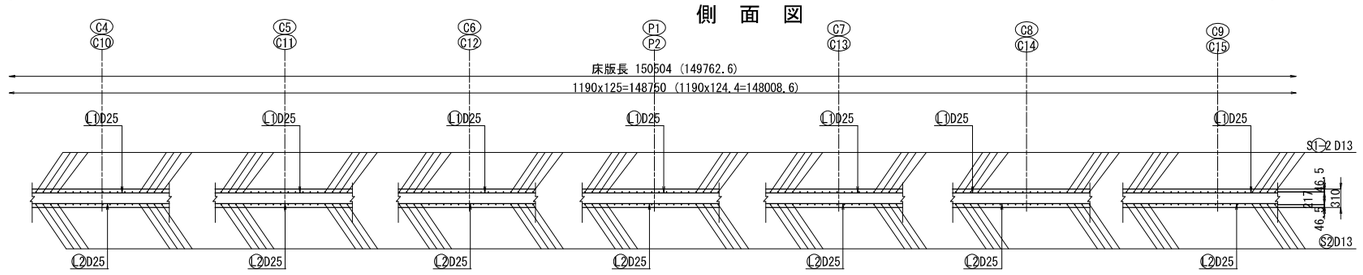
土渕橋（上り線）　床版配筋図（５）

S=1:100

下面

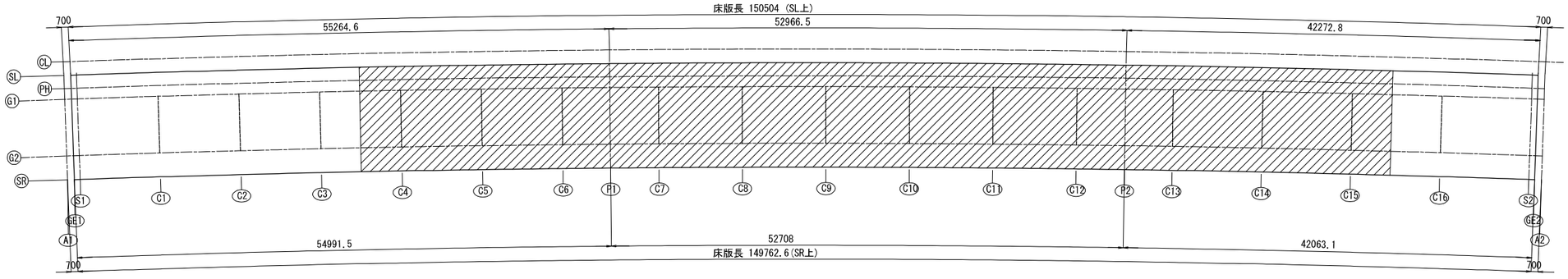


側　面　図



注：（　）内数値はSR側を示す。

配　置　図　S=1:500



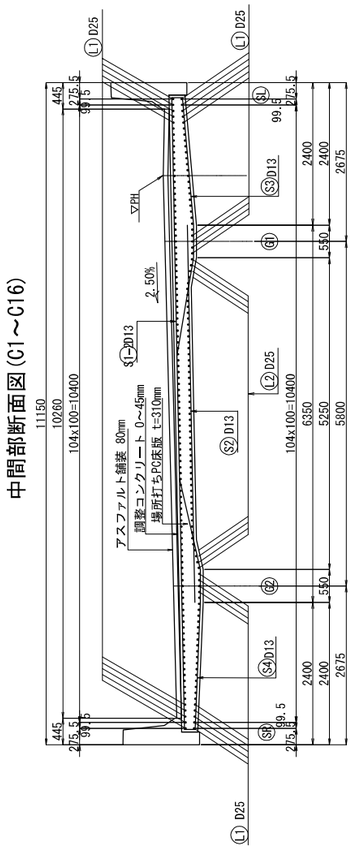
注記
1. すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

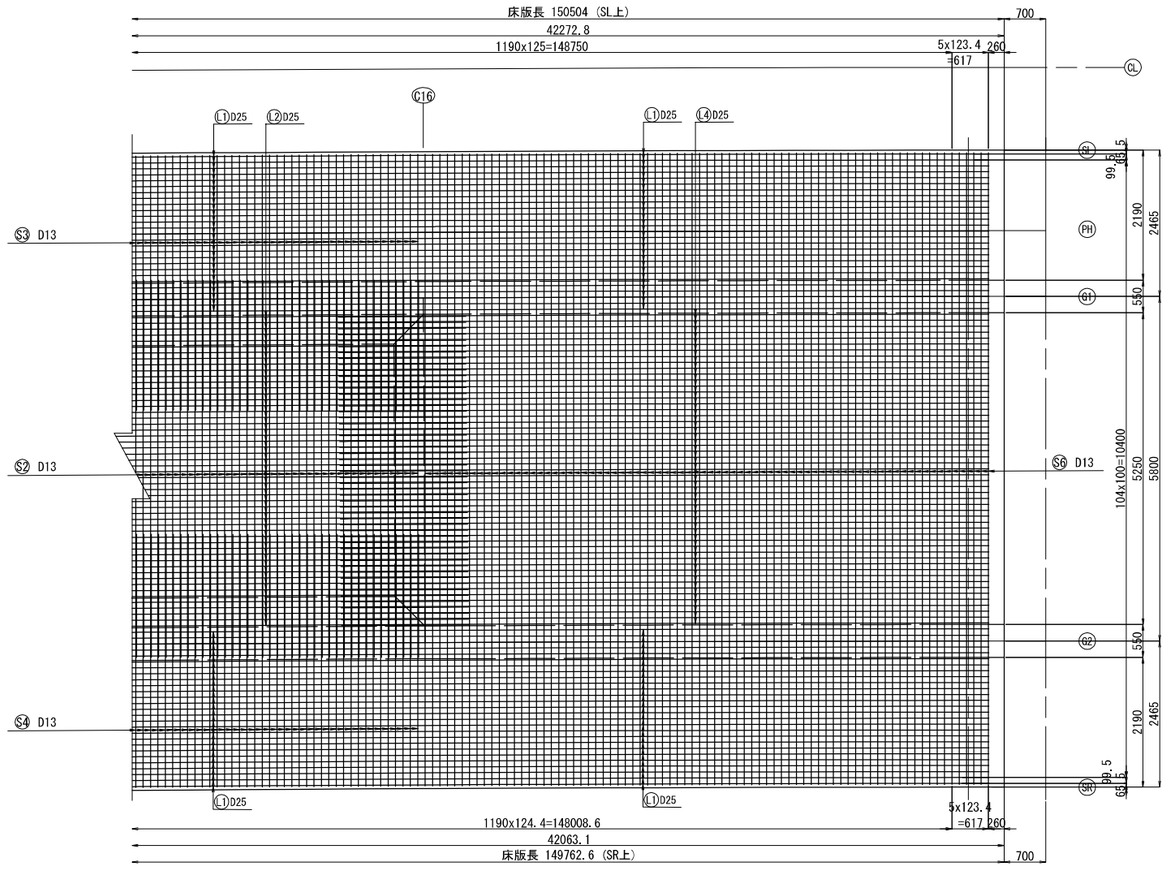
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（５）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

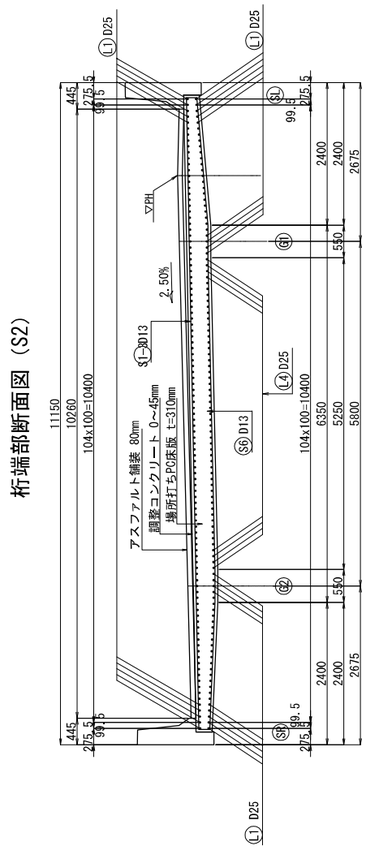
土渕橋（上り線）　床版配筋図（6）

S=1:100

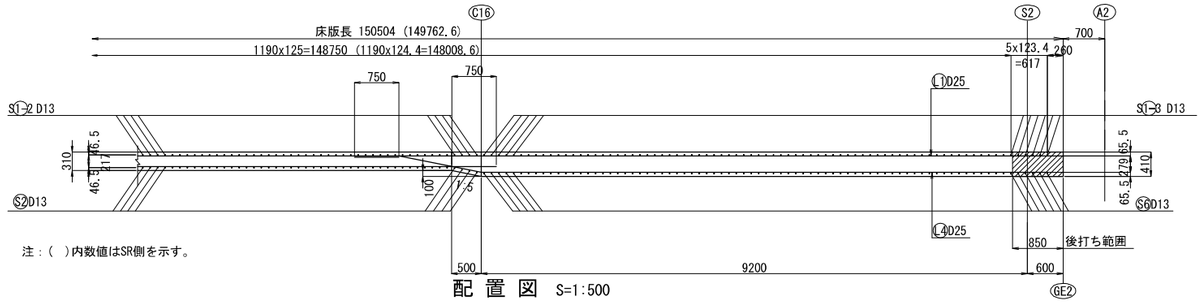
下面





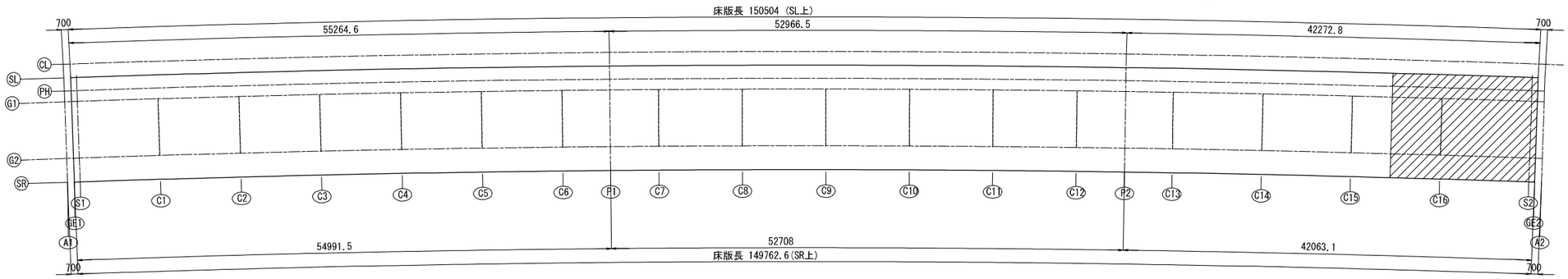


側　面　図



注：(　)内数値はSR側を示す。

配　置　図　S=1:500



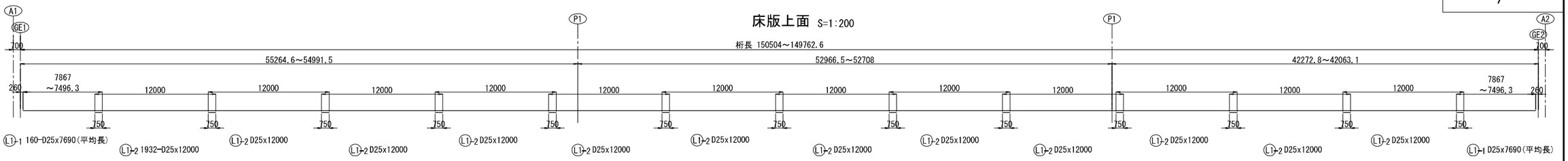
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

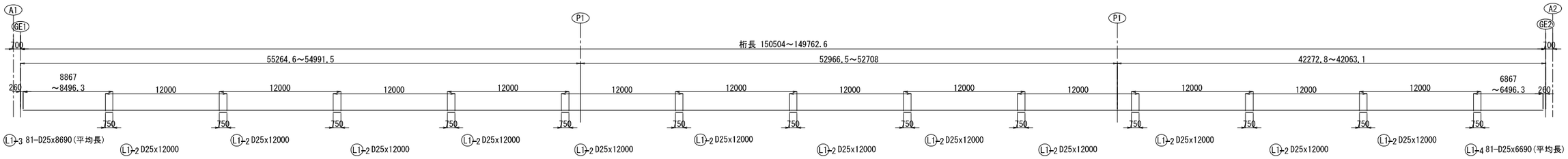
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（6）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　床版配筋図（７）

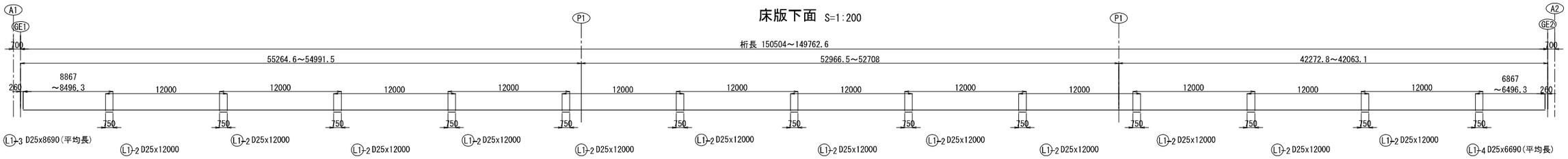
S=1:100

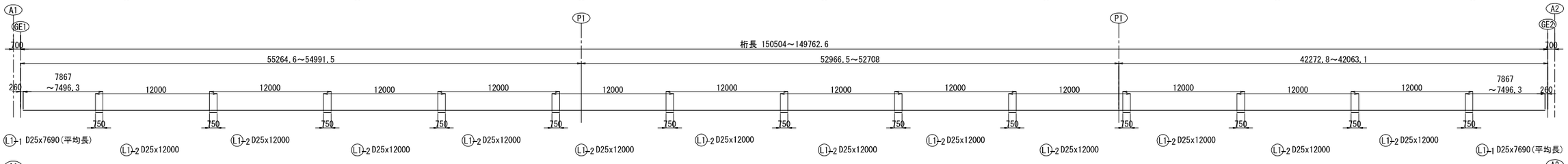
床版上面 S=1:200

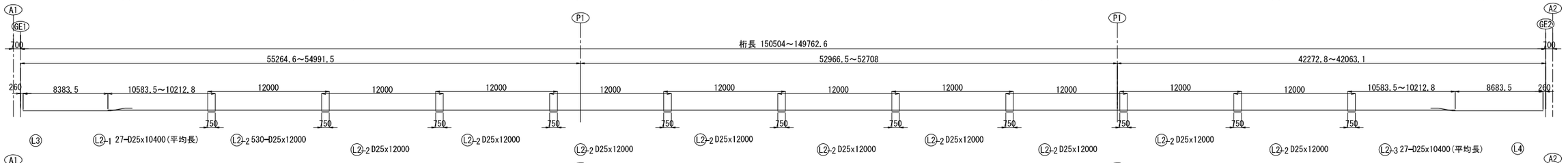


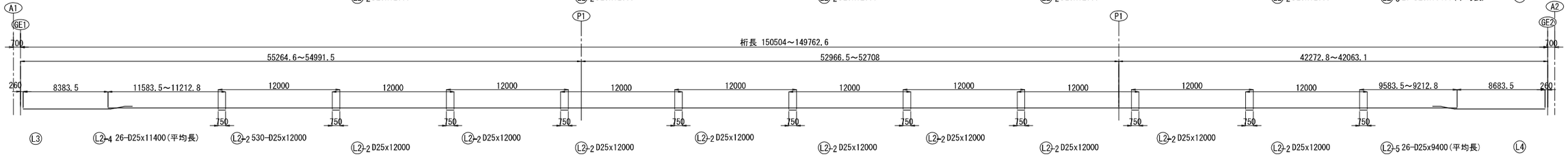


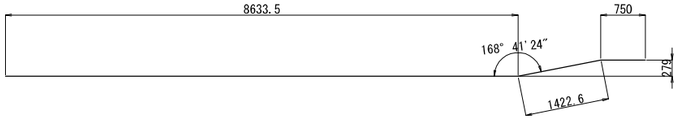
床版下面 S=1:200











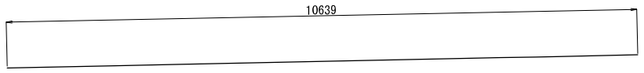
L3 53-D25x10810

L4 53-D25x11110

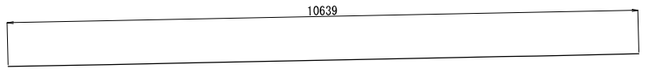
注記
1. すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 床版配筋図（７）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

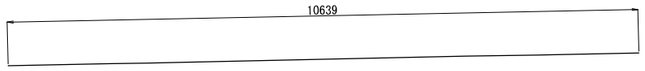
土渕橋（上り線）　床版配筋図（８）　S=1:100



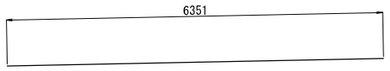
S1-1　70-D13x10640



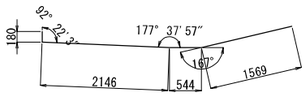
S1-2　1054-D13x10640



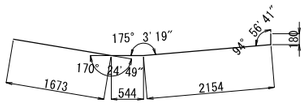
S1-3　77-D13x10640



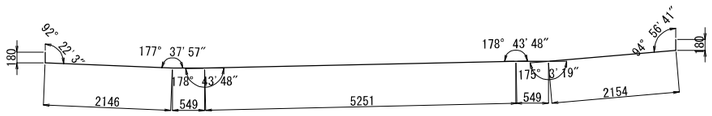
S2　1054-D13x6360



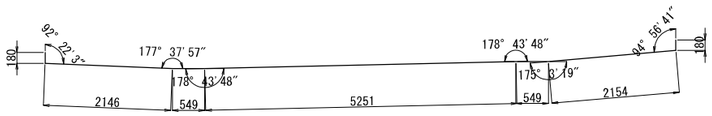
S4　1054-D13x4420



S3　1054-D13x4530



S5　70-D13x10960

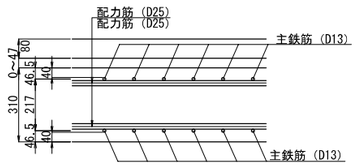


S6　77-D13x10960

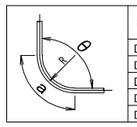
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1-1	D13	10640	70	0.995	10.6	742	
S1-2	D13	10640	1504	0.995	10.6	15942	
S1-3	D13	10640	77	0.995	10.6	816	
S2	D13	6360	1054	0.995	6.33	6672	
S3	D13	4530	1054	0.995	4.51	4754	
S4	D13	4420	1054	0.995	4.40	4638	
S5	D13	10960	70	0.995	10.9	763	
S6	D13	10960	77	0.995	10.9	839	
L1-1	D25	7690	160	3.98	30.6	4896	平均長
L1-2	D25	12000	1932	3.98	47.8	92350	
L1-3	D25	8690	81	3.98	34.6	2803	平均長
L1-4	D25	6690	81	3.98	26.6	2155	平均長
L2-1	D25	10400	27	3.98	41.4	1118	平均長
L2-2	D25	12000	530	3.98	47.8	25334	
L2-3	D25	10400	27	3.98	41.4	1118	平均長
L2-4	D25	11400	26	3.98	45.4	1180	平均長
L2-5	D25	9400	26	3.98	37.4	972	平均長
L3	D25	10810	53	3.98	43.0	2279	
L4	D25	11110	53	3.98	44.2	2343	
						171714 kg	
				鉄筋A(E)	D25(SD345)	136548 kg	
				鉄筋A(E)	D13(SD345)	35166 kg	
				鉄筋A(E)	合計	171714 kg	

かぶり詳細図　S=1:25



鉄筋曲げ加工表



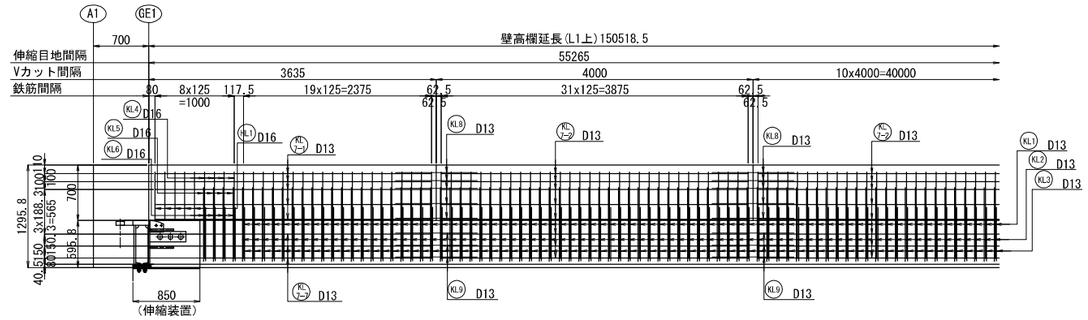
径	R=3φ	5.5φ	θ= 45°		θ= 60°		θ= 90°		θ=135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6

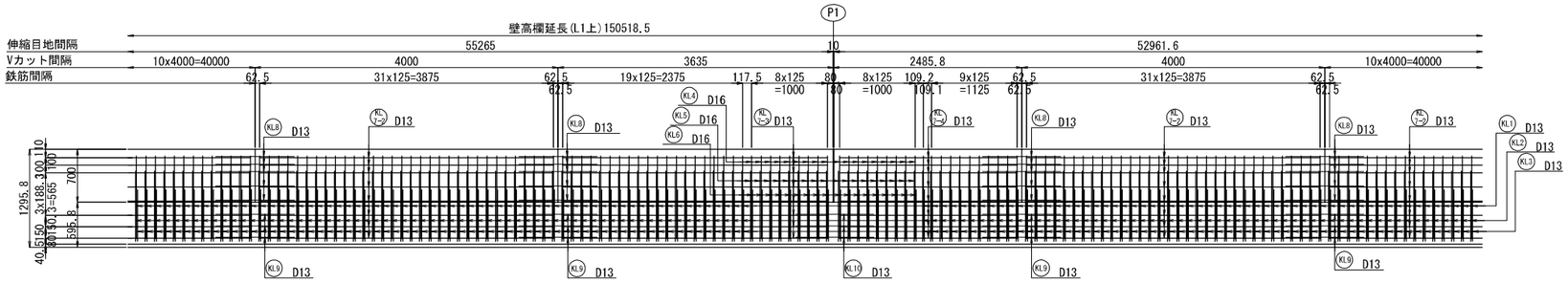
注記
1. すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

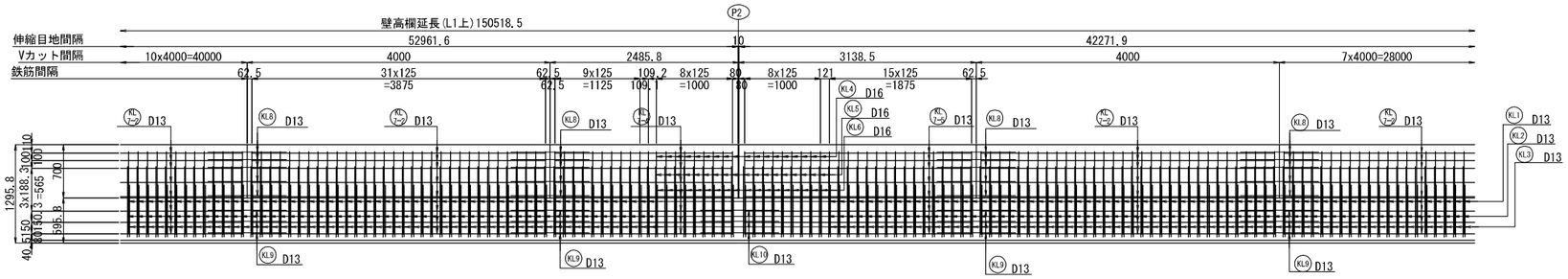
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋（上り線） 床版配筋図（８）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　壁高欄配筋図（１）　S=1:75

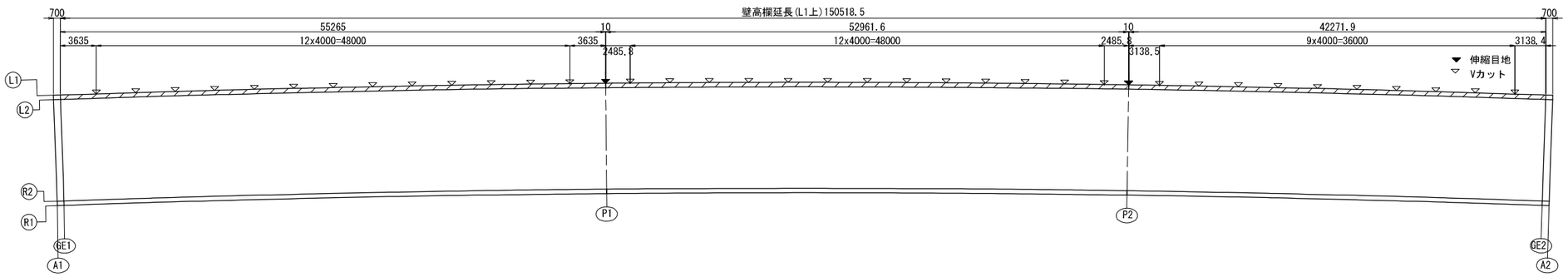
L側







位置図 S=1:500

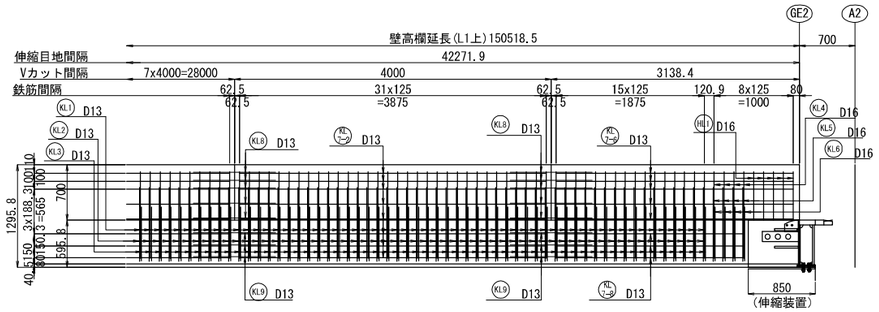


注記
1. すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 壁高欄配筋図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

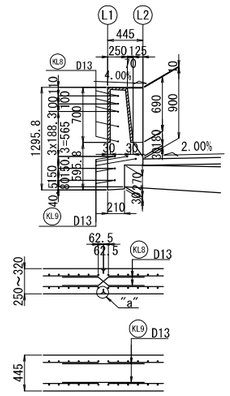
土渕橋（上り線）　壁高欄配筋図（２）　S=1:75

L側

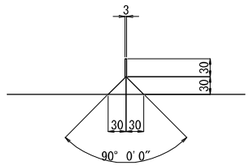


Vカット詳細図

個所:36

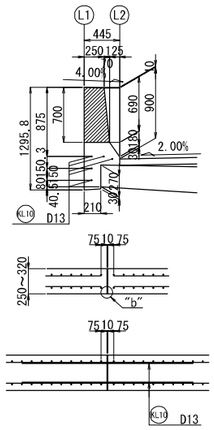


"a"部詳細図 S=1:10

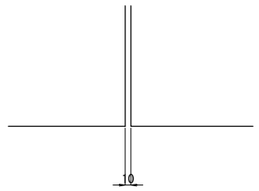


伸縮目地詳細図

個所:2

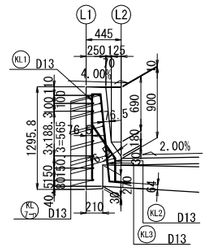


"b"部詳細図 S=1:10

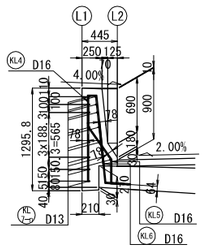


断 面 図

標準部

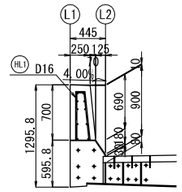


桁端部及び中間支点部

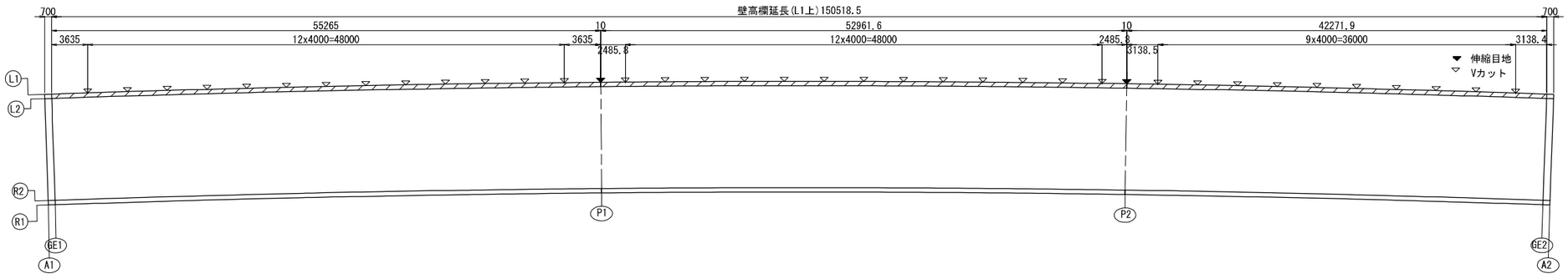


伸縮装置断面図

S1, S2



位置図 S=1:500



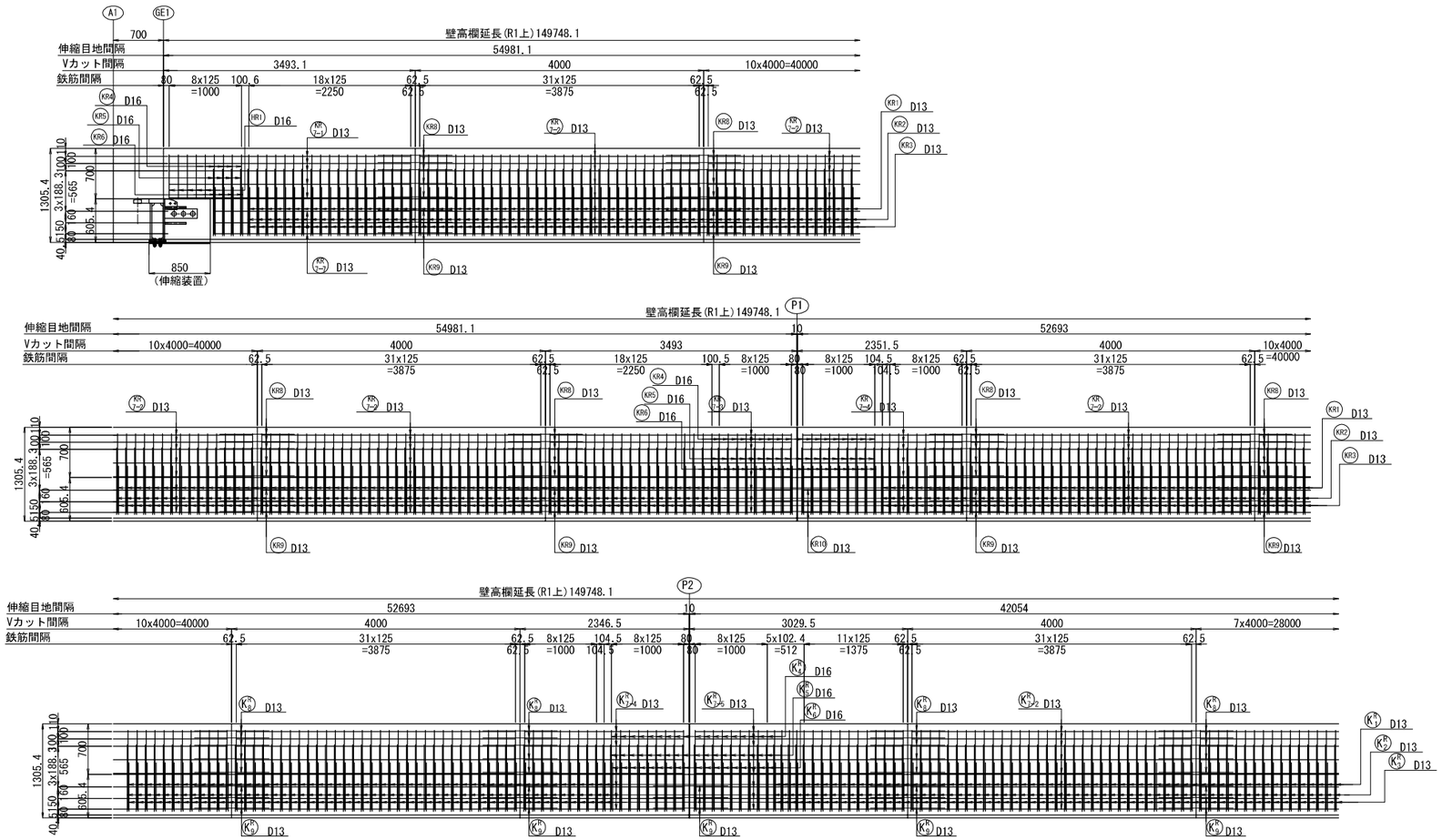
注記
1. すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 壁高欄配筋図（２）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

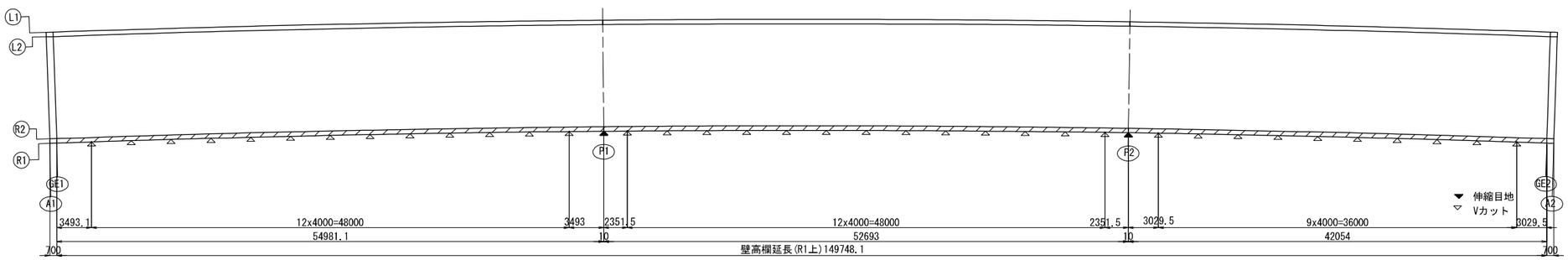
土渕橋（上り線）　壁高欄配筋図（３）

S=1:75

R側



位置図 S=1:500

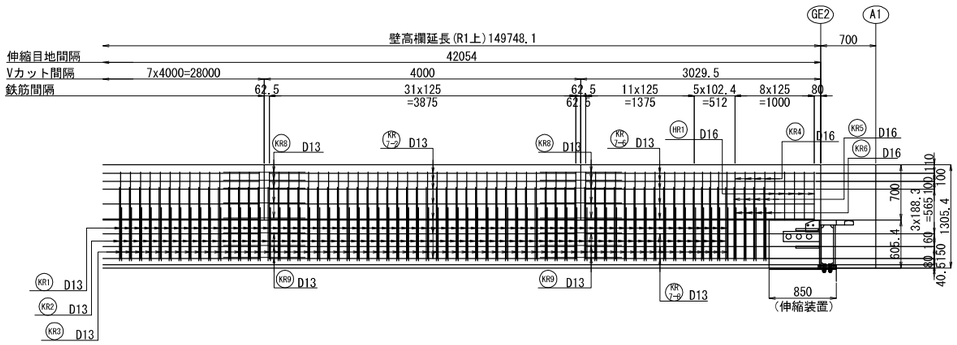


注記
1. すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（銅上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 壁高欄配筋図（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

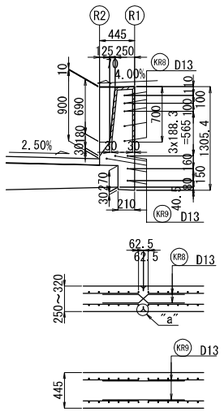
土渕橋（上り線）　壁高欄配筋図（４）　S=1:75

R側



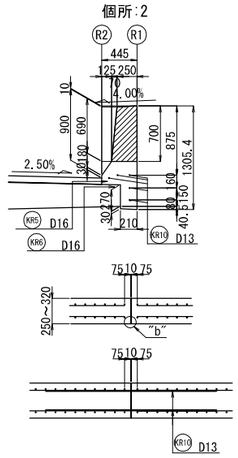
Vカット詳細図

個所:36



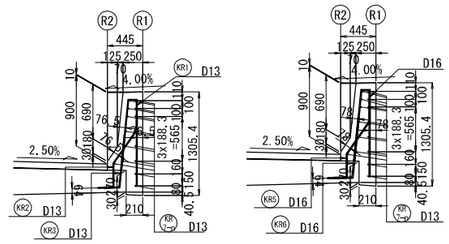
伸縮目地詳細図

個所:2



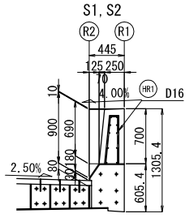
断 面 図

標準部　　桁端部及び中間支点部

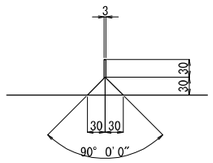


伸縮装置断面図

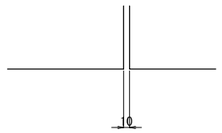
S1, S2



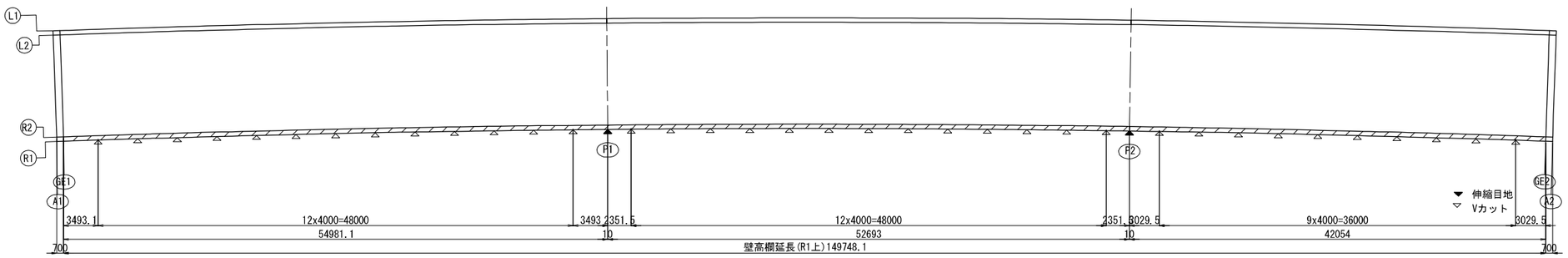
"a"部詳細図　S=1:10



"b"部詳細図　S=1:10



位置図　S=1:500



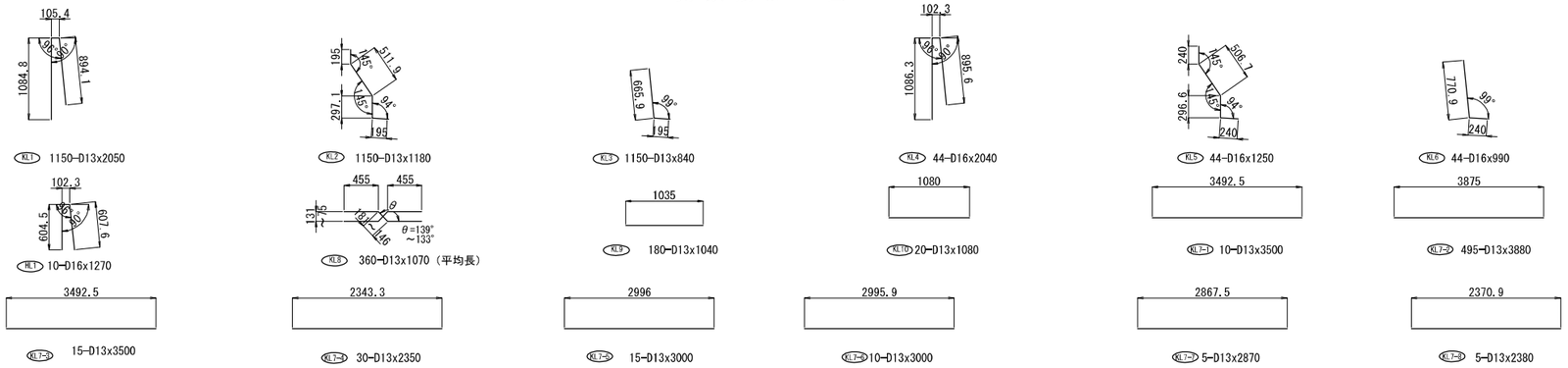
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 壁高欄配筋図（４）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

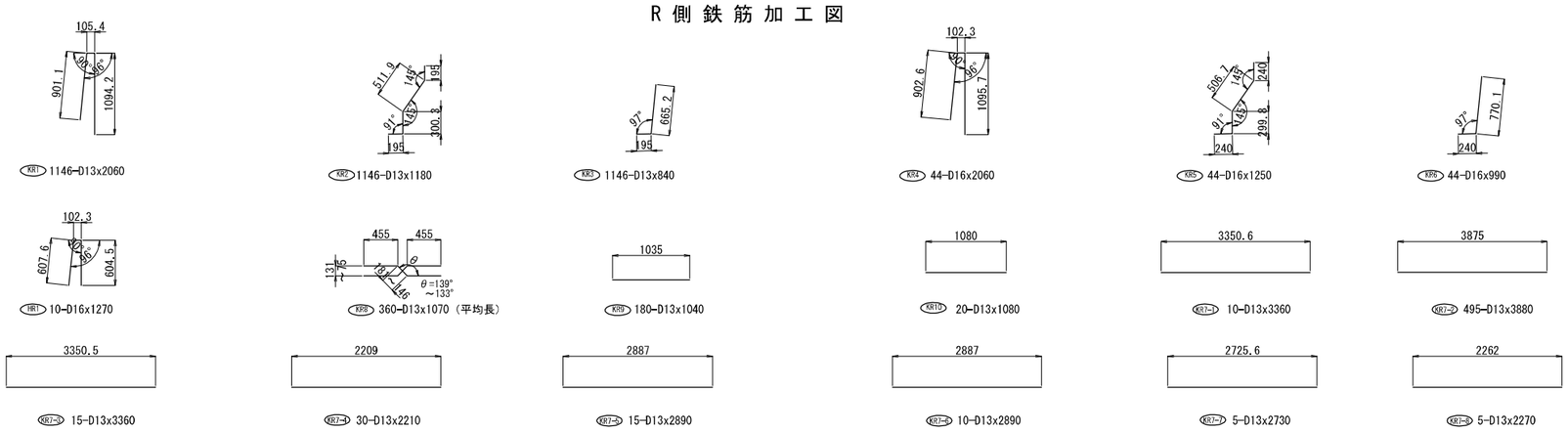
土渕橋（上り線）　壁高欄配筋図（５）　S=1:75

鉄 筋 加 工 図

L 側 鉄 筋 加 工 図



R 側 鉄 筋 加 工 図



L側鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備考
KL1	D13	2050	1150	0.995	2.04	2346	
KL2	D13	1180	1150	0.995	1.17	1346	
KL3	D13	840	1150	0.995	0.836	961	
KL4	D16	2040	44	1.56	3.18	140	
KL5	D16	1250	44	1.56	1.95	86	
KL6	D16	990	44	1.56	1.54	68	
KL7-1	D13	3500	10	0.995	3.48	35	――
KL7-2	D13	3880	495	0.995	3.86	1911	――
KL7-3	D13	3500	15	0.995	3.48	52	――
KL7-4	D13	2350	30	0.995	2.34	70	――
KL7-5	D13	3000	15	0.995	2.99	45	――
KL7-6	D13	3000	10	0.995	2.99	30	――
KL7-7	D13	2870	5	0.995	2.86	14	――
KL7-8	D13	2380	5	0.995	2.37	12	――
HL1	D16	1270	10	1.56	1.98	20	
KL8	D13	1070	360	0.995	1.06	382	平均長
KL9	D13	1040	180	0.995	1.03	185	――
KL10	D13	1080	20	0.995	1.07	21	――

鉄筋質量

鉄筋A(E)	SD345	D16	314	kg
鉄筋A(E)	SD345	D13	7410	kg
鉄筋A(E)		合計	7724	kg

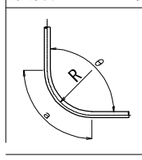
R側鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備考
KR1	D13	2060	1146	0.995	2.05	2349	
KR2	D13	1180	1146	0.995	1.17	1341	
KR3	D13	840	1146	0.995	0.836	958	
KR4	D16	2060	44	1.56	3.21	141	
KR5	D16	1250	44	1.56	1.95	86	
KR6	D16	990	44	1.56	1.54	68	
KR7-1	D13	3360	10	0.995	3.34	33	――
KR7-2	D13	3880	495	0.995	3.86	1911	――
KR7-3	D13	3360	15	0.995	3.34	50	――
KR7-4	D13	2210	30	0.995	2.20	66	――
KR7-5	D13	2890	15	0.995	2.88	43	――
KR7-6	D13	2890	10	0.995	2.88	29	――
KR7-7	D13	2730	5	0.995	2.72	14	――
KR7-8	D13	2270	5	0.995	2.26	11	――
HR1	D16	1270	10	1.56	1.98	20	
KR8	D13	1070	360	0.995	1.06	382	平均長
KR9	D13	1040	180	0.995	1.03	185	――
KR10	D13	1080	20	0.995	1.07	21	――

鉄筋質量

鉄筋A(E)	SD345	D16	315	kg
鉄筋A(E)	SD345	D13	7393	kg
鉄筋A(E)		合計	7708	kg

鉄筋曲げ加工表



径	R=3φ	5.5φ	θ= 45°		θ= 60°		θ= 90°		θ=135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6

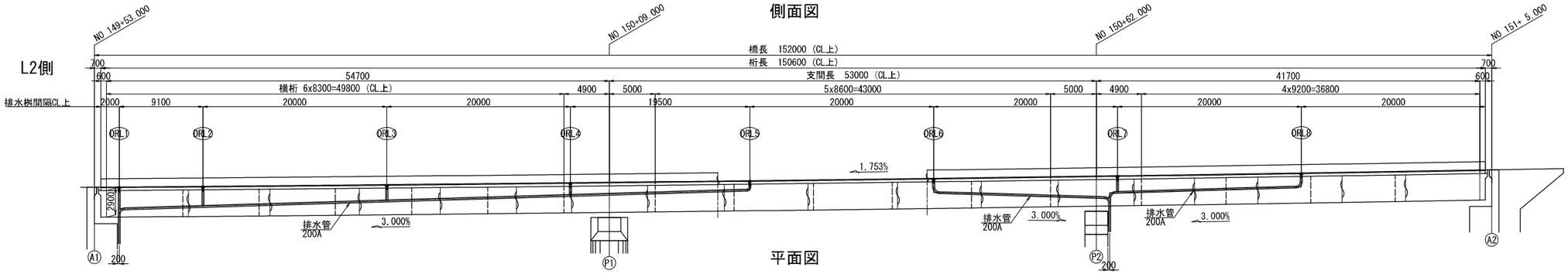
注記
1.すべて鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 壁高欄配筋図（５）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

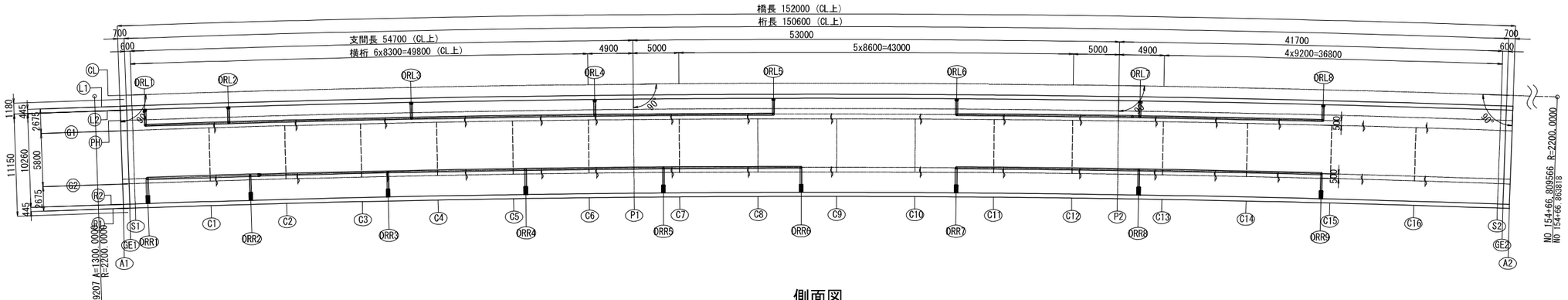
土渕橋（上り線）　排水装置計画図（参考図）　S=1:500

側面図

L2側

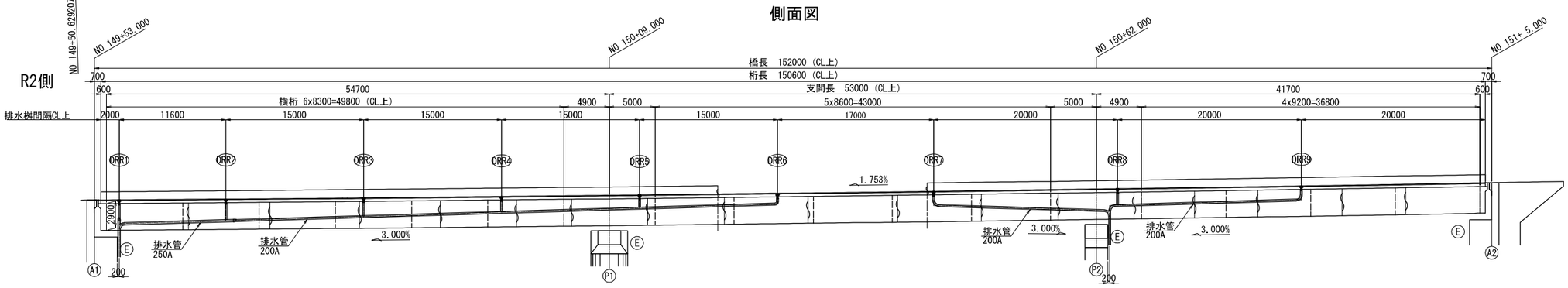


平面図



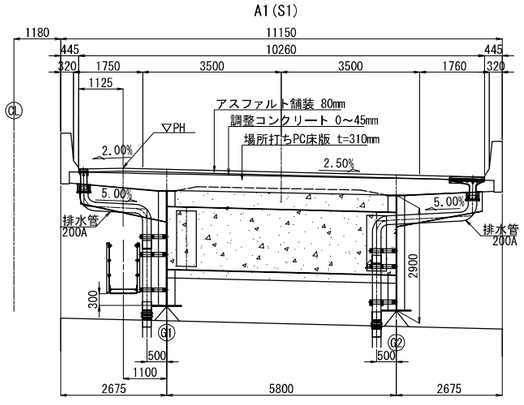
側面図

R2側

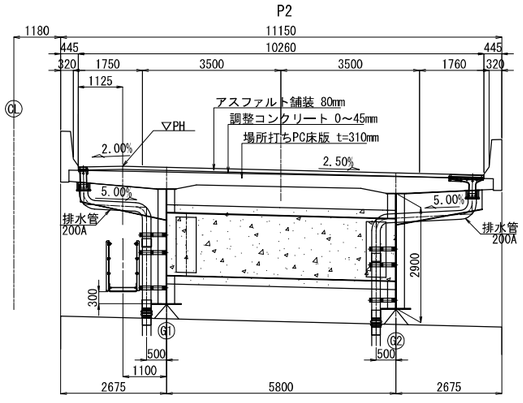


断面図　S=1:150

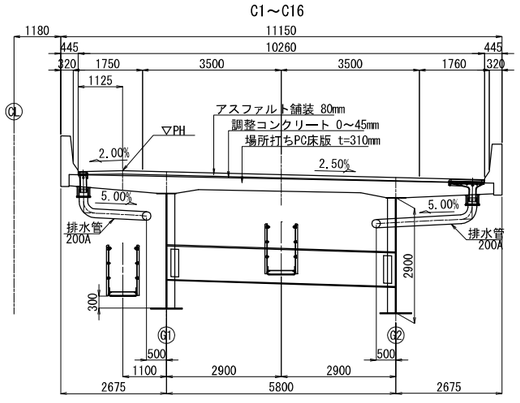
A1(S1)



P2



C1～C16

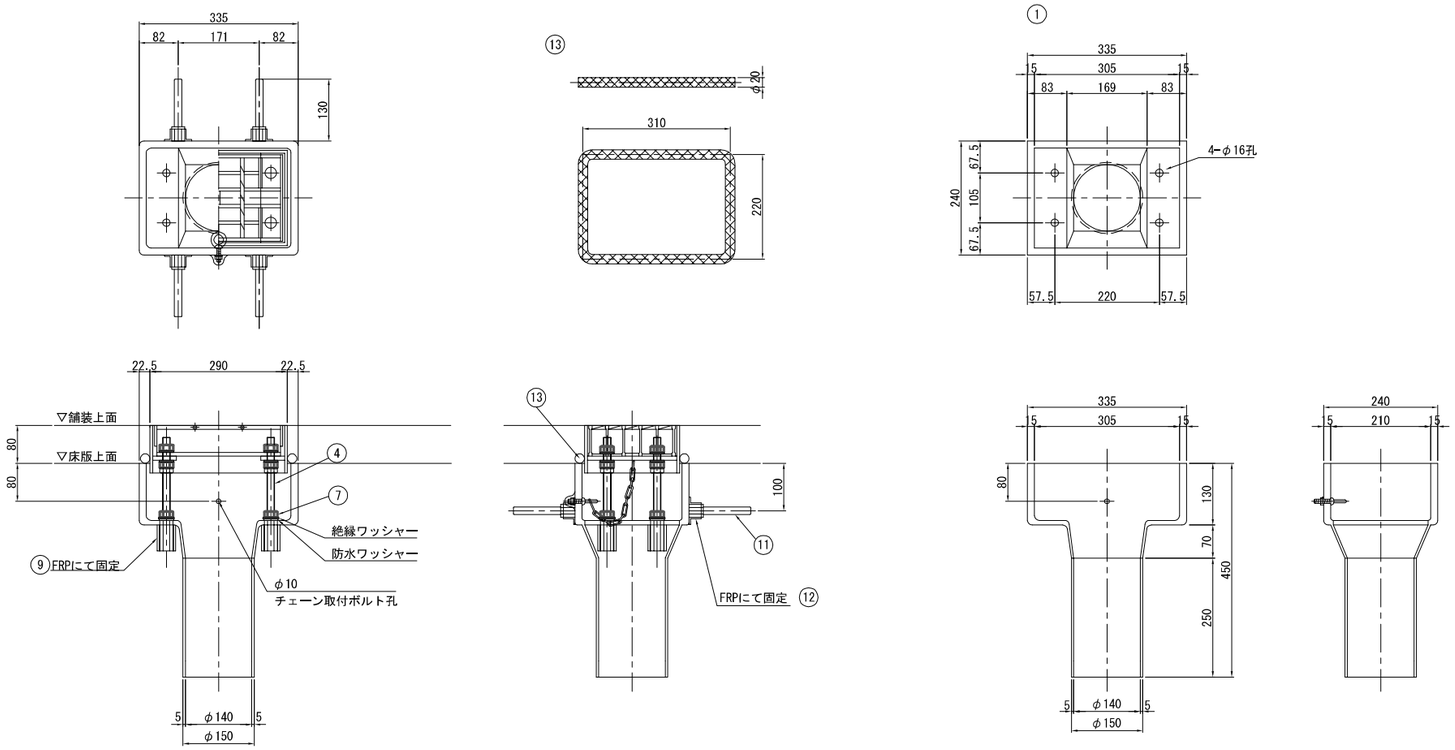


排水装置数量表

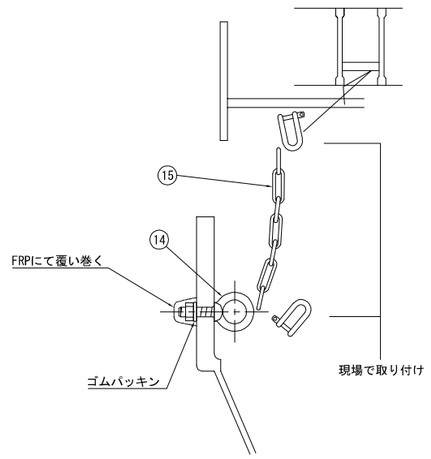
項目	寸法及びタイプ	単位	DRL1～DRL8	DRR1～DRR9
排水ますA		個	8	9

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 排水装置計画図（参考図）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

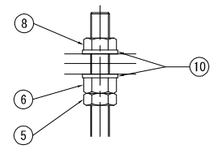
土渕橋（上り線）排水ます詳細図　S=1:12.5

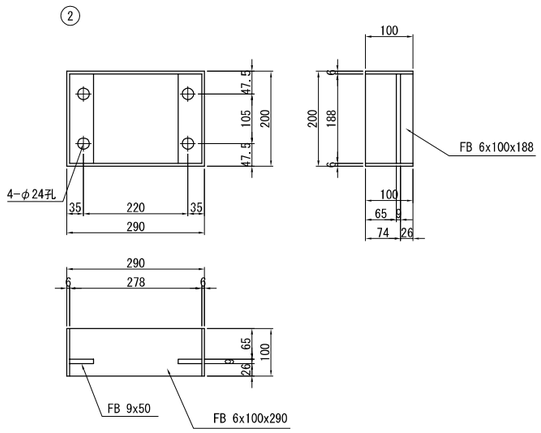


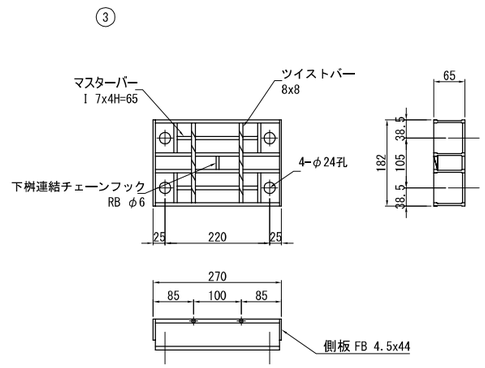
チェーン取付部詳細 縮尺 1:5

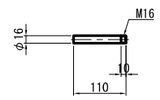


グレーチング枠止ボルト部詳細 縮尺









（1箇所当り）

材　料　表

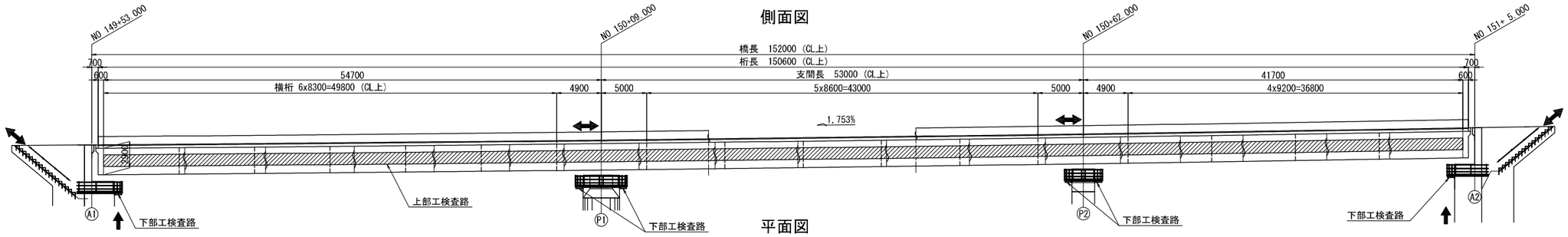
番号	部品名称	材質	寸法	数量	重量	備考	
1	本体下部	FRP	240x335x450	1	5.5		
2	本体上部	SS400	200x290x100	1	5.83	溶融亜鉛めっき（HDZT77）	
3	グレーチング	SS400	182x270x65	1	5.20	溶融亜鉛めっき（HDZT77）	
4	調整ボルト	SS400	M16x220寸切B	4	1.40	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
5	調整ナット（1）	SS400	M16 JIS 3種	4	0.12	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
6	調整ナット（2）	SS400	M16 JIS 1種	4	0.18	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
7	固定ナット	SS400	M16 JIS 1種	4	0.18	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	※絶縁w,防水w含む
8	**グレーチング固定ナット**	SS400	M16 JIS 1種	4	0.18	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
9	支持ナット	SS400	M16x50高ナット	4	0.52	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
10	平座金	SS400	呼び16並丸	8	0.10	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
11	アンカーバー	SS400	φ16x110	4	0.70		
12	インサートナット	SS400	M16x30高ナット	4	0.05	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	
13	ペーブドレーン	**ポリエステル**	φ20	1	—		
14	アイボルト	SS400	M8x30	1	—	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	※ナット、ゴムw含む
15	チェーン	SS400	φ5x200	1	—	溶融亜鉛めっき（HDZT49）	※2-シャックル含む
合計重量					19.96 kg		

※面取りは全てR10とする。

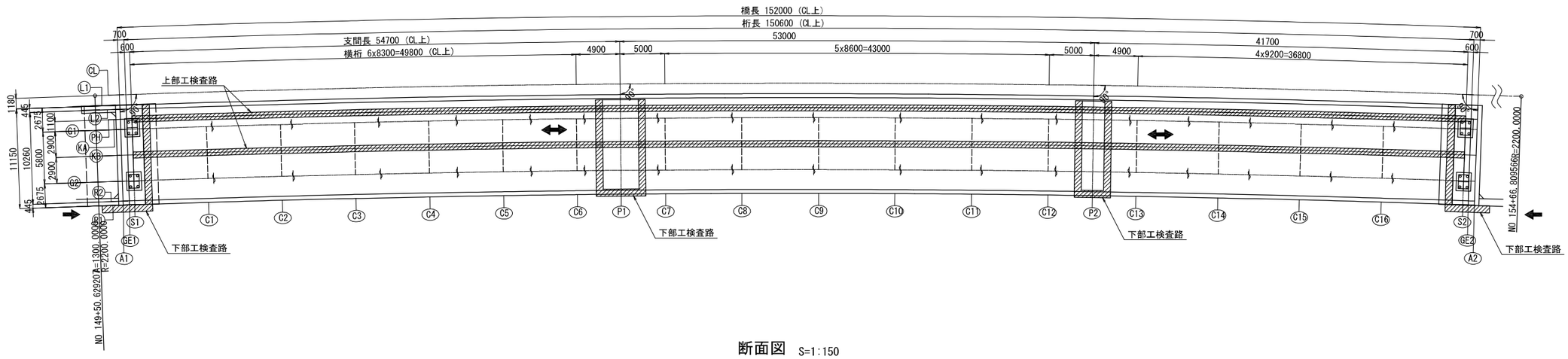
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 排水ます詳細図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　検査路計画図（参考図）　S=1:500

側面図

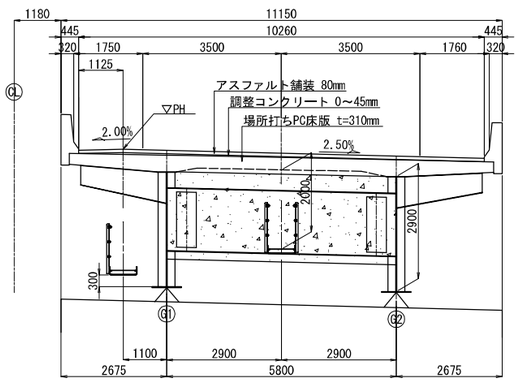


平面図

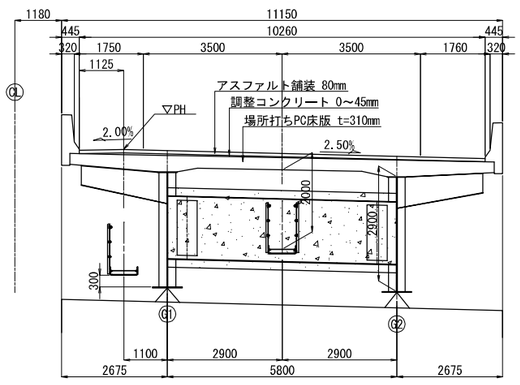


断面図　S=1:150

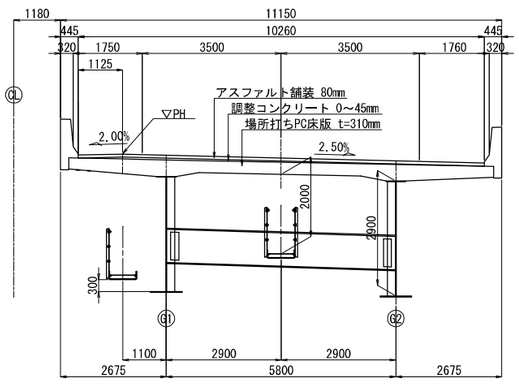
A1(S1)



P2



C1～C16

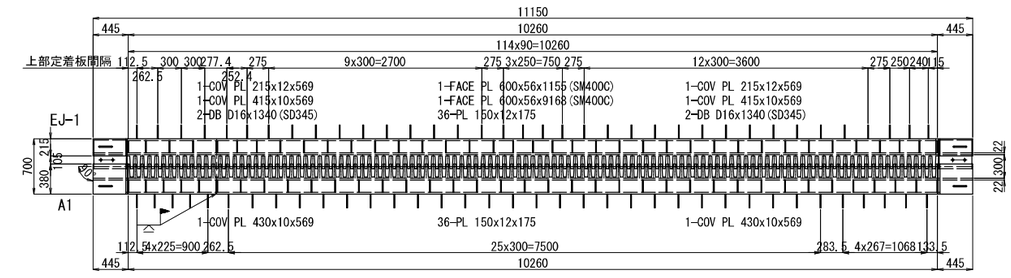


秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 検査路計画図（参考図）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

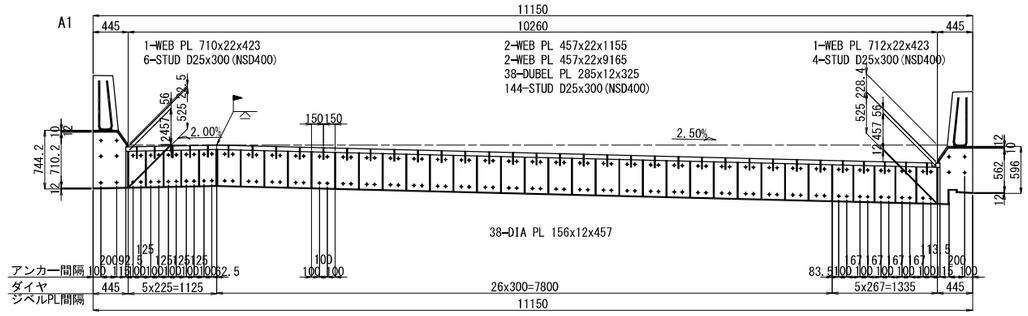
土渕橋（上り線）　伸縮装置（１）

A1側

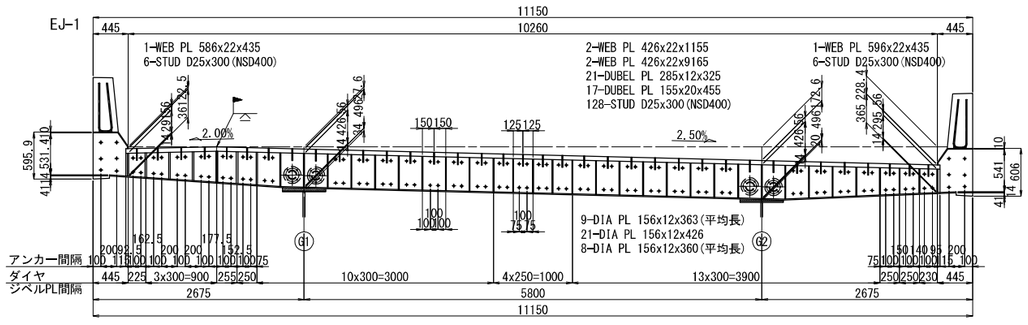
A － A　S=1:75



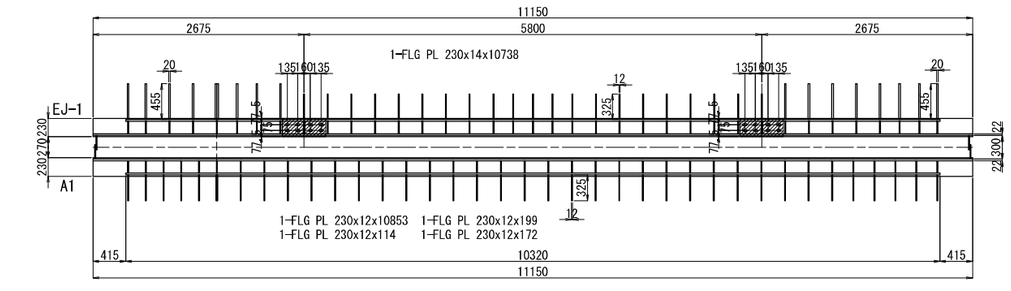
B － B



C － C

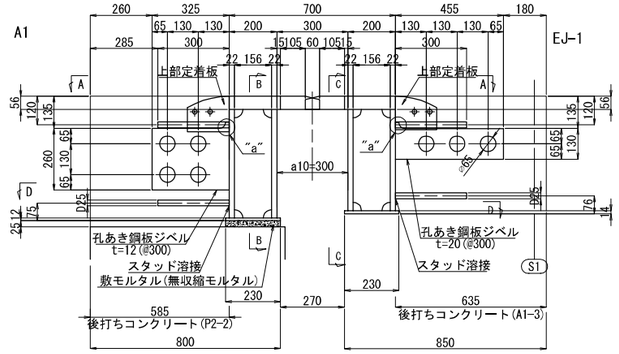


D － D

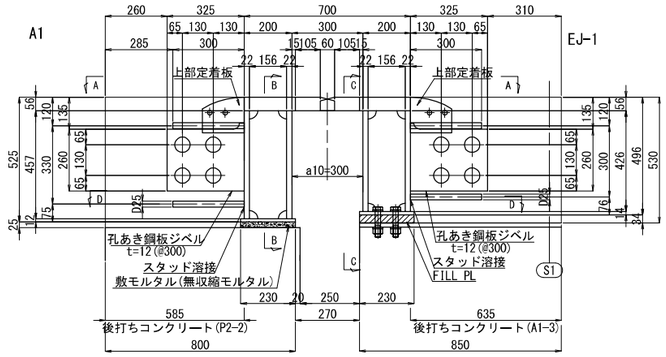


断面図　S=1:25

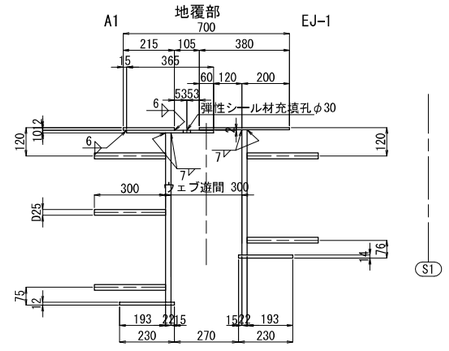
張出床板部



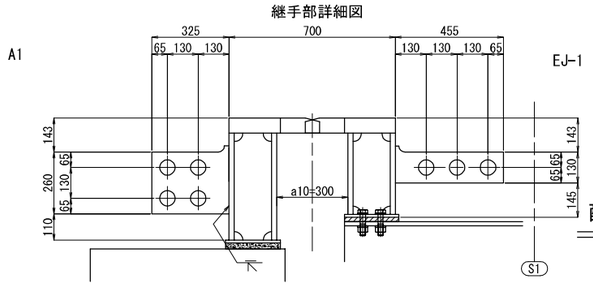
主桁間床板部

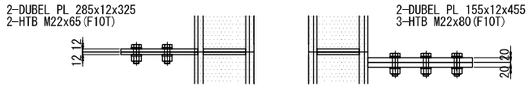


地覆部

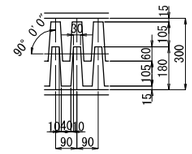


継手部詳細図

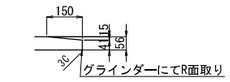




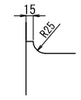
フィンガー詳細　S=1:25



歯先詳細　S=1:25

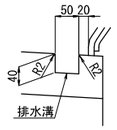


"a"詳細　S=1:12.5

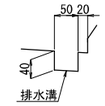


排水溝詳細　S=1:12.5

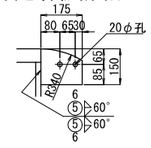
フェースプレート部



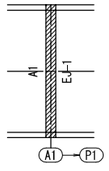
後打ちコンクリート部



上部定着板詳細　S=1:25



配置図



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。

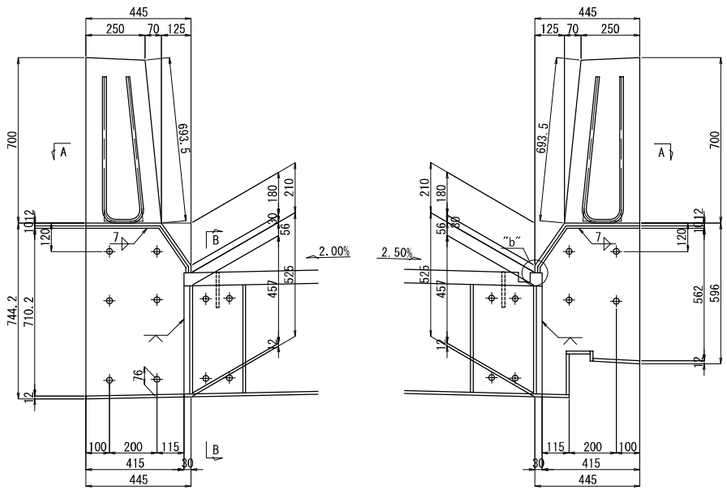
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　伸縮装置（２）　S=1:25

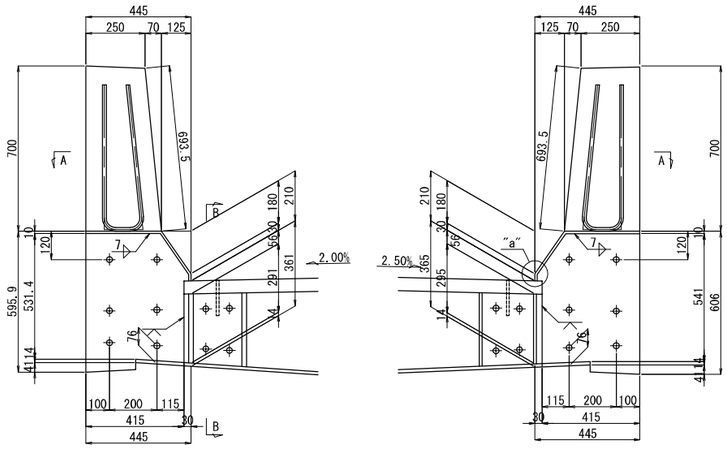
A1側

地覆部詳細

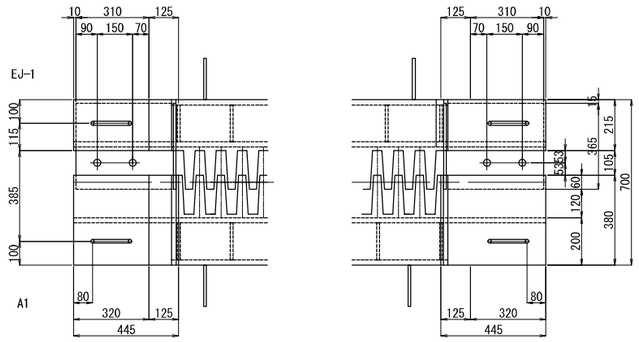
A1



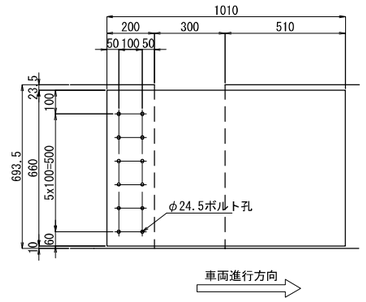
EJ-1



A － A

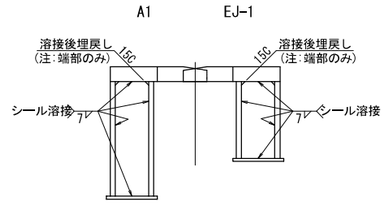


遊間プレート詳細
（壁高欄塞ぎ）

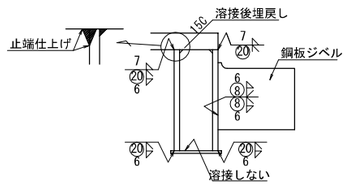


製作数：2
1製作当り
1-PL 660x15x1010(SUS304)
12-セラミックインサート M20(先付け)(セラミック)
12-BOLT M20x115(1-W,1-SW付)(SUS304)

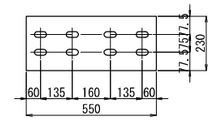
B － B

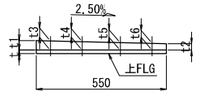


溶接詳細



FILL PL詳細



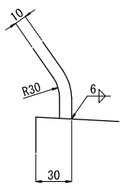


1-FILL PL 240xTx230(SS400)
2-HTB M22xL1(F10T)〈ダブルナット〉
2-HTB M22xL2(F10T)〈ダブルナット〉
2-HTB M22xL3(F10T)〈ダブルナット〉
2-HTB M22xL4(F10T)〈ダブルナット〉

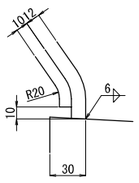
	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	T
G1	42	40.5	26.8	39	35.6	31.6	28.3	43
G2	35	26.9	13.2	25.4	22	18	14.7	29

	L1	L2	L3	L4
G1	135	135	130	125
G2	115	115	110	105

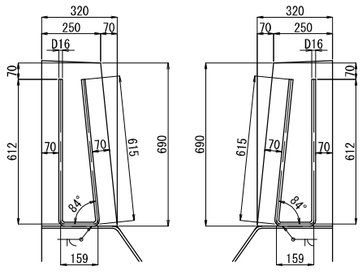
"a"部詳細　S=1:5



"b"部詳細　S=1:5

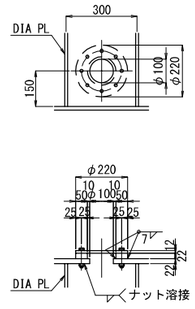


壁高欄鉄筋詳細



1-DB D16x1340(SD345)　　1-DB D16x1340(SD345)

ハンドホール詳細



製作数：4
1製作当り
1-PL φ220x22
1-PL φ220x12(SS400)
8-BN M12x75(1-W)(SS400)

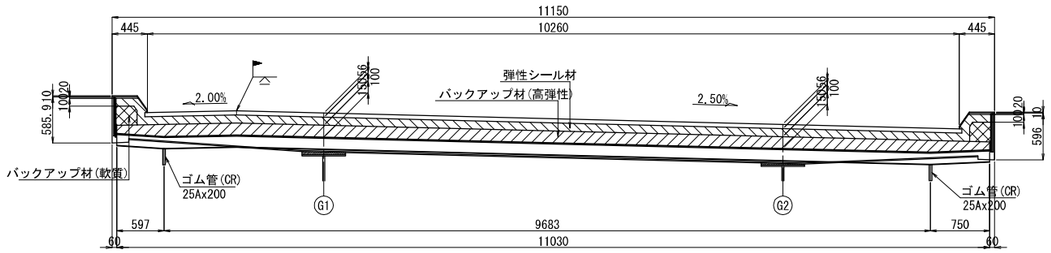
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 壁高欄塞ぎ板は、アンカー実測後製作のこと。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

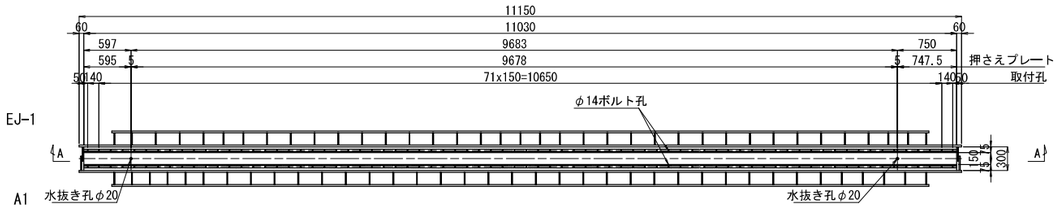
土渕橋（上り線）　伸縮装置（３）

A1側

A － A　S=1:75



B － B



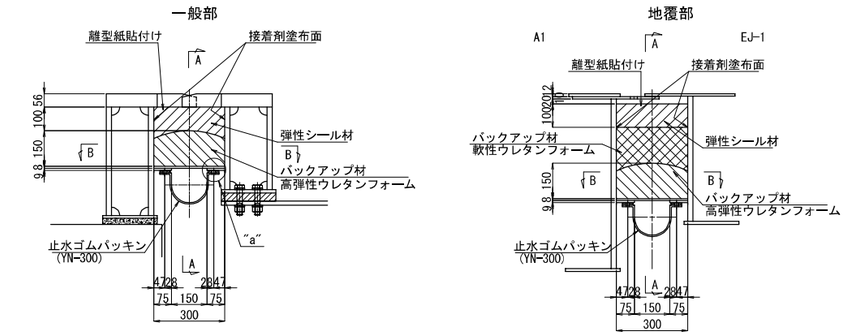
1-END PL 180x12x498
1-END PL 180x12x490

1-止水ゴムパッキン 6x11034(クロロプレンゴム)
2-ゴム管 25Ax200(クロロプレンゴム)
2-YNジャバラ(専用蓋)

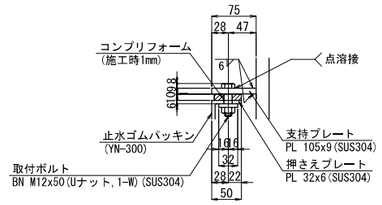
2-PL 75x9x11034(SUS304)
2-PL 32x6x594(SUS304)
2-PL 32x6x9675(SUS304)
2-PL 32x6x746(SUS304)
148-BN M12x50(Uナット, 1-W) (SUS304)

1-END PL 180x12x498
1-END PL 180x12x490

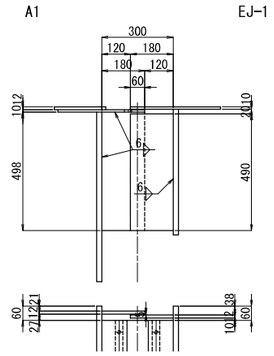
非排水装置断面図　S=1:25



"a"部詳細　S=1:10

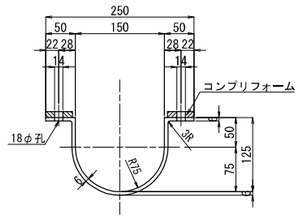


エンドプレート詳細　S=1:25

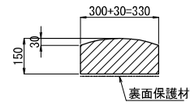


止水ゴムパッキン詳細　S=1:10

YN-300

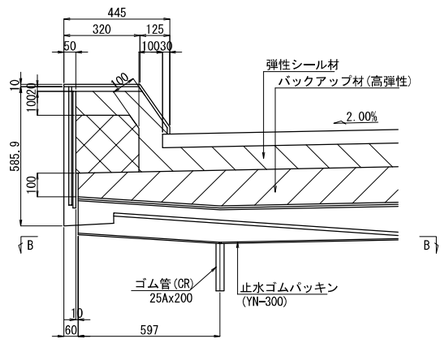


バックアップ材(高弾性)断面図　S=1:25

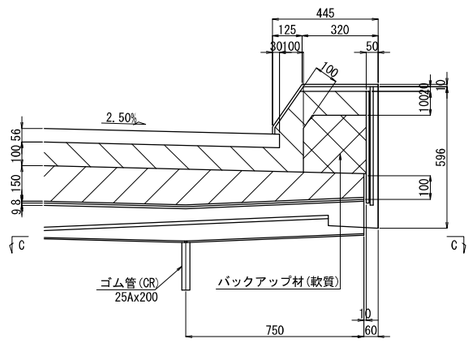


非排水装置地覆部詳細　S=1:25

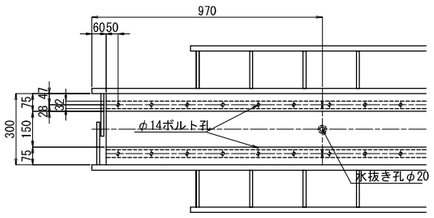
L 側



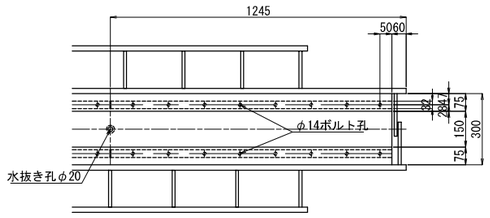
R 側



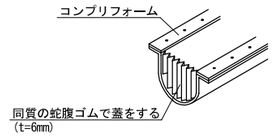
B － B　S=1:25



C － C　S=1:25



止水ゴムパッキン端部詳細



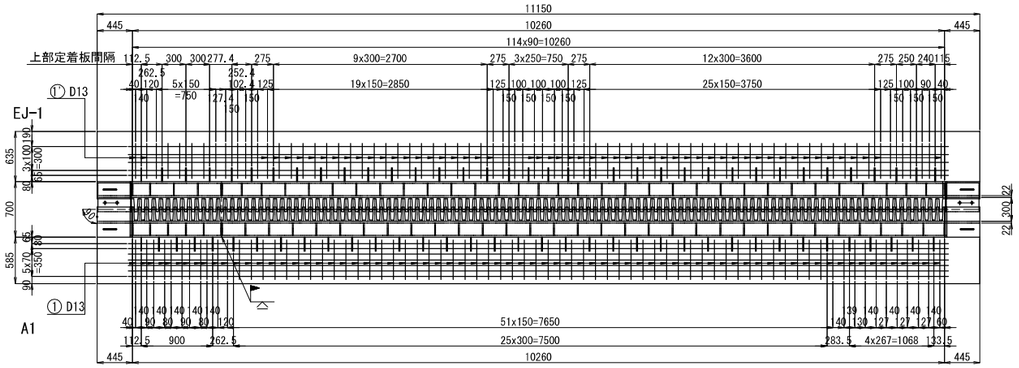
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

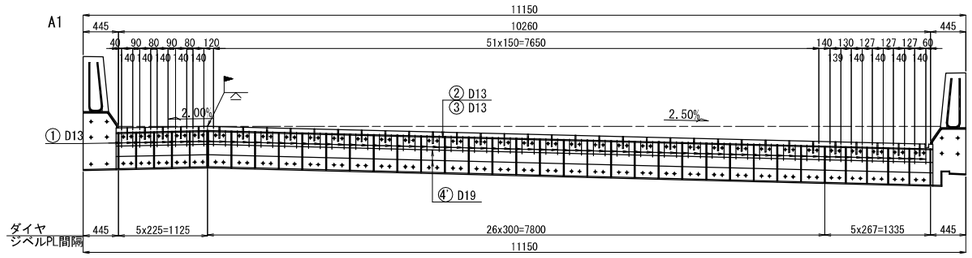
土渕橋（上り線）　伸縮装置（４）

A1側

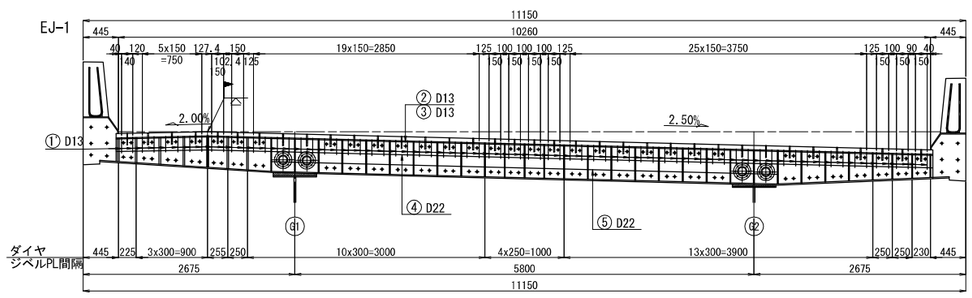
A － A　S=1:75



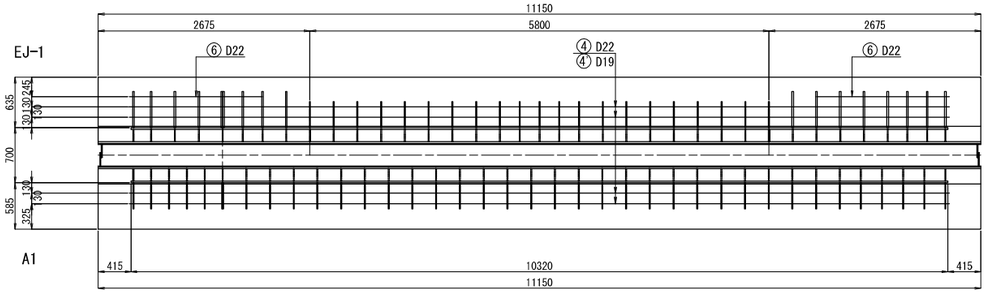
B － B



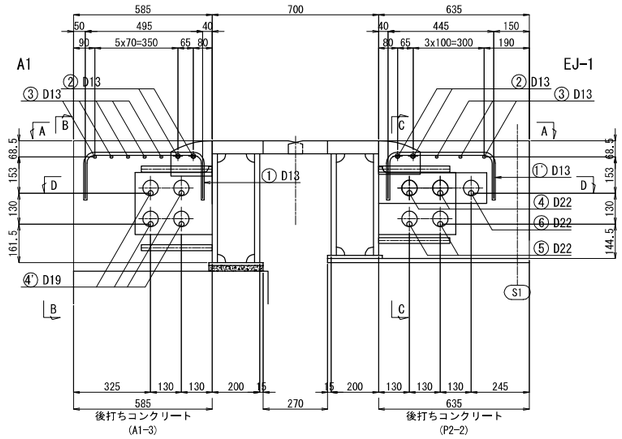
C － C

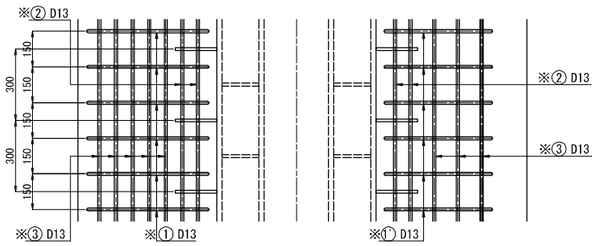


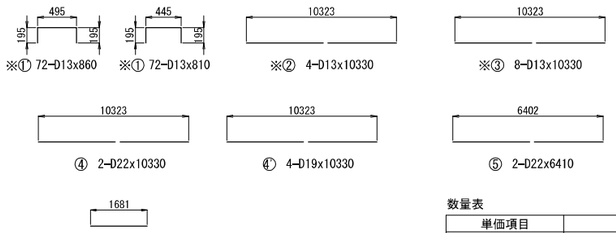
D － D



断面図　S=1:25







鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
※①	D13	860	72	0.995	0.856	62	┌
※①	D13	810	72	0.995	0.806	58	┌
※②	D13	10330	4	0.995	10.3	41	──
※③	D13	10330	8	0.995	10.3	82	──
④	D22	10330	2	3.04	31.4	63	──
④'	D19	10330	4	2.25	23.2	93	──
⑤	D22	6410	2	3.04	19.5	39	──
⑥	D22	1690	2	3.04	5.14	10	──
					合計	448 kg	

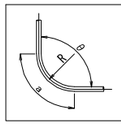
鉄筋A	SD345	D22	112 kg
鉄筋A	SD345	D19	93 kg
鉄筋A(E)	SD345	D13	243 kg

※印はエポキシ樹脂鉄筋

数量表

単価項目	種別		単位	数量	備考
伸縮装置 A1	伸縮装置		kg	8.438	ハンドホール、壁高欄鉄筋 FILL PL含む
	弾性シール材		m3	0.402	
	バックアップ材	高弾性ウレタンフォーム	m3	0.476	
		軟質ウレタンフォーム	m3	0.039	
	止水ゴムパッキン	クロロプレンゴム　YN300	m	11.034	
	ゴム管	クロロプレンゴム　25A×200	個	2	
	YNジャバラ（専用蓋）	t=6mm	個	2	
	敷モルタル	無収縮モルタル	m3	0.062	
コンクリート	P2-2		m3	3.4	橋面側
型わく	A		m2	6.9	橋面側
鉄筋	A	D16～D25	t	0.205	
	A(E)	D13	t	0.243	
遊間プレート工	A	壁高欄塞ぎ板	箇所	2	セラミックインサート、ボルト含む

鉄筋曲げ加工表



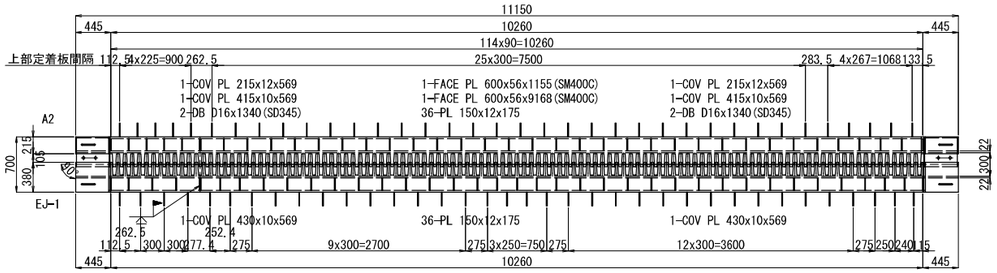
径	R=3φ	5.5φ	θ= 45°		θ= 60°		θ= 90°		θ=135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋（上り線） 伸縮装置（４）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

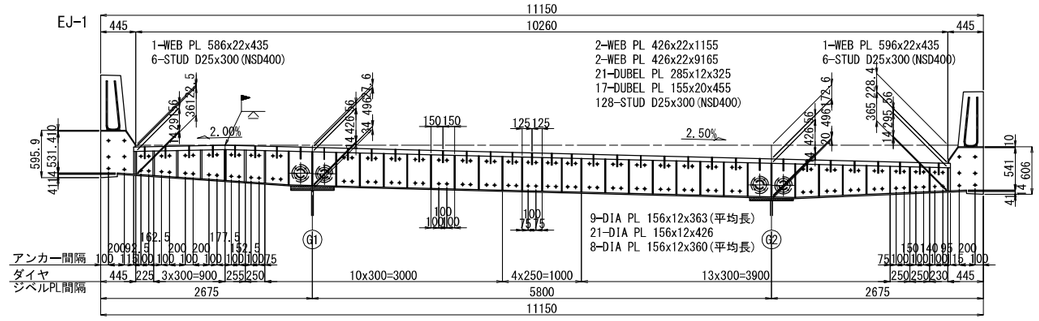
土渕橋（上り線）　伸縮装置（5）

A2側

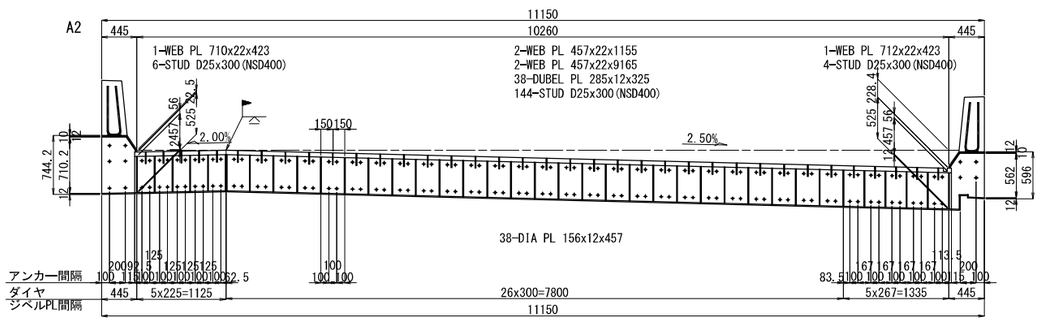
A － A　S=1:75



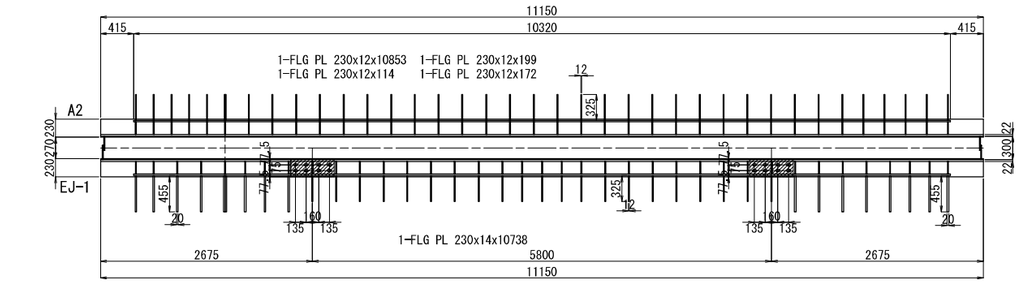
B － B



C － C

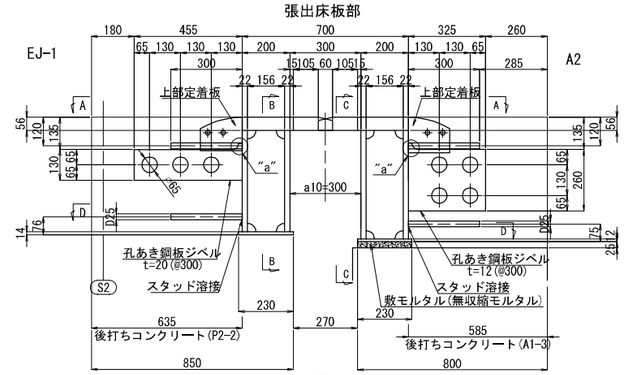


D － D

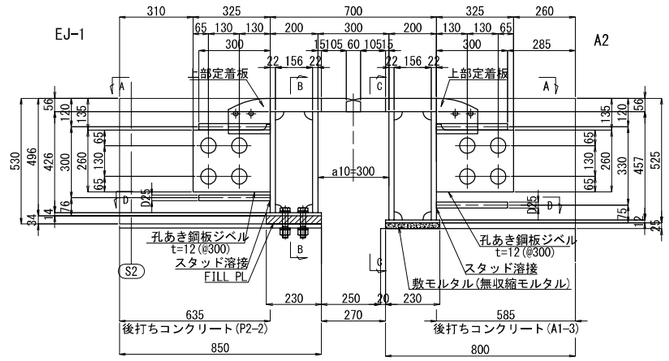


断面図　S=1:25

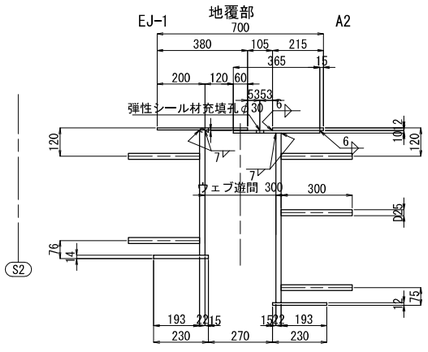
張出床板部



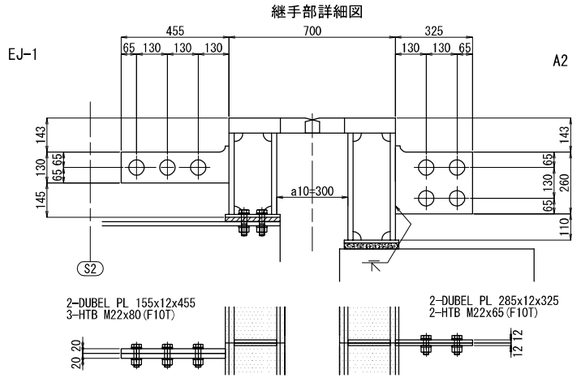
主桁間床板部



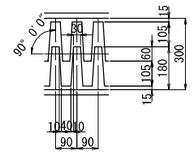
地覆部



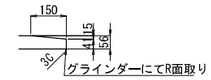
継手部詳細図



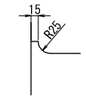
フィンガー詳細　S=1:25



歯先詳細　S=1:25

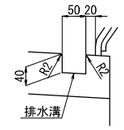


"a"詳細　S=1:12.5

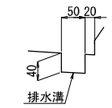


排水溝詳細　S=1:12.5

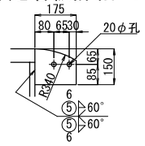
フェースプレート部



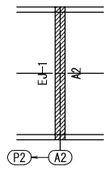
後打ちコンクリート部



上部定着板詳細　S=1:25



配置図



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。

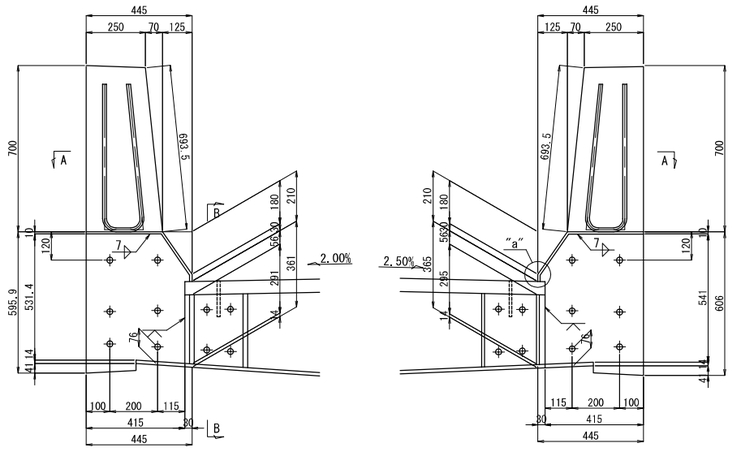
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（5）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　伸縮装置（６）　S=1:25

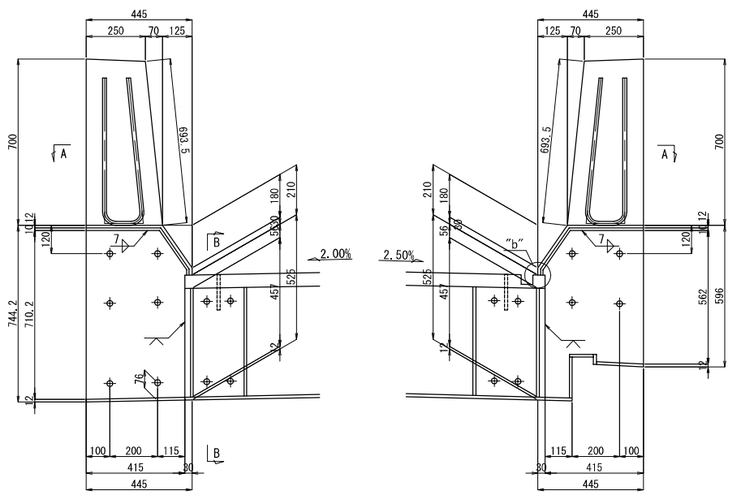
A2側

地覆部詳細

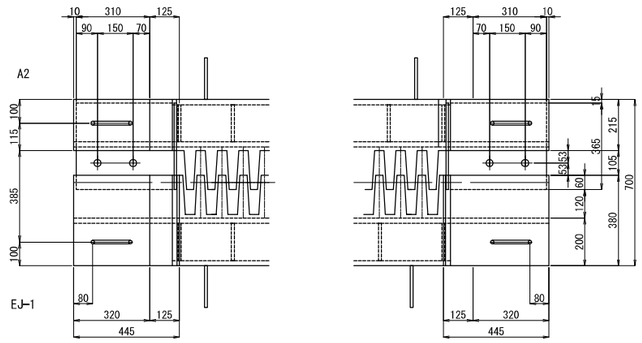
EJ-1



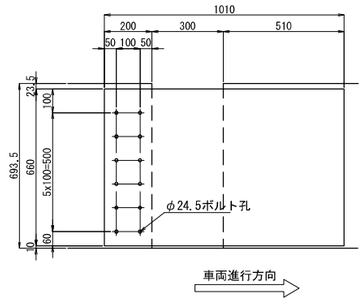
A2



A － A

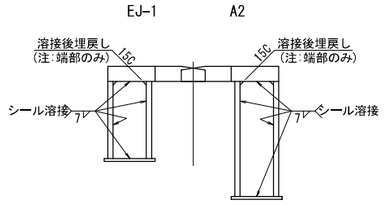


遊間プレート詳細
（壁高欄塞ぎ）

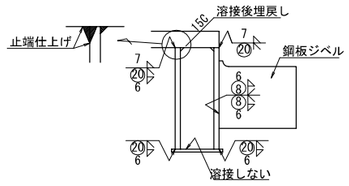


製作数：2
1製作当り
1-PL 660x15x1010(SUS304)
12-セラミックインサート M20(先付け)(セラミック)
12-BOLT M20x115(1-W,1-SW付)(SUS304)

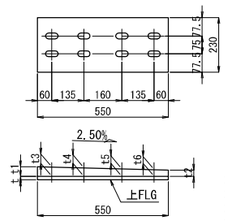
B － B



溶接詳細



FILL PL詳細

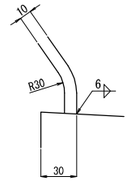


1-FILL PL 240xTx230(SS400)
2-HTB M22xL1(F10T) <ダブルナット>
2-HTB M22xL2(F10T) <ダブルナット>
2-HTB M22xL3(F10T) <ダブルナット>
2-HTB M22xL4(F10T) <ダブルナット>

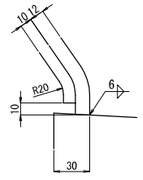
	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	T
G1	42	40.5	26.8	39	35.6	31.6	28.3	43
G2	35	26.9	13.2	25.4	22	18	14.7	29

	L1	L2	L3	L4
G1	135	135	130	125
G2	115	115	110	105

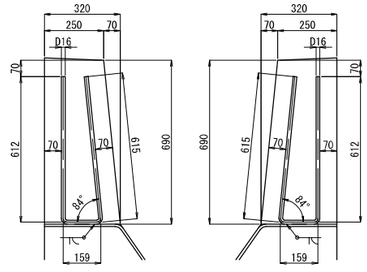
"a"部詳細　S=1:5



"b"部詳細　S=1:5

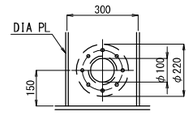


壁高欄鉄筋詳細

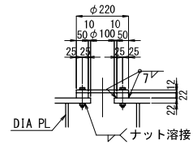


1-DB D16x1340(SD345)　　1-DB D16x1340(SD345)

ハンドホール詳細



製作数：4
1製作当り
1-PL φ220x22
1-PL φ220x12(SS400)
8-BN M12x75(1-W)(SS400)



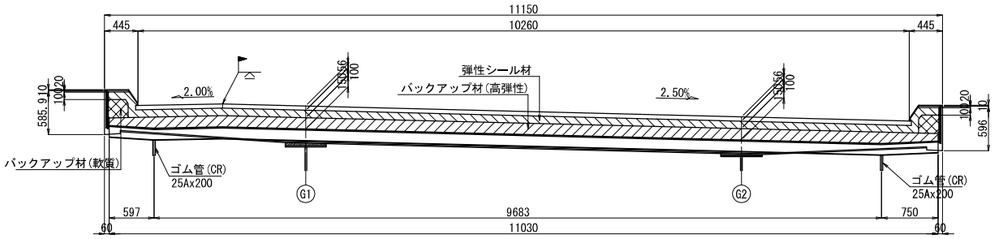
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 壁高欄塞ぎ板は、アンカー実測後製作のこと。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（６）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

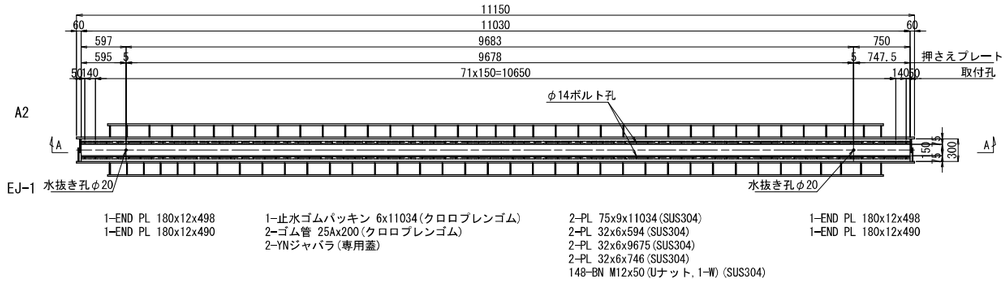
土渕橋（上り線）　伸縮装置（７）

A2側

A － A　S=1:75

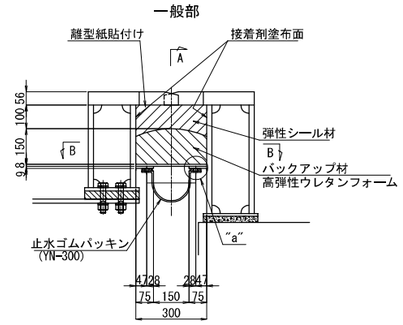


B － B

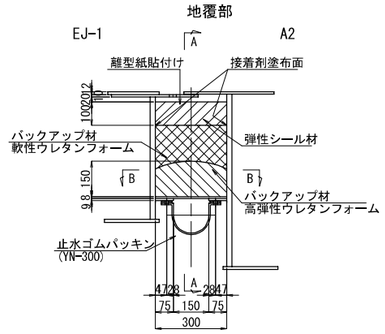


非排水装置断面図　S=1:25

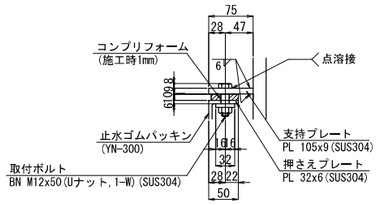
一般部



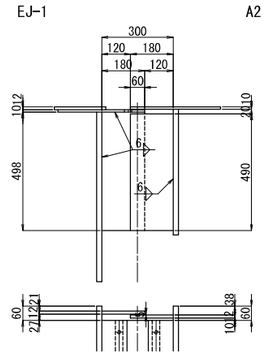
地覆部



"a"部詳細　S=1:10

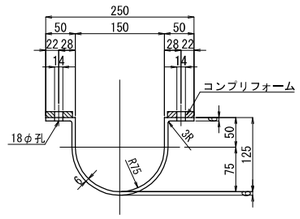


エンドプレート詳細　S=1:25

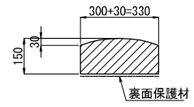


止水ゴムパッキン詳細　S=1:10

YN-300

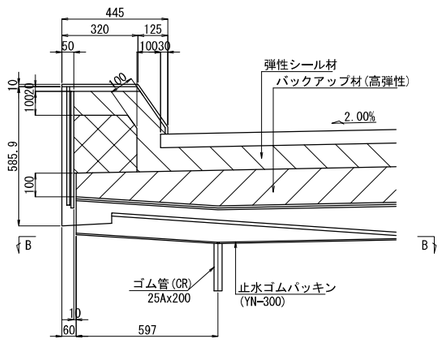


バックアップ材(高弾性)断面図　S=1:25

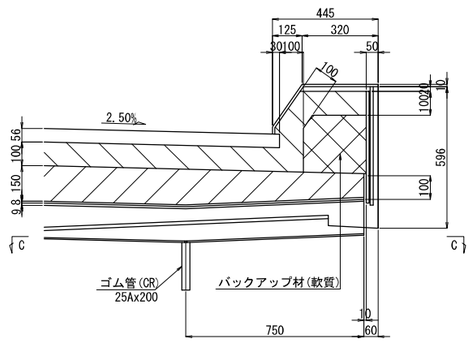


非排水装置地覆部詳細　S=1:25

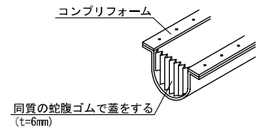
L 側



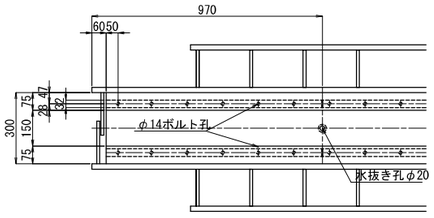
R 側



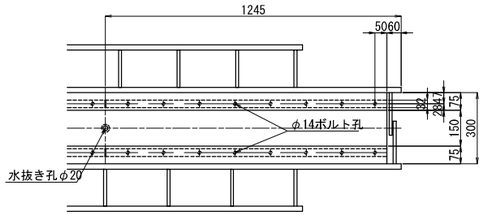
止水ゴムパッキン端部詳細



B － B　S=1:25



C － C　S=1:25



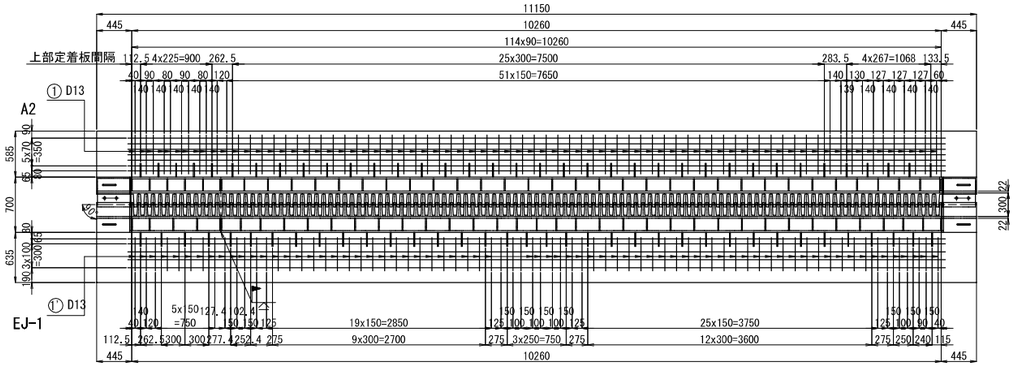
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（７）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

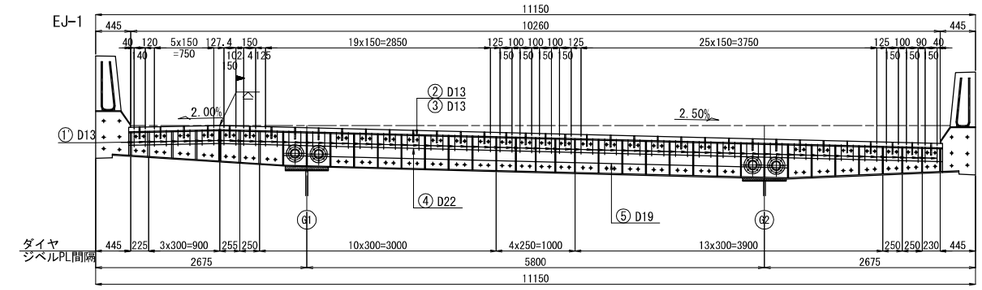
土渕橋（上り線）　伸縮装置（８）

A2側

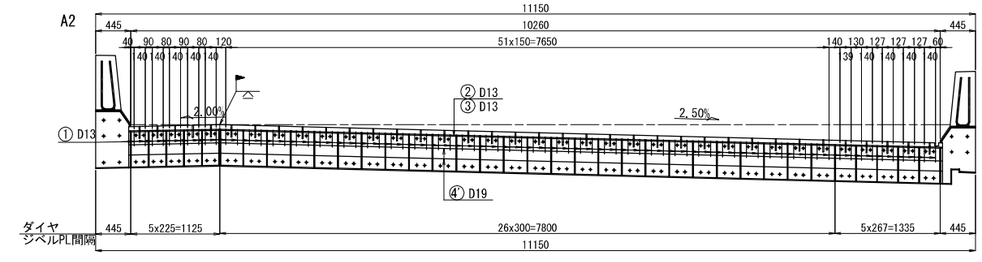
A － A　S=1:75



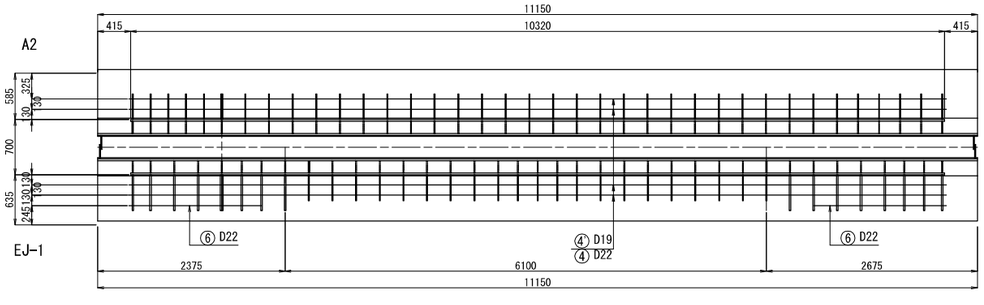
B － B



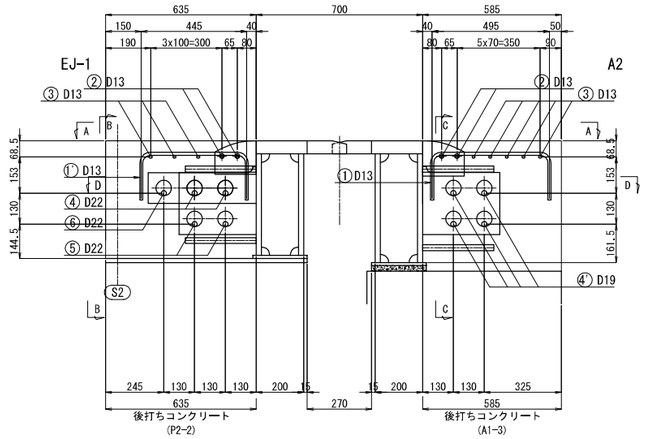
C － C

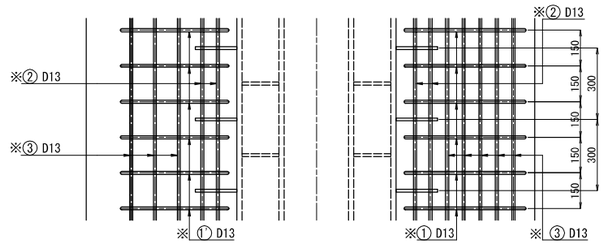


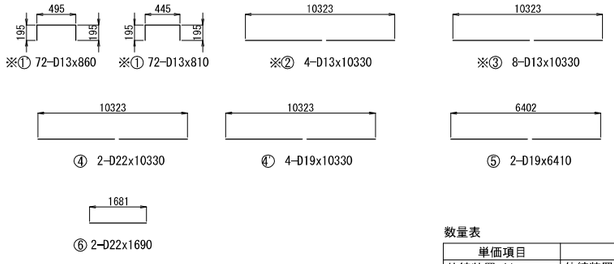
D － D



断面図　S=1:25







鉄筋表

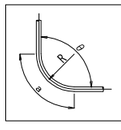
記号	径	長さ	本数	単位質量	本当り質量	質量	摘要
※①	D13	860	72	0.995	0.856	62	┌
※①	D13	810	72	0.995	0.806	58	┌
※②	D13	10330	4	0.995	10.3	41	──
※③	D13	10330	8	0.995	10.3	82	──
④	D22	10330	2	3.04	31.4	63	──
④'	D19	10330	4	2.25	23.2	93	──
⑤	D22	6410	2	3.04	19.5	39	──
⑥	D22	1690	2	3.04	5.14	10	──
					合計	448kg	
				鉄筋A	SD345 D22	112 kg	
				鉄筋A	SD345 D19	93 kg	
				鉄筋A(E)	SD345 D13	243 kg	

※印はエポキシ樹脂鉄筋

数量表

単価項目	種別		単位	数量	備考
伸縮装置 A1	伸縮装置		kg	8.438	ハンドホール、壁高欄鉄筋 FILL PL含む
	弾性シール材		m3	0.402	
	バックアップ材	高弾性ウレタンフォーム	m3	0.476	
		軟質ウレタンフォーム	m3	0.039	
	止水ゴムパッキン	クロロプレンゴム　YN300	m	11.034	
	ゴム管	クロロプレンゴム　25A×200	個	2	
	YNジャバラ（専用蓋）	t=6mm	個	2	
	敷モルタル	無収縮モルタル	m3	0.062	
コンクリート	P2-2		m3	3.4	橋面側
型わく	A		m2	6.9	橋面側
鉄筋	A	D16～D25	t	0.205	
	A(E)	D13	t	0.243	
遊間プレート工	A	壁高欄塞ぎ板	箇所	2	セラミックインサート、ボルト含む

鉄筋曲げ加工表

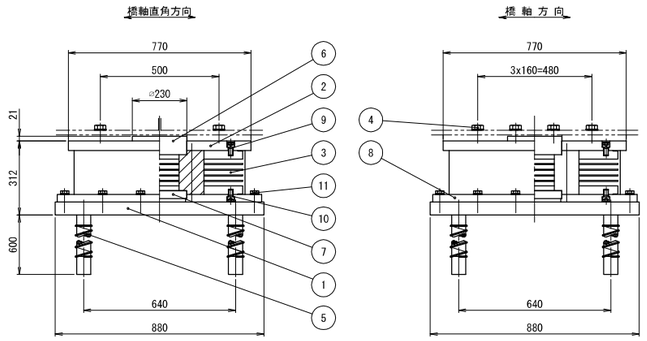


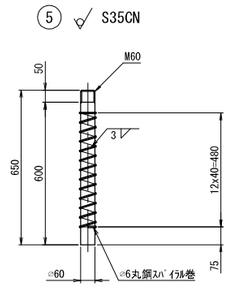
径	R=3φ	5.5φ	θ= 45°		θ= 60°		θ= 90°		θ=135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6

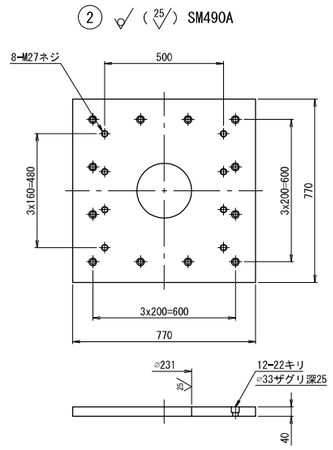
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 伸縮装置（８）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線） 支承E-5詳細図

S=1:500



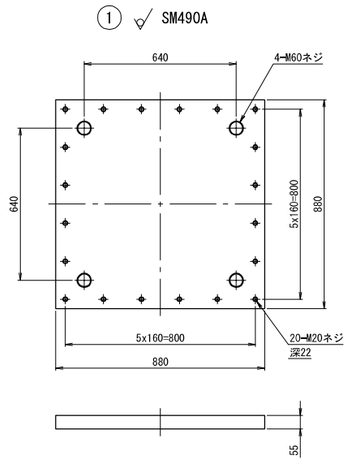


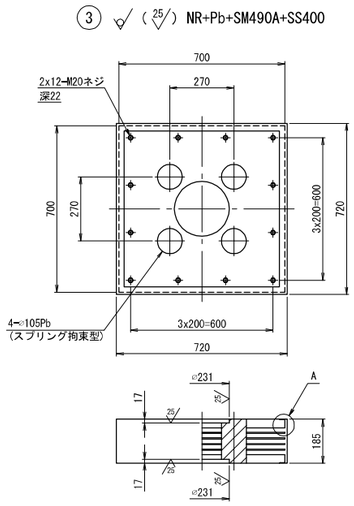


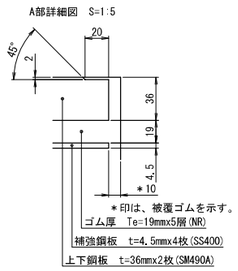
設 計 条 件

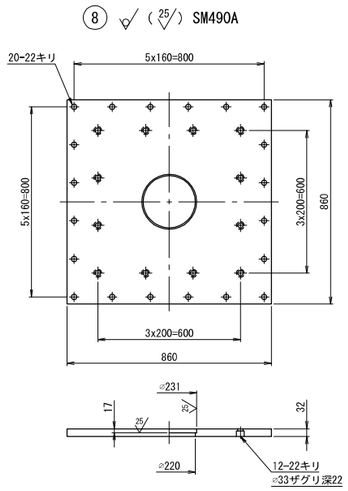
設 計 反 力		
最 大 鉛 直 荷 重 (耐 久 性)	R	3195 kN
死 荷 重 (永続支配)	Rd	2067 kN
橋軸方向水平力 (L2時)	Rh1e	1026 kN
橋軸直角方向水平力 (L2時)	Rh2e	1204 kN
上 揚 力 (L2時)	V	621 kN
移 動 量		
最 大 変 位 量 (L2時)	UB	± 219 mm
ゴ ム 沓		
せ ん 断 弾 性 係 数	Ge	1.0 N/mm^2
せ ん 断 ひ ず み の 制 限 値	γs	250 %
形 状 係 数	S1/S2	8.56 / 7.37
試 験 条 件		
最 大 鉛 直 荷 重 (変動支配)	R	3600 kN
死 荷 重 (特 性 値)	Rd	2037 kN
試 験 変 位 量	ΔL	± 166 mm
等 価 剛 性	KB	5.314 kN/mm
等 価 減 衰 定 数	hB	18.59 %
回 転 照 査 荷 重	Rr	2426 kN
回 転 変 位 量	δr	0.574 mm
照 査 荷 重	R1L	613 kN
照 査 荷 重 時 圧 縮 変 位 量	δL	0.332 mm
支 点 支 持 条 件		
橋 軸 方 向 : 免 震	橋 軸 直 角 方 向 : 固 定	
適 用 基 準		
道路橋示方書・同解説(H29年11月)、道路橋支承便覧(H30年12月)		

注) 上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。









材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ベ ー ス プ レ ー ト	SM490A	1	328.4	
②	上 沓	SM490A	1	169.0	
3	ゴ ム 沓	NR+Pb+SM490A +SS400	1	437.7	
④	六 角 ボ ル ト・座 金	――	8	4.2	JIS B 1180
5	ア ン カ ー ボ ル ト	S35CN	4	57.7	
⑥	せ ん 断 キ ー	SM490A	1	25.4	
⑦	せ ん 断 キ ー	SM490A	1	10.8	
⑧	下 沓	SM490A	1	171.7	
9	六 角 穴 付 ボ ル ト	――	12	1.9	JIS B 1176
10	六 角 穴 付 ボ ル ト	――	12	1.8	JIS B 1176
⑪	六 角 ボ ル ト・座 金	――	20	4.4	JIS B 1180
全 重 量		1213.0 (kg)			
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	JIS H 8641 HDZT77、HDZT49(ﾄﾞﾙﾅｶﾞ類)				

注１）必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

注２）ゴム支承の上下鋼鈑露出部は、金属亜鉛末を70%以上含む高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと（塗膜厚75μm以上）。

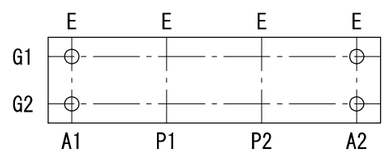
注３）六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

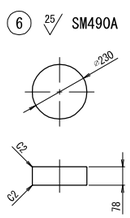
注４）ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料（K-Coat-R）を塗布のこと。

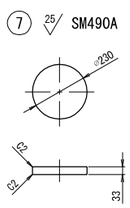
注５）部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

注６）アンカーボルトは無塗装とし、鉄筋防錆剤を塗布のこと。

配 置 図







④ 六角ボルト 中 M27x 8.8
（平座金付き）

⑨ 六角穴付ボルト M20x35 10.9

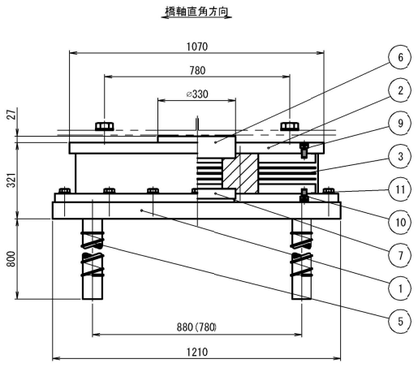
⑩ 六角穴付ボルト M20x30 10.9

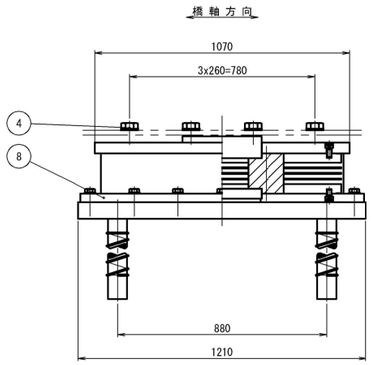
⑪ 六角ボルト 中 M20x55 8.8
（平座金付き）

秋田自動車道 岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 支承E-5詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

土渕橋（上り線） 支承E-6詳細図

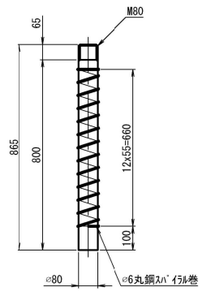
S=1:500



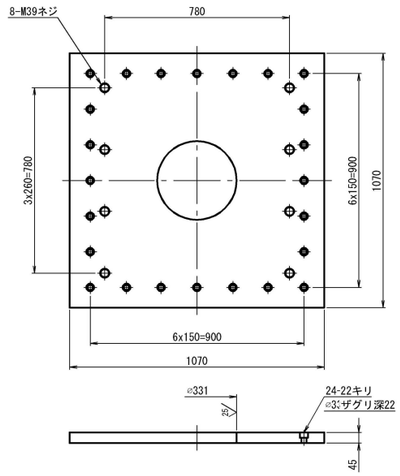


※（ ）内寸法はP2の値を示す。

⑤ S35CN



② （25）SM490A



設 計 条 件

設 計 反 力		
最 大 鉛 直 荷 重 （耐 久 性）	R	7487 kN
死 荷 重 （永続支配）	Rd	5527 kN
橋軸方向水平力 （L2時）	Rh1e	1971 kN
橋軸直角方向水平力 （L2時）	Rh2e	2421 kN
上 揚 力 （L2時）	V	1659 kN
移 動 量		
最 大 変 位 量 （L2時）	UB	± 173 mm
ゴ ム 沓		
せ ん 断 弾 性 係 数	Ge	1.0 N/mm²
せ ん 断 ひ ず み の 制 限 値	γs	250 %
形 状 係 数	S1/S2	12.23 /13.16
試 験 条 件		
最 大 鉛 直 荷 重 （変動支配）	R	8295 kN
死 荷 重 （特 性 値）	Rd	5209 kN
試 験 変 位 量	ΔL	± 133 mm
等 価 剛 性	KB	13.556 kN/mm
等 価 減 衰 定 数	hB	18.59 %
回 転 照 査 荷 重	Rr	5994 kN
回 転 変 位 量	δr	0.676 mm
支 点 支 持 条 件		
橋 軸 方 向 ： 免 震	橋 軸 直 角 方 向 ： 固 定	
適 用 基 準		
道路橋示方書 同解説（H29年11月）、道路橋支承便覧（H30年12月）		

注）上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
①	ベ ー ス プ レ ー ト	SM490A	1	791.6	
②	上 沓	SM490A	1	365.5	
3	ゴ ム 沓	NR+Pb+SM490A SS400	1	877.4	
④	六 角 ボ ル ト･座 金	――	8	12.6	JIS B 1180
5	ア ン カ ー ボ ル ト	S35CN	4	136.5	
⑥	せ ん 断 キ ー	SM490A	1	52.4	
⑦	せ ん 断 キ ー	SM490A	1	27.5	
⑧	下 沓	SM490A	1	368.3	
9	六 角 穴 付 ボ ル ト	――	24	4.1	JIS B 1176
10	六 角 穴 付 ボ ル ト	――	24	3.6	JIS B 1176
⑪	六 角 ボ ル ト･座 金	――	24	8.4	JIS B 1180
全 重 量		2657.9		(kg)	
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	JIS H 8641 HDZT77、HDZT49(ﾎﾞﾙﾄ類)				

注１）必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

注２）ゴム支承の上下鋼鈑露出部は、金属亜鉛末を70%以上含む高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと（塗膜厚75μm以上）。

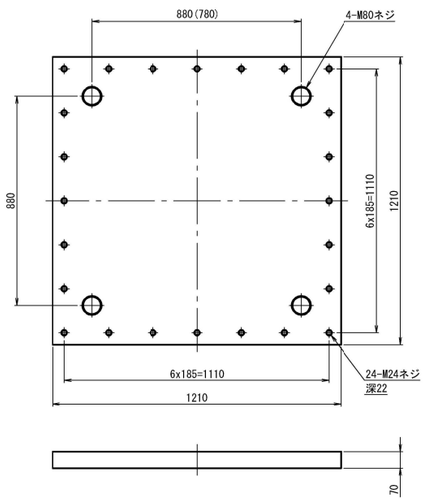
注３）六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。

注４）ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料（K-Coat-R）を塗布のこと。

注５）部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

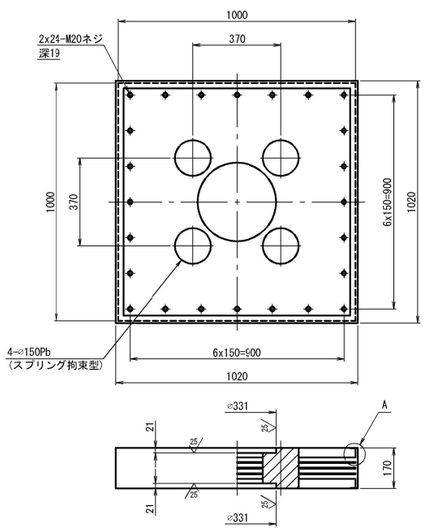
注６）アンカーボルトは無塗装とし、鉄筋防錆剤を塗布のこと。

① SM490A

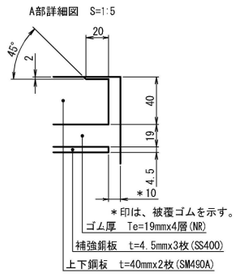


※（ ）内寸法はP2の値を示す。

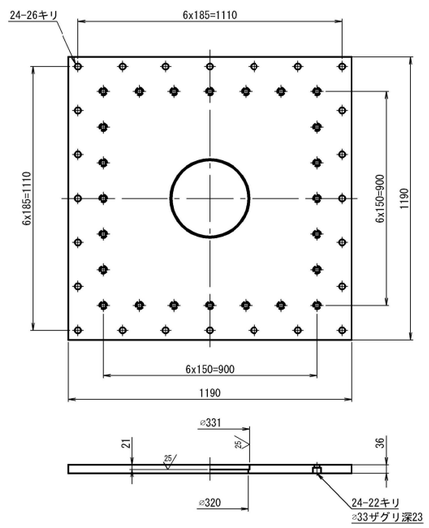
③ （25）NR+Pb+SM490A+SS400



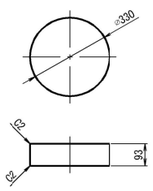
A部詳細図 S=1:5



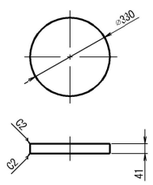
⑧ （25）SM490A



⑥ 25 SM490A



⑦ 25 SM490A



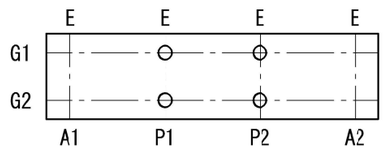
④ 六角ボルト 中 M39x 8.8
（平座金付き）

⑨ 六角穴付ボルト M20x40 10.9

⑩ 六角穴付ボルト M20x30 10.9

⑪ 六角ボルト 中 M24x60 8.8
（平座金付き）

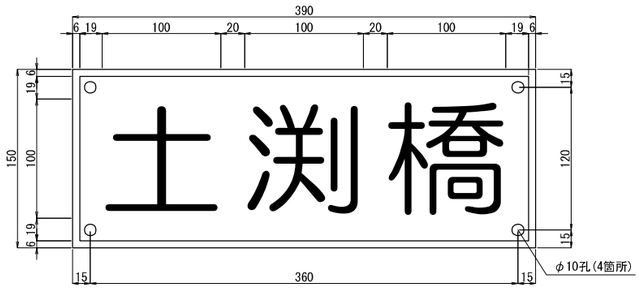
配 置 図

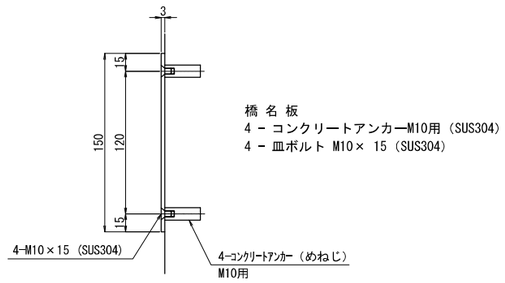


秋田自動車道 岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 支承E-6詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

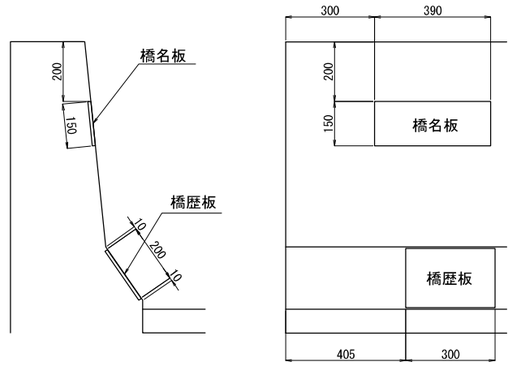
土渕橋(上り線)　橋名板・橋歴板

橋 名 板　S=1:5

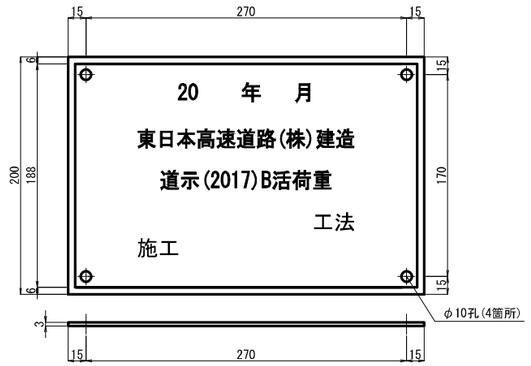


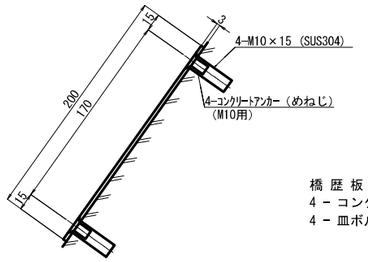


橋名板・橋歴板設置位置図　S=1:20

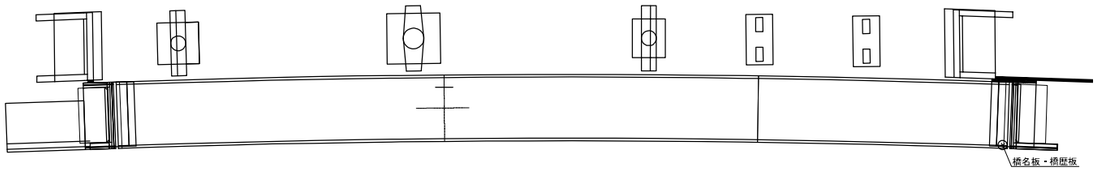


橋 歴 板　S=1:5





配置図　S=1:1000

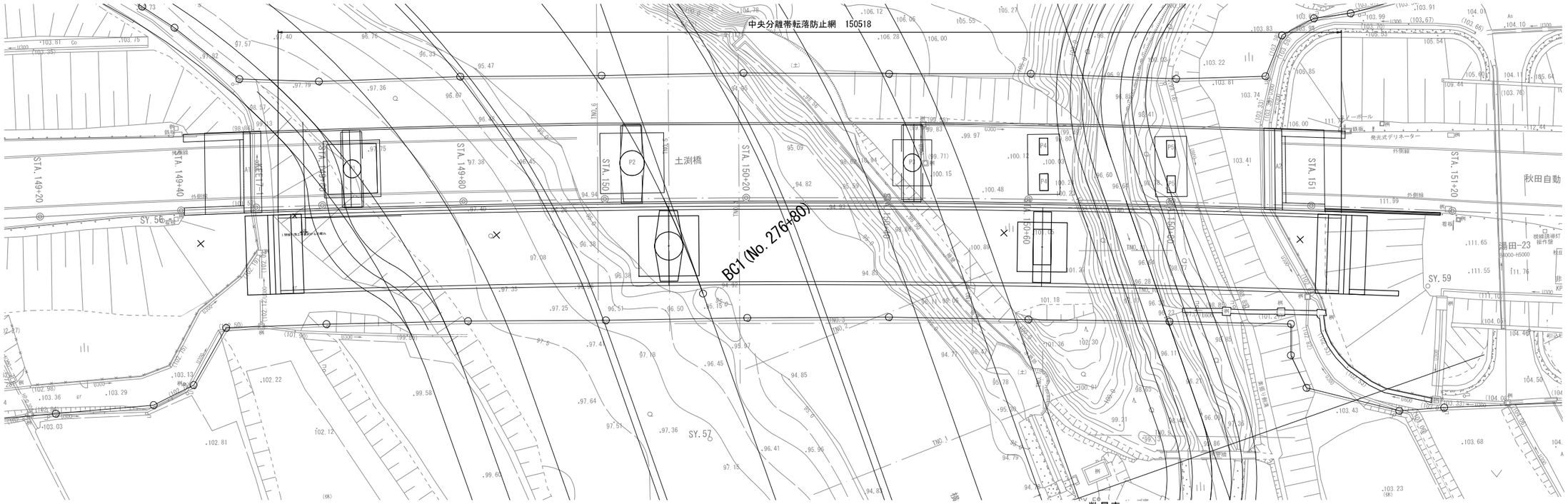


1．橋名板及び橋歴板の材料は，JIS H 4000 A 5052P
　（アルミニウム版）とする。
　また，表面は透明の高耐候性フィルムにより被膜する。
2．橋名板及び橋歴板に用いる色は黒地に金色とし、
　縁6mmについても文字と同様に金色とする。
3．橋名板の字体は丸ゴシック体とする。
4．橋歴板の字体はゴシック体とする。
5．橋名板は、車道側から見て左から記入とする。
6．橋名板、橋歴板を取付ける際は、他の構造物との取り
　合いを十分に確認した上で行うこと。

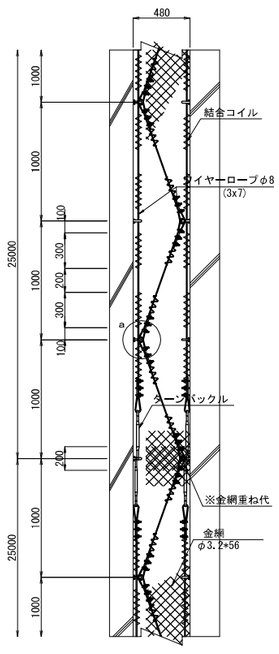
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 橋名板・橋歴板		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　中央分離帯転落防止網 S=1:1250

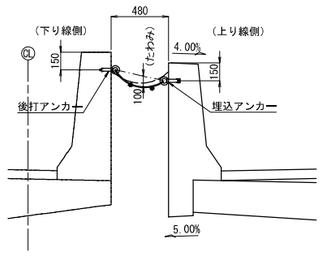
平面図



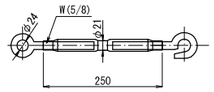
平面図 S=1:50



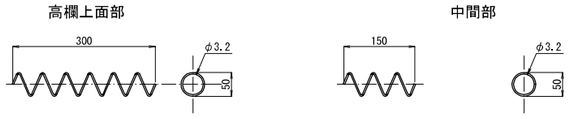
側面図 S=1:50



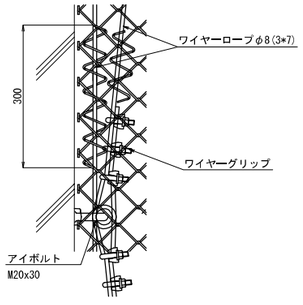
ターンバックル詳細図 S=1:12.5



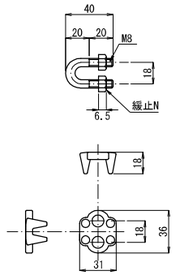
結合コイル詳細図 S=1:12.5



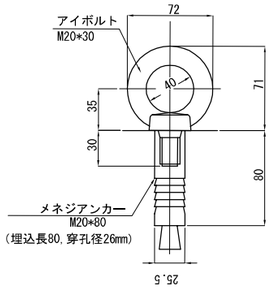
a 部詳細図 S=1:12.5



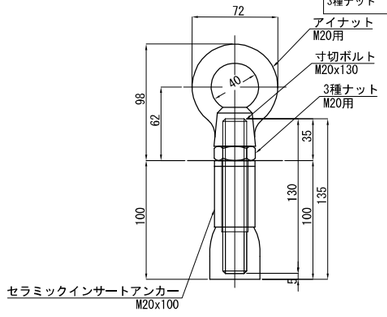
ワイヤークリップ詳細図 S=1:5



アンカーボルト部詳細図 S=1:5



後打アンカー
(既設側)



埋込アンカー
(新設側)

数量表

項目	単 位	数 量
中央分離帯転落防止網	m2	72.3

材 料 表

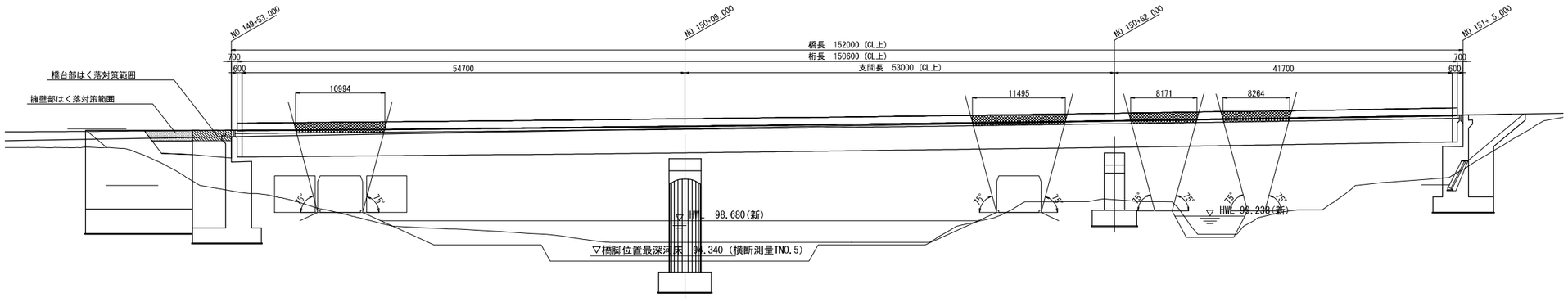
(0.48x25.0m=12.0m2 当り)

材 料 名	規 格	員 数	単 位	材料規格	表 面 処 理
金 網	φ3.2*56(クロス寸法500)	26	m	Z-GS7	JIS G3552(めっき付着量 380g/m2 以上)
結合コイル	φ3.2*50*300	122	ケ	SWGF-4準拠	JIS G 3548準拠 400g/m2 以上
ワイヤーロープ	φ8 (3*7)	95	m	G種相当	G/O 亜鉛付着量 110g/m2 以上
ワイヤークリップ	φ8用	84	組	SS400	HDZ49
ターンバックル	W5/8(片オーフ片ハッカー付)	4	組	SS400	HDZ49
メネジアンカー	M20*80	26	本	SWCH-D相当	HDZ49
アイボルト	M20*30	26	ケ	SS400	HDZ49
セラミックインサートアンカー	M20*100	26	本	アルナ製セラミックス	
寸切ボルト	M20*130	26	本	SS400	HDZ49
アイナット	M20用	26	ケ	SS400	HDZ49
3種ナット	M20用	26	ケ	SS400	HDZ49

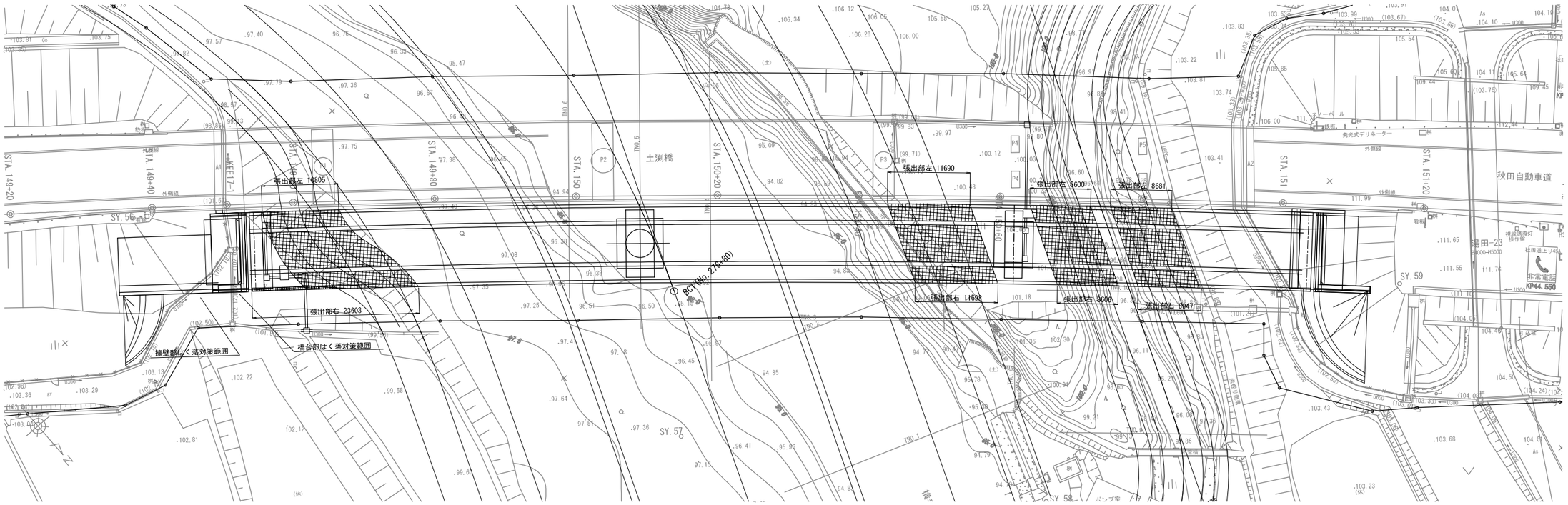
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 中央分離帯転落防止網		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　はく落防止対策工詳細図（１）

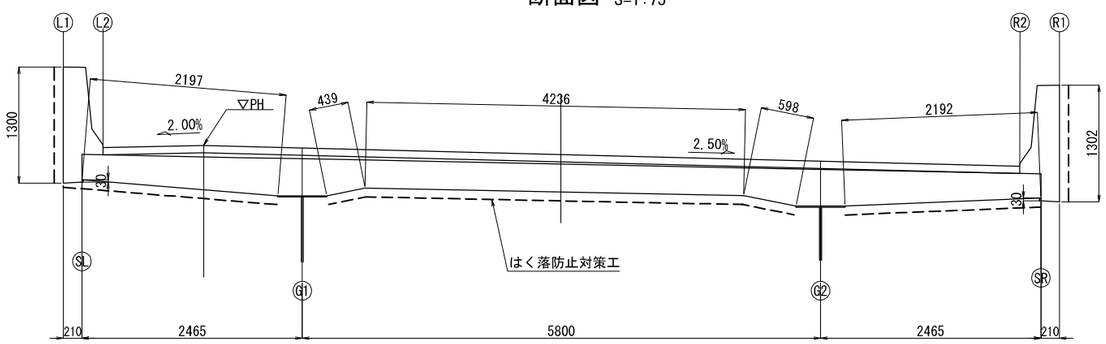
側　面　図　S=1:600



平　面　図　S=1:600



断面図　S=1:75



上部工:はく落防止対策範囲

本工事施工橋台部：はく落防止対策範囲

本工事施工擁壁部：はく落防止対策範囲

数量表

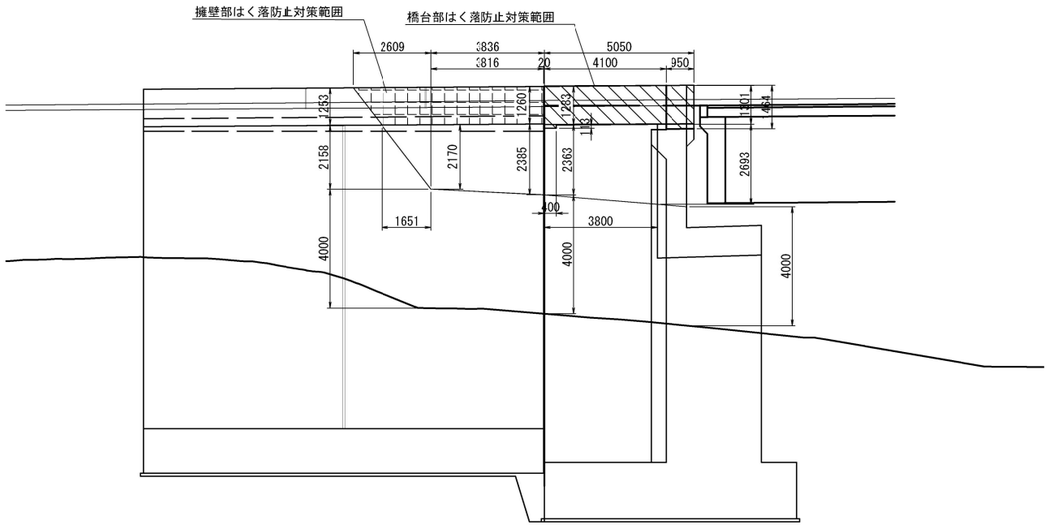
項　目		単位	数量	備考
はく落防止対策工	A	m2	548.8	

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） はく落防止対策工詳細図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

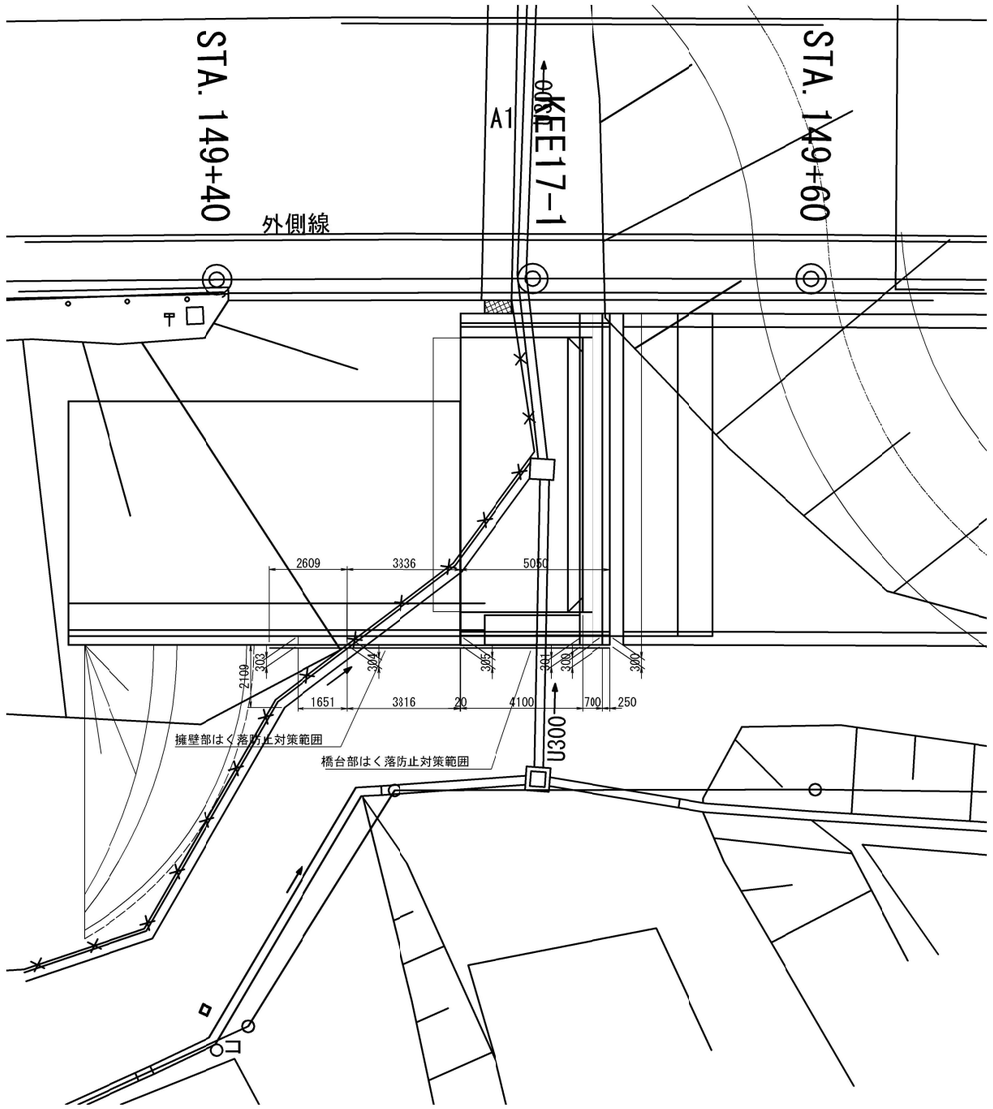
土渕橋（上り線）はく落防止対策工詳細図（２）

A1橋台

側　面　図　S=1:200



平　面　図　S=1:200



数量表

施工区分		単位	数量	備考
はく落防止対策工	A	m2	8.6	下部工
		m2	9.5	擁壁工
合計		m2	18.1	

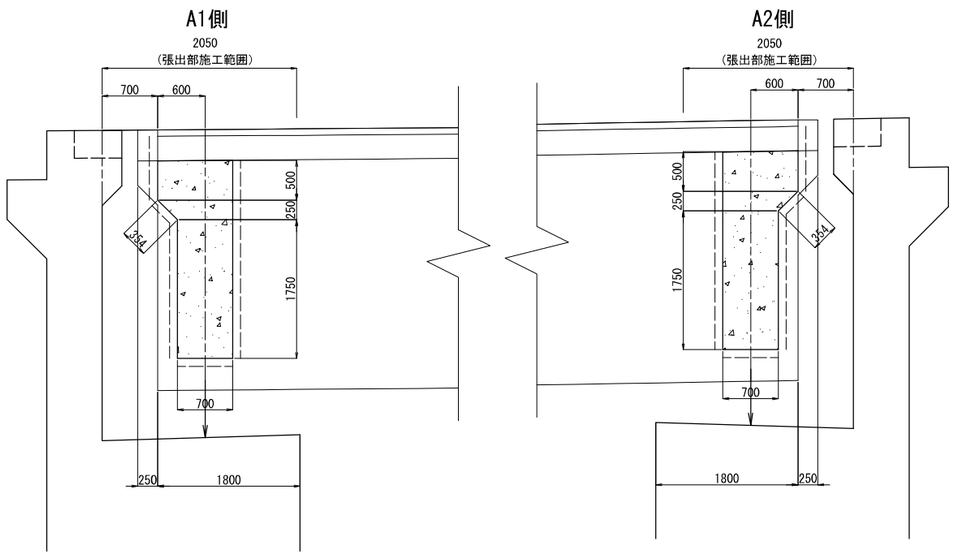
本工事施工橋台部：はく落防止対策範囲

本工事施工擁壁部：はく落防止対策範囲

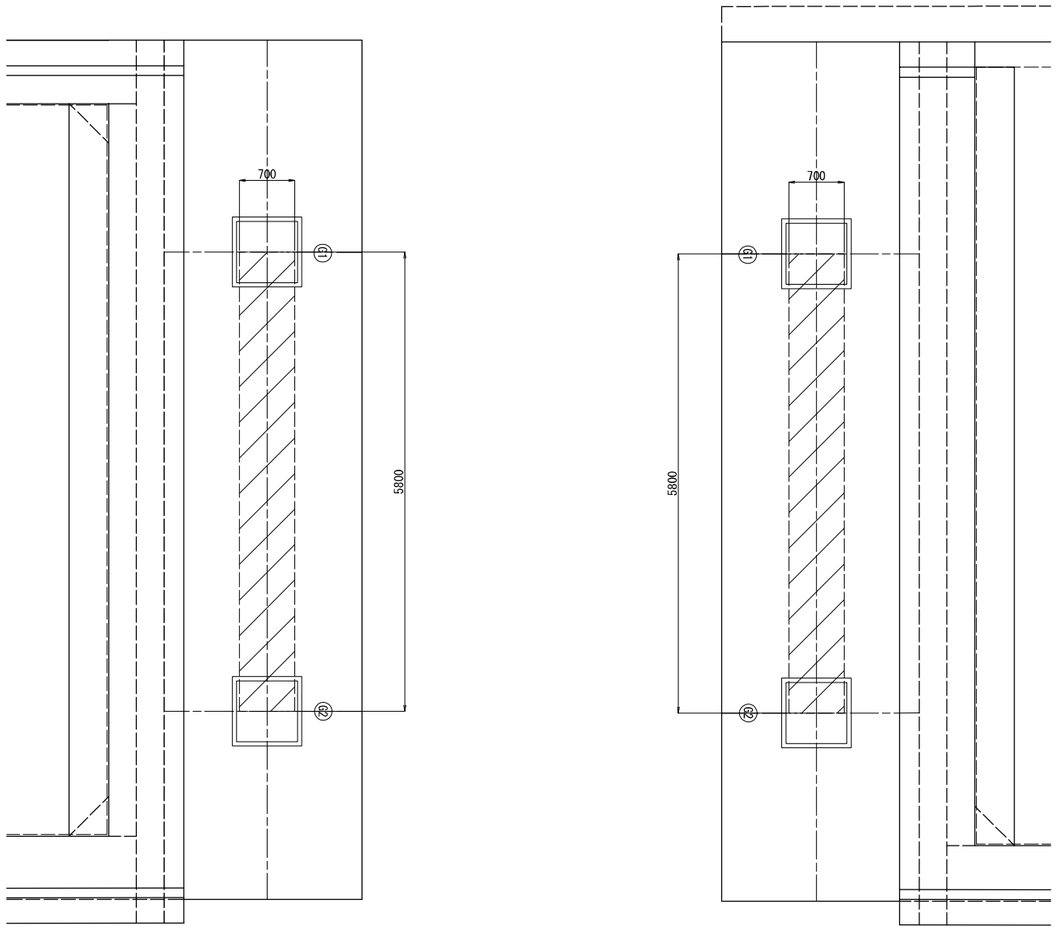
秋田自動車道　岩淵橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋（上り線） はく落防止対策工詳細図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　表面保護工詳細図（１） S=1:75

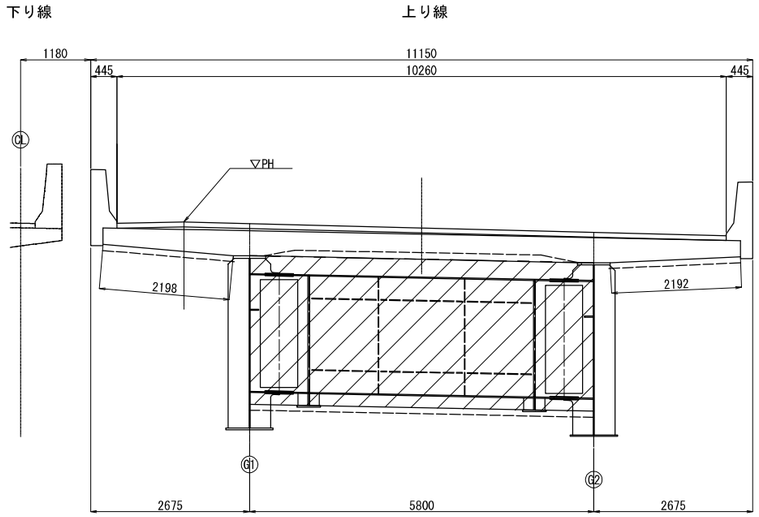
上部工側面



上部工桁端部底面図



断面図 S=1:100



数量表（上部工分）

項　目		単位	A1側数量	A2側数量	合計	
表面保護工	コンクリート表面被覆工	m2	9.0	9.0	18.0	
		m2	33.7	33.7	67.4	
合計		m2	42.7	42.7	85.4	

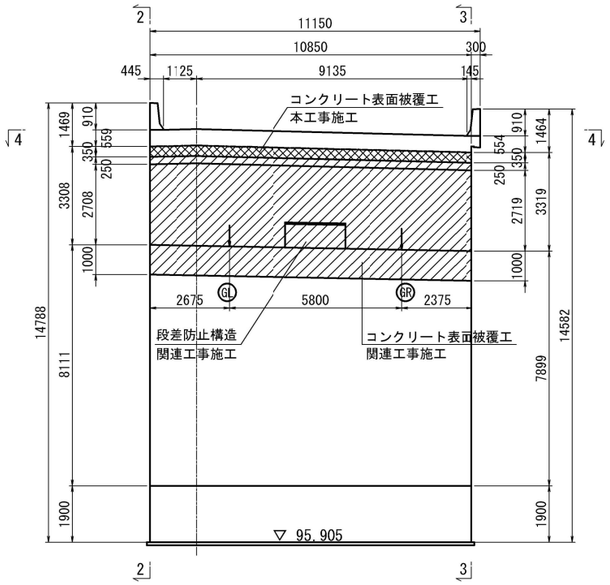
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 表面保護工詳細図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線)　表面保護工詳細図（２）

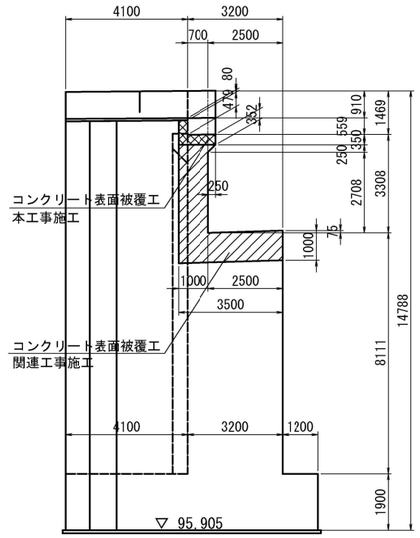
S=1:200

Ａ１橋台

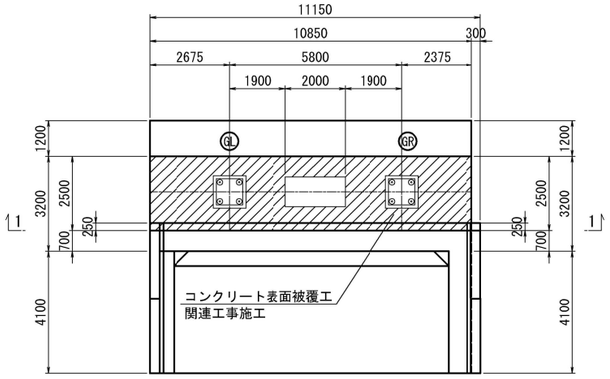
正面図（1 － 1）



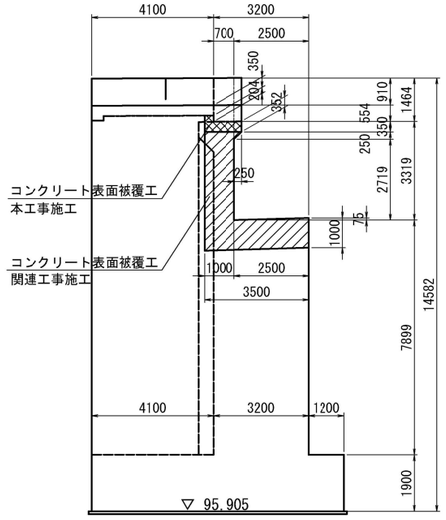
左側面図（2 － 2）



沓座平面図（4 － 4）



右側面図（3 － 3）

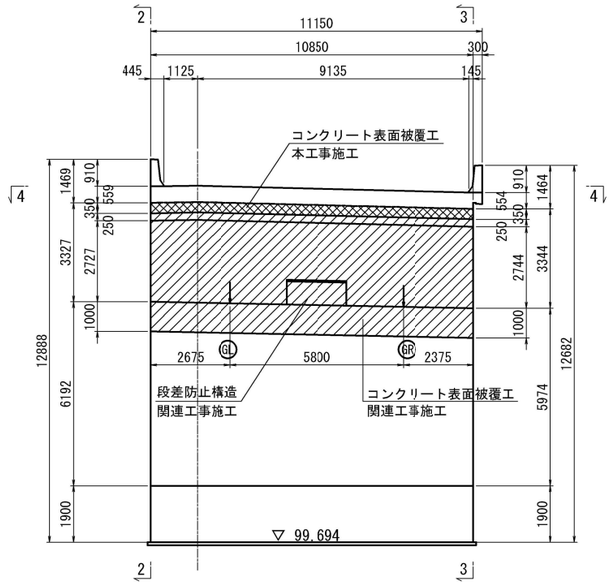


数量表（下部工分）

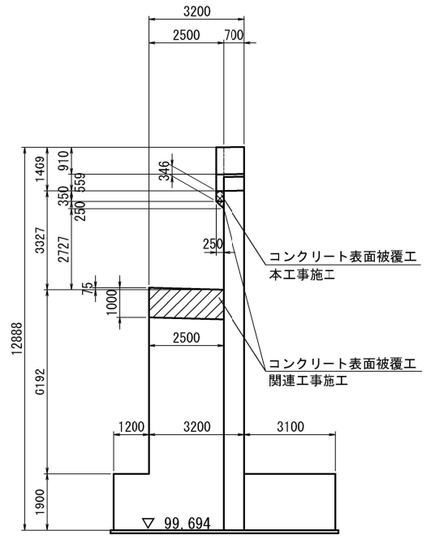
項　目		単位	A1側数量	A2側数量	備考
表面保護工	コンクリート表面被覆工	m2	4.9	4.3	
合計		m2	9.2		

Ａ２橋台

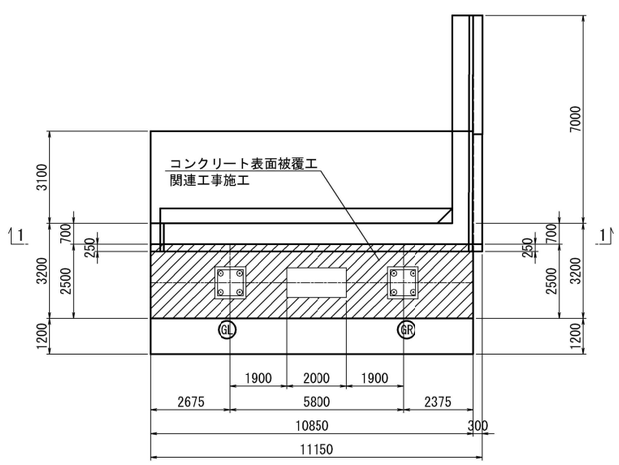
正面図（1 － 1）



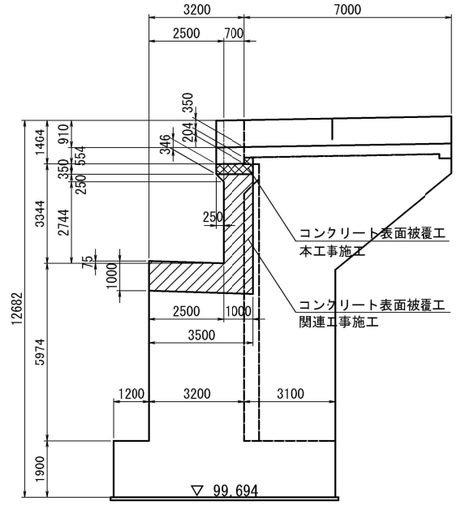
左側面図（2 － 2）



沓座平面図（4 － 4）



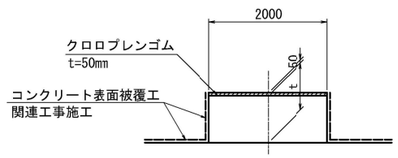
右側面図（3 － 3）



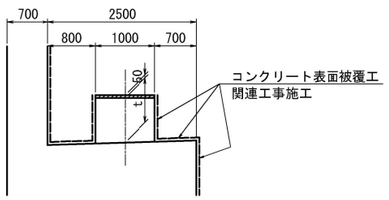
段差防止構造詳細図

S=1:100

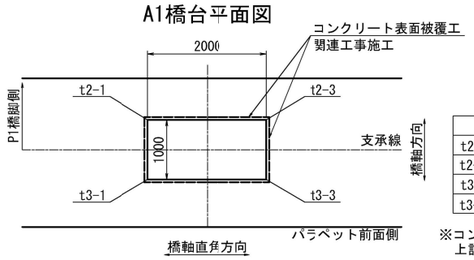
断面図



側面図



A1橋台平面図

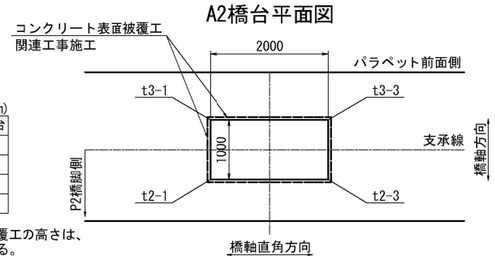


(mm)

	A1橋台	A2橋台
t2-1	739	729
t2-3	738	729
t3-1	769	759
t3-3	768	759

※コンクリート表面被覆工の高さは、
上記寸法＋50mmとする。

A2橋台平面図



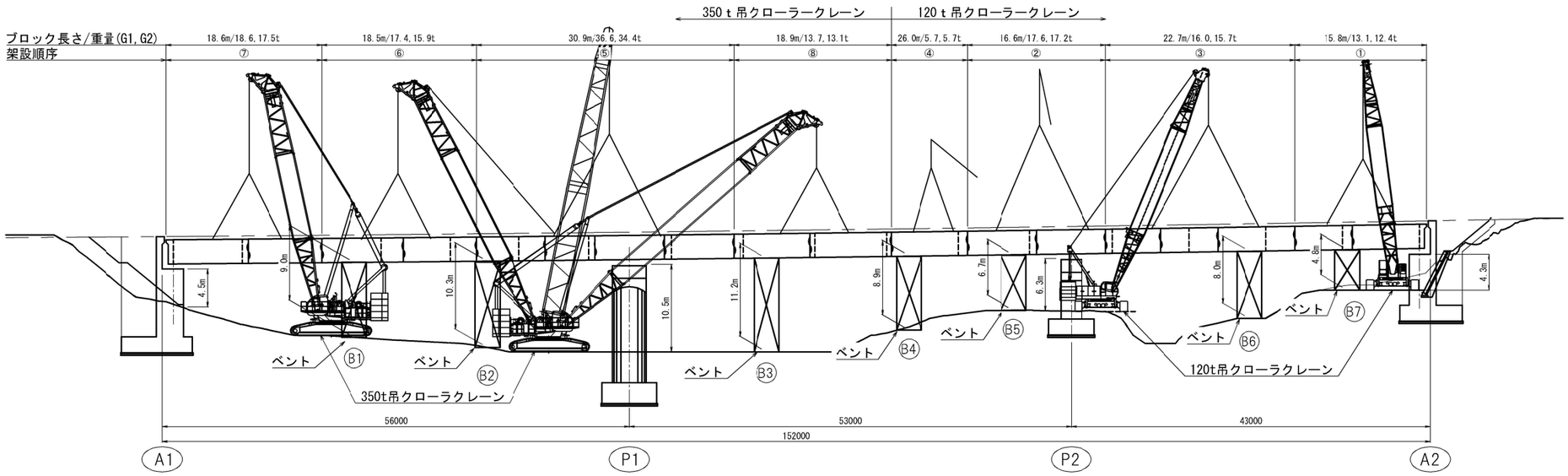
コンクリート表面被覆工（本工事施工）を示す

コンクリート表面被覆工（関連工事施工）を示す

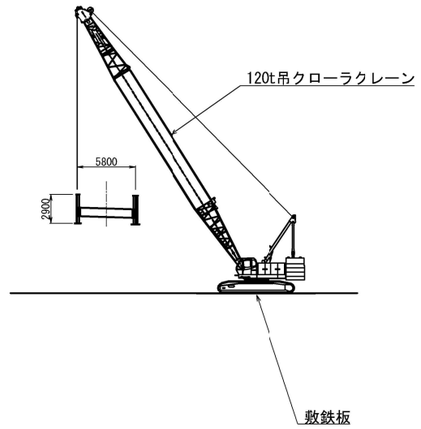
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) 表面保護工詳細図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線） 架設計画図(参考図) S=1:600

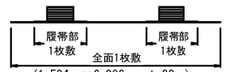
側面図



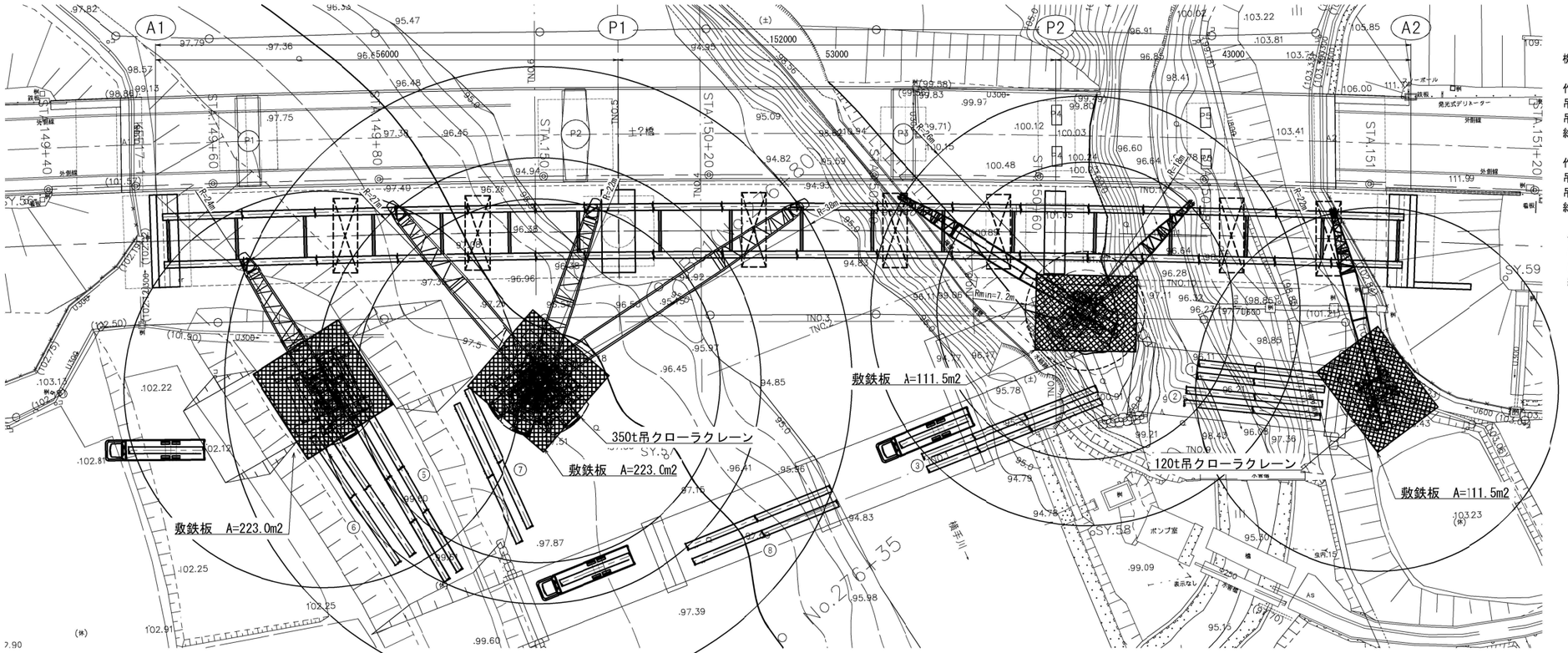
断面図



※敷鉄板設置区分
350t吊クレーン　全面1枚敷＋履帯接地部1枚敷
120t吊クレーン　全面1枚敷



平面図



350t吊クレーンの照査

機　　種：SL4500J/KOBELCO

作業半径：　22 m
吊り荷：36.6 t/⑤
吊り具：　5.0 t(ﾌｯｸ含)
総荷重：41.6 t< 64.5 t(64%)

作業半径：　27 m
吊り荷：18.6 t/⑥,⑦
吊り具：　5.0 t(ﾌｯｸ含)
総荷重：23.6 t< 48.2 t(49%)

作業半径：　38 m
吊り荷：13.7 t/⑧
吊り具：　5.0 t(ﾌｯｸ含)
総荷重：13.7 t< 29.1 t(64%)

主ブーム			
アール長(m) / 作業半径(m)	36.0	42.0	48.0
22.0	65.1	64.5	64.84
24.0	57.5	56.9	57.2
26.0	51.4	50.8	51.0
28.0	46.2	45.6	45.8
30.0	41.9	41.2	41.4
34.0	-	34.3	34.3
38.0	-	29.1	29.1

120t吊クレーンの照査

機　　種：MT7120G/KOBELCO

作業半径：　22 m
吊り荷：13.1 t/①
吊り具：　2.5 t(ﾌｯｸ含)
総荷重：15.6 t< 17.5 t(89%)

作業半径：　18 m
吊り荷：16.0 t/③
吊り具：　2.5 t(ﾌｯｸ含)
総荷重：18.5 t< 22.9 t(81%)

作業半径：　26 m
吊り荷：　5.7 t/④
吊り具：　2.5 t(ﾌｯｸ含)
総荷重：　8.2 t< 13.9 t(59%)

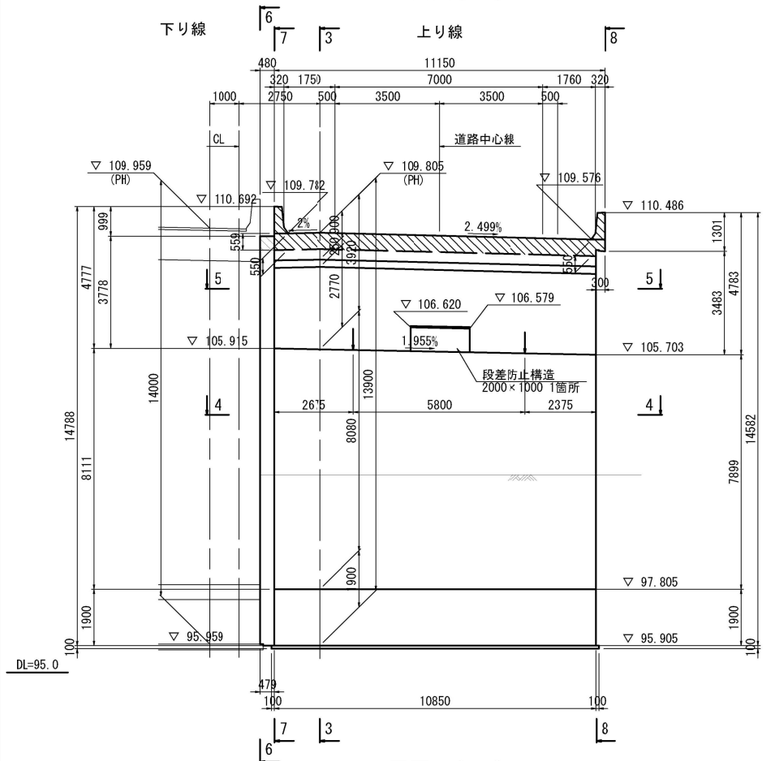
主ブーム			
アール長(m) / 作業半径(m)	27.4	30.5	33.5
18.0	23.0	22.9	22.8
20.0	20.0	19.9	19.8
22.0	17.6	17.5	17.4
24.0	15.6	15.5	15.4
26.0	-	13.9	13.8

注記
1.ベントについては、標準的な施工及び構造を想定している。

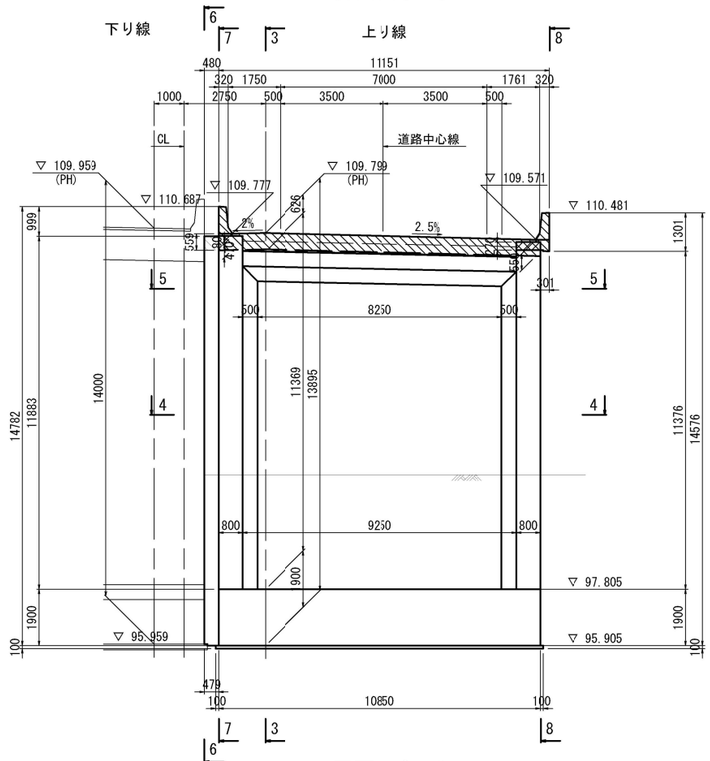
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） 架設計画図(参考図)		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）A1橋台構造一般図（１） S=1:200

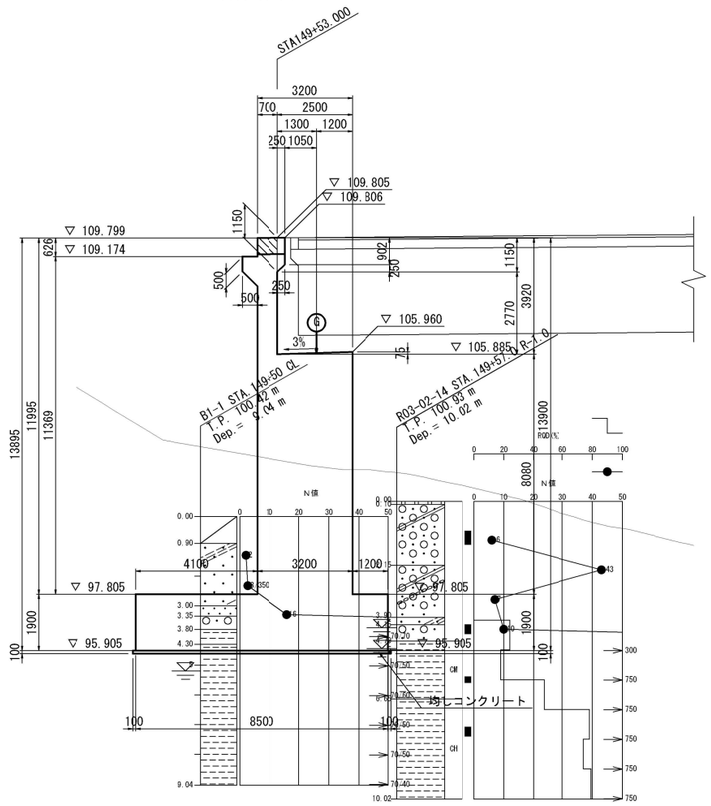
正面図(1-1)



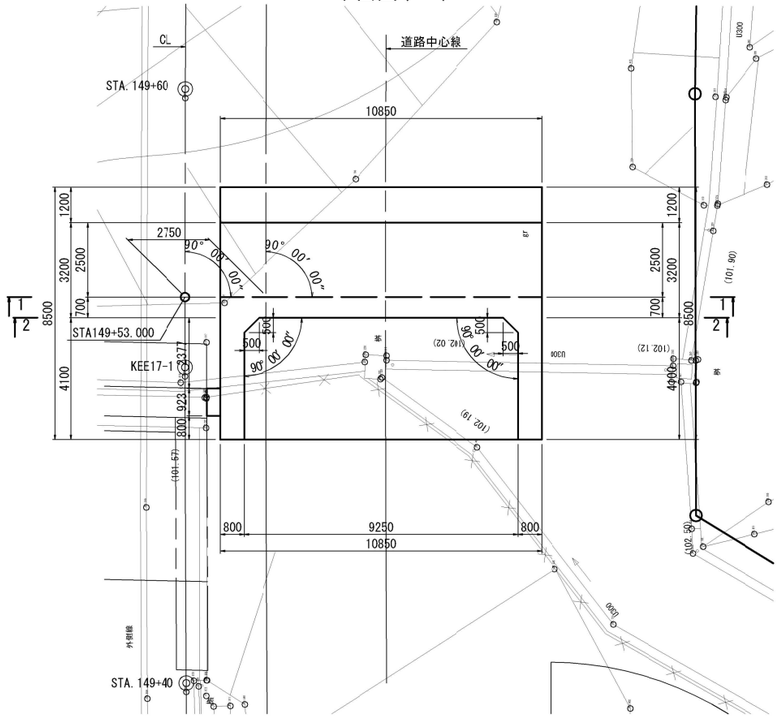
背面図(2-2)



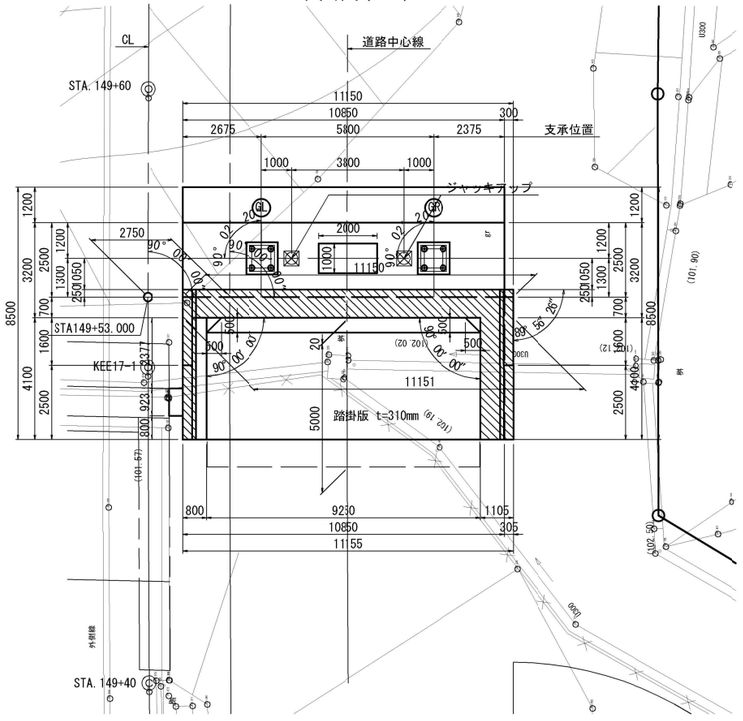
断面図(3-3)



平面図(4-4)



平面図(5-5)



特記事項
※1 地覆・壁高欄 ▧ 部は本工事施工とすること。
※2 Ｉ期施工構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。
※3 橋台測点は、バラペット前面位置とする。

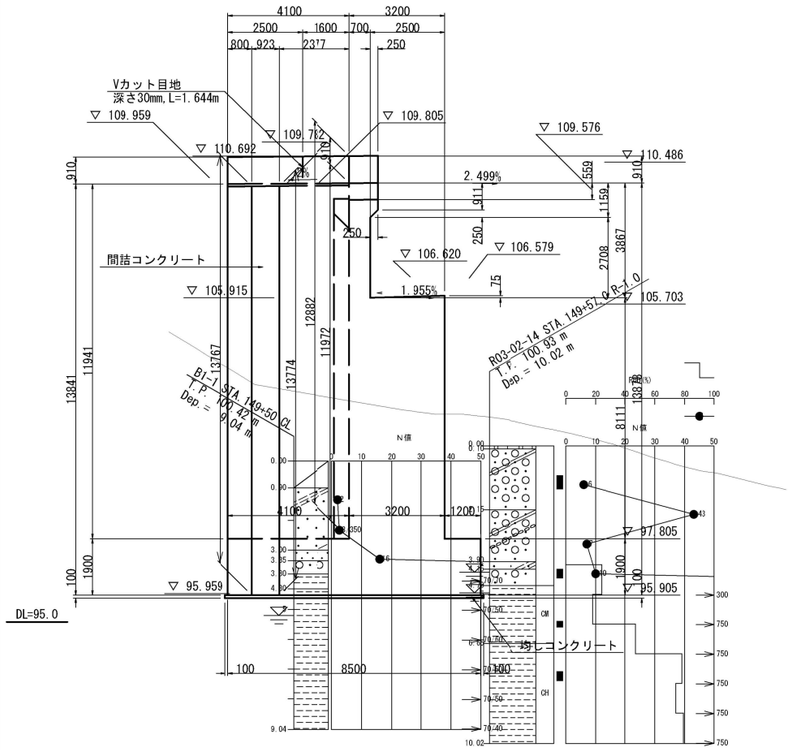
使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
地覆・壁高欄	σck=30N/mm2	SD345(エポキシ被覆)

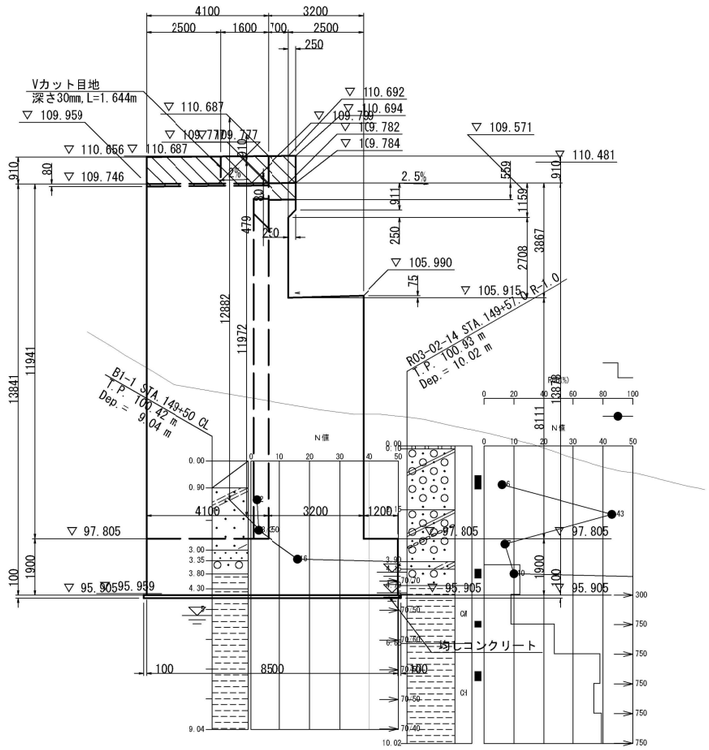
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） A1橋台構造一般図（１）		
縮　尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）A1橋台構造一般図（２） S=1:200

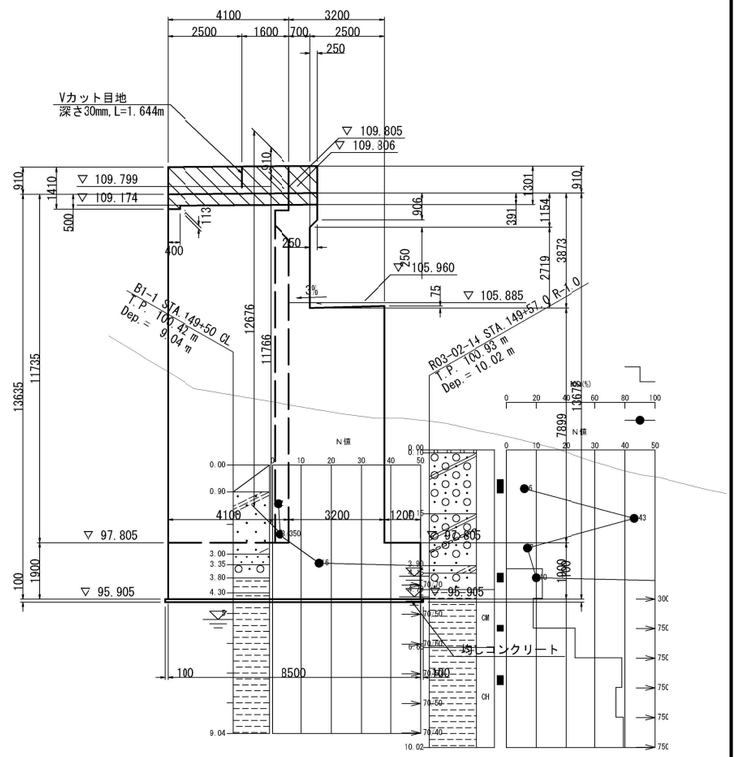
左側(6-6)



左ウイング(7-7)

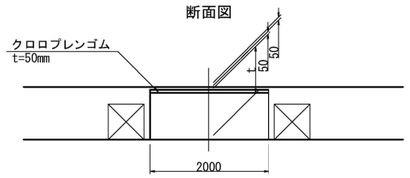


右ウイング(8-8)

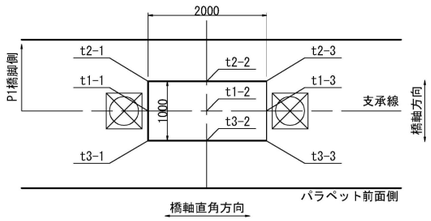


段差防止構造詳細図 S=1:100

断面図



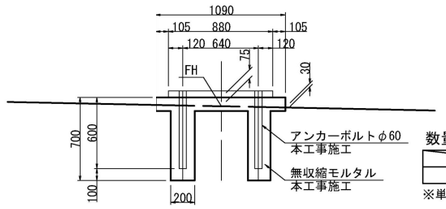
平面図



	mm
t1-1	754
t1-2	754
t1-3	753
t2-1	739
t2-2	739
t2-3	738
t3-1	769
t3-2	769
t3-3	768

支承部詳細図 S=1:50

断面図

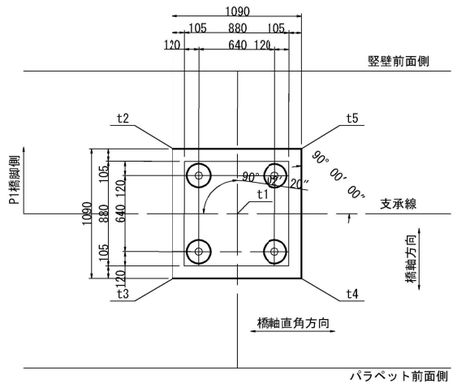


数量表 (2箇所当り)

	単位	A1橋台
無収縮モルタル	m3	0.442

※単価項目 支承E-5 に別途計上。

平面図



	mm
t1	75
t2	48
t3	81
t4	102
t5	69

支点上構造高及び下部工天端高表

A1橋台	GL	GR
路面計画高	109.787	109.642
舗　装　厚	0.080	0.080
調整コンクリート厚	0.039	0.011
床版厚	0.310	0.310
ハンチ高	0.100	0.100
主桁高	2.900	2.900
下フランジ厚	0.027	0.024
ソールプレート厚	0.041	0.041
支承高	0.312	0.312
沓座モルタル厚 t	0.075	0.075
台座コンクリート高 H	0.000	0.000
構造高合計	3.885	3.853
下部工天端高 FH	105.903	105.789
支承設置角度 θ	90° 02′ 02″	90° 02′ 02″
勾配 i	1.955%	

使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
地覆・壁高欄	σck=30N/mm2	SD345(エポキシ樹脂被覆)

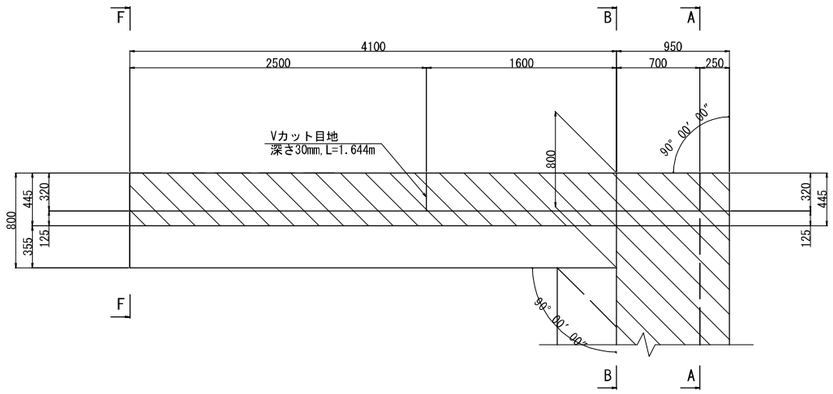
特記事項
※1 地覆・壁高欄 部は本工事施工とすること。
※2 Ｉ期施工構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。
※3 橋台測点は、パラペット前面位置とする。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） A1橋台構造一般図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）A1橋台構造一般図（３）

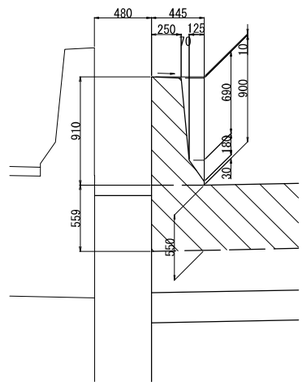
地覆・壁高欄詳細図 S=1:50

平面図(左側)

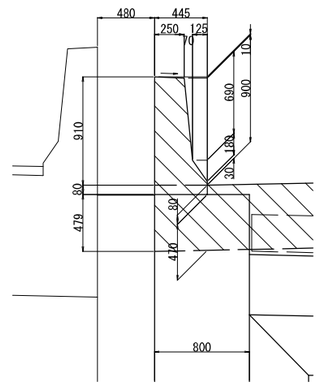


[左側]

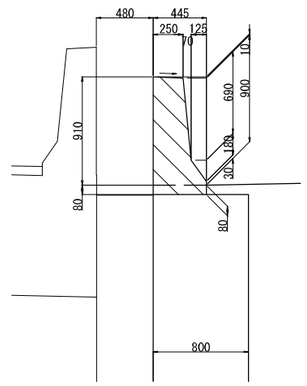
断面図(A-A)



断面図(B-B)

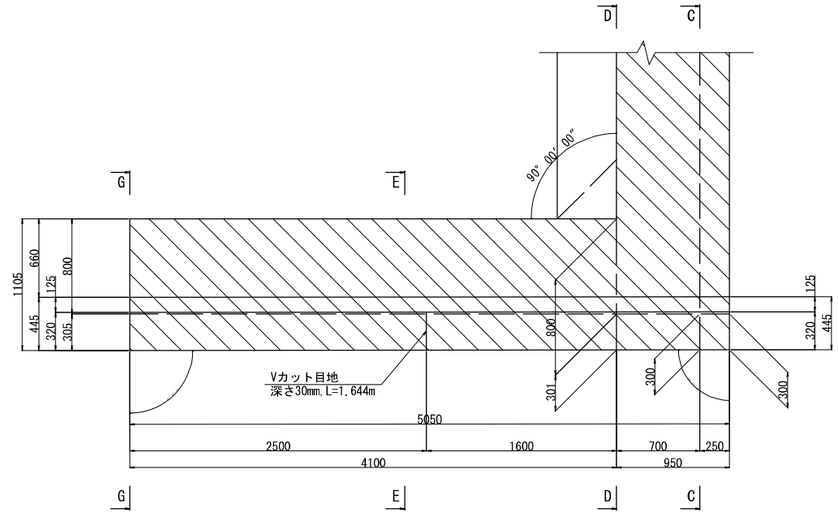


断面図(F-F)

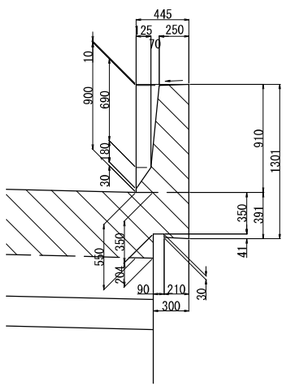


[右側]

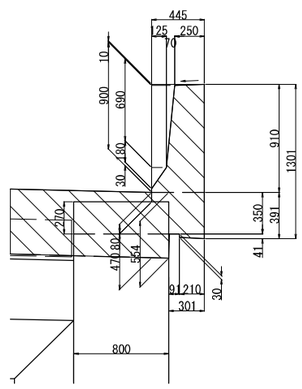
平面図(右側)



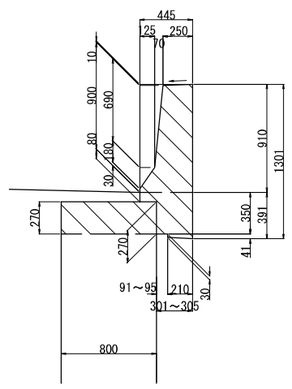
断面図(C-C)



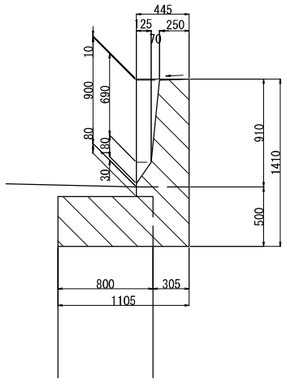
断面図(D-D)



断面図(E-E)



断面図(G-G)



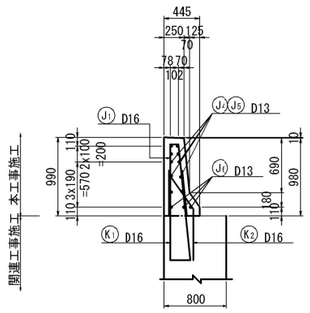
特記事項
※1 地覆・壁高欄 ▧ 部は本工事施工とすること。
※2 Ｉ期施工構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。
※3 橋台測点は、パラペット前面位置とする。

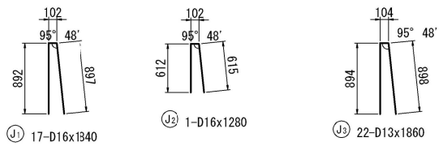
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） A1橋台構造一般図（３）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

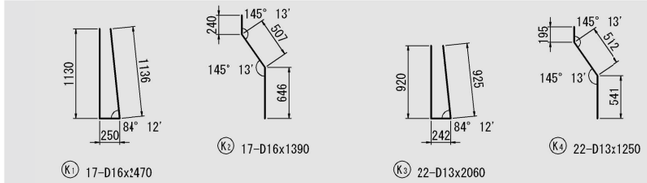
土渕橋(上り線)　A1橋台配筋図（１）

左側壁高欄配筋図　S=1：75

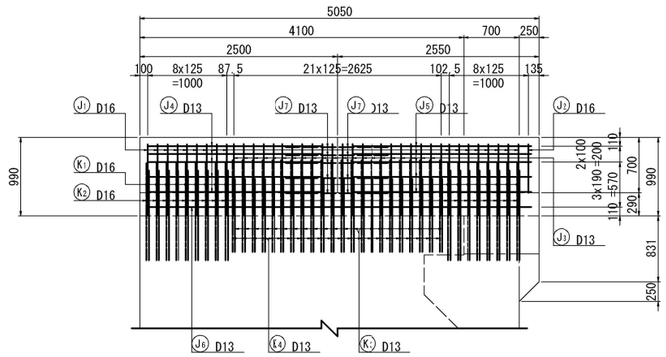
断 面 図

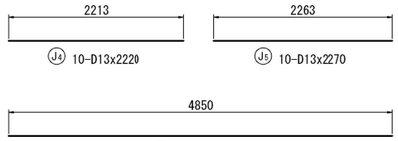


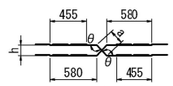




外面展開図





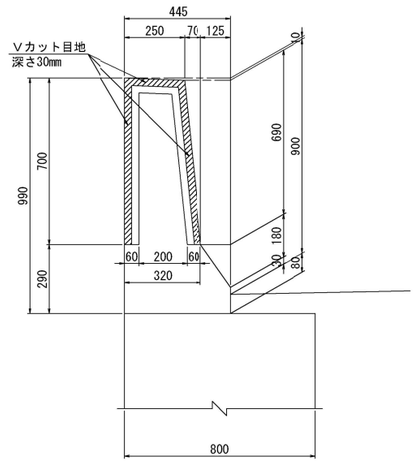


(平均長)
J7 10-D13x1330

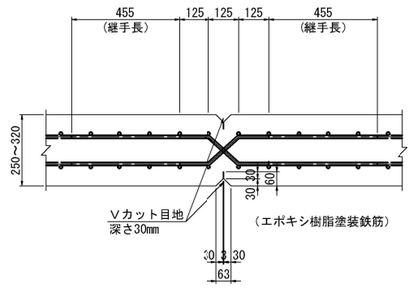
J7鉄筋変化筋表

記号	径	本数	h	a	θ	L
1	D13	2	75	146	149° 02″	1310
2	〃	2	85	151	145° 47″	1310
3	〃	2	95	157	142° 46″	1320
4	〃	2	114	169	137° 38″	1330
5	〃	2	134	183	133° 01″	1340
平均		10				1330

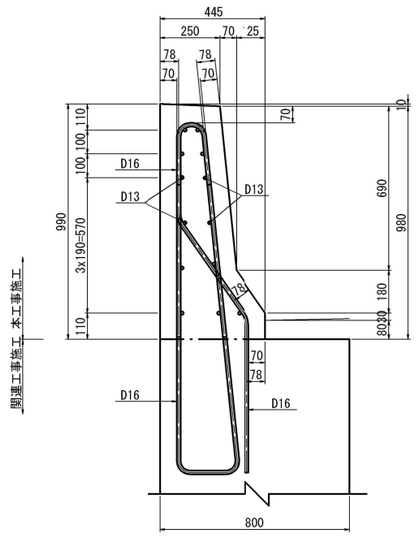
右側Ｖカット目地断面図　S=1:25



Ｖカット目地断面図　S=1:25



左側壁高欄かぶり詳細図　S=1:25



注1) ▭ ハッチング箇所の鉄筋は、関連工事による施工。

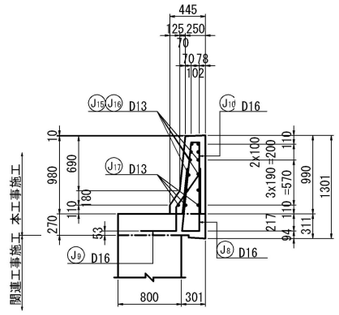
注2) 鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

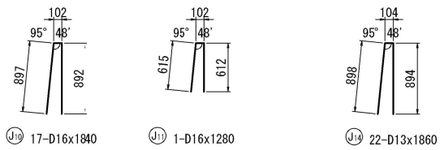
秋田自動車道　岩潟橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A 橋台配筋図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

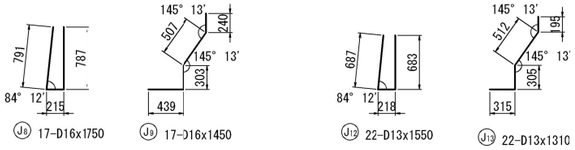
土渕橋(上り線)　A1橋台配筋図（２）

右側壁高欄配筋図　S=1：75

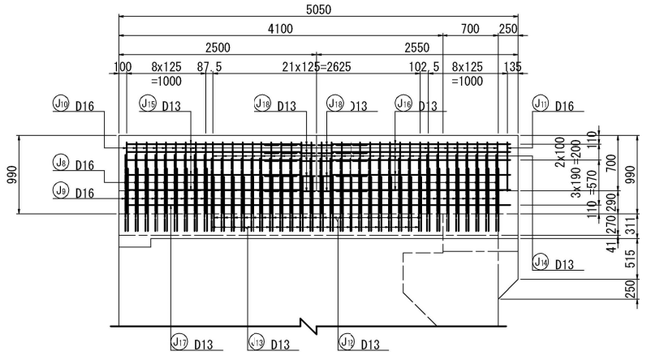
断 面 図

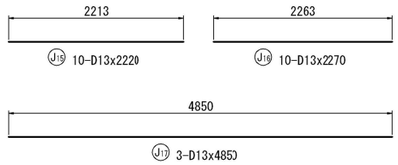


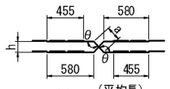




外面展開図



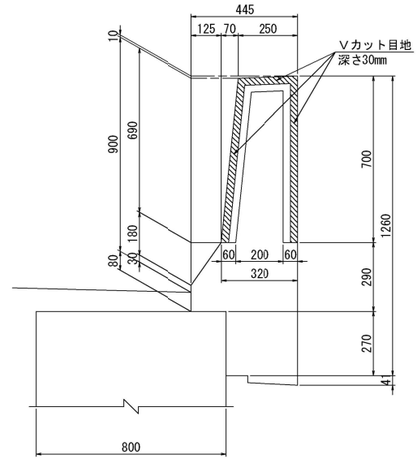




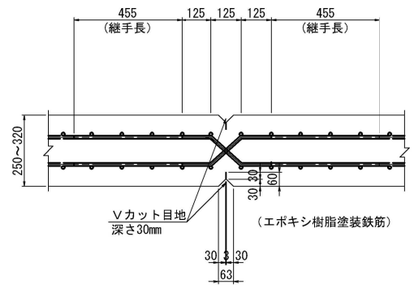
J18鉄筋変化筋表

記号	径	本数	h	a	θ	L
1	D13	2	75	146	149° 02″	1310
2	〃	2	85	151	145° 47″	1310
3	〃	2	95	157	142° 46″	1320
4	〃	2	114	169	137° 38″	1330
5	〃	2	134	183	133° 01″	1340
平均		10				1330

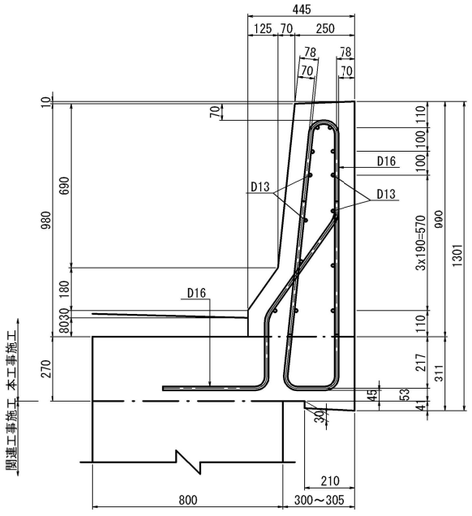
左側Ｖカット目地断面図　S=1:25



Ｖカット目地断面図　S=1:25



右側壁高欄かぶり詳細図　S=1:25



鉄筋質量表(壁高欄)

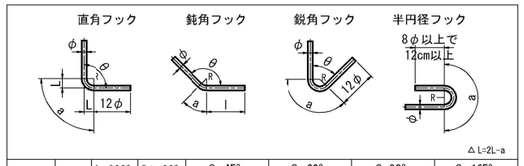
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)							
J1	D16	1840	17	1.56	2.87	49	
2	〃	1280	1	〃	2.00	2	
3	D13	1860	22	0.995	1.85	41	
4	〃	2220	10	〃	2.21	22	
5	〃	2270	10	〃	2.26	23	
6	〃	4850	3	〃	4.83	14	
7	〃	1330	10	〃	1.32	13	平均長
8	D16	1750	17	1.56	2.73	46	
9	〃	1450	17	〃	2.26	38	
10	〃	1840	17	〃	2.87	49	
11	〃	1280	1	〃	2.00	2	
12	D13	1550	22	0.995	1.54	34	
13	〃	1310	22	〃	1.30	29	
14	〃	1860	22	〃	1.85	41	
15	〃	2220	10	〃	2.21	22	
16	〃	2270	10	〃	2.26	23	
17	〃	4850	3	〃	4.83	14	
18	〃	1330	10	〃	1.32	13	平均長
						475 kg	

エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)		
A(E)		
D16	186	kg
D13	289	kg
合 計	475	kg

鉄筋集計表(壁高欄)

エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)				
種 別	径 (mm)		質 量 (kg)	合 計 (kg)
A(E)	D13		289	289
	D16		186	186
	D19 ～ D25	D19	——	——
		D22	——	
		D25	——	
	D29 ～ D32	D29	——	——
		D32	——	
	D35		——	——
	D38		——	——
	D41		——	——
	D51		——	——
	計			475

鉄筋加工寸法表



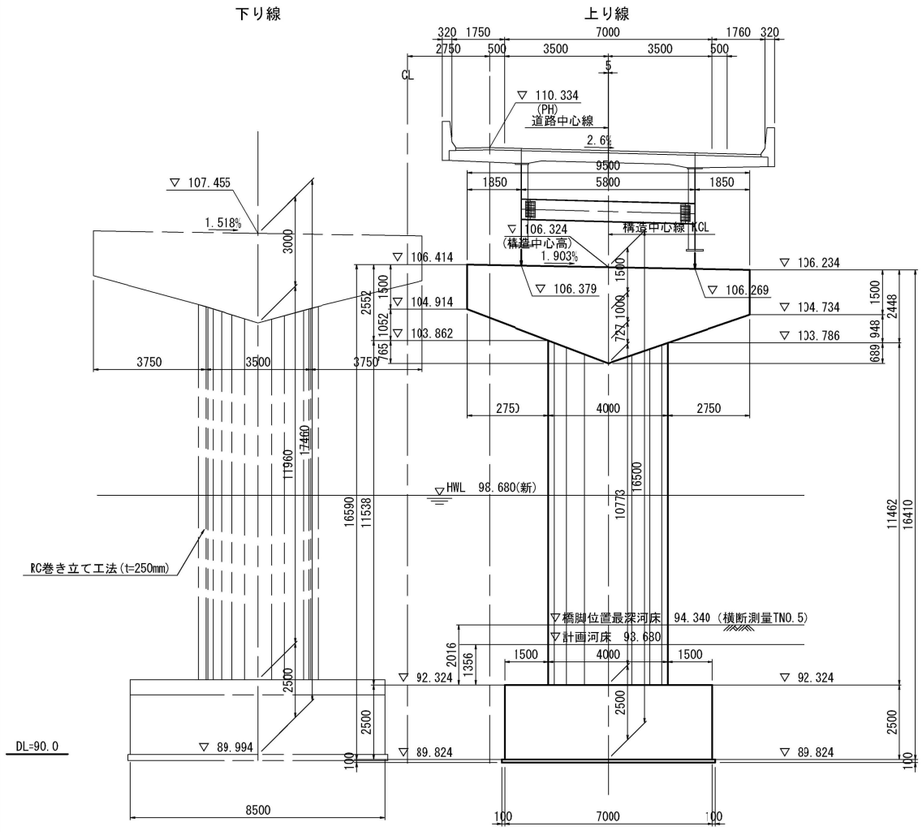
	径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
				a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
SD345	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	9
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注）鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

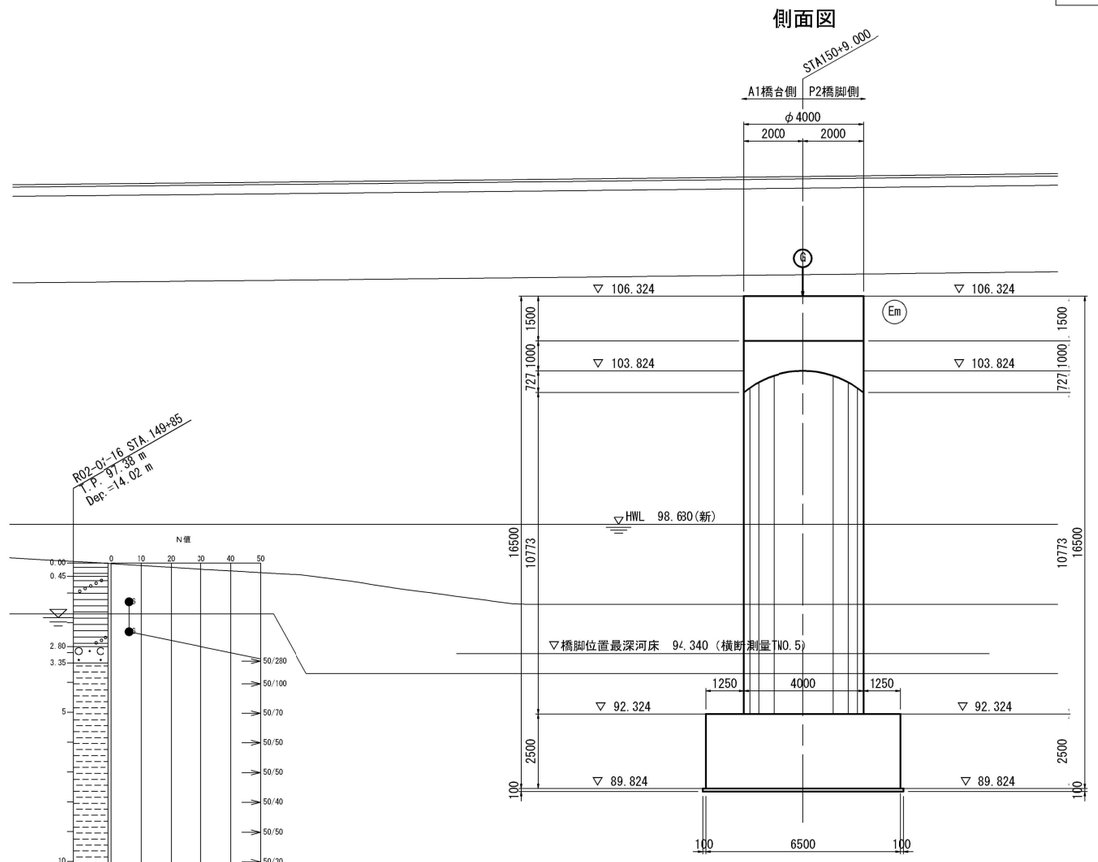
秋田自動車道　岩潟橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A'橋台配筋図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

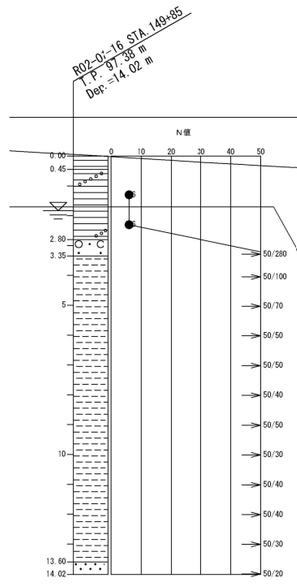
土渕橋（上り線）P1橋脚構造一般図 S=1:200

正面図

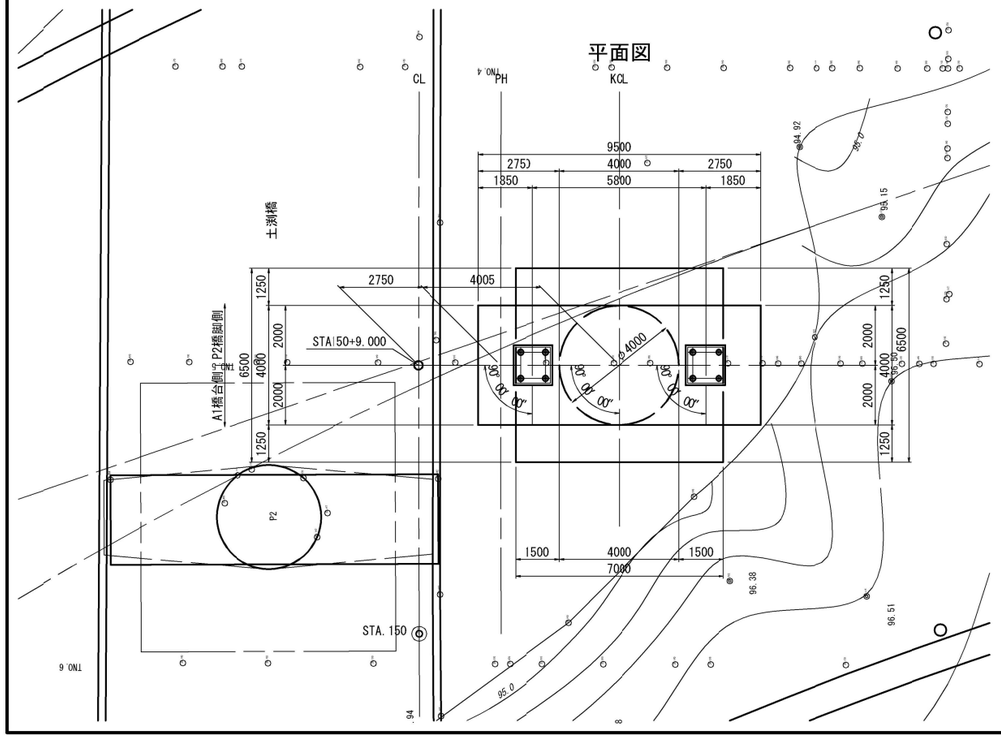


側面図



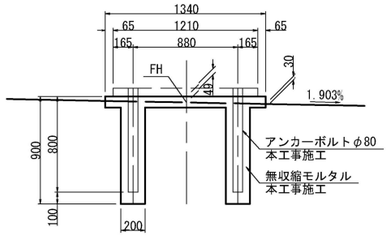


平面図

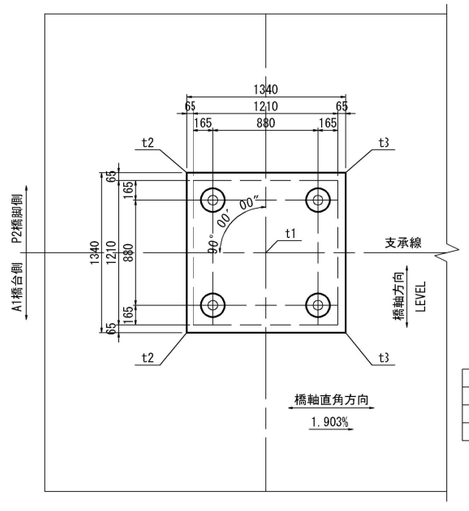


支承部詳細図 S=1:50

断面図



平面図



数量表 （2箇所当り）

	単位	P1橋脚
無収縮モルタル	m3	0.501

※単価項目 支承E-ｲ に別途計上。

	mm
t1	49
t2	36
t3	62

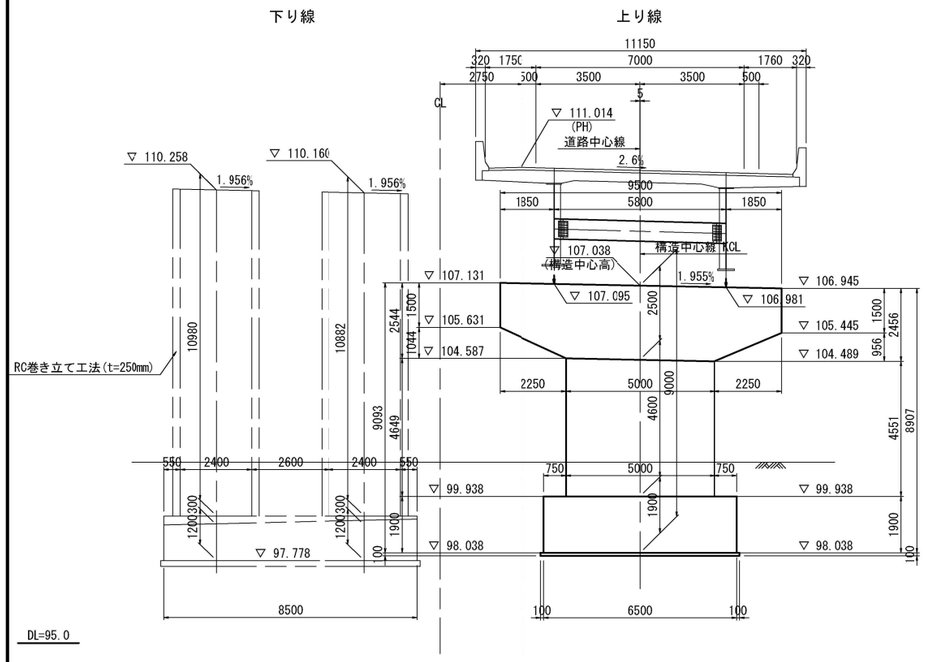
支点上構造高及び下部工天端高表

P1橋脚	GL	GR
路面計画高	110.306	110.161
舗　装　厚	0.080	0.080
調整コンクリート厚	0.040	0.011
床版厚	0.310	0.310
ハンチ高	0.100	0.100
主桁高	2.900	2.900
下フランジ厚	0.083	0.077
ソールプレート厚	0.044	0.044
支承高	0.321	0.321
沓座モルタル厚 t	0.049	0.049
台座コンクリート高 H	0.000	0.000
構造高合計	3.927	3.892
下部工天端高 FH	106.379	106.269
支承設置角度 θ	90° 00′ 00″	90° 00′ 00″
勾配 i	1.903% →	

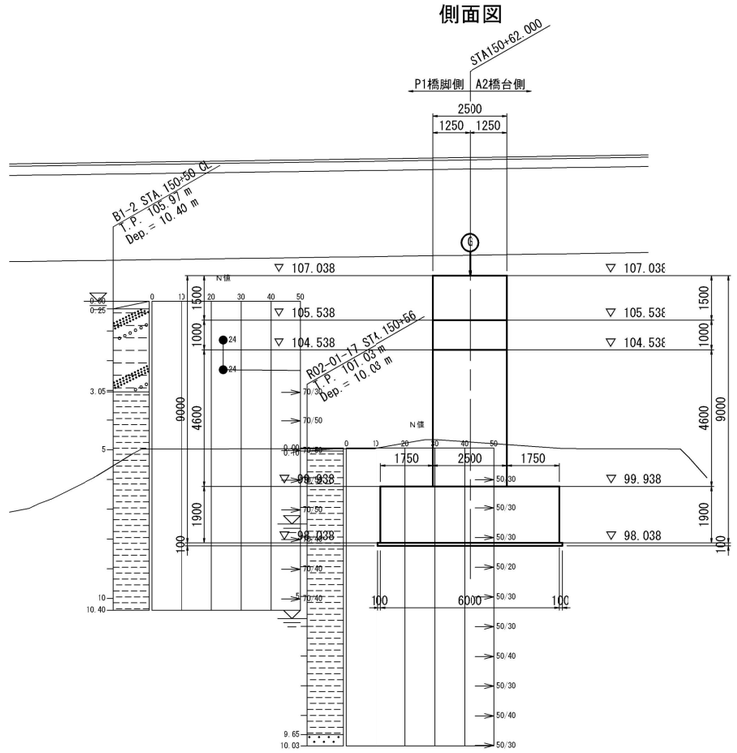
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） P1橋脚構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）P2橋脚構造一般図 S=1:200

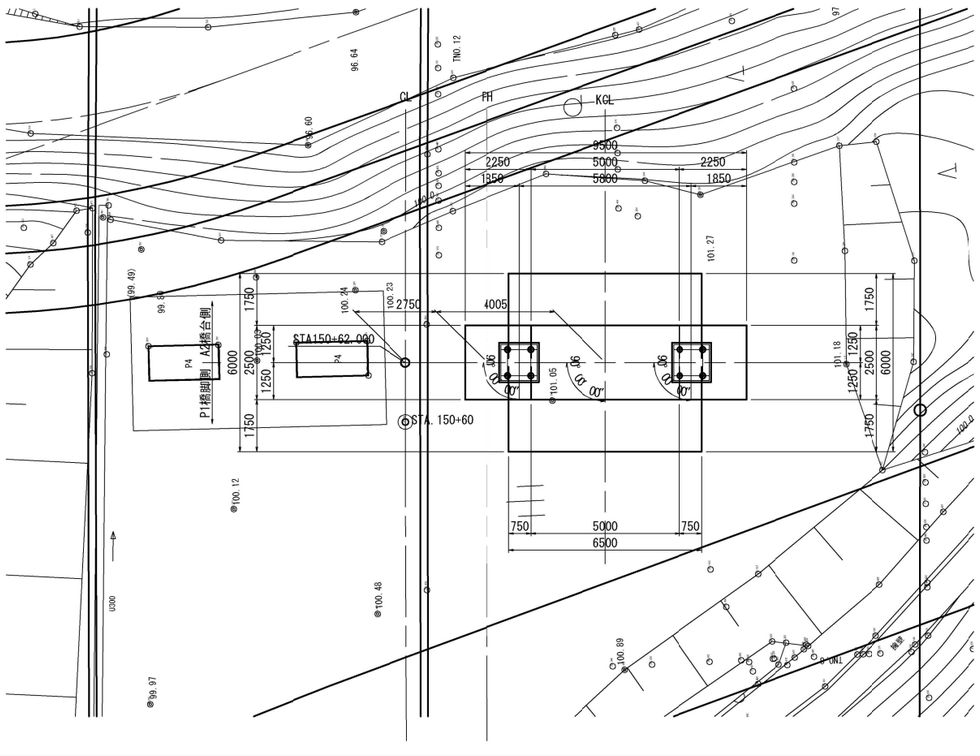
正面図



側面図

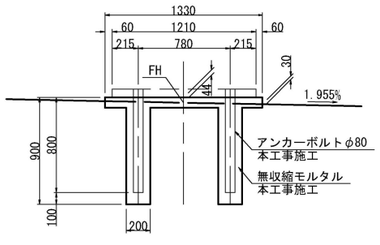


平面図

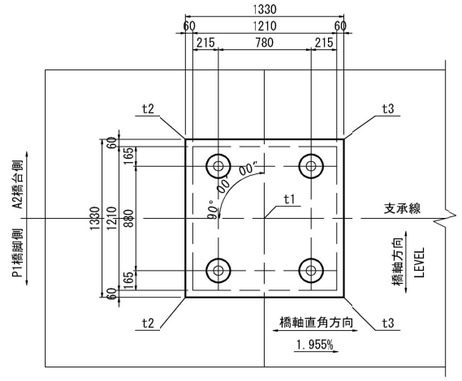


支承部詳細図 S=1:50

断面図



平面図



数量表

（2箇所当り）

	単位	P2橋脚
無収縮モルタル	m3	0.480

※単価項目 支承E-6 に別途計上。

	mm
t1	44
t2	31
t3	57

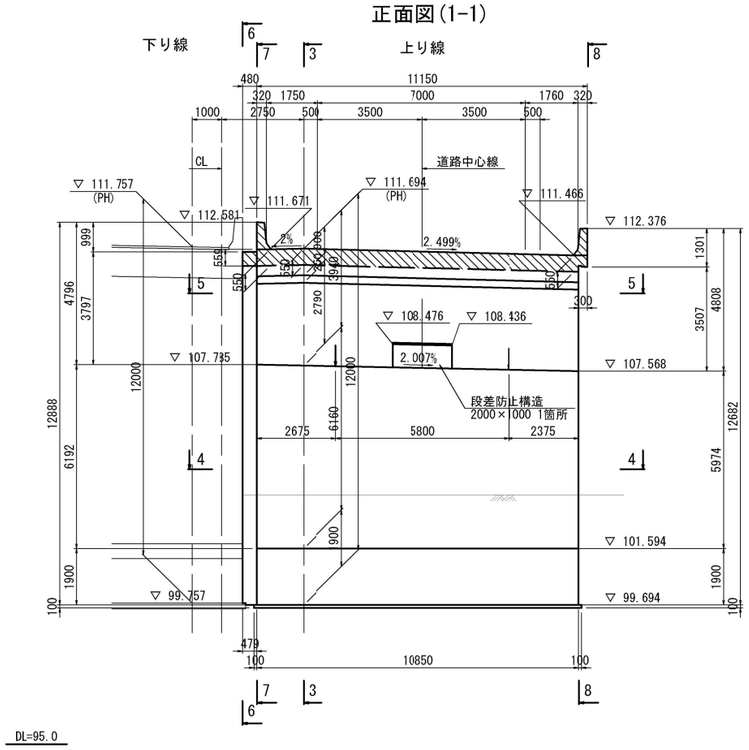
支点上構造高及び下部工天端高表

P2橋脚	GL	GR
路面計画高	110.986	110.841
舗　装　厚	0.080	0.080
調整コンクリート厚	0.039	0.011
床版厚	0.310	0.310
ハンチ高	0.100	0.100
主桁高	2.900	2.900
下フランジ厚	0.052	0.049
ソールプレート厚	0.045	0.045
支承高	0.321	0.321
沓座モルタル厚 t	0.044	0.044
台座コンクリート高 H	0.000	0.000
構造高合計	3.891	3.860
下部工天端高 FH	107.095	106.981
支承設置角度 θ	90° 00′ 00″	90° 00′ 00″
勾配 i	1.955% →	

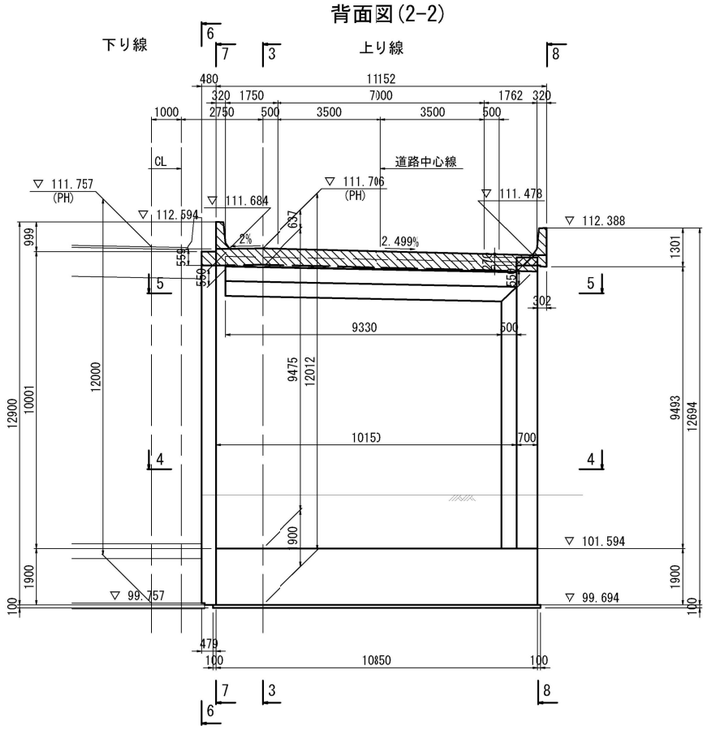
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） P2橋脚構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）A2橋台構造一般図（１） S=1:200

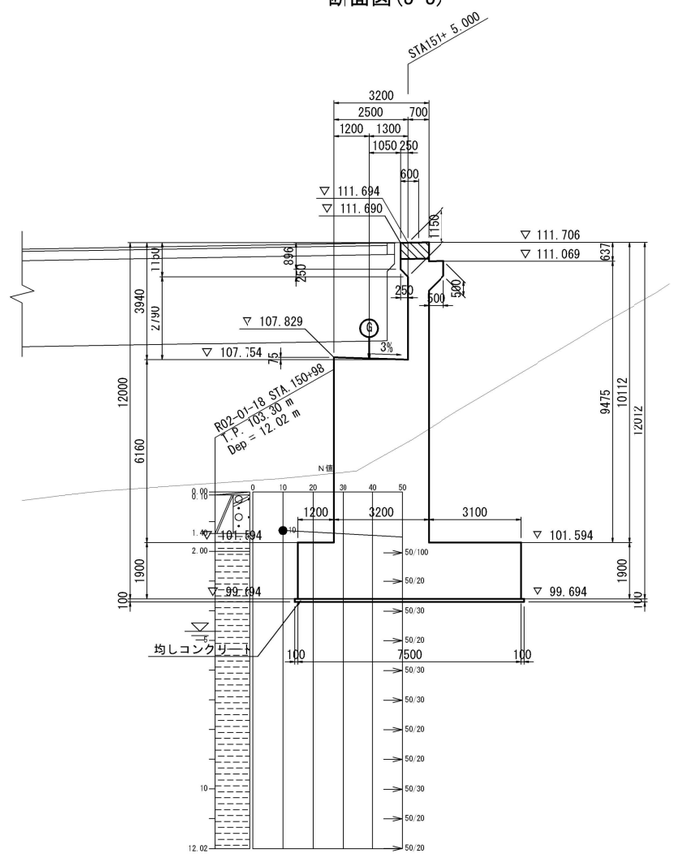
正面図(1-1)



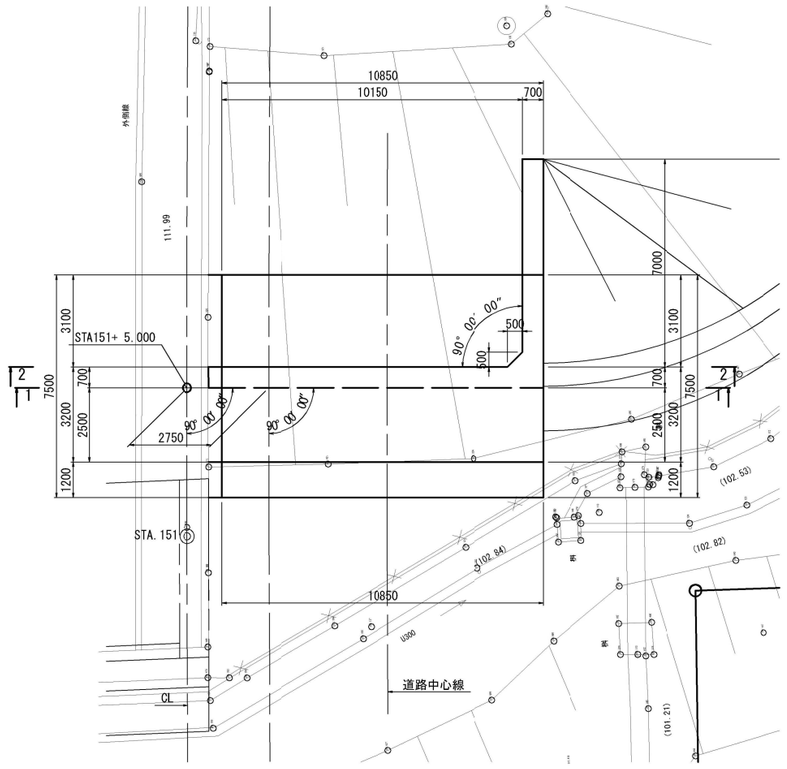
背面図(2-2)



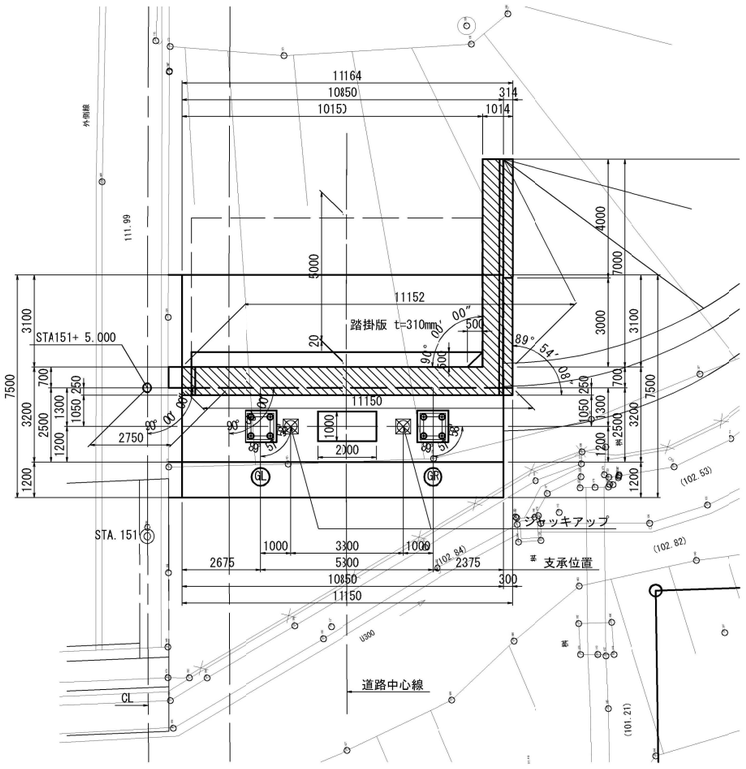
断面図(3-3)



平面図(4-4)



平面図(5-5)



特記事項
※1 地覆・壁高欄 ▨ 部は本工事施工とすること。
※2 Ｉ期施工構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。
※3 橋台測点は、パラペット前面位置とする。

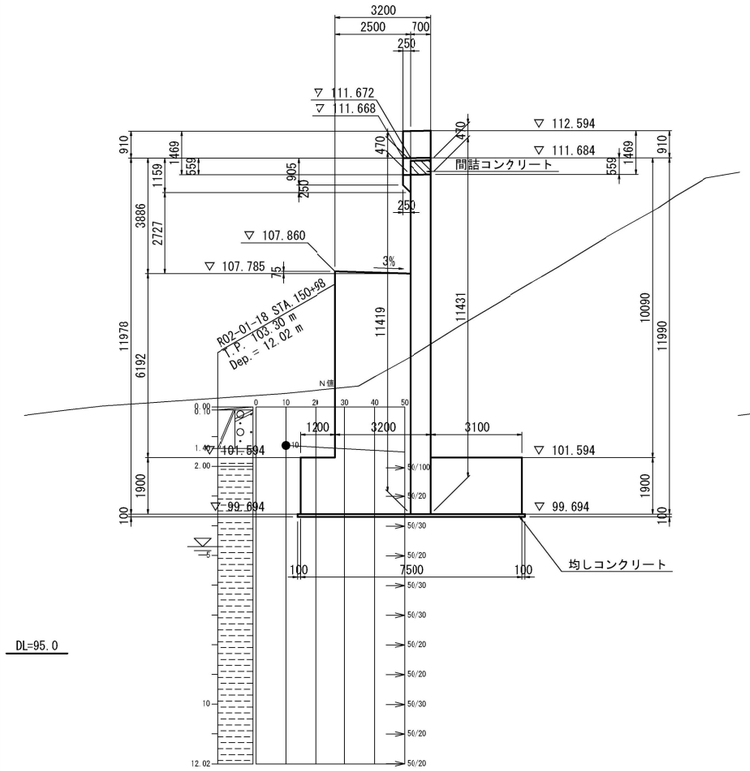
使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
地覆・壁高欄	σck=30N/mm2	SD345(エポキシ被覆)

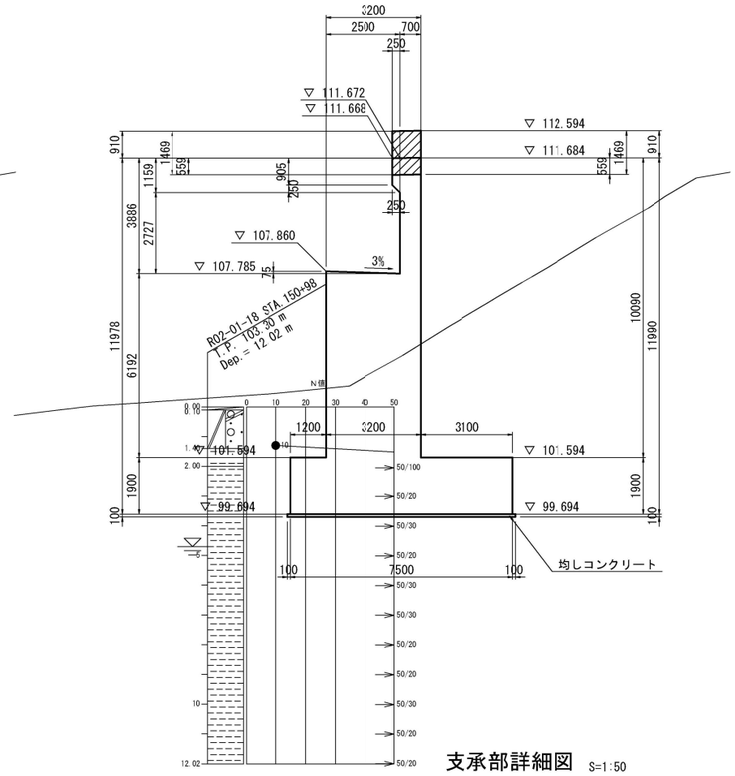
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） A2橋台構造一般図（１）		
縮　尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）A2橋台構造一般図（２） S=1:200

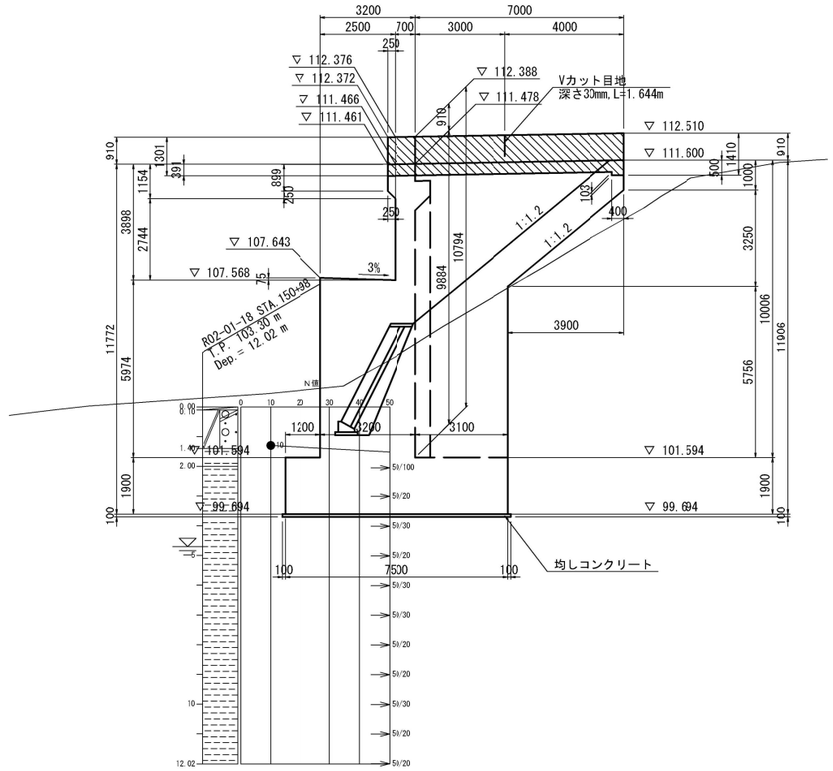
左側(6-6)



左側(7-7)

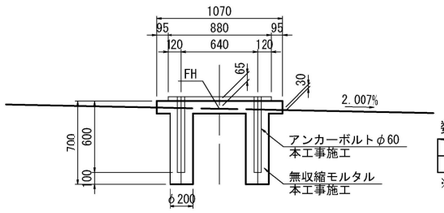


右ウイング(8-8)



支承部詳細図 S=1:50

断面図



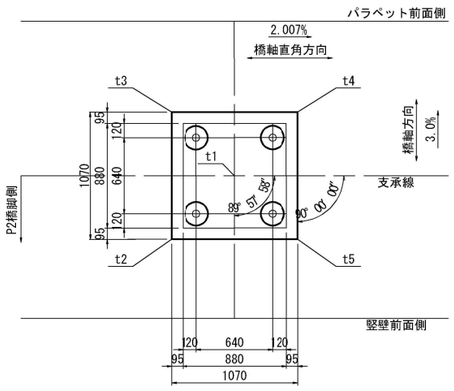
数量表

（2箇所当り）

	単位	A2橋台
無収縮モルタル	m3	0.411

※単価項目 支承E-5 に別途計上。

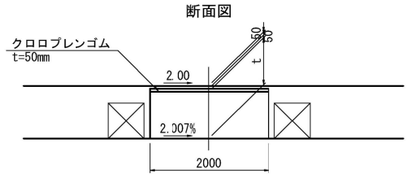
平面図



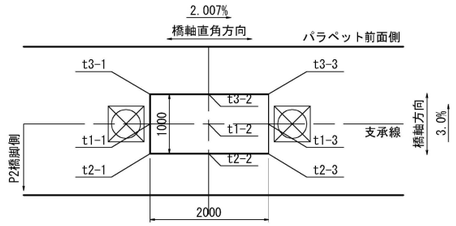
	mm
t1	65
t2	38
t3	70
t4	92
t5	60

段差防止構造詳細図 S=1:100

断面図



平面図



	mm
t1-1	744
t1-2	744
t1-3	744
t2-1	729
t2-2	729
t2-3	729
t3-1	759
t3-2	759
t3-3	759

支点上構造高及び下部工天端高表

A2橋台	GL	GR
路面計画高	111.644	111.499
舗　装　厚	0.080	0.080
調整コンクリート厚	0.040	0.011
床版厚	0.310	0.310
ハンチ高	0.100	0.100
主桁高	2.900	2.900
下フランジ厚	0.023	0.023
ソールプレート厚	0.044	0.044
支承高	0.312	0.312
沓座モルタル厚 t	0.065	0.065
台座コンクリート高 H	0.000	0.000
構造高合計	3.874	3.845
下部工天端高 FH	107.770	107.654
支承設直角度 θ	89° 57′ 58″	89° 57′ 58″
勾配 i	2.007% →	

特記事項
※1 地覆・壁高欄 ▧ 部は本工事施工とすること。
※2 Ｉ期施工構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。
※3 橋台測点は、パラペット前面位置とする。

使用材料一覧表

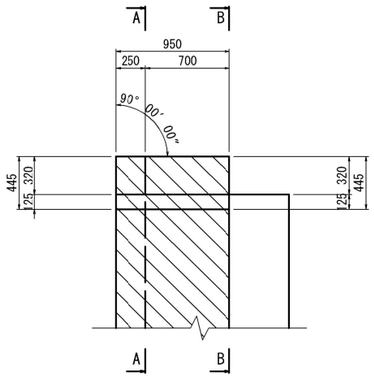
使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
地覆・壁高欄	σck=30N/mm2	SD345(エポキシ被覆)

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） A2橋台構造一般図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

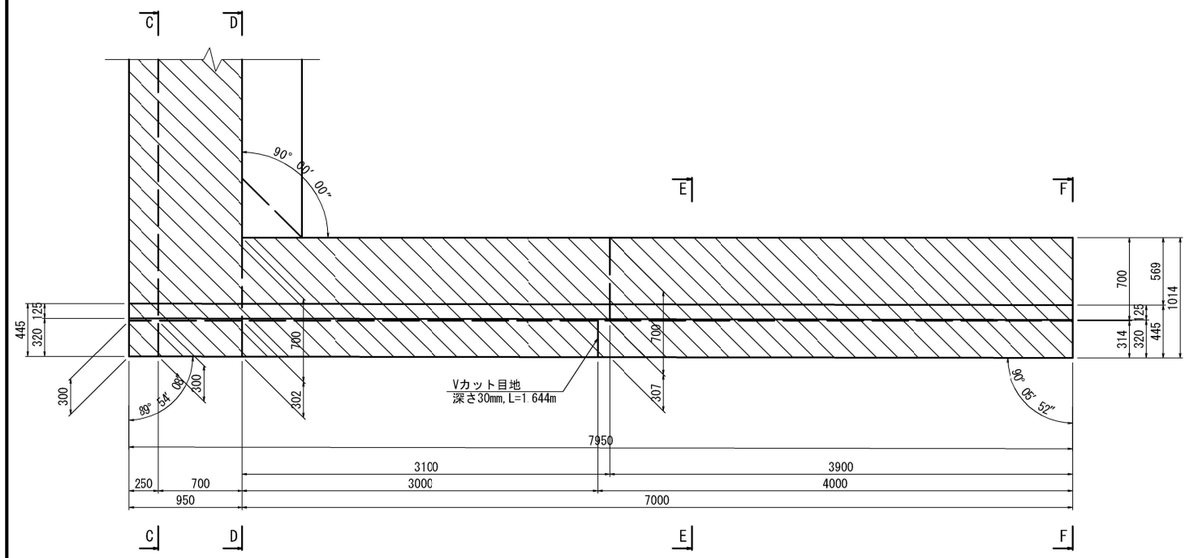
土渕橋（上り線）A2橋台構造一般図（３）

地覆・壁高欄詳細図 S=1:50

平面図(左側)

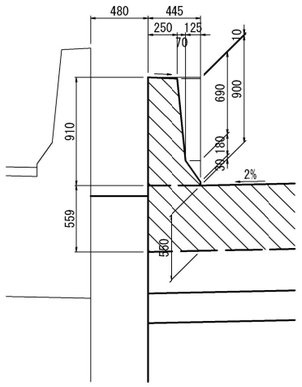


平面図(右側)

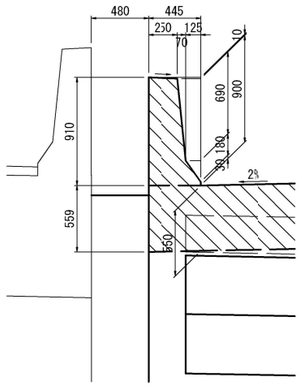


[左側]

断面図(A-A)

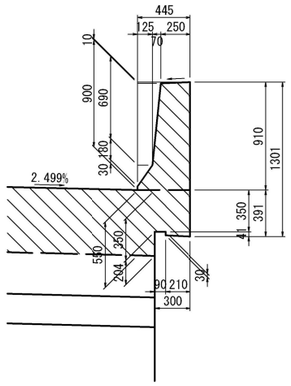


断面図(B-B)

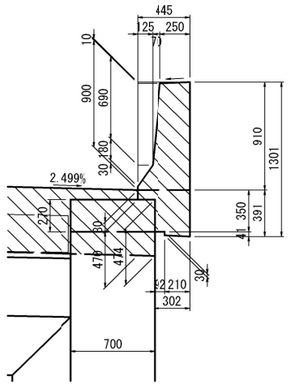


[右側]

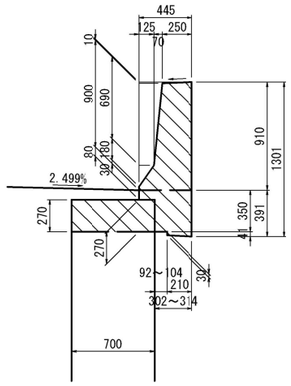
断面図(C-C)



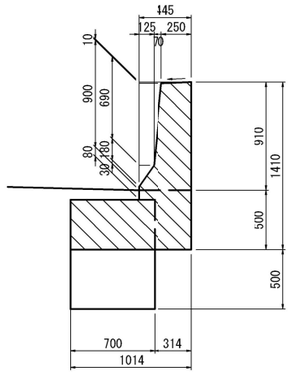
断面図(D-D)



断面図(E-E)



断面図(F-F)



特記事項
※1 地覆・壁高欄 ▨ 部は本工事施工とすること。
※2 Ｉ期施工構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。
※3 橋台測点は、パラペット前面位置とする。

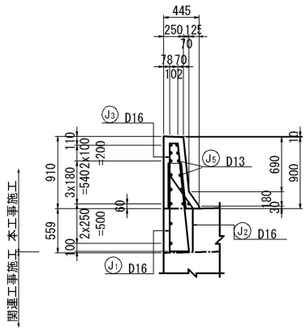
秋田自動車道　岩瀬標他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土 渕 橋（上り線） A2橋台構造一般図（３）		
縮　　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線)　A2橋台配筋図（１）

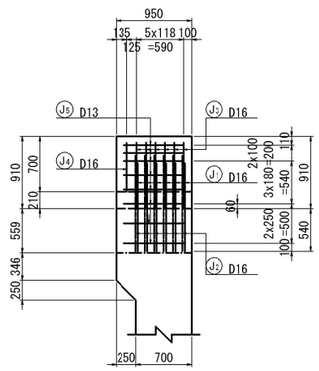
左右壁高欄配筋図

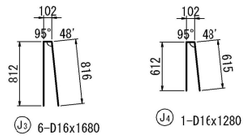
左側壁高欄配筋図　S=1：75

断 面 図



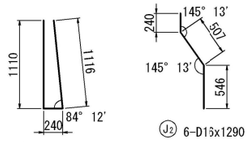
外面展開図





J3 6-D16x1680　　J4 1-D16x1280

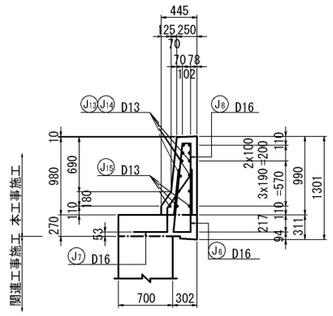
J5 15-D13x750



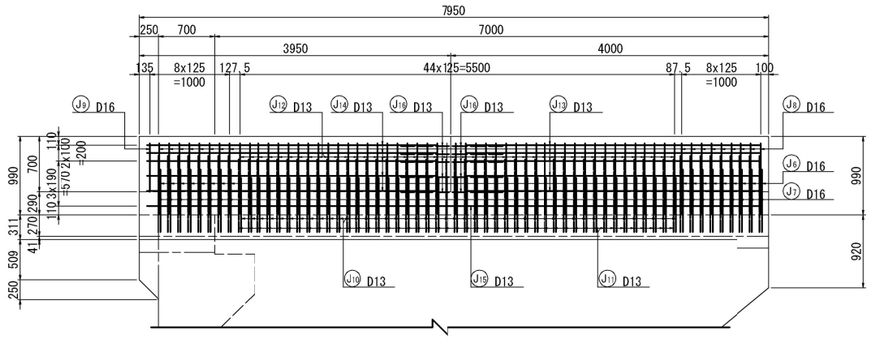
J1 6-D16x2420　　J2 6-D16x1290

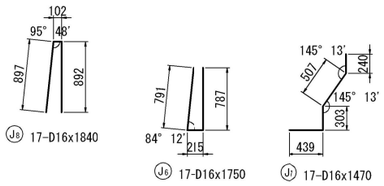
右側壁高欄配筋図　S=1：75

断 面 図

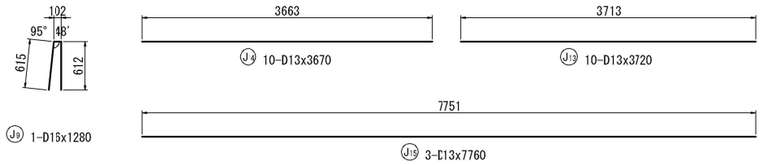


外面展開図

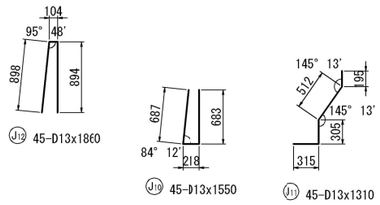




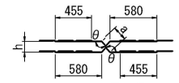
J8 17-D16x1840　　J6 17-D16x1750　　J7 17-D16x1470



J8 1-D16x1280　　J9 10-D13x3670　　J13 10-D13x3720　　J15 3-D13x7760



J12 45-D13x1860　　J10 45-D13x1550　　J11 45-D13x1310

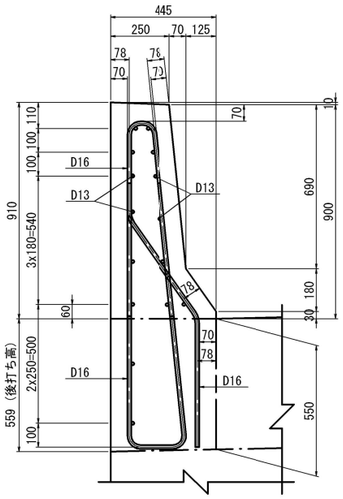


J16 (平均長) 10-D13x1330

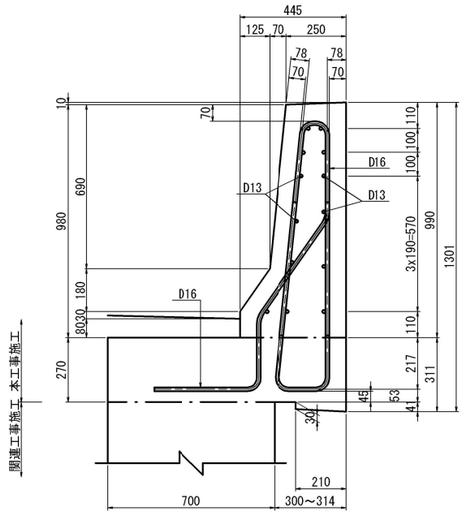
J16鉄筋変化筋表

記号	径	本数	h	a	θ	L
1	D13	2	75	146	149° 02″	1310
2	〃	2	85	151	145° 47″	1310
3	〃	2	95	157	142° 46″	1320
4	〃	2	114	169	137° 38″	1330
5	〃	2	134	183	133° 01″	1340
平均		10				1330

左側壁高欄かぶり詳細図　S=1:25



右側壁高欄かぶり詳細図　S=1:25

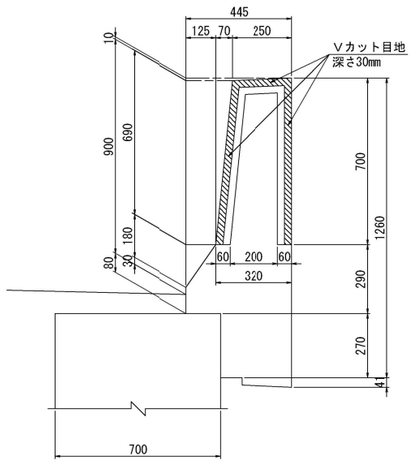


注）鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

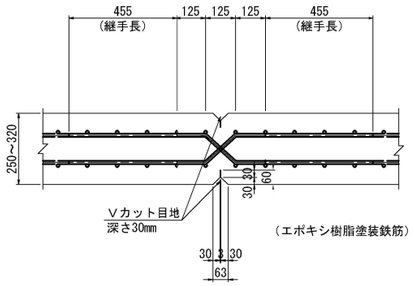
秋田自動車道　岩潟橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A2橋台配筋図（１）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線)　A2橋台配筋図（２）

Ｖカット目地断面図　S=1:25



Ｖカット目地断面図　S=1:25



鉄筋質量表(壁高欄)

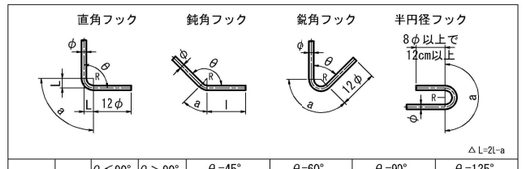
種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)							
J1	D16	2420	6	1.56	3.73	23	
2	〃	1290	6	〃	2.01	12	
3	〃	1680	6	〃	2.62	16	
4	〃	1280	1	〃	2.00	2	
5	D13	750	15	0.995	0.746	11	
6	D16	1750	17	1.56	2.73	46	
7	〃	1470	17	〃	2.29	39	
8	〃	1840	17	〃	2.87	49	
9	〃	1280	1	〃	2.00	2	
10	D13	1550	45	0.995	1.54	69	
11	〃	1310	45	〃	1.30	59	
12	〃	1860	45	〃	1.85	83	
13	〃	3720	10	〃	3.70	37	
14	〃	3670	10	〃	3.65	37	
15	〃	7760	3	〃	7.72	23	
16	〃	1330	10	〃	1.32	13	平均長
						521 kg	

エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)	
A(E)	
D16	189 kg
D13	332 kg
合計	521 kg

鉄筋集計表(壁高欄)

エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)				
種別	径 (mm)		質量 (kg)	合計 (kg)
A(E)	D13		332	332
	D16		189	189
	D19～D25	D19	——	——
		D22	——	
		D25	——	
	D29～D32	D29	——	——
		D32	——	
	D35		——	——
	D38		——	——
	D41		——	——
	D51		——	——
	計			521

鉄筋加工寸法表

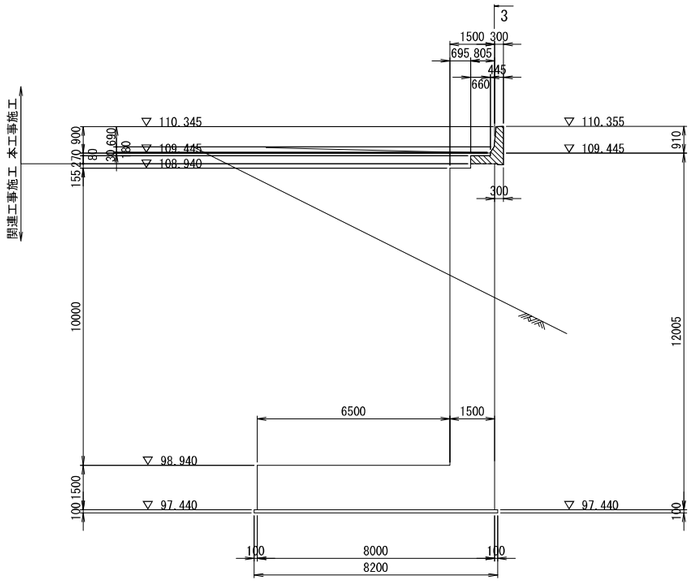


	径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
				a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
SD345	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	9
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

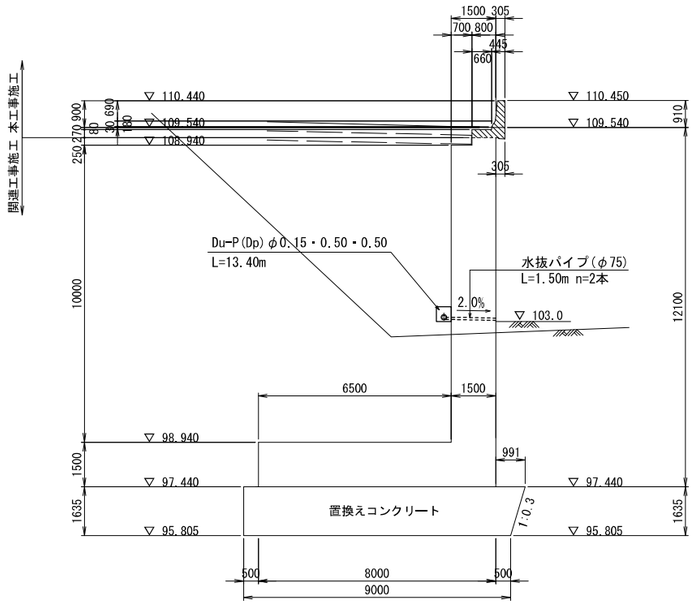
秋田自動車道　岩潟橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A2橋台配筋図（２）		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁構造一般図

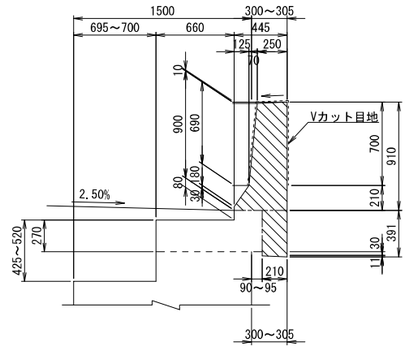
断面図(1-1) S=1:200



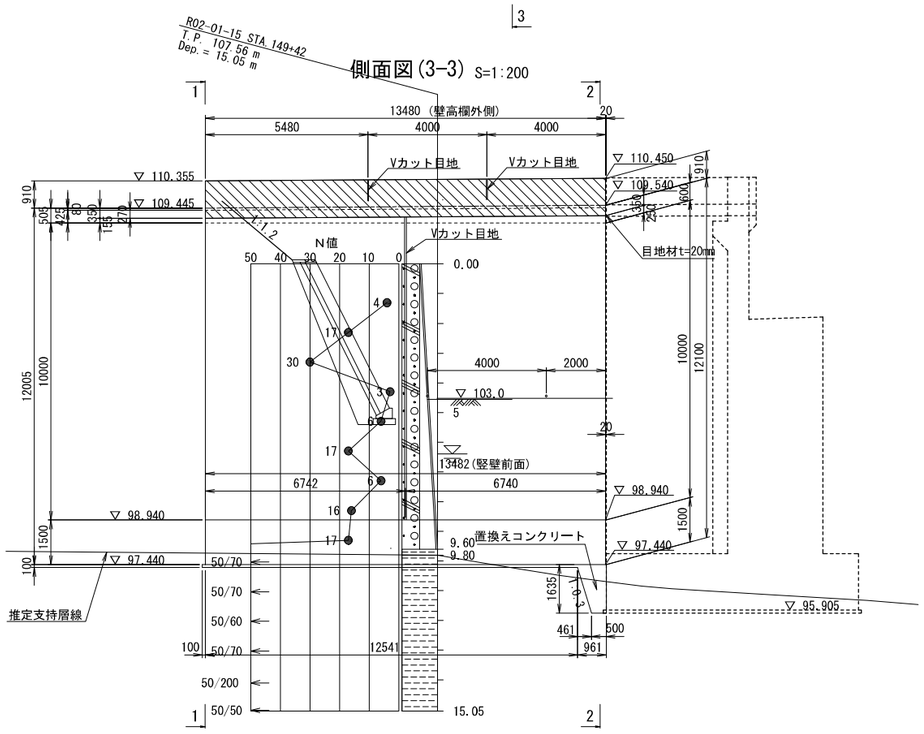
断面図(2-2) S=1:200



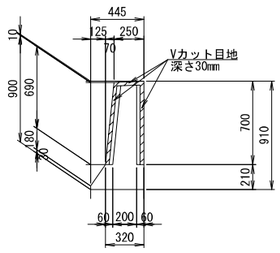
擁壁頂部詳細図 S=1:50



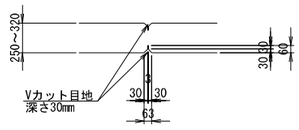
側面図(3-3) S=1:200



Vカット目地断面図 S=1:50



Vカット目地平面図 S=1:50



特記事項
※1 地覆・壁高欄 ▨ 部は上部工施工とすること。

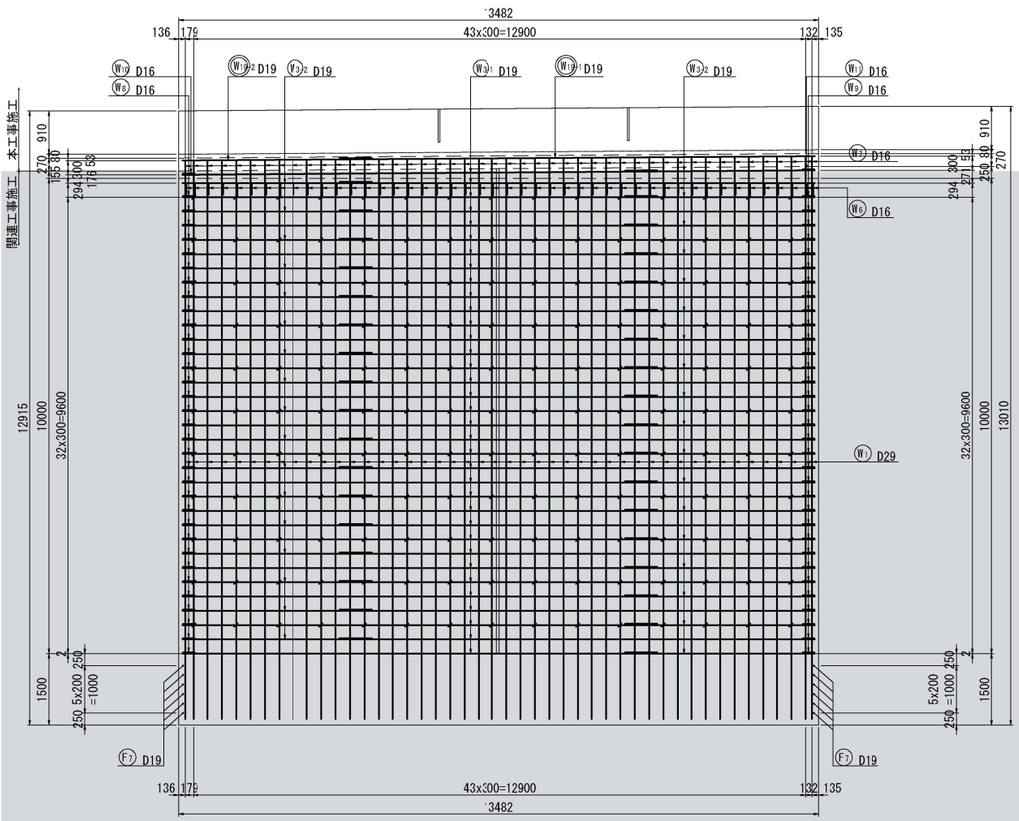
使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
壁高欄・竪壁	σck=30N/mm²	SD345(エポキシ被覆)

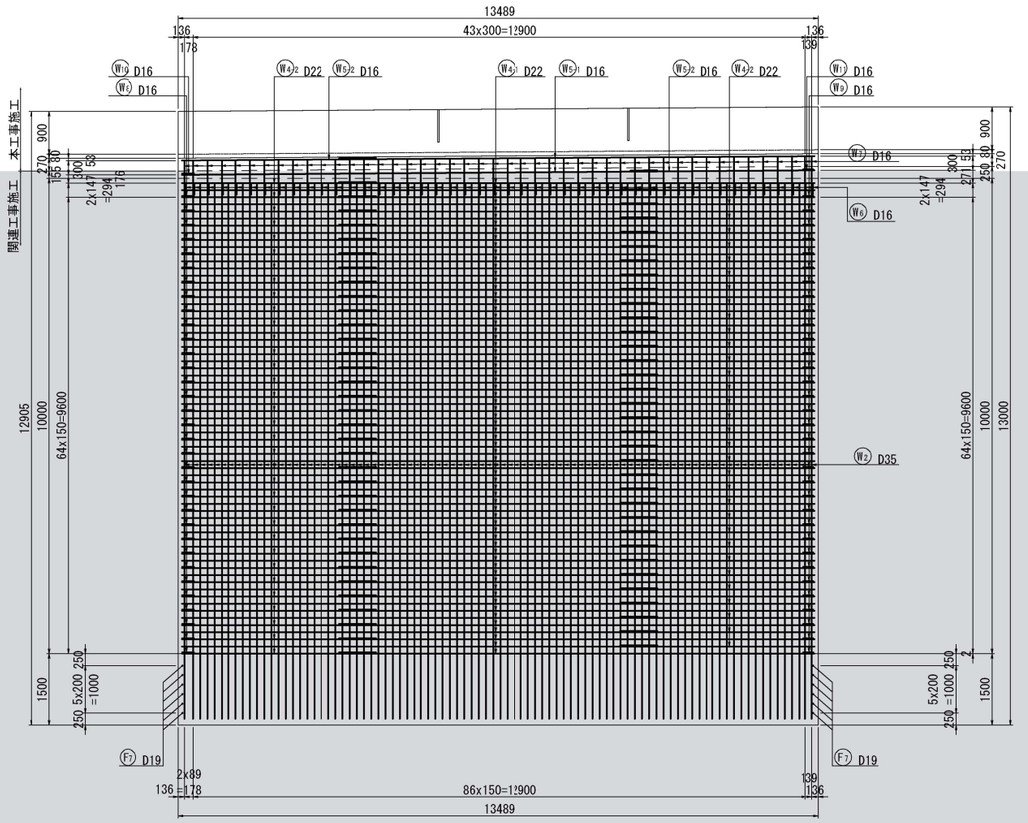
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁構造一般図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図 (1) S=1:125

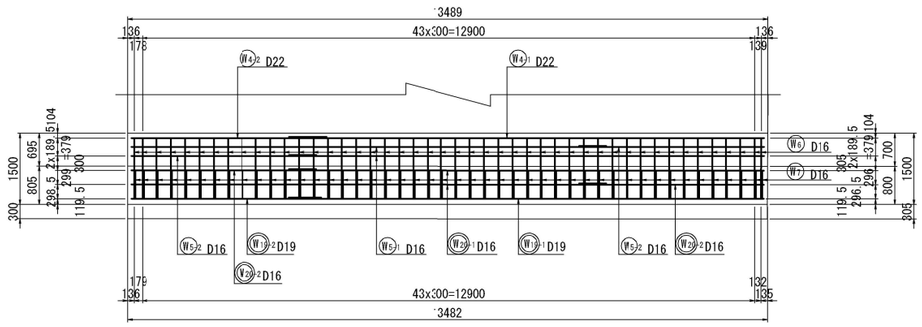
1 - 1



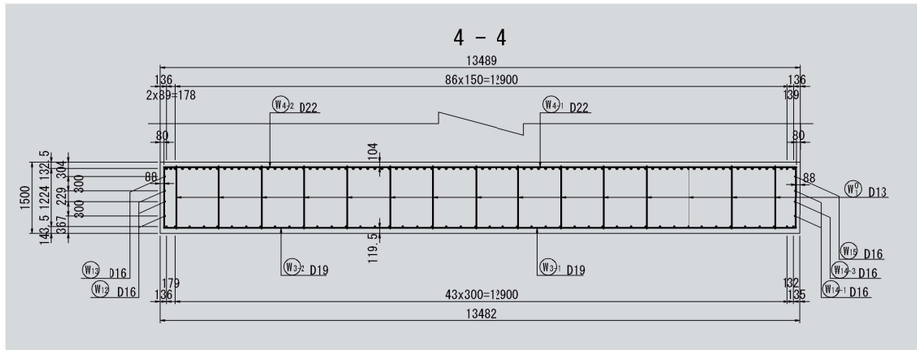
2 - 2



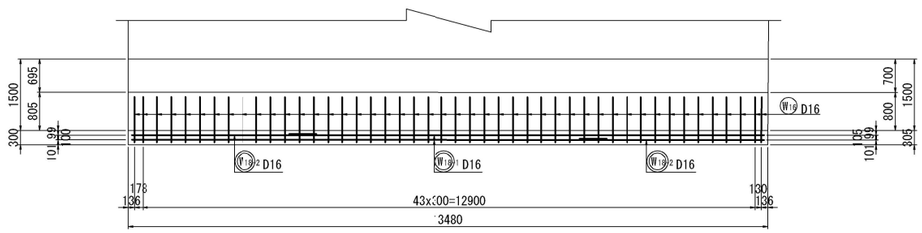
3 - 3



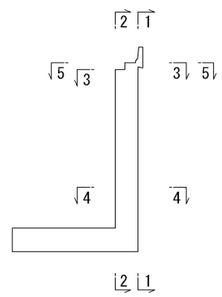
4 - 4



5 - 5



位置図



◎ 本工事（上部工）施工鉄筋を示す。

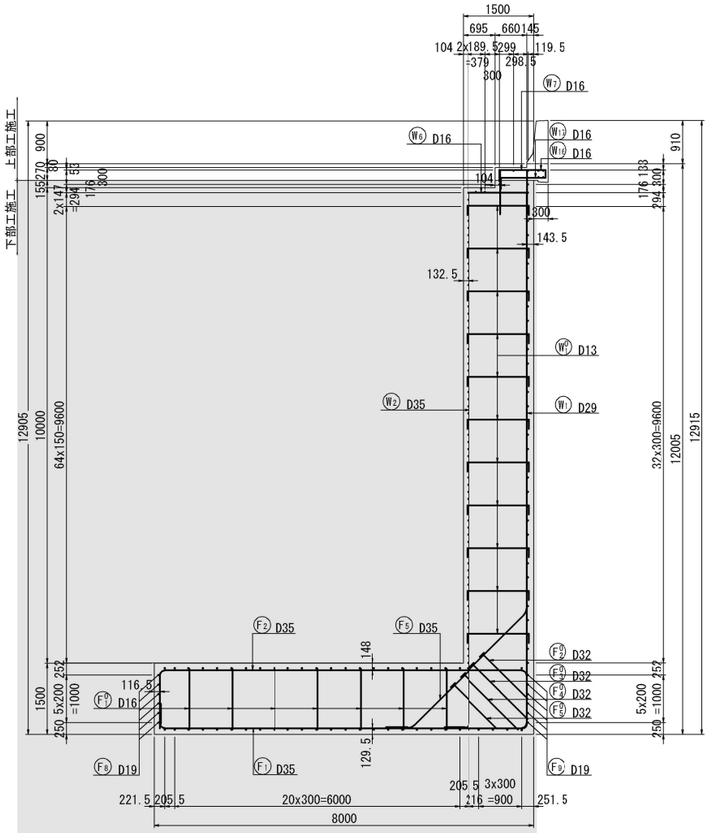
注1) エポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

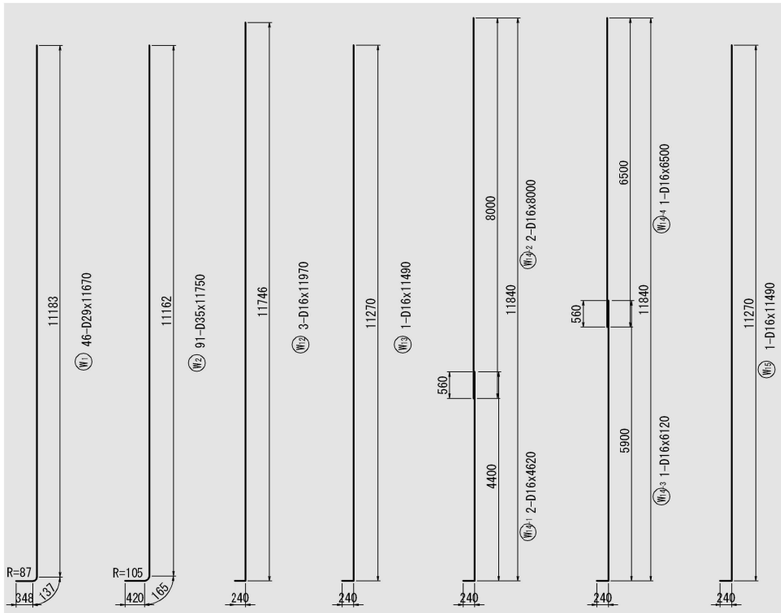
注2) 灰色着色箇所は関連工事による施工を示す。

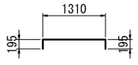
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図 (1)		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図 (2) S=1:125

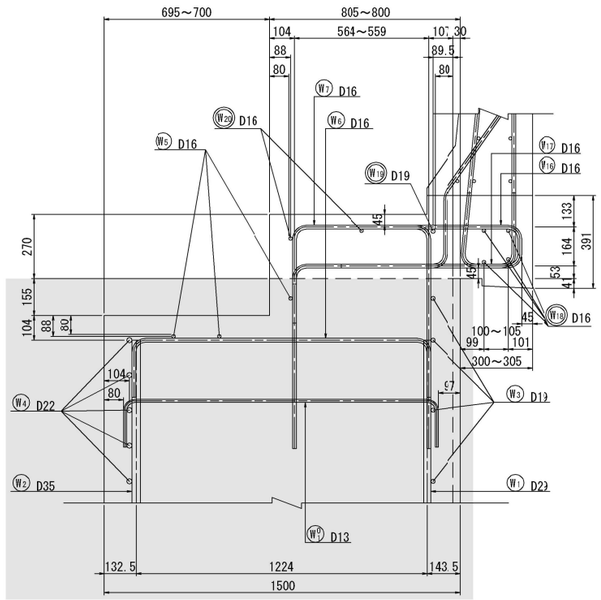
6 - 6



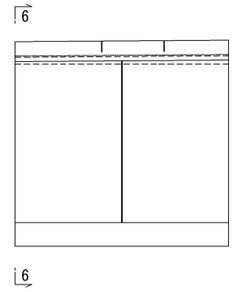


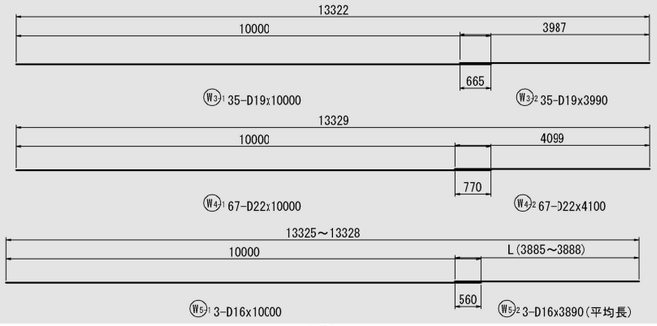


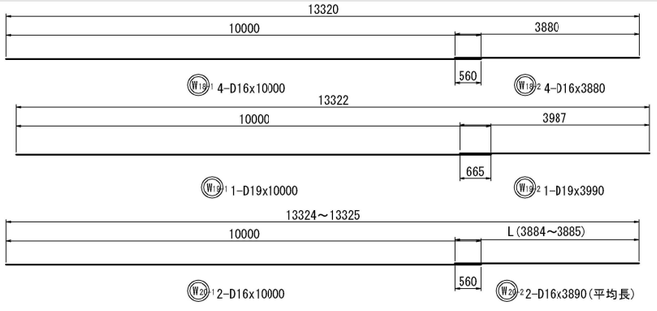
かぶり詳細図 S=1:25



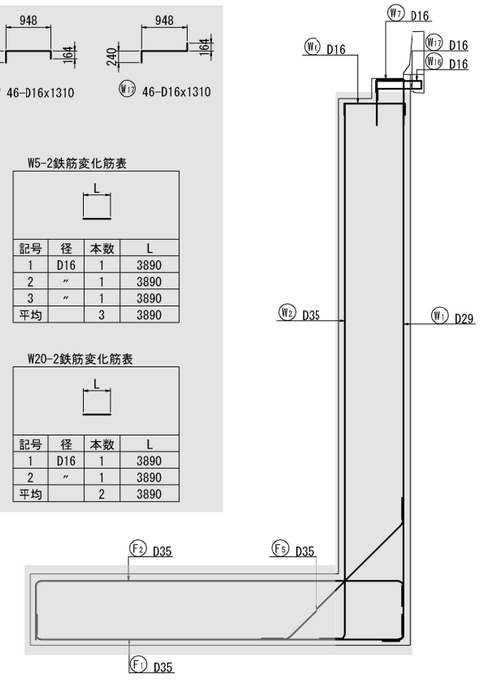
位置図

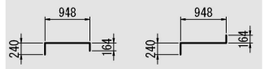






鉄筋組立図



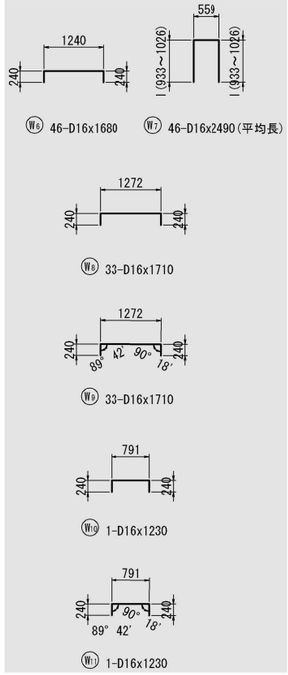


W5-2鉄筋変化筋表

記号	径	本数	L
1	D16	1	3890
2	〃	1	3890
3	〃	1	3890
平均		3	3890

W20-2鉄筋変化筋表

記号	径	本数	L
1	D16	1	3890
2	〃	1	3890
平均		2	3890



W7鉄筋変化筋表

記号	径	本数	l	L
1	D16	1	933	2390
2	〃	1	934	2390
3	〃	1	936	2390
4	〃	1	938	2400
5	〃	1	940	2400
6	〃	1	943	2410
7	〃	1	945	2410
8	〃	1	947	2420
9	〃	1	949	2420
10	〃	1	951	2420
11	〃	1	953	2430
12	〃	1	955	2430
13	〃	1	957	2440
14	〃	1	959	2440
15	〃	1	962	2450
16	〃	1	964	2450
17	〃	1	966	2450
18	〃	1	968	2460
19	〃	1	970	2460
20	〃	1	972	2470
21	〃	1	974	2470
22	〃	1	976	2470
23	〃	1	978	2480
24	〃	1	981	2480
25	〃	1	983	2490
26	〃	1	985	2490
27	〃	1	987	2500
28	〃	1	989	2500
29	〃	1	991	2500
30	〃	1	993	2510
31	〃	1	995	2510
32	〃	1	997	2520
33	〃	1	1000	2520
34	〃	1	1002	2530
35	〃	1	1004	2530
36	〃	1	1006	2530
37	〃	1	1008	2540
38	〃	1	1010	2540
39	〃	1	1012	2550
40	〃	1	1014	2550
41	〃	1	1016	2550
42	〃	1	1019	2560
43	〃	1	1021	2560
44	〃	1	1023	2570
45	〃	1	1025	2570
46	〃	1	1026	2570
平均		46	980	2490

◯ 本工事（上部工）施工鉄筋を示す。

注1) エポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

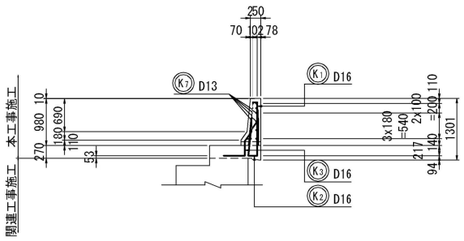
注2) 灰色着色箇所は関連工事による施工を示す。

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A1橋台 L型擁壁配筋図 (2)		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

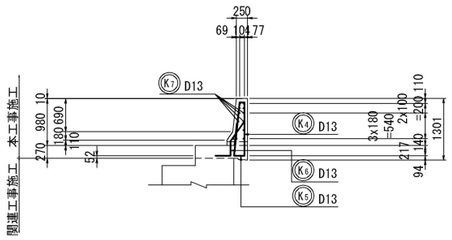
土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図 (3) S=1:125

壁高欄配筋図

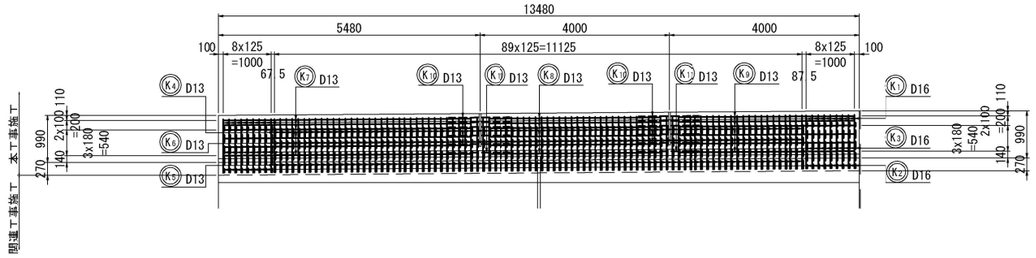
断面図(端部)



断面図(標準部)



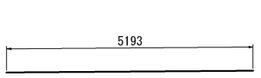
外面展開図



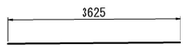
K1 18-D16x1840

K2 13-D16x1750

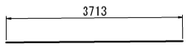
K3 18-D16x1450



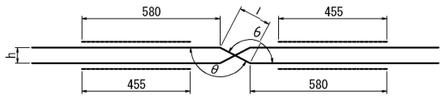
K7 13-D13x5200



K8 13-D13x3630



K9 13-D13x3720

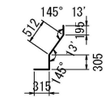


K10 10-D13x1330(平均長)

K11 3-D13x1290

K4 90-D13x1660

K5 90-D13x1550

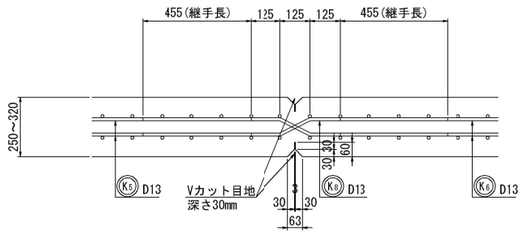


K6 90-D13x1310

記号	径	本数	h	l	θ	L
1	D13	2	75	146	149° 02'	1310
2	〃	2	85	151	145° 47'	1310
3	〃	2	95	157	142° 46'	1320
4	〃	2	113	169	137° 53'	1330
5	〃	2	131	181	133° 39'	1340
平均		10				1330

◎ 本工事(上部工)施工鉄筋を示す。

Vカット目地平面図 S=1:25

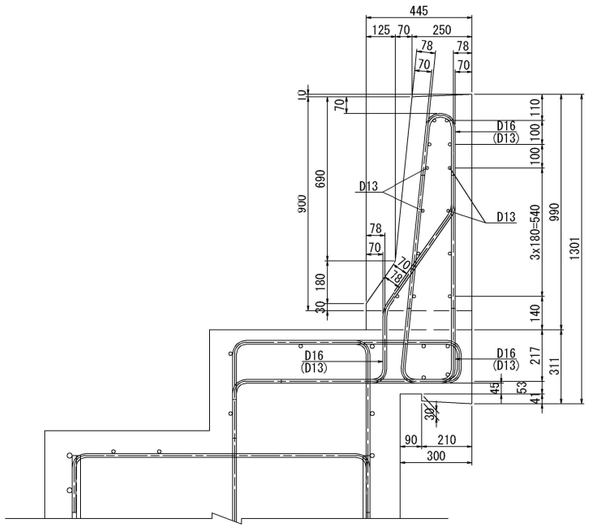


注1) 鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

秋田自動車道 岩瀬橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図(3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

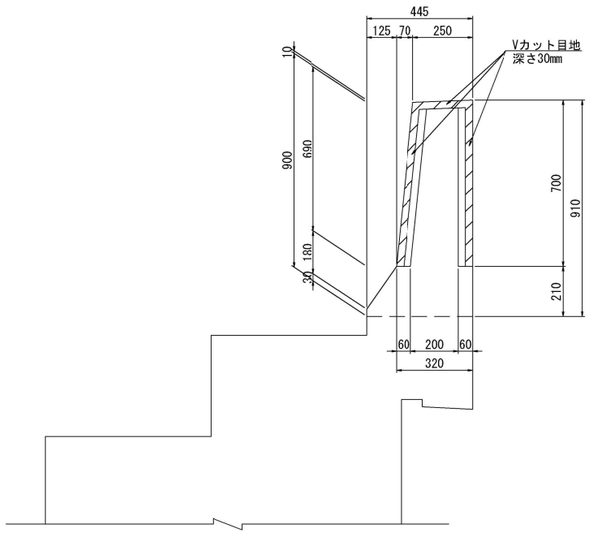
土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図 (4)

右側壁高欄かぶり詳細図 S=1:25



( )内数字は標準部数値を示す。

Vカット目地断面図 S=1:25



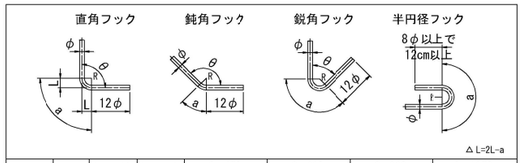
本工事施工鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
エポキシ樹脂鉄筋(SD345)							
K1	D16	1840	18	1.56	2.87	52	〃
2	〃	1750	18	〃	2.73	49	〃
3	〃	1450	18	〃	2.26	41	〃
4	D13	1860	90	0.995	1.85	167	〃
5	〃	1550	90	〃	1.54	139	〃
6	〃	1310	90	〃	1.30	117	〃
7	〃	5200	13	〃	5.17	67	—
8	〃	3630	13	〃	3.61	47	—
9	〃	3720	13	〃	3.70	48	—
10	〃	1330	10	〃	1.32	13	〜 平均長
11	〃	1290	3	〃	1.28	4	—
						744 kg	
W18-1	D16	10000	4	1.56	15.6	62	—
18-2	〃	3880	4	〃	6.05	24	—
19-1	D19	10000	1	2.25	22.5	23	—
19-2	〃	3990	1	〃	8.98	9	—
20-1	D16	10000	2	1.56	15.6	31	—
20-2	〃	3890	2	〃	6.07	12	— 平均長
						161 kg	
鉄筋 (SD345) エポキシ樹脂塗装							
鉄筋A(E)							
D19	32 kg						
D16	271 kg						
D13	602 kg						
小計	905 kg						
合計	905 kg						

本工事施工鉄筋集計表

エポキシ樹脂鉄筋(SD345)				
種別	径(mm)		質量(kg)	合計(kg)
A(E)	D13		602	602
	D16		271	271
	19〜25	D19	32	32
		D22	——	
		D25	——	
	D29〜D32	D29	——	——
		D32	——	
	D35		——	——
	D38		——	——
	D41		——	——
	D51		——	——
	計			905

鉄筋加工寸法表



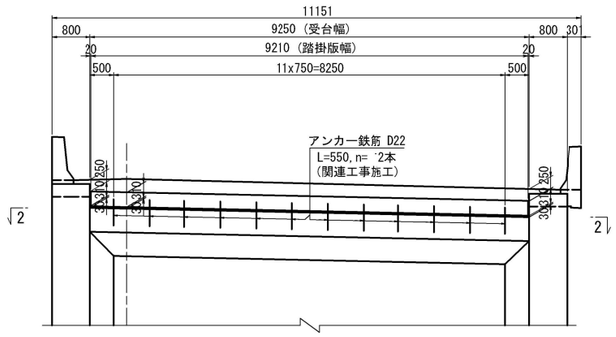
	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
				a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
SD345	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	9
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注1) 鉄筋はすべてエポキシ塗装鉄筋を使用のこと。

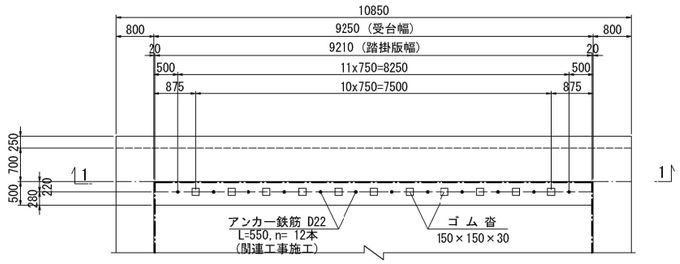
秋田自動車道 岩瀬橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A1橋台L型擁壁配筋図 (4)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

土渕橋(上り線)　A1橋台踏掛版配筋図　S=1:125

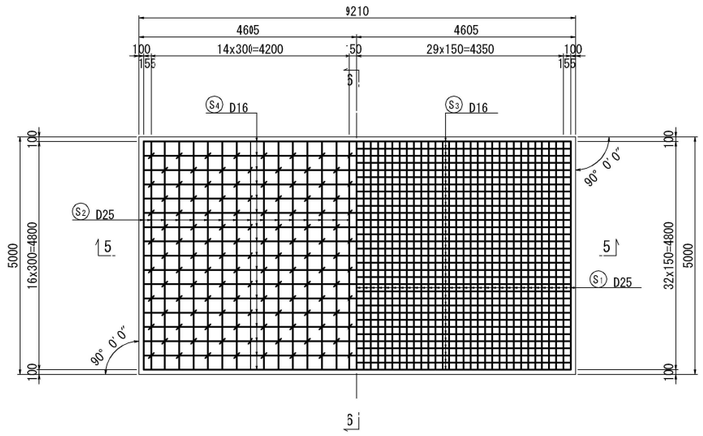
1 － 1



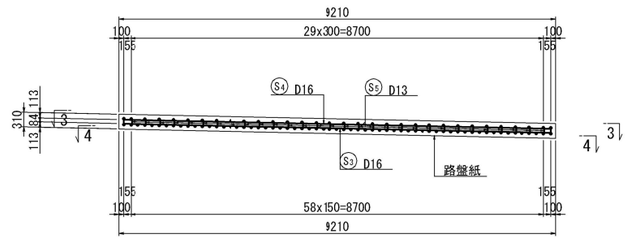
2 － 2



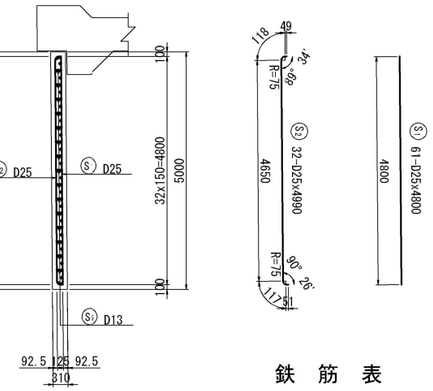
3 － 3　　4 － 4



5 － 5



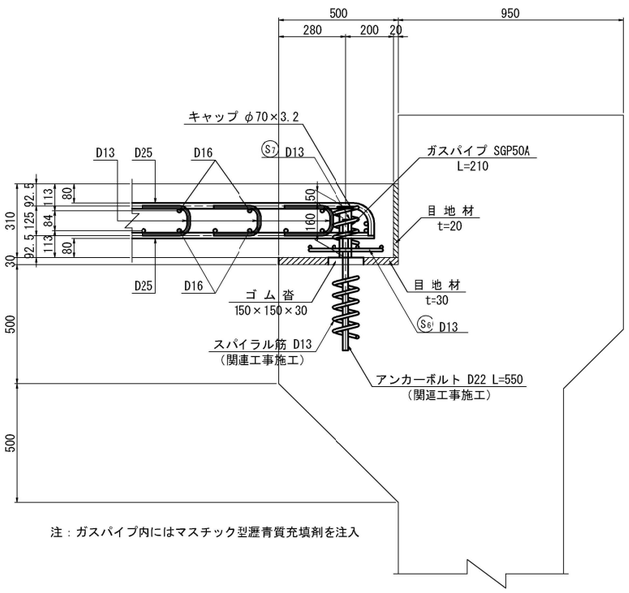
6 － 6



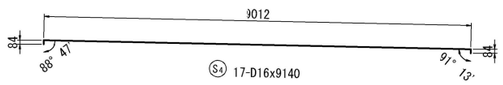
鉄　筋　表

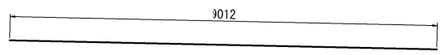
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
S1	D25	4800	61	3.98	19.1	1165	
2	〃	4990	32	〃	19.9	637	
3	D16	9020	33	1.56	14.1	465	
4	〃	9140	17	〃	14.3	243	
5	D13	470	225	0.995	0.468	105	
6	〃	1370	24	〃	1.36	33	
7	〃	960	12	〃	0.955	11	
						2659 kg	
		A					
	D25	1802 kg					
	D16	708 kg					
	D13	149 kg					
	合 計	2659 kg					
パイプ 50A		210	12	5.31	1.12	13	ガスパイプ
プレート t=3.2 φ70			12	—	0.0967	1	キャップ
						14 kg	

支承部詳細図　縮尺=1:25

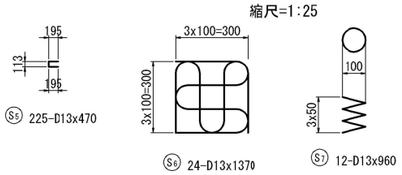


注：ガスパイプ内にはマスチック型瀝青質充填剤を注入





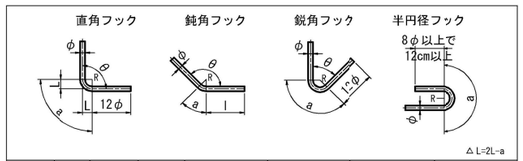
縮尺=1:25



数量表　(46.1m2当り)

項目	種別	規格	単位	数量
踏掛版工 t=31cm	コンクリート	A1-3	m3	14.3
	型枠	C	m2	3.4
	鉄筋（SD345）A	D13	kg	149.0
		D16-25	kg	2510.0
		合計	kg	2659.0
	ゴム沓	150*150*30 クロロプレンゴム	個	11.0
	目地板	t=20mm	m2	5.4
		t=30mm	m2	4.4
	ガス管	ガスパイプ 50A	kg	13.0
	アンカーキャップ	PL Φ70*3.2mm	kg	1.0
	充填剤	マスチック型瀝青質	kg	6.0
	路盤紙		m2	46.1

鉄筋加工寸法表

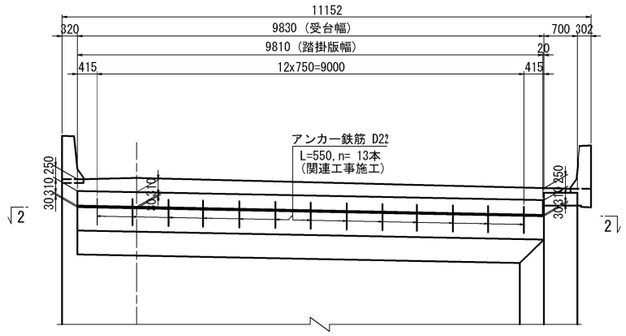


	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	θ=135° a	θ=135° △L
SD345	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	83	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	175	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	9
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

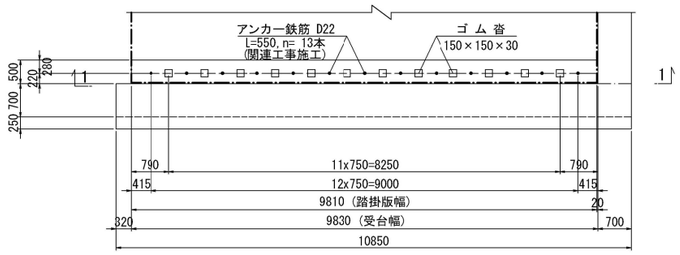
秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A 橋台踏掛版配筋図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋(上り線)　A2橋台踏掛版配筋図　S=1:125

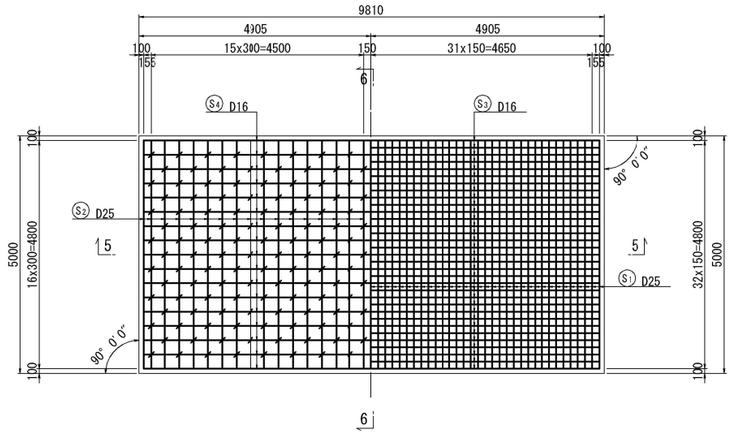
1 － 1



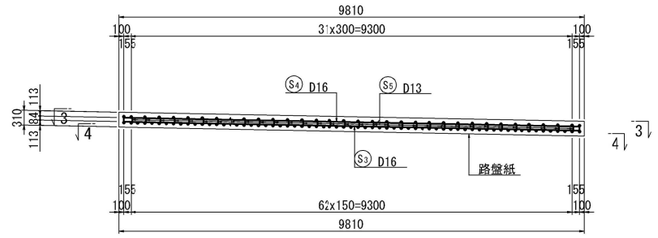
2 － 2



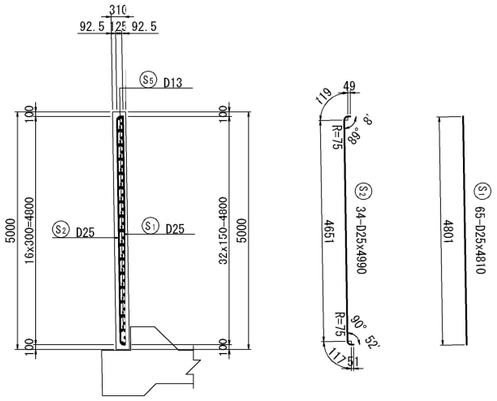
3 － 3　　4 － 4



5 － 5



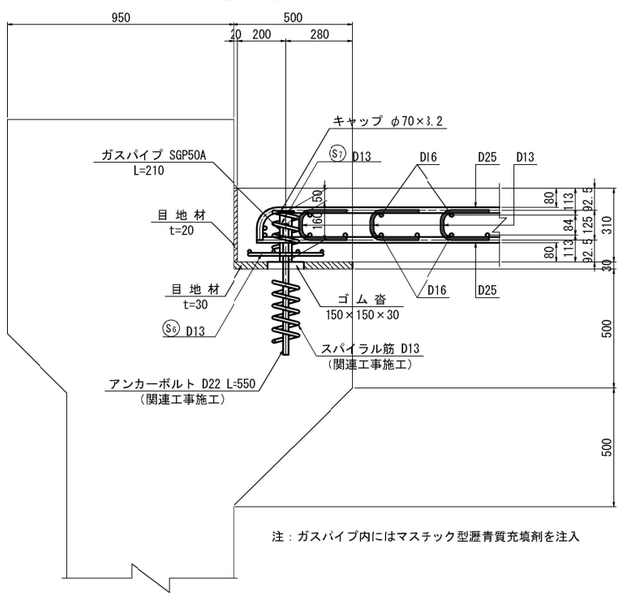
6 － 6



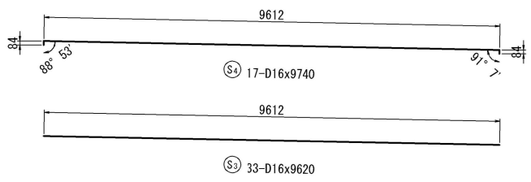
鉄　筋　表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
S1	D25	4810	65	3.98	19.1	1242	
2	〃	4990	34	〃	19.9	677	
3	D16	9620	33	1.56	15.0	495	
4	〃	9740	17	〃	15.2	258	
5	D13	470	240	0.995	0.468	112	
6	〃	1370	25	〃	1.36	35	
7	〃	960	13	〃	0.955	12	
						2831 kg	
		A					
	D25	1919 kg					
	D16	753 kg					
	D13	159 kg					
	合 計	2831 kg					
パイプ 50A		210	13	5.31	1.12	15	ガスパイプ
プレート t=3.2 φ70			13	—	0.0967	1	キャップ
						16 kg	

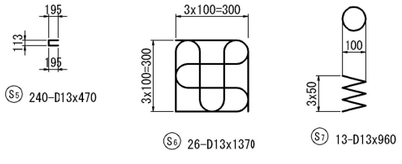
支承部詳細図　縮尺=1:25



注：ガスパイプ内にはマステック型瀝青質充填剤を注入



縮尺=1:25

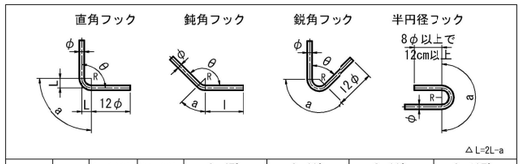


数量表

(49.1m2当り)

項目	種別	規格	単位	数量
踏掛版工 t=31cm	コンクリート	A1-3	m3	15.2
	型枠	C	m2	4.6
	鉄筋（SD345）A	D13	kg	159.0
		D16-25	kg	2672.0
		合計	kg	2831.0
	ゴム沓	150*150*30 クロロプレンゴム	個	12.0
	目地板	t=20mm	m2	4.6
		t=30mm	m2	4.6
	ガス管	ガスパイプ 50A	kg	15.0
	アンカーキャップ	PL Φ70*3.2mm	kg	1.0
	充填剤	マステック型瀝青質	kg	8.0
	路盤紙		m2	49.1

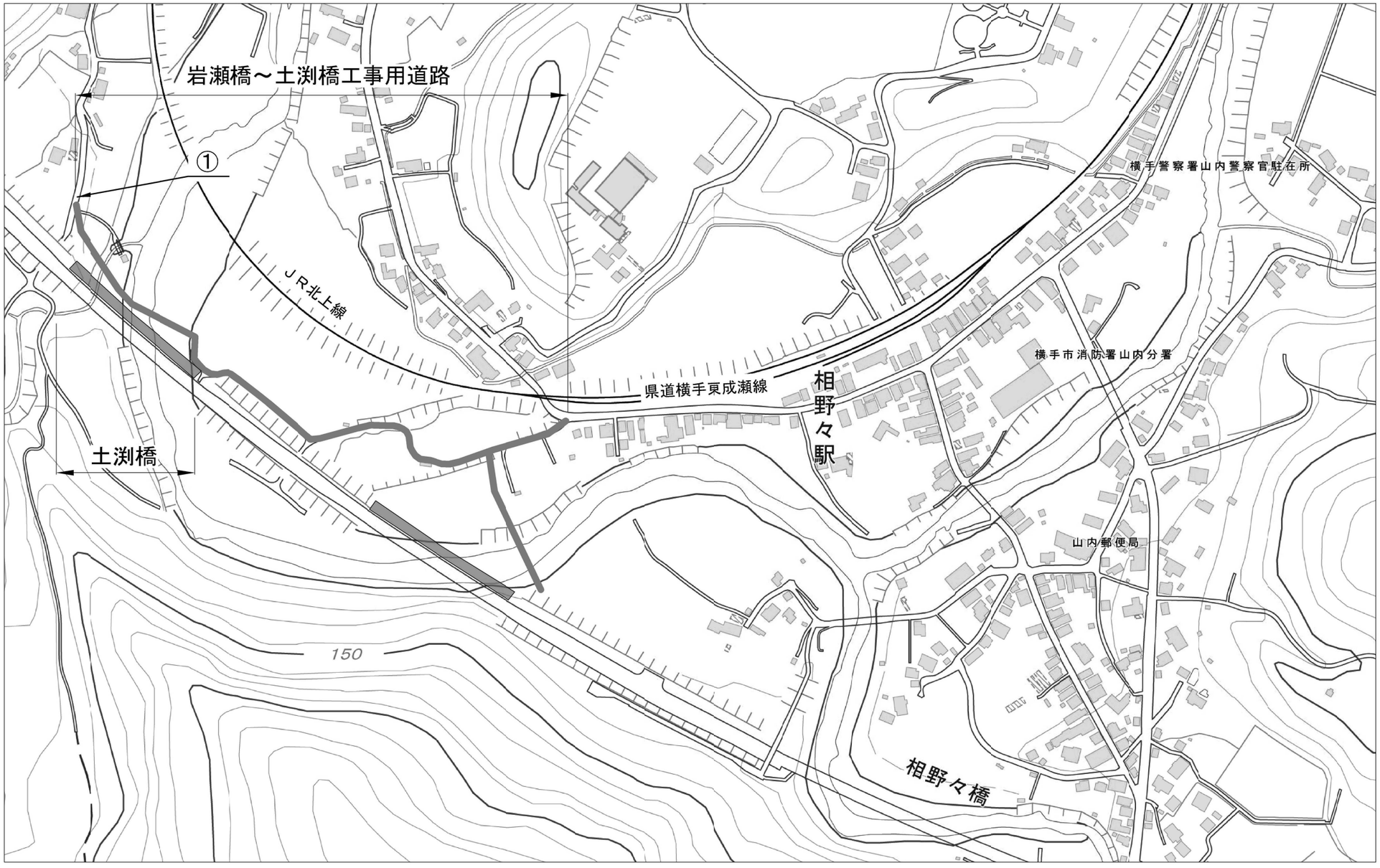
鉄筋加工寸法表



	径	θ≦90° R=3.0φ	θ>90° R=5.5φ	θ=45° a	θ=45° △L	θ=60° a	θ=60° △L	θ=90° a	θ=90° △L	θ=135° a	θ=135° △L
SD345	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	9
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋(上り線) A2橋台踏掛版配筋図		
縮　尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社エイト日本技術開発		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		

土渕橋（上り線）　交通保安要員配置図



【交通保安要員】

番号	配置場所	区分	配置人数（人/日）	交代要員（人/日）	配置期間	数量（人・日）
①	岩瀬橋～土渕橋工事用道路（市道虫内線との交差部）	交通誘導警備員　B	1	―	令和10年7月　～　令和10年11月	90
			1	―	令和11年4月　～　令和11年6月	54
	計					144

秋田自動車道　岩瀬橋他２橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	土渕橋（上り線） 交通保安要員配置図		
縮　尺	―	図面番号	／
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　横手工事事務所		